独占!! 王者ヒョードル、藤田和之戦を語る!!

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

紙のプロレス RADICAL

61
2003

仰天! 5・2ドームでVT決行!!
新日本は生まれ変われるか!?／
謎に包まれたLYOTO徹底解剖

プロレス×格闘技クロスオーバー対談
中西とスミヤバザルの
VT特訓の模様が明らかに!!
エンセン井上×金原弘光

さらば理不尽大王・
冬木弘道——!!
杉作J太郎が哀悼のメッセージ!!

話題沸騰! 衝撃の後編!!
倉持隆夫
『全日本中継の真実』

新生『PRIDE』発進!
今後の行方を徹底検証!!

『PRIDE』出場間近!?
UFCミドル級王者見参
M・ブスタマンチ

皇帝・ヒョードルも出陣!!
リングス・リトアニア大会
怒濤の22ページ総力特集!!

★1年間の沈黙を破る独占激白!!
ヴォルク・ハン

★軍隊まで出動!!
矢野卓見＆今成正和が
リトアニアで大乱闘!
ZST四人衆が大放談!!

"裏番組をぶっ飛ばせ!!"
OH砲スペシャル対談
橋本真也
×
小川直也

レッスルマニア、
今年も大爆発!
知られざる
ハルク・ホーガン

5・2、
仁義ある
闘い!!

やっちゃうぞ、
バカヤローッ!!

我々ロシアには、
馬乗りになって
相手の顔面を殴りつけたり、
四つん這いになった相手の顔を
蹴り上げたりする
野蛮な〝格闘文化〟は
なかった。しかし、ブラジル人がつくった
ブラジル人のための競技でも、最強になるため、
我々は〝新・ロシア人〟をつくりあげた。
紹介しよう……彼が〝新・ロシア人〟

エメリヤーエンコ・ヒョードルだ!!

【ロシアン・トップチーム総監督 ウラジミール・パコージン氏・談】

そして6・8——
RE・BORNした『PRIDE』のリングで
藤田和之という〝新・日本人〟は誕生するのか!?

← 前号のヒョードル表紙の『紙プロ』を手にする藤田。6・8でREBORNぶりをリングに立ち昇らせるためにも、5・2の“世界一のバカ”中西戦は落とせない

藤田が、「世界一のバカ」を倒し、「世界一強い男」へと挑む!!

『我々ロシアには、馬乗りになって相手の顔面を殴りつけたり、四つん這いになった相手の顔を蹴り上げたりする、野蛮な“格闘文化”はなかった。我々ロシアのサンビストはジェントルマンなんだよ（笑）。しかし、たとえそれが、ブラジル人がつくったブラジル人のための競技であっても、最強になるために、ロシアの強さを照明するために、我々は“新・ロシア人”をつくりあげた。紹介しよう……彼が“新・ロシア人”エメリヤーエンコ・ヒョードルだ!!』

ロシアン・トップチーム総監督のウラジミール・パコージン氏は、まるで劇画に出てくるようなセリフを吐いた。

もちろん、パコージン監督を交えヒョードルとは何度か話しているので、いまさら紹介を受けることもないのだが、『PRIDE』ヘビー級王座を奪取した翌日、パコージン監督は少しほろ酔い加減の赤ら顔で、改めてゴキゲンにヒョードルを紹介してくれた。

ヴォルク・ハンやアンドレィ・コピィロフに代表されるリングス・ロシア時代の彼らの代名詞は、華麗で奇抜で荘厳な関節技（へんな表現だけど）だった。

彼らのベースはサンボだが、その技術を習得することはもちろん、その技術に裏打ちされた攻防を見せること、つまり“格闘芸術”を披露することにプロとしての主眼を置いていた。

その攻防から見える彼らの圧倒的な技術、人間としての地力、そしてそこから滲み出る、それまで背負ってきた“物語”に、観ている者は驚嘆の声を上げ、賞賛の拍手を送り続けた。

しかし、KOK、そして特に『PRIDE』では、その実力を120%出し切ることはなく、ブラジル勢の後塵を拝してしまっていた。

バーリ・トゥードは、ブラジル人がブラジル人のためにつくりあげた競技である——というのがパコージン監督の言い分だ。

それでも彼らは、彼らの“格闘文化”の中にはない、“馬乗りになって殴り続けること”や“四つん這いの相手を蹴り上げる”ことを受け入れ、克服した。それも尋常じゃないスピードで。

彼らは、なにをどう克服したのか——。

ロシア勢が、「バーリ・トゥードはブラジル人のものだからオレたちには関係ない」「馬乗りになって顔面パンチを振り下ろすなど、野蛮なことはできない」と断定していれば、話はそれっきり進まなくなっていたはずだ。

しかし、彼らはロシアの強さを照明するために、自らの“格闘文化”すらも一度壊す作業に踏み出したのだ。そしてその局面を克服し、それまでの“格闘文化”に再び光りを当てることを頭に描いている。

それまでの価値観を自ら壊す作業というのは、それが実は人間にとっては一番怖い作業だったりする。苦痛も伴うだろう。

その怖さと苦痛を、恐るべき速度で克服し、ロシア勢は“新・ロシア人”ヒョードルをつくり上げたのだ。

そしてヒョードルの冷たく熱い、熱く冷たい重い刃のような拳は、ノゲイラを完璧に沈めた。

ボクの敬愛する解剖学者の養老猛司さんは、こんなことを書いている。

「科学の結論は、常に暫定的なものだと私は考えている。暫定的であるからこそ、たえず経験に

「自分が生まれ変わらないといけない。常に“REBORN”させていかないとね」（藤田）

よって、つまり実験や観察によって吟味し直され、それゆえに、まだるこしいが、進歩するのである。断定すれば、すっきりはするが、それでおしまいである。話はそれっきり進まない。断定したのだから、当然である。しかし、科学は本質的には正当化を求めない。むしろつねに訂正を求める。だからこそ、いつまで経ってもやっている、あるいはやっていけるのである」

これはそっくりそのまんま「格闘技」、あるいは「強さ」というものにも置き換えられる話である。「格闘技」あるいは「強さ」というものは、常に「訂正」を求められるものなのだ。

だからこそ、いつまでもたっても追っている、あるいは追っていけるんだろう。

訂正、克服、変化、進化、変貌——「強さ」を求めるということは、螺旋のようにこれを繰り返しながら登っていくことだとも言える。

日本も、UWFやプロレス、あるいは空手がバーリ・トゥードに踏み出したとき、ロシア勢と同じような境遇にあったといってもいい。日本にも、馬乗りになって殴り続けることや、四つん這いの相手を蹴り上げる〝格闘文化〟はなかったからだ。

しかし、日本はまだその局面を克服しきっていない。バーリ・トゥードというものに参戦していく限りそこを克服し、パコージン監督が言う意味での〝新・日本人〟をつくりあげない限り日本勢に明るい未来は訪れない。

そこで強引ではあるが、藤田和之である。

先だっての『PRIDE』新体制発表会見に藤田は姿を現し、6・8『PRIDE．26』で、ヒョードルに挑むことを表明した（試合はノンタイトル）。

「一番のご馳走が目の前にあるのに、誰も食いついていかないんで。そんな選択でヒョードル戦を自分からオーダーしました」

「いまの自分があるのも、キッカケは『PRIDE』だったので、やはり最強を求める、強さを求めるというのが永遠のテーマなので、このリングに戻ってきました。いま一番輝いている、いま一番光ってるヤツということで『PRIDE』のチャンピオンであるヒョードルとやることを決めました。『PRIDE』で〝世界一強い男〟と、新日本で〝世界一バカな男〟と、2人の世界一とできることを光栄に思います。以上です」

と、藤田は会見の席で、ヒョードル戦を決めた動機を話した。

ちなみにここで言う〝世界一バカな男〟とは、5・2新日本のリングで藤田がVTを行う相手、中西学のことである。

中西は〝バカ〟っぷりを炎上させ、初のバーリ・トゥード戦だというのに「バーリー・トゥードの上にあるのがプロレス。藤田、お前らの位置まで、土俵まで降りて行ってやるよ！」とまで言い放った。

サップ戦に向けて藤田が照準を合わせたという話も出たが、そのサップは3・30K—1のリングでミルコの一撃に沈められた。そしてミルコはヒョードル戦を熱望！　格闘環境は恐るべき早さで変わっていっている。ん〜、リボ〜ンッ!!

それに対して藤田は、「試合は早く終わらせるつもり。あんまり長くやるとバカがうつるから」と軽くいなしながら、「オレの土俵に降りてくるんだったら、PRIDEのリングに上がってこい！」と怒り＆本音を滲ませた。

中西話があまりに面白いのでちょっと軌道を外れてしまったが、この中西戦は、藤田がヒョードルに挑むためには絶対に落とせない試合だ。

5・2は、この藤田vs中西戦をヒョードルが視察に来るという噂も立っている。

『PRIDE．26』のサブタイトルは〝REBORN〟である。

「自分が〝REBORN〟？（笑）。生まれ変わらないといけない。常に〝REBORN〟させていかないとね。毎回イチからっていうのは成長ないけど、そういう意味じゃなくてね」「純粋に闘いたいヤツと闘えばいいんですよ。チャンピオンとやって、いまの『PRIDE』の流れを体感したい」と言う藤田は、いまの『PRIDE』のサイクルの早さもレベルの高さも熟知している。ヒョードルの強さもわかっているはずだ。それでも藤田はヒョードルに挑む。

皇帝・ヒョードルに対峙し、藤田がその底力を立ち昇らせたとき、〝新・日本人〟が誕生するか、あるいは誕生する片鱗が見えるかもしれない。ヒョードルの圧倒的な強さが見たいと思うと同時に、この一戦にはそういう興味も出てきた。

ん〜、リボ〜ンッ!!

新生『PRIDE』新体制発表!!

『PRIDE』が苦しみの中から立ち上がった

生きてるゾーッ!!

アクセル全開、急発進だ!!　森下社長の衝撃的な自殺によって存続の危機とも言われていた『PRIDE』が、4月15日、東京プリンスホテルで会見を行い、新体制を発表した。

会見に出席したのは新たに株式会社ドリームステージエンターテインメント（以下、DSE）の代表取締役に就任した榊原信行氏、『PRIDE』エグゼクティブ・プロデューサーのアントニオ猪木、『PRIDE』統括本部長に就任した髙田延彦、そして藤田和之。当初は3月中には新体制を発表したいとしていた『PRIDE』側だったが、発表がズレ込んだ代わりに、とてつもないビッグ・カードを引っ提げて帰ってきたのだった。

エメリヤーエンコ・ヒョードル vs 藤田和之!!

昨年末の『猪木祭り』でミルコ・クロコップに二度目の敗北を喫した藤田が、己の存在を賭けて"最強最後の皇帝"と激突する。DSEは、このカードを新体制発表と同時に発表した。ミルコ戦の悪夢から立ち上がろうとする藤田の姿と、苦しみの中から立ち上がろうとする『PRIDE』を重ね合わせて見ると興味深い。

ここに至るまでの『PRIDE』は苦難の連続だった。1月に森下社長の自殺という激震に見舞われ、一時、榊原常務（当時）は「企業としては死に体かもしれません」というコメントを残している。3月16日の『PRIDE.25』は大成功に終わったものの、新体制の発表は延び延びになっていた。「圧倒的な現実に、たじろぎ、苦しくなることもありました。人生でこれだけ悩み苦しんだことはありません。一歩踏み出す勇気をなかなか持てなかった」と榊原氏は新体制発表に至るまでの苦しい胸の内を語っている。

「一歩踏み出す勇気！」

アントン総帥が常々口にしている、その言葉が榊原氏から飛び出した。新日本プロレスには「肉体改造」「現役復帰」という呑気な方向に一歩踏み出す勇気を発揮している社長がいる一方で、DSEでは「『PRIDE』の存続」「企業としての再生」という重すぎる十字架を背負って一歩踏み出す勇気を振り絞っている新代表がいた。苦しみの中から立ち上がった『PRIDE』に、もう怖いものはない（はず）！

そんな榊原氏の新生『PRIDE』の「闘魂伝承」宣言とも言える挨拶の後に登場したのは、アントニオ猪木エグゼクティブ・プロデューサー！

「生きてますか～っ!?　今日も『PRIDE』は生きています」と第一声で『PRIDE』の生存確認をすると、「この道を行けばどうなるものか？　迷わず行けよ！　行けばわかるさッ！　元気な『PRIDE』が待っている。ということで、今日、この記者会見が行われたと思います。新しく生まれ変わってスタートするのと同時に、"統括本部長"というね、髙田延彦が指揮棒を振るってくれるということで。ますます面白くなっていくと思います」といつ何時でも元気なアントン総帥流の挨拶を行った。

そして、「PRIDE統括本部長」という新たなる役職（役職名はアントン総帥が命名）に就任した髙田延彦が、「今後も『PRIDE』がますます勢いを増していくよう頑張っていきたいと思います。自分自身、（髙田）道場の人間でもありますんで、客観性をいつも持って、あらゆることに取り組んでいきたい」と抱負を語った。記者陣から「統括本部長は具体的にどういった仕事をするんですか?」という突っ込みが入ると、「分りやすく言いましょうか？　何でもやりますよ、ということです」と絶妙の切り返しで意気込みを語った。男だぜ、髙田総裁！

さらに、会見では『PRIDE』がアメリカで新たな一歩を踏み出したことも明かされた。なんと、DSEがネバタ州アスレチックコミッションのライセンスを取得。

髙田道場の秘密兵器 浜中がニーノに果たし状!!

『PRIDE.25』で、桜庭和志をヒザ蹴り（or頭突き）で倒したモミアゲ男、ニーノ・“エルビス”・シェンブリ打倒に、髙田道場から秘密兵器が放たれる!!　その名は浜中和宏。アマレスでアテネオリンピック出場を狙う期待の新鋭だ。

4月21日、髙田道場での浜中出場決定会見において、髙田統括本部長は「浜中は、アマレス選手の中でも、非常にバーリ・トゥードに向いたアグレッシブなファイトスタイルの選手。対戦候補はいくつか挙がったが、その中で、一番浜中と噛み合う、闘いの背景が見る人に伝わりやすいニーノ選手が面白いと思った」と語った。

小2からレスリングを始めたという浜中は、昨年6月の全日本選抜レスリング選手権大会84キロ級フリースタイルで4位入賞、同年7月全日本社会人レスリング選手権大会96キロ級で準優勝など、好成績を残している。

総合初参戦の浜中に向け「とにかく勝て！　勝たなければ意味はない、何がなんでも勝てて」と、わかりやすくも厳しいメッセージを送ったという髙田。サクの仇討ちという重責に髙田のゲキが加わっても、浜中は「プレッシャーはありません！　自分の闘いをするだけです。相手にとって不足はないです。（打撃を）もらっても前へ出て、ボコボコ殴るつもりでいます！」と、力強く宣言した。

浜中が髙田道場に入門したのは01年。「総合は、道場に入ってからやりたいと思うようになった。得意技は右フックとタックルです。強い選手であれば誰とでもやってみたい」という浜中の尊敬する選手は「髙田道場の選手はもちろんですけど、やっぱりアレキサンダー・カレリンとか、アマレスの選手です。あと、自分が大好きです！」と、初めての会見にかなり緊張している様子ながらも、報道陣を笑わせる余裕を見せていた。アマレス選手としての誇りを胸に、『PRIDE』のリングに初参戦する髙田道場・浜中和宏!!　サクを倒したニーノから勝利を奪うことができるか!?

髙田統括本部長誕生!!　榊原氏が代表に―― そしてアントン総帥は「『PRIDE』は今日も生きている」アメリカ進出へ向け、足固め着々――!!

これは「アメリカ国籍の企業以外ではDSEが初めて」（榊原氏）という快挙で、今後の大きな足がかりとなる。具体的なプランとして来年1月下旬にラスベガスで大会を行い、将来的なプランとしてはアメリカを主戦場として、日本でビッグマッチを開催する方針だという。

これにともない「iN　DEMAND（イン・ディマンド）」というアメリカ全土で3700～3800万世帯を抱えるケーブル局管理会社が、6・8『PRIDE.26』からPPV放送を全米で開始する。桜庭の勇姿やノゲイラの技術、村上ショージのリングアナ姿まで放送される夢のような時代がやってきたわけだ。

6・8の後には8・10さいたまスーパーアリーナにミドル級GP1回戦の開催、10月or11月に東京ドームか〝たまアリ〟で決勝を行う予定だ。

一歩踏み出す勇気、どころか二歩も三歩も踏み出して、苦しみの中から一気に立ち上がった新生『PRIDE』。6月8日（日）横浜アリーナでは、さらに「元気な『PRIDE』が待っている!!」。

榊原氏は「選手の視点をルールに反映、マッチメイクのアイデア出し、『PRIDE』の広告宣伝塔」を髙田統括本部長に期待した。

アントン総帥も藤田を後押し！「ここ2年間、苦しんだと思う。皆さんの期待をバネにするチャンス。思い切って行けよ」と語った。

唯一、選手として会見に出席した藤田は「（中西戦もヒョードル戦も）両方キッチリやりたい」とやる気満々。ヒョードルを「ご馳走」と表現した。

「覚悟に勝る決断はなし、という野村監督の言葉があるように覚悟を決めた以上、カー杯頑張っていく」と意気込みを語った榊原新代表。

続!!アナタの意見とどう違う!?

ことが求められている

生きていれば
アンケートも取れる!!

絶賛配信中の
『紙プロHand』
(iモードサイト)で取った
『PRIDE.25』
への生の声!!

今年1月から絶賛配信中の『紙プロHand』(iモードサイト=ez Web版もあるでよ)!! アナタはもう「マイメニュー」に登録してくれたかな? で、その中に『THE JUDGE』という、ユーザーからアンケートを取ったり、生の声を聞いたりするコーナーがあるでげす。3月のお題は、異様な熱&戦慄の場面を生みまくった3・16の『PRIDE.25』。先日、新体制発表と共に6・8での『PRIDE.26』開催が発表された『PRIDE』だけど、今後に期待することなども聞いてるぜよ! もちろんここにある声が『PRIDE』ファンすべての声じゃないし、『PRIDE.25』終了直後だから、この時期だけの意見や感想も多いかもしれないんだが、混じりっ気ナシ! 捏造ナシ! でっちあげナシ! の生の声を聞いてくださいな。アナタの意見とどう違うかなん? ジャッジ、ジャッジ、ジャッジ、ん〜っ、レディー、ゴーッ!!

【アンケート開催期間3月16日〜3月31日の16日間/有効票数1872票】

Q1 あなたは『PRIDE.25』をどんな形で見ましたか? &満足or不満足、どっちでしたか?

会場	満足	441票
	不満足	48票
PPV	満足	996票
	不満足	123票
地上波	満足	174票
	不満足	90票

▲会場、PPV、地上波いずれも「満足」派のほうが断然多いが、地上波の「不満足」派の割合の多さは何を指し示すのか? ♪なんでだろ〜、なんでだろ〜

Q2 大会前、あなたが最も期待していた試合は?

ノゲイラvsヒョードル	1341票
桜庭和志vsニーノ"エルビス"	318票
"ランペイジ"ジャクソンvsランデルマン	66票
ニュートンvsアンデウソン	57票
ノゲイラ弟vs中村和裕	45票
アレクvs山本喧一	33票
小路晃vsスティーブリング	6票
ヘンダーソンvs大山峻護	6票

▲「最強決定戦」の名にふさわしく、戦前からブッちぎりの期待が寄せられていたノゲイラvsヒョードル。2位のサクvsニーノにこれだけ差をつけてるのは凄い。

Q3 今大会のベストバウトは?

ノゲイラvsヒョードル	1239票
"ランペイジ"ジャクソンvsランデルマン	174票
小路晃vsスティーブリング	123票
ニュートンvsアンデウソン	108票
桜庭vsニーノ"エルビス"	93票
ヘンダーソンvs大山峻護	78票
ノゲイラ弟vs中村和裕	45票
アレクvs山本喧一	9票

▲インパクトを残しまくった上回ったノゲイラvsヒョードルが一番票を集めたのは当然っちゃ一当然だが、小路の久々の試合も3番目に票を集めたのは何を示すのか?

Q4 今大会のワーストバウトは?

アレクvs山本喧一	1425票
桜庭和志vsニーノ"エルビス"	123票
ヘンダーソンvs大山峻護	120票
小路晃vsスティーブリング	81票
ノゲイラ弟vs中村和裕	69票
ノゲイラvsヒョードル	27票
ニュートンvsアンデウソン	15票
"ランペイジ"ジャクソンvsランデルマン	12票

▲アレクvsヤマケンがブッちぎりの票数! 「これはこれで凄い」という逆説的な物言いが通用しない崖っぷちに2人は追い込まれたといっても過言ではない

Q5 今大会での勝敗、活躍に関わらず『PRIDE』に上がっている(上がっていた)選手で一番好きな選手は?

順位	選手	票数
1	桜庭和志	612票
2	ヒョードル	312票
3	田村潔司	138票
4	ノゲイラ兄	135票
5	ヴァンダレイ・シウバ	81票
6	ダン・ヘンダーソン	72票
7	小川直也	51票
8	高山善廣	48票
9	カーロス・ニュートン	39票
10	アンドレィ・コピィロフ	36票
	藤田和之	36票
12	ドン・フライ	33票
13	"ランペイジ"ジャクソン	30票
14	ヒース・ヒーリング	24票
	吉田秀彦	24票
16	ランデルマン	21票
	元リングス選手	21票
	小路晃	21票
17	金原弘光	18票

▲好きな選手=何かを期待している選手ということでいえば、サクへの期待度はやっぱりベラボーに高い! 田村、小川への期待度もやっぱりまだまだ高いゾ!!

読者だけじゃなく、もちろん関係者も必読!! ア…
いま『PRIDE』にはこんなこと…

Q6 今大会のMVPを選ぶとしたら誰?

順位	選手	票数
1	ヒョードル	954票
2	"ランペイジ"ジャクソン	144票
3	ヴァンダレイ・シウバ	120票
4	小路晃	63票
5	桜庭和志	48票
6	ノゲイラ	42票
7	ダン・ヘンダーソン	15票
	髙田延彦	15票
	ボブ・サップ	15票

▲こちらも皇帝がダントツ! 試合をしてないシウバ、高田総裁、サップがランクインするのも"イベント"として『PRIDE』を考えるには興味深い材料だ

Q7 今後の『PRIDE』に期待すること

1 トーナメントがやっぱり見たい! 同様の意見 111票
●ミドル級・ヘビー級のGPを毎年開催してほしい●無差別級トーナメントをやってほしい
●階級別の『PRIDE・GP』の開催

2 軽量級設立 同様の意見 85票
●ミドル級以下の細かい階級を設立したほうがいい●細かく階級を分けてたくさんのタイトルマッチが見たい

3 凡戦した日本人選手は二度と使わないでほしい。実力重視で! 同様の意見 72票
●選手が溢れているので二軍制度をしっかり設けて、そっちでやらせる●キャラのたった選手はそろっているんだから、つまらないカードはいらない
●日本人は予選をやってほしい

4 とにかく続けてほしい 同様の意見 60票
●高田が命懸けでともした総合の火を消さないでくれ! 死ぬな『PRIDE』!●総合の火を消さない意味でも、これからも続けてほしい
●このままでいいです●期待するのは、今後も大会が存続すること●DSEがなくなってもいいが、『PRIDE』は続けてほしい

5 日本人の強い選手が出てくること希望! 同様の意見 48票
●日本人選手にチャンスを与えて欲しい
●強い日本人に期待したい(日本人スターの発掘・柔道の井上康生・篠原らが見たい)
●重量級の強い日本人登場希望!

6 リングス勢の活躍に期待 同様の意見 39票
●今回はリングスファンとしては感涙でした! 会場にいたらリングスコールしてたかも
●『PRIDE』ファンに前田日明を尊敬してもらいたい

7 夢のカード実現 同様の意見 36票
●いつか田村VS桜庭を!●全試合メインくらいのカードを組んでほしい●毎回ドキマギするカードが見たい
●今回のように、やる前から勝敗の読めないマッチメークを毎回期待する

8 小川直也の参戦希望! 同様の意見 27票
●オガワ~、デテコ~ヒッ!!●また小川を『PRIDE』にあげてほしい!●小川VS吉田が『PRIDE』のリングで見たい

9 サクの完全復活!! 同様の意見 21票
●サクの一本勝ち!●桜庭を絶対勝利の重責から解放してほしい。プレッシャー無しの状況なら、ミドル級の誰とでも好試合が出来ると思う

10 吉田秀彦と強豪の対戦実現 同様の意見 18票
●篠原や井上も上がって吉田とやってほしい!●吉田VSヒョードル、吉田VSノゲイラが見たい!

11 UFCとの交流 同様の意見 17票
●ティト・オーティズとマット・ヒューズの参戦●UFCとの対抗戦望む

12 興行時間の短縮 同様の意見 15票
●1大会6試合でいい●下の試合は2Rでもいいかも。試合数多すぎ!
●いつも帰りが遅くて困ります。日曜なんだから三時開始にしよう。
●現状だと、終電ギリギリで観戦を断念すること多々あり。早い時間から開始してほしい
●ミルコ、サップ、ヒクソン、小川など超大物の出場と興行時間の短縮を望む

13 レフェリングのレベルアップ 同様の意見 12票
●反則(ニーノの頭突き)を見逃すな!
●レフェリーの制止が遅いような気がしたのが、ちょっと……
●期待というかレフェリーの公平さとか技術面。動いてるのに「アクション!」とか声かけすぎ

その他
●対戦カードを早く決めてほしい●パンクラス勢の参加希望●4点ポイントの攻撃をなくしてほしい●チケットを安くしてほしい!●何を期待していいか正直わかりません。ガチンコの世界にドラマを求めること自体ナンセンスなんでしょうか?●ランキング制の導入!●ミルコ、サップ、ノゲイラと吉田の4人でヘビー級挑戦者決定トーナメントを望む!●U系VS『PRIDE』ガイジン対決希望!●東京ドームはやめて! 試合が見えないよ●ロシアン・トップチームじゃなくてリングス・ロシアで出てほしい●島田レフェリーのカメラ不要!!●薬物の使用を禁止してほしい。使用したらクビとかの制度を作ってほしい●K-1みたいにもっと地方にも来てほしい●ヴォルク・ハンにセコンドついてほしい。ホントは試合が見たい!●特になし。業界のど真ん中を突っ走ってほしい!●PPVの値下げと全日本系の選手参戦(ノア含む)●サップやヒョードルを倒すような未知の強豪がどんどん上がってくる場になってほしい●『DEEP』と全面対抗戦●元リングス、修斗の選手をあげて夢の対決を実現させてほしい●ジャッジに、相撲みたいにビデオ判定を導入してほしい●日本人のみの大会をやってほしい!●真っ白に燃え尽きるような試合が見たいの●日本人の一本勝ちが見たい!●WJの選手にオファーを出してほしい●会場でビールを売ってほしい●これからも常に最強を決める場で有り続けてほしい●そろそろ、ヒクソンに最後の荒稼ぎと引導を!●ジョシュ・バーネット登場希望!

▲「そのときに一番強い奴を知りたい」「旬の選手同士の闘いを見たい」という欲求がストレートに反映された結果に。また、リングス勢やオーちゃんなど、"物語"を背負った男への『PRIDE』参戦も望まれるべくして望まれている。『PRIDE』はどう変貌していくのか?

OH砲、いざ、5・2！

（週プロ調）

合言葉は（後楽園）「オー、エイチ、ホール!!」

よし！ OHはプロレスラーには手の届かない位置の賞でも狙うか!!［暴走王］

ドーム？「あっしには関わりのねぇことでさぁ……ぷっ！」（楊枝を吹く）［破壊王］

"裏番組をブッ飛ばせ!!"――OH砲スペシャル対談

小川直也×橋本真也

司会／山口日昇
撮影／福島俊彦
ドーム模型提供／KAZZ選手
designed by hisa (Two Three)

OHの行くところ、いつ何時でも大騒動!!　奇しくも新日本・東京ドーム大会と隣り合わせで同日開催となった5・2ZERO-ONE後楽園大会！ その5・2、対全日本、新日本、VTなどなどをOHが語りまくるということで、行くゾーッ!!「スリー、ツー、ワン、ゼロワン!!」&「オー、エイチ、ホーッ!!」

小川　な～んかさっきからもの足りねぇなと思ってたら、今日はモーリー（ＵＦＯ公式出入り禁止カメラマン）がいないんだ。
――モーリー、生意気にスケジュールが埋まってたんですよ（笑）。
小川　ふ～ん。いつの間にかモーリー君も偉くなったのね。
橋本　モーリーって誰や？
――ガハハハ！　いや、今日は福島さんという優秀なカメラマンもいるので、あんな男のことはどうでもいいです（笑）。で、橋本さん、昨年の５・２に新日本の東京ドームにＯＨ砲として乗り込んで（対Ｓ・ノートン＆天山組）、翌日の５・３がＺＥＲＯ－ＯＮＥの松山大会でしたね。
小川　昨年の５月３日はＯＨ砲が地方に出発した日ですよ。
――ＯＨ砲の「地方発世界」記念日。揃って地方サーキットを回りだしたのが５・３松山だったんですよね。
橋本　あずさ２号や!!
――旅だったわけですね（笑）。あれから約１年たった。この１年間を振り返ってみてどうでしたか？
橋本　あまりにもいろんなことがあり過ぎて、もう振り返りたくねぇな。というかな、振り返ってるヒマがない！　ただ１年過ぎて、「まだ俺たちは生きている」と。去年より力をつけてきたということが大事なことじゃないか。
――橋本さんの名言で「俺は決断しかしない男だから！」っていうのが頭に残ってるんですよね（笑）。その勢いでこの１年は来れたんじゃないですか。
橋本　それしかできなかったもんな。中途半端でいられなかったから。
――必殺の合体技にちなんだ、念願の『俺ごとカレー』はまだ発売されてませんが（笑）、確実に力は着いてきてますよね。橋本さん的にもそれは実感としてあるわけですか？
橋本　うん。バランス的に、全部の面で。一時期、興行面ではポッと落っこちたんだけどな。
――先日の４・５には記念の地・松山に凱旋した。松山っていうのはやっぱり特別な思いはあります？
小川　ありますね、松山。あ、徳島も俺、思い出の地なんだよな～。四国はなんかいい土地なんだよね。
橋本　だけど、俺も最近余計なことがいろいろ見えちゃってね。会場のライティングを自社でやると暗いから、どこかに照明頼まなきゃいけないとか、ライトを買わなきゃいけないとか、そういうことを考えちゃうからな。要するにせっかくこれだけの人が集まってくれてるのに、"なんか、ちょっと暗いんじゃないか"って思ったりしないよう、ヘンな気を使わせずにリングの中に集中させたいんだ。そういう面だけでも、まだまだ力不足なところがあるんだよ。
――リングの中よりも、"サービス業"っていう意味での、サービスのほうに目が行っちゃうと。
橋本　この前の松山で、それはつくづく感じた。
――でも、あのリングだけを照らす、懐具合を逆手に取ったような、ほの暗い地方用の照明は割と評判いいですよ。あれはあれで、なんか逆にリングに集中できる部分もあるし。
小川　ボクは好きですよ!!
――ガハハハ！　小川さんは気に入ってますよね（笑）。
小川　藤原組長も「あのボンボリ、いいよなぁ」って言ってたけど、組長と同じぐらい俺も好き。

小川直也×橋本真也

橋本　ボ、ボンボリ!?……ボンボリっていうのはちょっと勘弁してくれよ……いま言われて、もの凄く力が抜けたよ。雛祭りじゃないんだから。
――♪灯りをつけましょ、ボンボリに～、ですね。
橋本　それにあれじゃな、映像が暗い！
――ああ、テレビに映ったときは暗いでしょうね。雑誌的にもあの照明では写真が暗いですから（笑）。
小川　いや、橋本さん、だから要は、今度５月２日の試合からテレ東に進出するじゃないですか。そのときの照明は大切ですけど、いままではあれでいいって話ですよ。
橋本　いや、いままではいままでなりに、あれはあれでな、いろいろ考えてやってきたんだよ。あの照明で大会を開いていくのは大変だったんだ……それをひと言で「ボンボリ」って言われると気が抜けるよ（しょんぼり）。
小川　だからあの照明は、いままでの歴史の中ではこれでやってきたっていうヒストリーとしてはいいじゃないですか。
橋本　（なぜか不服そうに）そう考えればな……。
小川　そう考えましょう！　前向きに。
橋本　（それでも不服そうに）段階があるからな……。
小川　ヒストリー的に見れば、絶対にあれでいいんですよ！
橋本　そうか、今度凄い照明入れたら、「お、ＺＥＲＯ－ＯＮＥ、電気変えた!!」って喜ばれるしな。
――「電気変えた」（笑）。
橋本　（立ち直って）そこから始まりってことでいいか!!
小川　ＺＥＲＯ－ＯＮＥだから、ゼロからの出発だから。
小川　（マジメな顔で）ＷＪって、まだや

らの出発だから。
橋本　それにな、いまZERO—ONEには移動バスもあるゾ!!　そういうところから一つずつやっていくしかない。
——あの巡業用のバスには、ぜひとも「破壊王」とか「根絶やし!!」ってデッカク入れてほしいですけどね（笑）。
橋本　でも、あれ借り物だから（あっさりと）。
——あ、借り物。あっさり告白（笑）。
橋本　でもな、借りれるようになったことだけでも凄いことだぞ。「なんで長野のナンバーなの？」ってよく聞かれるけどな（笑）。
——この間、松山でタクシーに乗ってたら偶然ZERO—ONEのバスが前を走ってたんだけど、長野ナンバーだから「あれ？」と思いましたよ。
橋本　裏があんだよ！（キッパリ）。
——こんなとこでハッキリ言っちゃったら裏にならないじゃないですか（笑）。
橋本　だけど、それは理由があるんだよ。なぜかって言ったら、メガネスーパーのときもそうだし、WJもそうなんだけど……WJか……WJってどこだっけ？
——ガクッ。長州力のところです。ド真ん中！
橋本　ああ、そうか。要は、何が言いたいかっていうと、最初から何でもかんでも満たされて大きなことを言ってると、ファンに見透かされてしまうということや。

小川　（マジメな顔で）WJって、まだやってるんですか？
——また辛辣なことをマジメな顔して聞きますね（笑）。ド真ん中に向けて突っ走ってますよ。
橋本　俺たちはZERO—ONEという名前をつけた以上は、成り上がっていこうって思ってるから！　ゼロから一つ一つ上に昇っていくからな。
小川　基本的に六畳一間の経験をしてればOKでしょう。いきなり4LDKのすべてが揃ったマンションに住むよりは、四畳半のオンボロアパートから徐々に上がって行ったほうがね。
橋本　でも、途中まで高級マンションにちょこっと住みかけて、六畳一間に戻るのも辛いぞ！
——あ、そうか。橋本さんは新日本時代には〝高級マンション〟でしたからね。ま、そこから引きずり降ろしたきっかけは小川さんなんですけどね（笑）。
橋本　だけど今度は田園調布に住むという目標が浮かんでるからな。これは比喩だぞ、比喩！
——わかってますよ（笑）。去年の5・5川崎球場でのWEW旗揚げ戦では、橋本さんは大谷選手と組んで、いまや2人とも議員となった大仁田&サスケ組と対戦してますね。それからも約1年。今年の5・5は冬木さんの追悼興行で、橋本さんは金村選手との一騎打ちが決まりましたね。

この名前をつけた以上は成り上がる！ゼロから一つ一つな

［破壊王］

橋本　……こんなふうになってくるとは思わなかったね。
——でも、橋本さんと冬木さんの最後のプロレスは、とてつもない〝プロレス〟だったなぁ。ホントに痺れました。
橋本　あれをライバルだと思ってやるのはそんなにいないじゃない？　あれは……当たり前だけど……なかなかできないよ。
——去年末の『ゼロ中祭り』で、金村選手をかばった冬木さんが「俺はガンだ。他に転移した」って言った後、橋本さんが「あと何ヶ月しか生きられないなら、最後までプロレスラーで死んでください！　もう1回タイツ履いてくださいよ！　手加減しねぇぞ、（金村より）もっと早くブチ壊すぞ！」って叫んだときは、なんだか得体の知れないプロレスを見た気がしましたね。あれを言うにも生半可じゃない覚悟がいりますよ。
橋本　だってプロレスラーなんだから、床に伏せってたってしょうがないだろ。もうちょっとでリングで向き合えたんだけどね。
——でも冬木さんは、最後にいいライバルを見つけられたんじゃないですかね。で、5・2は、OH砲が後楽園ホールに初登場しますけど、同日は奇しくも新日本が隣の東京ドームで勝負を賭けますね。バーリ・トゥードとプロレスの二部構成ということで話題を呼んでますけど、それについて小川さんはどう思いますか？
小川　二本立てねぇ……俺は猪木さんの考え方っていうか、すべてがプロレスだと思ってますから。なんでいまさらリトマス試験紙みたいに分けるのかっていうのがよくわからない。理解不可能！
——橋本さんはどう思います？　二部構成については。
橋本　そういうこと（バーリ・トゥード）

ができる選手が何人かいるから、それはそれで活用できる新しいセクションが増えるんだったら構わないと思いますよ。でも、やっぱり一番大切なのはプロレスが軸なんだから。そのプロレスのために彼らが頑張るのはいいと思うよ。それがプロレス界全体の問題になってしまうのは俺らにとっては迷惑な話なんだけどね。

——迷惑？

橋本 新日本がやってることがプロレス界すべてに及んで、ルールにしても何か意味深なことが書いてあるから、それは迷惑な話になる場合も多いから。いちいち俺たちが弁解するのも面倒臭いやろ。だから新日本さんがすべてだと思うのはちょっと増長し過ぎじゃないの、と。

——新日本が古巣の橋本さんから見ると、新日本はどういう方向に向かおうとしてるように見えます？

橋本 あれだけ選手がいたら舵取りが効かないでしょ。新しい若い選手が頑張ってきてて、そこに注目させてるけど、プロレスの場合、一丁前のプロレスラーができるまで何年もかかるからね。事件やスキャンダルは起こせても、小川みたいな人間は滅多に出てこないんだから。

——新日本の総合ルールは、いま橋本さんが言ったように、意味深なことまで明文化してるんですよね。例えば反則行為として「双方の選手が互いに戦意を示さず、馴れ合い的な試合を行った場合及び、双方あるいは一方の競技者が作り試合を行った場合」っていうところまで。

小川 いいんじゃないの？ それはそれで勝手にやってくれよと。何が大事で何が一番必要かっていうのは、俺の場合はZERO—ONEで示していけばいいことであって。他は他の方法でやるんだろうけどね。

橋本 木枯らし紋次郎の世界や!!

——こ、木枯らし紋次郎！ な、なんですか、突然。

橋本 「あっしには関わりのねぇことでさぁ……ぺっ！」（楊枝を吹き出すフリをする）。

——あ、その「ぺっ！」が重要なわけですね（笑）。

橋本 「ぺっ！」じゃなねぇな、「ぷっ！」だな。

——ダハハハハ。「ぷっ！」。

橋本 俺は新日本出身だけど、最近はそういうのも気にならなくなってきたね、これだけ時間が経つと。だけど、新日本さんには感謝の気持ちはあれど、ZERO—ONEっていうのが確立されればされるほど、いまの新日本と比べて劣ってるとも思わないし、もっと凄いことをウチはできるような気がしますよ。

——新日本がバーリ・トゥードを行うっていうのは、橋本さんは単純にどう思ってるんですか？

橋本 俺はいいと思うよ。藤田なんかにしてもプロレス的なものではなかなか表現できないけど、バーリ・トゥードでは表現できるじゃん。それは人それぞれだからいいと思う。ただそれをプロレスと一緒にして「これがホントなんだ、あれはニセモノなんだ」って言われることは迷惑千万なんだよ。藤田が強いのはわかってるんだから、それをどうやってアピールしていくのかがプロレスの表現なんだから。バーリ・トゥードをやるのは構わないんだけど、それをプロレス界全体の問題に繋げていくのは絶対にナンセンスだと思ってるからね、俺は。

——壮大な実験ともいえるドームの裏で、橋本さんは何を見せるつもりなんですか。

（ひと際大きな声で）どプロレス!! 俺が思ってるプロレスをやりますよ!! ［破壊王］

橋本 （ひと際大きな声で）どプロレス!! 俺が思ってるプロレスをやりますよ。猪木さんに教えていただいたプロレス!! 自分たちなりのアイディアを散りばめながら、俺たちなりに考える〝ストロングスタイル〟のプロレスをやっていきますよ。

——小川さんは？

小川 俺たちなりに考えるって部分では、異議なし!!

——お2人の師匠は、5月2日は東京ドームにいますよね。

橋本 ……………。

——まさか猪木さんがZERO—ONEに現れたりはしないでしょうね？（笑）。

橋本 その時点で大変なことになるぞ！

小川 現れることを妄想したら……それは凄いことだね。

橋本 （アントン総帥の顔マネをしながら）「え〜、間違えてしまいました」って言って来たらね。それぐらいボケてくれたら俺らも笑って迎え入れますよ。

小川 ダーハッハッハ。ま、来ていただけたら来ていただけたで、もちろんウエルカムですよ。そうなったら休憩明けに『ボンバイエ』のテーマがかかるよ（笑）。

橋本 「元気ですかーッ!!」って言う前に、「♪テーッテ、テーッテ、テッテテッテテ」（日本テレビのスポーツ中継テーマ曲を口ずさむ）を流したら怒るやろうな（笑）。

——ガハハハハ！ 馬場さんの旧テーマで入って来る（笑）。

小川 〝王道〟のテーマでも流しますか？

——ところで5・2の試合から地上派でも中継が始まりますね。これは正式決定でいいんですか？

橋本 だいぶ固まってはきてますけど、ちょっと最終の詰めをいましてるとこなんですよ。正式発表まで待ってください（4・21に正式発表）。いま話すと余分なことも言わなきゃいけない。

——なるほど（笑）。でもOH砲が地方サーキットを始めて1年で地上派進出なんだから、早いといえば早いですよね。

橋本 やっぱりスター選手がいなければ話にならないからな。いろんな部分がうまく回っていかない。そういう部分では小川の功績はデカイよ。

小川 いま各団体がシンドイ時期の中で、ZERO—ONEだけが、ヘンなこだわりがないから行けるところがあるんですよ。全部とりあえずは関わりあってるからね。最初に新日本やノアとも関わりあって、そ

なったこの
〟純和風OH
ード＆S・
は小川を呼
!!」と「オ
年に続いて

凶行!!
一然!!

ギキレた。
ゴング前
時代に戻
け。大谷
戦慄!!

ZERO-ONE TOPICS

OH砲、“地方進撃開始”記念の地・松山に凱旋——!!

小川、“天下一”坂田と初タッグ結成で新必殺技・“GTO”初披露!!

4・5 愛媛・松山市総合コミュニティセンター
観衆4000人（超満員札止め）

別々に登場したOHは、小川がセミで天下一Jr王者・坂田と異色タッグを結成し、プレデター＆ロウキー組と対戦。小川とロウキーの初顔合わせを始めとして仰天の場面が相次いだが、小川が今シリーズ前、マレーシアの山奥でワニと格闘して身につけたという神秘の技・“GTO（グランド・トルネード・オガワ）”でロウキーを捕獲!!

長蛇の列が会場を取り囲むほどの大入りとなったこの日のメインは、破壊王が小笠原先生との“純和風OH砲”（別名・OHビーム）で出陣。T・ハワード＆S・コリノのUSAコンビを撃破した！　最後は小川を呼び込み、「スリー、ツー、ワン、ゼロワンッ!!」と「オー、エイチ、ホーッ!!」の二段締め！　昨年に続いて松山を大炎上させた

チョコボール向井も駅弁固め!! WEW軍がZERO-ONEにどインディー魂で本格侵攻!!

3・27後楽園で“中途半端なメジャー”ZERO-ONEに、インディー魂をぶつけるべく下克上闘争を挑んだWEW軍。この日はチョコも本格参戦。奇跡的な腰使いを披露した!!　UFO・藤井との超異色の顔合わせまで実現。WEW軍の勢い＆男っぷりは止まらない！

組長が大谷にテロ凶行!! 観客も報道陣もボー然!!

前日に大谷に「ジジィ」呼ばわりされた組長がキレた。高岩と組んで大谷＆田中と対戦した組長は、ゴング前に花道で大谷を血ダルマに!!　“テロリスト”時代に戻ったかのような凶行で、わずか117秒で反則負け。大谷はタンカ代わりのマットで運ばれた。ん〜っ、戦慄!!

の後もいろんな選手や団体と関わりあってる。みんな、どこの団体も結局、自分で自分を身売りするじゃないですか。でも、ZERO—ONEはこだわりなくウエルカムの状態にして、ZERO—ONEという〝場〟が膨張していった。これからもまだまだ膨張していくという状態ですよ。

橋本 最近、ウチに上がりたいっていう選手がよく来るんだよ。

——俗に言う売り込みですか。

橋本 具体名は言わないけど、いろんな考え方の選手が来るし、凄いメンツも来る。ありがたいことですよ。中には知らないのもいたけど。「骨を埋めたい」って言うのも出てきたからな。

小川 おいおい、そこまでは言い過ぎだろ！（笑）。

——ガハハハ！ 小川さんはZERO—ONEには骨は埋めない、と（笑）。

小川 逆に言えば、俺はいつでも埋めれるんだから。大体「骨を埋める」とか言うヤツに限って怪しいからね。

橋本 怪しい！

小川 骨を埋めるって言ったたって、覚悟はあっても無策で来られてもね〜。

橋本 骨を埋める埋めないというより、ZERO—ONEっていうものに魅力がなくなったときに離れて行けばいいだけの話や。俺はそう思ってるからね。

——いつ何時でも猪木イズムだなぁ、橋本さんは。

橋本 ムリヤリ固めたってしょうがない。これは猪木さんの教えに忠実なんですよ。結局、「来る者は拒まず、去る者は追わず」。ただし、仁義だけは通せっていうのは猪木さんが言ってたからな。

小川 いまZERO—ONEにあって新日本にないものって言ったら、仁義ですよ！……俺もよくこんなこと言えるな〜（笑）。

橋本 それはWJじゃないか？……違うか（笑）。

——ガハハハハハ！ 小川さんは全日本との〝対抗戦〟には出て行かないんですか？

小川 俺は必要ないでしょ！ 破壊王だけで充分。前に「やる気だったら来い」って言ってもこない。本気で来るんだったら相手してやるけどね。

——橋本さんは全日本を「根絶やしにする!!」っていう名言を残しましたけど、その全日本とはどうやって決着つけるつもりですか。

橋本 その言葉通り！ 根絶やし！ 壊滅作戦!!

小川 馬場さんは永遠だけど、全日本っていう偶像は倒れてるような気がするんだよなぁ。だって橋本さんが至宝（三冠ベルト）まで取っちゃったんだからさ。制圧したのに、まだドンパチ潰していってる状態でしょ、いま。

橋本 ただ俺らはホントの殺し合いをやってるわけじゃないんだから、全日本という会社を潰す権限はない。ただ、WJ……WJってどこだったっけ？

——だからド真ん中ですよ！

橋本 WJじゃないな……この前やってた……。

——『WRESTLE—1』ですか？

橋本 それや！『WRESTLE—1』とかわけのわからんようなものにプロレスを乱されるんであれば、全日本も乱されるんであれば、俺たちが全日本のプロレスを潰して吸収しちゃえっていうぐらいのつもりだから。なんか「さたやん」か？ それがやったようなものをプロレスだって言われたらガッカリで迷惑な話だからね。ナメ過ぎっていうか、勘違いも甚だしいから。（突然）ビン・ラディンは誰や！……あ、ビン・ラディンじゃなくて、全日本のフセインは誰や？ 武藤か？ 川田か？

小川直也×橋本真也

小川 ブッシュになるのは誰だろう？

橋本 俺は●ッシーのほうがいい!!

——それは〈ピー〉でしょう（笑）。

小川 ある意味、いま全日本を侵攻してる橋本さんがブッシュかもしれないですよ。

橋本 やだ！

——「やだ！」。子どもじゃないんですから（笑）。

橋本 俺はブッシュなんかやだよ！……猪木さんはブッシュのつもりでいるんだろうなぁ。

小川 だけど、プロレスと世間は連動してるってよく言うけど、いま盤石なところはどこもない。あれほど崇めまくった銅像だって倒れてるでしょ。新しい価値観に生まれ変わらなくちゃダメなんだよ、プロレス界も。

橋本 でも、猪木さんが凄い経営者だったら、いまごろ新日本プロレスの軍団っていうのはとんでもない会社、軍団になってたよ。

——それこそバーリ・トゥード部門でも何でも別セクションですぐに独立できるくらいに対応できてたかもしれないですよね。

小川 そういう選手も作れてたよね。新日本には会社としての体力があったんだから。

——5・2の新日本は見てみなければわからないし、新しい試みは評価できるけど、バーリ・トゥードに進出するのは、正直5年遅いですよね。

橋本 だっていままで否定してきたんだから。否定してきたんだけど、そっち側が人気が出たから、そっちに乗り換えようって……それはそれでいいかもしれないけど、やっぱりプロレスラーに一番迷惑かかるからね。やってることが違うんだから。

——バーリ・トゥードと同じリングで行われる蝶野vs小橋戦についてはどう思いますか？

橋本 せっかくそんなカードを組んだんであれば、それだけのプロレスを見せなきゃダメですよ。去年の蝶野vs三沢みたいな試合になったら終わるよ。

——去年は30分1本勝負と発表した途端にファンに見切られた部分が少なからずありましたからね。今年は時間無制限1本勝負ですけど。

小川 今年も一緒だよ。見透かされるよ。

橋本 でも、向こう（新日本）はノアさんとやり、ウチは全日本さんとやってる。ソフト的にはノアさんのほうが大きいんだよな。でも、ウチの外国人がノアさんと繋がってるっていうのは新日本的には嫌なんだろうな。多分、新日本は必死だと思うし。

——でも、いまはZERO—ONEの動き一つでマット界の地図は変わりますよ。

橋本 いまはWJが脅威になってないもんな……やめた。なんか、あの人たちの話をすると気分が悪くなっちゃう（笑）。あそこは長州さんのためだけの団体だから。まぁ、長州さんの気持ちもわかるけどな。

——橋本さんと長州さんの違いは、長州さんは自分がコントロールしやすいと思った人間しか集めないけども、橋本さんは自分がコントロールしにくいと思っても、例えば小川直也でも受け入れるじゃないですか（笑）。

橋本 人それぞれ考えが違うからしょうがない。俺だって人間だから、好き嫌いはあるよ。好き嫌いはあるけど、嫌いなヤツが

猪木さんから
教えていただいたことに
加えて、俺たちなりに考える
〝ストロング・スタイル〟の
プロレスを見せる!!［破壊王］

俺たちなりに考える
っていうことでは、
意義なし!!［暴走王］

みんな悪いヤツかって言ったら、そうじゃないからな。
――この間の両国大会で高山選手まで乱闘に加わって大暴れしてましたけど、これも去年なら考えられないことですよ。『真撃』のころにいろいろ舞台裏であったみたいですからね。
橋本　誤解されてた部分があるんやろうなぁ、高山に関しては。「偉そうにしてる」ってね。俺は偉そうにしてるって気持ちはこれっぽっちもないんだけど、その当時、俺もZERO―ONEを潰しちゃいけないと思って一生懸命に威勢を張ってたから、きっと偉そうに見えたんじゃないかな。「格上みたいな顔しやがって」みたいなね。俺、偉そうにしてたか?
小川　橋本さんの場合は体格の問題じゃないですか?
――「偉そうに」っていう体格?(笑)。
橋本　バカにしてんのか!
小川　いや、そうじゃなくて(笑)、いつもの態度がそう見えちゃうというか……。
橋本　先入観から入られちゃったのかな。
小川　多分、そうだと思いますよ。あっちのほうがもっと強烈だから。
橋本　それでも、それから1～2年がむしゃらに闘ってきたら、両国で高山と小川直也が同じリングに上がってる。結局俺らは仕事がやりやすいやりにくいが基準じゃなくて、リングに上がって闘ってナンボなんだよ。
――好き嫌いでチョイスしてたら、プロレス界は縮小していくだけですよ。敵をつくれないし。
橋本　まぁ、それでも外から来るやつには言うことを聞かせるような説得力をウチのリングが持たなきゃいけない。でも、フリーなんてホントはあっちゃいけないんだよ。フリーの選手が優遇される時代にしちゃったっていうこと自体、団体が間違ってる。昔はフリーなんて悪い言葉で言ったら便利屋で使われてたんだけど、いまはフリーのほうが強いじゃない。
――プロレスの場合は、たとえば『PRIDE』のように〝場〟として機能させていくより、やっぱり団体じゃないと組み上げにくいジャンルだとは思うんですよ。でも、固まった団体になりすぎるとつまらなくなる。団体であっても〝場〟として機能していくエネルギーがあふれまくってる、例えば猪木さんが全盛期のころの新日本が理想といえば理想ですよね。
橋本　喧嘩っていうのは、看板を背負ってっていうものがあるから。日本人っていうのは特にそういうものが強いからさ。看板背負って闘うっていうのはまた別の力が出る。自分のためだけの喧嘩は俺はいやだから。(突然話が変わって)最近、OHは単純になってないか? 新技も出ないからな。
小川　テレビが付いてから新技は公開していきましょうよ(笑)。
橋本　まだまだ「オレごと刈れ!」も普及させなきゃならないからな。
小川　テレビと地方サーキットで認知をしてもらってね。早く『俺ごとカレー』を出さないと(笑)。

小川直也×橋本真也

ミルコ? 〝プロレスラー・ハンター〟?? ちょっと待てよ!って感じ [暴走王]

橋本　いま考えたら、会心の「オレごと刈れ!」は一番最初やったなぁ(思い出すように)。
――(01年12月の)大阪でマーク・ケアーに決めたやつですか。あのときは橋本さんの声のトーンも違ってたからなぁ。「小川ァァ～、俺ごと刈れェェェ!」って、広い大阪城ホール中に響き渡りましたよ。
橋本　あのときはちゃんとジャーマンになってるからな。あれからは苦しくて、投げるときに横に逃がしてる(笑)。2回目を金沢でトム・ハワード相手にやったら、あばらにヒビが入ったからね。
――うわぁ～。危険な技だもんなぁ。
小川　「オレごと刈れ!」は、応援してくれる人の歓声の度合いによって、完成度が違ってくるんですよ。
――あ、歓声と完成をかけてる(笑)。
橋本　あと今年中には「ZERO―ONE★U$A」第2弾もあるからな!(なぜか小川のほうを見ながら)ハル……某大物選手が来る!
――ガハハハハ! 某大物選手!
橋本　某大物選手を招聘すると書いておいてくれ。
小川　ホントに来てくれるかな～? でも、本人にお願いはしてあるから。
橋本　俺はモンゴルに飛ぶか江戸時代に戻るかどっちかだ。
――江戸時代? あ、SHOGUNか(笑)。だけどOH砲は、これからも敵はどんどんやってくると思うけど、OHを倒すくらいの敵をつくっていくのも、これまた使命としてありますよね。
小川　いまの敵は世間ですよ。これから地上波でやっていくわけじゃないですか。敵と言ったらなんだけど、テレビの視聴率という数字が出ますからね。
橋本　まぁ、1回や2回、なんかあってもめげないようにね。
――新日本のバーリ・トゥードの話で思い出したけど、この間、某週刊誌の大編集長とUFOの沢野氏と飲んでたら、その大編集長は酔っぱらって「沢野ちゃん、もう小川直也がミルコとやるしかないよぉ」ってひとりでゴキゲンだったんですよ。
橋本　……くだらない男だ!
――ガハハ! くだらない男!(笑)。
小川　俺のこと心配する前に、アンタの記事なんとかしろよって(笑)。
――ガハハ! で、小川さんはもうバーリ・トゥードをやるつもりはないんですか。
小川　別にバーリ・トゥードだなんだって、俺はプロレスラーとしてプロレス界のためになるシチュエーションになればやるけどね。もしかしたら、それがいまかもしれないね。
――2～3年前は「小川はバーリ・トゥードから逃げてる」なんて声もコアなファンの間で盛んにあったけど、いまは小川さんがプロレスを真剣にやってるっていうのがようやく届いてきましたよね。
小川　それはもう、その頃から考えは変わらない。言いたいヤツには言わせとけ、と。俺はそいつらのためだけにやってるわけじゃないしね。
――そういう声とは別に、純粋に小川さんにバーリ・トゥードに出てほしいという声もまだまだ多いですよ。
小川　明確な目的があればいいけど。橋本さんとズーッとプロレスラーとしてやってきた、そのプロレスの代表としてそういう

メインのOH砲vsプレデター＆ホース・シュー戦は、耳をつんざくような歓声を受けたOH砲が、“刈龍怒”から“オレごと刈れ！”のフルコースでガイジン部隊を撃破!! 最後は破壊王が「7年ぶりに試合で帰ってくることができました。（中略）ウチは“1・2・3、ダー”じゃありません。いくぞーッ！ スリー、ツー、ワン、ゼロワンッ!!」（その後「オー、エイチ、ホーッ!!」の二段締め）

ZERO-ONE TOPICS

OH砲の切り札“オレごと刈れ!”が破壊王の地元で炸裂!!

4・3 岐阜・セラトピア土岐
観衆3200人（超満員札止め）

実力急上昇のアダモちゃん、炎武連夢にもカブリつく!!

「アダモちゃ〜ん」「ハ〜イィ」という客席とのやり取りもおなじみに。そのキャラだけでなく、昨年秋の来日以来グングンと実力も伸ばしているK・アダモ。この日も和牛太を“タイフーンローズ”（アダモのパワーボム+ハワードの回転首折り）で粉砕！ ハ〜イィ。

“武藤”が破壊王の地元にゲスト参戦!!

休憩明け、オッキーが「武藤敬司選手の入場です!!」と仰天コール。色めき立つ客席!! 颯爽と登場する武藤!!――に、よく似た男の正体は、破壊王と同学年で同郷のタレント・神無月！

攻防過熱!! LowKiと天下一Jr王者戦線

例の熱愛騒動を超え、日々過熱していく坂田vsロウキー。4・5ではオーちゃんとの初タッグ結成も果たしたが、ロウキーとの完全決着を始め、坂田の試練は続く――。

翌日の神戸、翌々日の松山と、大谷相手に“テロリスト”ぶりが飛び出した藤原組長。この日は佐藤耕平相手に執拗なる“関節技の鬼”っぷりを披露した。ん〜、組長ッ!!

場に出て行ったからには、橋本さんやいろんな選手の分まで背負って出るわけだから、そういう部分で安直には出たくないよね。わかってないおかしな人間もいっぱいいるし。

橋本　勘違いしてほしくないのは、俺と小川がやってた潰し合いがバーリ・トゥードと多少違ったって、何にも劣ってると思わないよ。むしろ勝ってると思ってるから。一撃でそれこそオジャンの勝負だったし、お互いにそれだけのものを背負って試合してますから。バーリ・トゥードをやることは確かに勇気がいることだし、やりたいヤツはやればいいと思うんですよ。でも、それで俺たちのことをどうのこうのっていうのは違うと思うし、そう言われたら「だからどうした?」ってなっちゃうから。

――その大編集長が言ってた、ミルコに関してはどうなんですか? 小川さんがバーリ・トゥードに出て行くとしたら、ホントあとはミルコぐらいしかいないですよね。

橋本　ミルク?

――ミルクじゃないですよ!(笑)。

小川　ミルコもそうだけど、もう一個あるんだよ。プロレス界の扉を開けた奴!

橋本　坂口征二か!?

小川　は?

――ガハハハハハ! 何でそこでビッグ・サカが出てくる(笑)。それだったら、小川さんはきっと「息子の坂口憲二とやらせろ」って言いますよ。

小川　「憲二、出て来い!」って(笑)。

橋本　俺は、小雪や!

――へ?(笑)。でもミルコにも〝プロレスラー・ハンター〟っていう異名が付いてるじゃないですか。

小川　俺に言わせりゃ、「〝プロレスラー・ハンター〟って、ちょっと待てよ」っていう感じですよ。団体のトップ張ってる選手が出ててやってるわけじゃないですからね。それはちょっと違うんじゃねぇかなって。

――現IWGP王者の永田選手とやってますよ。

小川　……失礼しました!(敬礼ポーズ)。

橋本　ミルコはね、藤田にやる気があるんだったら藤田がやるべきですよ。人に取られちゃダメですよ。俺と小川みたいなもんで、人に取られちゃダメですよ。やる気がないんだったらやる必要はないけどな。

――この間、そのミルコに負けてしまいましたけど、ボブ・サップっていう存在を橋本さんはどう思ってるんですか?

橋本　非常に欲しいですよ。なぜかって言ったら、アイツが持ってる本質をもっと俺は出させる自信がある。プレデターと試合しても組ませてもいいだろうし。最強のガイジンチームになるよ。あれだけのバラエティー……違った。バリエーションもあるわけだし。怖さを持ってるのにわざわざカワイクするのはタレント業としての技だから。プロレスラーとしてはまだまだ三流でしょ。アイツの持ってるものを引き出せば、もっと一流になれる部分を持ってるはずだから。プロレスの部分で、まだ誰も引き出せてないっていうのはもったいない話だよ。

有刺鉄線? やりたくない。デリカテッセンのほうがいいな [破壊王]

小川直也×橋本真也

あんな『W-1』のサップとホーストがやった試合は見たくねぇよ。あんなサップもホーストも見たくないでしょ。あれはプロレスごっこだよ。

――小川さんはボブ・サップについてはどう思います?

小川　異議な~し!(笑)。

――去年のプロレス大賞MVPを受賞してますけど。

橋本　あれは目立ったからの話だろ。

小川　何を基準にしたプロレス大賞なのか全然わからないけど、あれは毎年、記者たちのご機嫌取りだろ。

――また、そういうことを言う(笑)。

小川　要するにこの人にしとけば無難だろっていうので選んだようなもんでしょ。

橋本　それを怒るヤツがいないとダメよ。泥臭いもんね。変な部分で人間くさいし、悪人っぽいし。

小川　ちなみにどう考えてもタッグのMVPはさ、OHじゃねぇかって思いますよ。でも炎武連夢でしょ。そういう部分でこれは談合の世界だなって。

橋本　OHっていうのは多分、やりにくいんだと思うよ。取っちゃったらそれまでになっちゃうし、取んないほうがいいんじゃないの?

小川　そのレベルまで落ちることはないと。よし! OHはプロレスラーには手の届かない位置の賞でも狙うか!!

――日本有線大賞を狙うとか(笑)。

小川　絶対にそっちのほうがいいよ。橋本さん、またCD出してくださいよ!

橋本　お前、絶対バカにしてるやろ! そんときはお前も一緒やぞ!

小川　なんで俺が道連れになんなきゃいけないんですか!

――まあまあ。橋本さん、じゃあ最後に

5・2に後楽園ホールに来てくれるファン、映像で見てくれるであろうファンに向かって、なにかメッセージを一つお願いします。

橋本　偉そうなことを言うつもりはないんですけど、5月2日っていうのは俺たちにとっても、ZERO—ONEにとっても特別な日になることは間違いないですよ！　その記念日はどうしても皆さんと一緒に過ごしたい!!

——なんか今日はキレイだなぁ（笑）。

橋本　なぜかって言うと、それだけのいろんな要素があるから。損はさせない。会場は新日本さんに比べてちっちゃいけどな。ただし、俺らの花火は新日本みたいにダラダラ飛ばさない。「ポンポンポン！」と飛ばしていくからな。

——小川さんも、5・2にドームに行かないで、わざわざZERO—ONEに来てくれるファンにひと言お願いします。

小川　そんな奇特な人いるんですか？（笑）。最初っから向こうはドームで、こっちは後楽園。比較にならないでしょう（意味深な笑み）。でも、俺らは後楽園ホール初ですからね。俺自身も初。新日本に乱入したことは1回ありますけど。

橋本　小川も春の男だからね。

小川　はい？　何ですかそれは？

橋本　さらさら！　後楽園では、橋の下を小川がさらさら流れる。

小川　「春の小川はさらさら行くよ」ということですね。猪木さんと同じじゃないですか（笑）。

——橋本さんは後楽園の3日後には（5・5）川崎球場で金村選手との電流爆破マッチが控えてますね。

橋本　いやだよ。

小川　え！　電流爆破やるの!?

橋本　金村キンタローと電流爆破だよ。

小川　うっわ～、大丈夫かな。

橋本　本来だったらやらないものだけど、これは口で言えるもんじゃないから。それだけ約束したことがあるから。5月5日もきっと、なんらかの形で小川が来てくれるんじゃないかなと。

小川　5月5日って、何かあんの？

——だから電流爆破マッチですよ（笑）。

小川　あれ、後楽園じゃないの？

——後楽園は5月2日です！

小川　ああ、そうか。じゃあ、俺、リング作りに行くわ。バットに有刺鉄線ぐるぐる巻きにした凶器作るとか。あの、その試合って有刺鉄線なんですか？

橋本　そう。痛いよ。いやだよ。蝶野みたいにブ厚いチョッキでも着ていこうかな。

小川　有刺鉄線！　怖いなぁ……。

橋本　デリカテッセン・デスマッチとかにしてくれないかな。

小川　ここで笑うと橋本さん怒るしな～。でも笑いますか！　ダーハッハ！

——ガハハハハ！　バッグンです。「オー、エイチ、ホールッ!!」

【4月16日／東京・麻布スタジオにて収録】

時は来た！ 5月10日から ZERO-ONEが、年6回、地上波侵攻!!

「うぉぉぉぉい、マツヤマ～ッ!!」（意味不明）……時は来た！　遂にZERO-ONEのテレビ東京での放映が決定!!

破壊王のプロレス活動20周年の記念日でもある4月21日、港区の東京全日空ホテルにて、『破壊王プロレス ZERO-ONE』(!!)の番組制作発表会が行われた。

白いスーツ姿で登場した破壊王は「本日でプロレスの世界に入ってちょうど20年です」「ボクが猪木さんに教えて頂いたプロレスを自分なりにアレンジして実践していくだけ。破壊王としてのプロレスを日本中に、そして世界中に広めていきたい」と地上波侵攻への野望を語った。

放送第一弾は5月10日(土)の16:00～17:15。初回は、5・2後楽園大会の模様が放送される。その後楽園大会のカードについて、ZERO-ONE中村渉外部長は「現在、全日本プロレスにオファーを出しています。武藤社長がタッグパートナーに小島選手を指名したというところなんですが、炎武連夢の方からも“やりたい”という希望が出ております。最終的な調整をしておりおますので、いましばらくお待ちください」と説明。破壊王は「ボクとしては全日本の最高峰が出てくる限りは、俺たちが相手をしなきゃいけないという使命感がある」とOH砲の出撃をほのめかした。

また、“番組の顔”として破壊王の親友でもあるタレントの勝俣州和と女性MCとしてベッキーがZERO-ONEの魅力を伝えていく。放送は1年間に6回を予定しており、5月以降は7月、9月、11月、12月、来年3月を予定。

年6回と数は少ないが、ZERO-ONEの魅力を余すところなく伝える番組になることに期待だ!!

最後は、所属全選手がコスチューム姿で登場。テングカイザー，ドン荒川、ヴァンサック・アシッドまでも登場してフォト・セッションが行われた。ここで、「我々にはなくてはならない選手」と破壊王に紹介されたオーちゃんが駆けつけた。「橋本選手、20周年、また地上波番組決定おめでとうございます。旗揚げ当初から携わらせてもらってるんで嬉しいです」と暴走王はコメント。

時は来た！　行くぞーッ!!「オー、エイチ、（後楽園）ホールッ!!」&「スリー、ツー、ワン、ゼロ・ワンッ!!」

5月シリーズ日程

日付	会場
5・22（木）	福島・ビックパレットふくしま
5・23（金）	青森・弘前市河西体育センター
5・24（土）	岩手・岩手県営体育館
5・25（日）	宮城・築館町総合運動公園体育館（15:00）
5・29（木）	東京・後楽園ホール
5・30（金）	三重・松阪市総合体育館
5・31（土）	京都・京都KBSホール
6・5（木）	東京・後楽園ホール
6・6（金）	千葉・千葉公園体育館
6・7（土）	茨城・水戸市民体育館
6・8（日）	神奈川・相模原市立総合体育館（17:00）

※カッコ内は試合開始時間。特に時間表記のない大会は18:30試合開始。

［お問い合わせ］ZERO-ONE 03-5730-3401

4月シリーズ主要カード

4・26（土）大阪・大阪府立体育館第2競技場（18:00）
●橋本真也&佐藤耕平vsザ・プレデター&ジョン・ヘンデンリッチ
●大谷晋二郎&田中将斗vs高岩竜一&藤原喜明
●トム・ハワード&マット・ガファリvs
スティーブ・コリノ&ジェイソン・ザ・レジェンド

4・27（日）福岡・博多スターレーン（17:00）
●橋本真也&佐藤耕平vs大谷晋二郎&田中将斗
●小川直也&藤井克久vs
ジェイソン・ザ・レジェンド&スティーブ・コリノ
●【NWAインターコンチネンタルタッグ選手権試合】
（王者組）マット・ガファリ&トム・ハワードvs
ザ・プレデター&ジョン・ヘンデンリッチ（挑戦者組）

4・29（火・祝）愛知・名古屋国際会議場（18:30）
●【NWAインターコンチネンタルタッグ選手権試合】
（博多大会の選手権勝者組）vs小川直也&橋本真也
●【天下一Jr.選手権試合】※王者初防衛戦
（王者）坂田亘vsヴァンサック・アシッド（挑戦者）
●大谷晋二郎vs小笠原和彦

5・1（木）千葉・成田市体育館（18:30）
●橋本真也&佐藤耕平&横井宏考vs大谷晋二郎&田中将斗&黒毛和牛太
●小川直也vsジョン・ヘンデンリッチ
●【ZERO-ONE認定USヘビー級選手権試合】
（王者）スティーブ・コリノvsテングカイザー（挑戦者）
●マット・ガファリ&トム・ハワードvs藤井克久&高橋冬樹

5・2（金）東京・後楽園ホール（18:30）
『01 WORLD』※OH砲vs武藤&小島濃厚!!

「一夜漬けのプロレスはやめろ!!」上井新日本取締役、怒りのコメント!!

新日本プロレスからは、新日本VT路線を強行する"リアル革命戦士"上井取締役が『W—1』批評。上井取締役は「『W—1』は夢舞台だと思って、一回目は蝶野に出ろと言っていた」ことを明らかにしたが、全貌が見えたいまでは「ああいうのは大嫌い!!」とバッサリ。『W—1』の演出の素晴らしさこそは認めたが、「一夜漬けのプロレスは見たくない！」「コンセプトが見えない！」と断罪し続けた上井取締役。その熱きプロレスの情熱は新日本にも向けられており「新日本のチャンピオンは『PRIDE』の選手に向かっていかないといけない！」とまで吠えまくるから最高だ！業界の発展のために「協力は惜しまない」と表明した上井取締役だが、『W—1』の未来より、上井取締役の今後の革命遂行振りが気になってしょうがなくなる内容であった。小島「上井さん、相変わらず、お元気そうですね」。

ⓒ槙竹マッカーサー

「『W—1』、アレは違うだろ!!」WJ"ド真ん中"批評炸裂!!

以前に深夜放送された1・19『W—1』東京ドーム大会特集『ジョー・サンのバトルエンターテインメント』で、『W—1』の試合映像を見せられて感想を求められた長州。その放送では「カチ喰らわす」「クソぶっかける」寸前の不快感をみせており、今回の放送で再び『W—1』批評を聞くべく番組スタッフは取材を申し込んだが、「倦怠感」のよる欠場中のため残念ながらNG。代わりに登場した永島氏は「長州は『アレは違うだろ』と言っていた」と、長州語の『W—1』評を伝言。自身は「プロレスには勇気、怒気、殺気、元気が必要！」と、結婚式の仲人や入学式の校長先生みたいなことを言い出して、『W—1』とフジテレビご両家の繁栄を心から祈らんばかりのコメント。最後は「武藤なら必ずやってくれる」とカメラ目線でエールを送る永島氏であった。

渕黄門様がファンタジーファイターを発掘!?

全日本からは渕の兄貴が登場！「『W—1』？　プロレスラーへの愛が足りない！」と訴えた兄貴は、マフラー＆高級スーツ姿で『W—1』のニューカマーを探し回る"渕黄門様"の役回りを与えられると（お付きはカズ・ハヤシ）、誰よりもノリノリで行動！　愛が足りない＝持ち上げろってことですか、兄貴？渕黄門御一行は、K-DOJOからブルーKなる謎のマスクマン、全日本からジミー・ヤン、ZERO-ONEからはロウ・キーを『W—1』出場候補選手として選出。選ばれたレスラーだけに与えられる渕印籠を渡したのだ。一方、全日本のボス・武藤は、『W—1』の未来を模索するためスーパーサーカス『キダム』公演へ。演出のヒントを得よう代表者から話を聞くなどした武藤だが、『キダム』の感想を「女性の身体の線に目がいっちゃうんだけどさぁ」と呑気に語るところが面白かったぐらい。

「ゴーバー、●●●・●●●●●とやる!!」サップがラスベガス決戦を希望!!

4・7第一回目放送は1時間の特別枠で行われた。ニュースキャスターに扮した小島が、次のニュース映像に移る度「いっちゃうぞバカヤロー」と叫んだり、テロップでは延々とファンからの『W—1』批判が流される自虐的な構成だったり、サップが「ラスベガス開催」「ゴールドバーグとやる」とドリームプランを吠えたかと思えば、「リック・スタイナーともやる！」などと、誰もがまったく期待してないことブチ上げたりと、とっても濃密な60分となりました。ん〜ッ、『W-1』!!

ど　10分! フジ(土)25:45〜

ラー化決定記念!!

』スペシャル番組

誌上プレビュー

ファンタジーファイターに変～身!? ゴッツイ嵐〝改造計画〟!!

◆嵐改造計画を実行すべく、小島がイヤがる嵐を連れてファッションデザイナー・ドン小西の事務所を訪問!!

コジ　はい！　今日はですね、ケンドー・カシン選手から『嵐選手はとっても凄いので、なんとか素敵なファンタジーファイターに変身してもらいたい』というハガキが来てます。いま嵐選手を待ってるんですけど……。

嵐　（遮りながら登場）オイ、小島ぁ！

コジ　お、おはようございます！

嵐　なんで俺が変わらなきゃなんねぇんだよ！　俺、変わる気ないね（口を尖らせて）。

コジ　いやいや、〝全日本の嵐〟選手はそのままでいいんですけど、『W-1』用のファンタジーファイトぉ！　ファンタジーファイターぁ！みたいなのをやってもらいたいんです。さぁさぁ、行きましょう！

嵐　ああん？　どこ行くんだよぉ（不満いっぱいの表情で）。

コジ　いいから早く行きましょう！　いっちゃうぞバカヤロー!!

◆目的地に到着

嵐　何ここ？

小島　まぁまぁ行きましょう。（ドアを開けて）失礼しま～す！

小西　よ～う！　ようこそようこそ。待ってたんだよ！

コジ　今日はよろしくお願いしま～す。

小西　（戸惑う嵐に向かって）写真とかVTRいろいろ見させて頂いたんですけど、さすがに嵐さんは凄いと思いましたよ。カッコイイと思った！

嵐　……（口を尖らせ黙ったまま）。

小西　でもね、『W-1』はファンタジーファイトの世界でしょ。あそこにはホント申し訳ないけど、アンタ全ッ然似合わないよ!!（キッパリ）。

嵐　何ぃ！　大きなお世話だよ!!（怒）。

小西　ちょっと冷静に。（嵐の服装を見て）黒が好きなんですか？

嵐　（唇を尖らせて）好きですね。

小西　ちょっと後ろ向いてもらえます？う～～～ん、やっぱ地味だなぁ。

嵐　……（思い切り不機嫌な表情で）。

小西　この身体をね、活かさない手はないですよ！　いまだとただ単にズングリムックリになってるんですよ。

嵐　……（やっぱり不機嫌な表情で）。

小西　な～んか、いまだにチャンコ鍋を喰ってるみたいなのがあるんですよ。

嵐　……（当然不機嫌な表情で）。

小西　それで、嵐さんを『W-1』のリングに上げるために（デザインを）書きましたよ。見てください。

コジ　よろしくお願いします！　はい（笑）。

◆ドン小西デザインによる嵐のニューコスチュームとは、頭はモヒカンでモミアゲをのばしグラサン。赤革のジャンバーにはシルバーの鋲が打たれ、黒のレザーパンツにエナメルの赤ブーツを履き、「嵐」の文字が真ん中に刻まれるロザリオを首からブラ下げる！　ア然とする嵐だが「強そう！」「黒が似合う男は赤が似合う」「アナタの元々の良さをアピールしてるんですよ」と、小西の巧みなトークでレクチャーされると、満更でもない表情に！

嵐　……（イラストを見ながら）でも、モヒカンはヤバイよぉ（笑）。

小西　いやね、モミアゲをのばすでしょ。すごくシャープに見えますよ。これは嵐さんの良いイメージは壊してないと思うの。

嵐　……（無言ながら満面の笑顔）。

コジ　どうですか、嵐さん？　いろいろと教えて頂いて。

嵐　う～ん、まだわかんねぇなぁ（といいながらも笑顔）。

小西　これは女にモテますよ！

嵐　……！（最高の笑顔）。

◆嵐ニューコスチュームはさっそく製作中！　嵐は変われるのか!?……（満面の笑顔で）。

『W-1』は生きていた!!

ⓒ中川画伯

たかが10分！されど 1

週一レギュラー

『W-1』

エンセンが
中西学、
スミヤバザルの
VT(バーリ・トゥード)特訓の
真実を語った!!

金原弘光 × エンセン井上

プロレス ⇔ 格闘技

スクランブル対談

新日本プロレス
5.2 バーリ・トゥード
決行記念

元・新日本プロレス学校生と
現・新日本出場プロレスラーが
「プロレスラーのVT」と
「格闘家のプロレス」を語る!

今年2月からクレイジードッグスのボスとして新日参戦、5・2ドームで初VTを行う中西学、スミヤバザルのコーチとしても活躍するエンセンと、ヒザの手術を行い長期欠場に入る金ちゃん。親友(悪友?)同士である二人の対談が『紙プロ』で満を持して実現! プロレスと格闘技について語ってもらおうと思いきや、案の定「Uインター対談シリーズ」ばりの暴走対談に! この対談、また問題作るヨ!(エンセン調)

聞き手/堀江ガンツ　撮影/吉場正和　designed by matsu(Two three)

――親友として知られるお二人ですけど、実際にお会いするのは久しぶりですか?

金原　そうだね。こないだ京都で会えなかったから。

――4月5日にエンセンさんのPURE BRED京都ジムで金原さんのセミナーがあったんですよね。

金原　そうそう。でも、セミナーの前日にエンセンの携帯に電話したら出なくてさ。京都のジムの子に聞いたら「エンセンさんは東京に帰りました」だって（笑）。

エンセン　ワタシ、いるはずだったけど、いろいろ問題があって帰ることになったヨ。

金原　エンセンに京都の芸者遊びを教えてもらおうと思ってたのにさぁ、「どうなってるんだ?」って思ってね（笑）。

――それを楽しみに京都に行ったのに（笑）。

エンセン　でも、いいところ食事しに行ったでしょ?

金原　そうそう、美味しかったよ。まあ接待はしてもらってそれはそれで良かったんだけど、ホントこの男は最近、俺の電話にでないんだよ!　コールバックもないしさぁ。

エンセン　ワタシね、ホント忙しくて、電話がいっぱい入るヨ、いろいろ。で、ワタシが思ってるのは「大事な話だったらまたかけてくるだろうな」って。金原の電話、まず大事な話ないからね（笑）。

――まあ大事な話じゃないでしょうね（笑）。

エンセン　それか（電話の相手が）可愛かったらすぐ連絡するよ。でも金原、タイプじゃないから（笑）。「あ〜、金原からか〜、ちょっと太ってるなあ、ポッチャリ系だなあ、まあいいや」って放っておくヨ（笑）。

――金原さんがぽっちゃり系だからコールバックしない、と（笑）。

金原　でもエンセンは、女の子にはマメにメールするらしいからね。

年取って格闘技やる金原おかしいヨ。ワタシの方が賢いね（笑）

エンセンのプロレスはすぐノーコンテストでギャラ泥棒だよ!（笑）

Hiromitsu Kanehara × Enson Inoue

エンセン　今はしないよォ。もう止められちゃった、美憂に。「女にメール打っちゃダメ」って。電話見せて女の子の名前入ってたら、もうダメだから。

金原　まぁ、そういうことにしておこう（笑）。

――ま、電話の話はともかく、お2人の対談っていうのは、これまでも何回かあったと思いますけど、まさか金原さんが格闘家として、エンセンさんがプロレスラーとして、立場を替えてやるとは思いませんでしたね（笑）。

エンセン　アハハハハ!　そうネ。でも、年取ってから格闘技やる金原おかしいヨ。年取ったらプロレスやるワタシの方が賢いネ（笑）。

金原　昔、エンセンと2人で「プロレスと格闘技替わろうか?」とか話してたことあったんだけど、ホントにそうなると思わなかったよね（笑）。

エンセン　ワタシね、髙田さんが格闘技始まったとき、「髙田さんは格闘技ではグリーンボーイ。ワタシの後輩だ」って言ったの。だけど、こないだ髙田さんに会ったらワタシがプロレス始めるのわかってて、彼に言い返されたヨ。「エンセン、いま俺が先輩だよ、プロレスだったら」って。ワタシも「スイマセン。よろしくお願いします」って。二人で大笑いしたネ（笑）。

金原　この男も、よく髙田さんにそんなこと言うよね（苦笑）。

エンセン　でもホント、いまはワタシの大先輩ネ。ワタシ、プロレス入ったときに、格闘技の上の方だから調子に乗るとかまったくない。中西さんと永田さんにいろいろ教えてもらって、ちゃんと頭下がるようにしてる。で、中西さんも逆にこっち来ると頭ちゃんと下げて、自分が下の者だとわかってて練習してるから、すごい好きネ。だから、新日本入ってすごいよかったと思ってる。プロレス面白くなってるし、いい付き合いになってるし、いい人と仲よしになってるから。でも今年また戻るね。格闘技復活します!

金原　いいの、突然そんなこと言って!?

エンセン　いいよ。今年の終わりぐらいにまたやりたいなと思って。もちろん『PRIDE』とかに話あったらだけど。早くても10月ネ。そうじゃないと、93キロまで落とせない。いま103キロだけど、『PRIDE』はミドル級でやりたい。

――もう1回、格闘技を現役でやろうと思ったきっかけは何だったんですか?

エンセン　（昨年2月）ノゲイラ戦に出てきたのは、ワタシの友だちニューヨークのテロで死んじゃったネ。それで戦争行くつもりで、死ぬかもしれないから、戦争行く前に最後に試合やるつもりで出たの。でも、戦争行けなくなっちゃったよ。腰と刺青でダメだった。

金原　刺青もダメなんだ。

エンセン　ユニフォーム着てる間に見えるとこ、頭とか手とかにあったらダメです。頭はかなり文句言われた。それで、どうしても手伝いたかったから、戦争行く人にタダで格闘技のセミナー開いたの。グアムで3回ネイビーシールズ（特殊部隊）の人に教えてあげて。でも、イラクの問題でセミナーも中止になっちゃった。それで、もうそれ以上できないと思って、落ち着こうかなと思ったら、アフガンからEメールたくさん来た。そのEメールには、アフガン凄い辛すぎてみんなやる気なくなってる。でもエンセンの話になったらみんな頑張る気になっちゃったんだって。で、気づいたのは、自分の試合は、いろんな人の力になっ

今年２月にクレイジードッグスのボスとして新日に登場したエンセンは、魔界倶楽部・星野総裁との抗争を開始。３月９日名古屋大会では、ホントにボコボコにして救急車が出動！　星野総裁に全治２週間のむち打ちを負わせるなど、早くも野蛮人ぶりを全開中！

てる。特に軍の人に、戦争行く、すごい辛い状態のとき思い出すと力になっちゃうんだったら、まだ引退できないなと思って。

金原　軍にも格闘技好きな人いるんだ。

エンセン　いっぱいいるネ。それから、テロ事件の時、ビルの１０５階からジャンプする人いたネ。テレビで見た。それより前に、ビルの8階から飛び降り自殺したところ実際に見たことある。それで、俺がすごい悩んだときに、その同じビルの8階に上ったの。それで、そこから下見たんですよ。それ見たらね、リングで死ぬかもしれない精神的な辛さあっても、どう見てもジャンプしないよ、あそこから。それ思ったら、ワタシが試合で怖い辛さ子供ぐらいの辛さでしょ、ホントの辛さと比べると。

金原　この話だけで1冊の本になりそうだね（笑）。

エンセン　それでね、いろいろ考えて試合やんなくちゃいけないと思って。ホントに死ぬつもりで行ってるから、試合がヤだったけど、出なくちゃいけない。試合に出ればいいお金も取れるし。『ＰＲＩＤＥ』でもらうお金、他の仕事じゃ1日で取れるお金じゃないよ。ジムの仕事、何年も頑張って取るものだよ。それぐらいのお金を好きなことやってバーンって取れるんだったら、やんなくちゃいけないよネ。

――確かにそれが〝プロ〟ですよね。プロレスを始めようと思ったのは、全然違う理由ですか？

エンセン　格闘技やめて、プロレス始まった理由は、声かけられたから。新日本から「やりますか？」って。最初は「無理」と思ったけど、格闘技は（現役）終わったし、お金が取れるかなって、一応話に行ったの。金原にも相談して「どうしよう？」って。

――あ、相談されたんですか。

金原　うん。でも、それがクレイジードッグスのボスになるとは思わなかった（笑）。

エンセン　そのあと長州力もワタシに声かけてきて、自分が思ったのは、長州力とか新日本の人たちがワタシのこと欲しいんだったら、もしかして自分もプロレスできるかなと思って。それで自然に少しずつ興味出てきて、結局やることになりました。

金原　でも、こないだ新日のテレビ見たら、全然試合出てないじゃない。

エンセン　いや、ワタシ乱闘ばっかりヨ（笑）。でも、ワタシそういう選手でしょ、格闘技でも。試合やるなら、殺すか殺されるかだもん。プロレスもそのままネ。

金原　いやぁ、でもあれはギャラ泥棒だよね（笑）。俺がファンだったら、もう「金返せ」だよ。すぐノーコンテストかなんかで、カンカンカーンってさ。しかも星野総裁をイジメちゃダメだよ！（笑）。

エンセン　あいつ、ひどいヤツ。やんなくちゃいけないよ！

金原　星野総裁の昔知らないでしょ？

エンセン　知らない。でも、みんな言うよ。怖いヤツとか、ケンカ屋とか。根性大きいネ。でも、根性がどんな大きくてもワタシに勝てない。病院送りにするヨ！

金原　相手は60歳の大先輩なんだから！

エンセン　関係ないよ！　シューティングでワタシ、52歳のズール（ブラジルの伝説的な格闘家）をボコボコにしたこともあるから。

金原　大人気ないよね（苦笑）。

――エンセンさんは、まだプロレス始めたばっかりですけど、やっぱり難しいですか？

エンセン　難しいネ。格闘技やるときは、自分しか考えない。相手関係ない、審判

関係ない、ファンも関係ない。たまたまワタシのやり方ファンが好きなだけ。でもプロレスは、やりながら一番大事はファンを盛り上るためとか、難しいよ。

金原 そう言う割りには、すぐ終わってんじゃん（笑）。

エンセン 疲れたから反則して帰ろうかな〜って（笑）。

金原 ホントにナメてるね、この男は（笑）。

エンセン いまはナメてないヨ！ でも、最初はプロレスちょっとナメてました（笑）。走るとかしなくていいと思って行ったからね。それが道場でスパーリングしたら、2分で超疲れちゃって死にそうだった。だからいま走ってるよ。プロレスと格闘技と違いないスタミナ作んなくちゃいけないって考えてるよ。あと受身は凄い痛い！

金原 でも受身取らないでしょ？

エンセン 練習やるよ。ちゃんと受身全部やってる。首が固まっちゃう感じ。それ中西さんと永田さんに教えてもらってる。大先輩ネ。プロレスラーみんな凄いヨ。アイツにくらしいけど、村上も凄いね。試合になると、あの睨みが怖いよね。

金原 怖いよ〜。この間もテレビ見てたら、永田さんが流血した血をベローッて舐めて（笑）。俺、テレビであれ見たときゾッとしたもんな。

エンセン 凄いね、プロフェッショナルだよ。殺すか殺されるかでできそうだから、彼との試合は楽しみネ、ボコボコにするヨ！

金原 今度の東京ドームは、前半バーリ・トゥードやって、後半がプロレスなの？

エンセン そう、そういう感じネ。ワタシの試合からかな、プロレス始まるの。

——それも不思議な感じですよねえ、エンセンさんの試合からプロレスって（笑）。

エンセン ねえ（笑）。こないだ中西と話して大笑いした。「あなた格闘技、ワタシがプロレス」って。ちょっと、おかしい感じネ。

——逆だろうって（笑）。

エンセン でも、中西もモンゴリアン（スミヤバザル）も、凄いバーリ・トゥードの練習してるヨ。ボコボコに殴りあって、血だらけになりながらやってる。ワタシもパンチで歯が欠けちゃった。

——そんなに練習でボコボコ入れ合ってるんですか!?

エンセン 完璧に殴り合ってる（キッパリ）。試合で顔殴られても、まだ脳味噌が動けるように。特に中西さん、やったことないから、試合でいきなりそういうことやられてビックリしちゃうと一番よくないネ。中西さんが藤田にどんなことやられても「あ、練習でやられたことあるな、これ」ってわかってほしい。だからワタシ、スパーリングでも思い切り殴るヨ。でも、そうすると彼は気持ちが逆に強くなる感じする。やるとやり返す感じが凄いあるヨ。凄い気持ちいいね、彼。

——じゃあ格闘家に向いてる感じですか？

エンセン それは本人次第。この練習を1年間続けるかどうか。続けられたら格闘技でもイケると思うけど。逆にプロレスがそんなうまくできたら、格闘技やる必要ないヨ。それなのに、すごい勝負してバーリ・トゥードやるのは偉いヨ！

金原 練習、毎日やってんの？

エンセン 毎日来てるよ、ここまで。朝来て、夜までやって。中西さんはここに泊まっちゃってるんだよ。

——大宮ジムに泊まり込みですか！

エンセン 彼の練習の集中、すごいヨ！

——やっぱり元オリンピック選手だけあって、一度練習に集中したら凄いんですね。

中西さん、もの凄い練習してる。ジムに泊まっちゃってるんだヨ!

エンセン 彼はいつも自分で言ってるけど、運動神経ない。だけど、そういう心があれば、運動神経は作れるヨ。

——スミヤバザルはどうですか？

エンセン モンゴリアンもっと凄いヨ！ 彼は運動神経から凄い。教えると何でもすぐできる。彼とね、試合やりたくないよ、ワタシ。立ち技も寝技も強いから作戦立てるの難しい。高阪、彼に投げられるヨ！

金原 その試合は面白くなりそうだねぇ。

エンセン そうね。だからもし明日高阪と試合したら、ギリギリだなあ。でも、まだ2週間半ぐらいあるよ。試合までに、どういうものになるかわかんない。だって、2週間前に練習始めて今日までで全然違うものになってるから、中西も。

——2週間でそんなに成長してますか。

エンセン ただ、高阪も藤田も凄いうまいでしょ？ 動きも早いし。だからどうなるかわからないネ。

——中西選手とスミヤバザルのセコンドにはエンセンさんがつくんですか？

エンセン どうだろう？ プロレスの仕事だから、クレイジードッグスがセコンドついちゃダメかもしれない。でも、練習見てる人がセコンドつくのが一番いいと思うヨ。

金原 だったら中西選手をクレイジードッグスに入れちゃえばいいんだよ（笑）。

エンセン それいいネ！ クレイジー合ってるよ、彼に。

——中西選手はクレイジードッグスが合ってますか（笑）。

エンセン 彼、クレイジー中西だよォ！（笑）。だってワタシとスパーリングして、最後の何秒間は殴り合うってことで、彼、「ウワーッ！」って叫びながらやってるよ。それで彼、寝技で一回血だらけになっちゃったの。すごい鼻血出しちゃって。そのとき、ちょうど朝青龍が練習見に来てて、朝青龍が心配してティッシュ持ってきて「ちょっと鼻拭いてください」って言ったらね、「ウワーッ！」ってティッシュ叩き払って、またワタシに向かって来たヨ！（笑）。

——ガハハハ！ ホントにクレイジーですね（笑）。

エンセン だから、すごい熱い練習してる。気持ちいいよ。彼が半年か1年ぐらい練習できたら、凄いものになっちゃうヨ。体すごい、力すごい、気がすごいだから。金原もある時期は、こっちよく練習来たね。そのときパンクラスの山田（学）さんも来てて。

金原 ああ、あったね。

エンセン 3人でよく練習したよ。

金原 あれはキングダムのときかな。

エンセン そうね、キングダムのときね。ワタシもよくキングダムとかUWF（インター）とか行ってたね。必ず桜庭、金原、松井とスパーリングして。たまに垣原もやって。で、絶対高山はウエイトやってるの（笑）。

一同 ダハハハハ！

エンセン ワタシ、高山と1回もスパーリングしたことないヨ（笑）。垣原は1回だけ。金原と桜庭と松井は数えきれないぐらいスパーリングした。

——高山さんは、自分で言ってますね、「エンセンと練習の交流はありません。六本木の交流はたくさんあります」って（笑）。

エンセン アハハハハハ！ それはそうね、高山とは何度も遊んだことあるヨ（笑）。

金原 高山君とエンセンと俺っていうメンバーは六本木でよくあったよね（笑）。六本木って店高いじゃない、キャバクラでも何万もするでしょ。でも一度、このメンバーで歩いてるとき、たまたまオープンで

Hiromitsu Kanehara × Enson Inoue

「ただいま4000円にします」とか言ってる店があったのよ。でも、4000円って言っても、なんだかんだ追加料金とかで何万も取られるモンじゃない？　そしたらエンセンが店入る前に「もしそれ以上取られたら暴れるぞ」って釘刺してんの（笑）。
――ダハハハ！　怖い！（笑）。
金原　そしたらさ、高山君と俺とエンセンともう1人いたんだけど、たった4000円で済むわさ、その店で一番可愛いお姉ちゃんをみんなに付けるわさ、いいことばっかりだったよ（笑）。
――居酒屋価格で豪遊しましたか（笑）。
エンセン　ワタシ、冗談でそういうこと言うと、みんな信じるネ。この前も焼肉屋行ってね、マジな声で「早く肉持って来ないと暴れるぞ」って言うと「ハ、ハイ。持って来ます！」って、すぐ持ってきたよォ（笑）。
――タチ悪い客ですねぇ（笑）。
金原　でもこの男はね、酒が一滴も飲めないんだよ。飲めないくせに、そういう場所に行くのは大好きでね。そのとき何を注文するかって言うと、「上コーラひとつ」って言うんだよ（笑）。
――ガハハハ！　上コーラ（笑）。
金原　コーラしか飲んでないのに、なぜか

Enson Inoue

本名・Enson Shouji Inoue。1967年4月15日、ハワイ州ホノルル生まれの日系四世。「死ぬまで闘う」大和魂を信条とし、修斗、『PRIDE』でも活躍。昨年2月のノゲイラ戦を最後にリングから離れていたが、今年2月からクレイジードッグスのボスとして新日に参戦！180cm、103kg。

キングダムで金原、桜庭、松井と何度もスパーリングした。高山とは何度も六本木行った（笑）

俺らと同じくらい酔っぱらってんの（笑）。
エンセン　ワタシ、眠くなると酔うみたいになるネ。みんなが酒で酔ってるときに、ワタシ眠いで酔ってる。それで暴れちゃう。でも、ワタシ飲んでないから言い訳できない。「飲みすぎて暴れちゃってスイマセン」って言えないネ（笑）。
――飲まずに暴れるって余計タチ悪いですね（笑）。
エンセン　それでワタシが問題になりそうになると、金原がバーッてレフェリーみたいに間に入ってくる（笑）。
金原　なぜか酒飲んでる俺が飲んでないエンセンにブレイクを命じる役だから（笑）。
――その頃、Uインターの他のメンバーとは遊んでなかったんですか？
エンセン　みんなよく遊んだヨ。垣原とかヤマケンとか。安生はいまも遊ぶ。
――お、六本木の王者登場ですね（笑）。
エンセン　安生はソウルメイト。遊ぶ先生だよ！　安生、100パーセント男だヨ！　いや、安生だから200パーセント男だヨ！（笑）。ホント、彼には誰も勝てない！
金原　六本木のどの店行っても、安生さんのこと「知ってる」って言うもんね（笑）。
エンセン　彼、遊び凄いうまいとわかったのは、あんなブヨブヨでブサイクな顔なのに、いっつも女の子いるよ！　それちょっとおかしいヨ！（笑）。やっぱり安生、口とかやり方が凄いうまい。あの顔で普通ナンパできないよ！　書いてくださいよ、これ。安生に読んで欲しいヨ！（笑）。
――書いていいんですか？（笑）。
エンセン　『紙のプロレス』、変なこと書いていい雑誌だから、大丈夫。じゃあいま電話して「書くからね」って言っとく。（ホントに安生に電話して）あ、安生？　いまね、『紙のプロレス』の取材あって、あ

なたの遊びのこととかいろいろ書いてますから、ちょっとスイマセンでした。今度仕返しするでしょ。ハハハじゃないよ！　だからまた、遊び方教えてください、よろしくお願いしま～す。

金原　ホントに出たの？

エンセン　「どうぞ、どうぞ、好きに書いてください」だって。よかった（笑）。

——安生さんも宮戸さんの話とかで、大いに楽しませてくれましたからね（笑）。

エンセン　でも安生、すごいいい人で、仲いいヨ。また遊びたい。

金原　でも、エンセンと遊ぶのは大変だよ。とにかくこの男はタフだから。Uインター末期の頃、毎日二人で朝5時まで遊んでて、俺はフラフラになるんだけど、エンセンはすごい元気なのよ、「もうちょっといようよ」って（笑）。

エンセン　金原に遊び教えてもらってから、もう毎日行ってたネ（笑）。だからクレイジードッグスを作ったのは金原！　俺、前はハッピードッグだったし、静かなドッグだったよ。彼がクレイジーを作ったんだヨ（笑）。

——東京の悪い遊びをどんどん教えちゃったんですね（笑）。

エンセン　でも、もう遊びも引退しました。

Hiromitsu Kanehara

S45年10月5日、愛知県尾張旭市出身。91年にUインターでデビュー、キングダム、リングスと渡り歩き、昨年11月の『PRIDE・24』ではシウバのPRIDEミドル級王座に挑戦。その試合直前にヒザの十字靭帯を断裂しており、今月21日に手術。復帰までは1年かかる見込み。頑張れ、金ちゃん！

エンセンと一緒に遊ぶとホント小学校低学年に戻ったような気持ちになるよね（笑）

——あ、引退しましたか（笑）。

エンセン　いまは奥さんもいるけど、それよりたぶん仕事が忙しいね。遊ぶとしたら、スポンサーとか知り合いと飲みに行くとかだから、遊びじゃないヨ。

金原　いまは3つの会社の社長でしょ？　凄いよね。もう最近は俺も「エンセン」って呼ばないで「社長」って呼んでるから（笑）。

——社長に仕事もらえるように（笑）。

金原　そうそう。俺もヒザの手術でしばらく試合できないから、社長にね、1回「有限会社に社員として雇ってくれ」って言ったら「それはちょっと無理よ」って（笑）。

——そんなこと頼んでるんですか（笑）。

金原　「ちゃんと働く？」って言うからさ「いや、働かないけど」って（笑）。

エンセン　だって金原、ここに来てずっと雑誌見てるだけでしょ？「仕事して」「嫌だ！」ってなるし、それで「どこ遊び行こうか？」ってなるに決まってるヨ！

——会社にとってはまったくもって、百害あって一利なしですね（笑）。金原さん、手術は10日後ぐらいですか？

金原　そう。4月21日に手術。

エンセン　それから1年ぐらい？

金原　うん、ちょっと時間掛かるんだよ。歩けるようになるまで2ヶ月ぐらいかかるんじゃない？

エンセン　えぇ～っ、すごいね。でも『PRIDE』まだ契約何試合かあるでしょ。それをリハビリしてたら、『PRIDE』もうないかもしれないヨ（笑）。

——なんと縁起でもないことを（笑）。

エンセン　そしたらどうする、仕事？

金原　ホントだよ！　エンセン、お金ちょうだい！

エンセン　お金ちょうだいって、コイツ、

Hiromitsu Kanehara × Enson Inoue

金原のお見舞いに行ったら、寝てる間に点滴いじったりしようかナ～（笑）

バカ言ってるよぉ！（笑）。でも、お見舞い行きます。それで寝てる間に点滴とかいじります！（笑）。

――ダハハハ！　そんなイタズラを（笑）。

金原　でも、この男はホントにやりかねないよ！　昔っから、子供みたいなイタズラがとにかく好きだったからさ。初対面でも知らない人でも誰かれかまわずイタズラしてたからね。だからホントにね、エンセンといると、小学校低学年とかに戻ったような気持ちになってなんか嬉しいんだよね。「金原、ビルの一番上行ってツバ落とそうよ」とか（笑）。

エンセン　そうだよね。あのころ絶対そんな遊びばっかりやってたから。

エンセン　そうだよね。いっつも笑ってたネ。1回笑うと寿命が何日間も延びるよ。大笑いすると1年ぐらい延びるの、幸せ。

金原　それ、ハワイの言い伝えなの？

エンセン　ワタシが決めた。笑ういいことだよ。だから今日のインタビュー大笑いしたから、みんなすごい命が延びてるよ。ストレスで悩むと、短くなるじゃん、その逆。

金原　でも、いまストレスあるよ。手術するから。

エンセン　手術怖いね。麻酔で死んじゃうかもね。

――また縁起でもないことを（笑）。

金原　でも、麻酔で戻らないって事故、結構あるんだって。

エンセン　全身の麻酔やらないでしょ？

金原　下半身。

エンセン　うわっ、下半身やる？　じゃあチ〇コに管入れる？

金原　えっ、そうなの？

エンセン　どっちだっけ？　全身か下半身の麻酔、どっちかがチ〇コに管入れるヨ。

金原　うわっ、痛いな、それ。

エンセン　入れるときがすごい痛くて、取るときもすごい痛いって。確かやるとき、看護士さんがチ〇コギューッて持ってやるって聞いたヨ！

金原　うわっ、痛そう！　怖くなるじゃん、手術。明日病院に電話しちゃうよ、俺。

エンセン　カワイソ～、金原。ワタシ、ちょっと友だちのために悩もう。チ〇コ痛いだろうナ～（笑）。

金原　絶対楽しんでるよ！

――手術は心配ですけど、もう復帰のことは考えてるんですよね、いろいろ。

金原　どうやって復帰しようかね、考えないと。彼のアイデアをまた聞いて（笑）。

エンセン　プロレスしかないと思うね。いま格闘技、ちょっと下り坂みたいな感じネ、『PRIDE』もK・1もいろいろ事件あって、ちょっと辛いところネ。

――では、エンセンさんも当面、新日本でプロレスラーとして頑張っていく、と。

エンセン　プロレスもっともっと頑張ります。新日本がプロレスラーとして「エンセン入れてよかったな」と思って欲しい。いままではほとんど試合してないし、乱闘ばっかやるから、なんとも言えない。いまは新日本といいつながりできてるし、選手が完璧に練習一緒にやってるから、入ってよかったもあるけど、プロレスラーとして、まだ全然試合とかしてないから、プロレスの試合がうまくできるような選手になりたい。それしながら今年中に格闘技やる。間違いない、大丈夫です。

――じゃあちょうど1年後ぐらいに、エンセンさんがプロレスうまくなった頃、金原さんが復帰して、なにかがあるかもしれないですね（笑）。

エンセン　でも闘うより、マイクアピールの方がお互いに面白いよ。「なんであんた六本木で遊びしてきたよ！」「あんたもでしょ！」とかバラして（笑）。

金原　まぁ、その場合どっちに入るかだね、クレイジードッグスに入るか、魔界倶楽部に入るか、それか金原軍団作るか（笑）。

――金原軍団は誰がいるんですか（笑）。

金原　わかんないけど（笑）。

――じゃあ、1年後の金原さん復帰を楽しみに。

金原　みんな忘れないでね。いま流れが早いから1年間も経ったら忘れられるよね？

エンセン　格闘技の世界、そうね。ホント、選手は出ないと忘れられちゃう。引退して雑誌も載れなくなっちゃう。

金原　ホントそうだよね、マーク・ケアーとか、ボブチャンチンなんかも、みんな忘れてるでしょ？　あんだけ活躍してたのにさ。だから怖いよ～。

エンセン　でもプロレスはすごいね。いま、どこに行っても「テレビで見た」とか「5・2頑張ってください」とか、そればっかりヨ。「『PRIDE』のボブチャンチン戦見て感動しました」とか、もうなくなってるネ。だからプロレスやってよかった感じする。それでまた格闘技やるともっと、格闘技にファン引っ張れるし、いいことばっかりネ。

金原　エンセン、今度いっしょにノーフィアー倒しにいこうよ！（笑）。

エンセン　2人で高山倒す？　でも、高山怖いよ。顔も大きさも。あれが逆にやっつけやすいな、4代目タイガーマスク。アイツならボコボコに出来るヨ！

――アハハハ！　元シューティングには容赦ないですねぇ（笑）。

エンセン　アイツのマスク取るよぉ！　4代目がこれ読んだら面白いネ（笑）。

――では、恐怖の予告があったところで、金原さんが復帰する頃に、またなんかやりましょう！

金原　復帰する頃なの？　お見舞いリポートかなんかないの？

エンセン　じゃあ、紙のプロレス、一緒に病院行って、点滴早くしたり、チ〇コの管抜くとこ写真とるネ！（笑）。

――ガハハハ！　エンセンのイタズラリポート！（笑）。

エンセン　アハハハハ！　金原さん、お大事に～（笑）。

【03年4月13日／PUREBRED大宮にて収録】

UFC、『PRIDE』を超えるハードルールでバーリ・トゥード開戦!!

ULTIMATE CRUSH

2003.5.2
TOKYO DOME

KING OF SPORTS
JAPAN PRO-WRESTLING

Do Judge!

ファンの皆様、新日本プロレスがガチンコでいきたいと申しております!!

文・構成／ジャン斎藤　designed by Tani-yan（Two Three）

VTに対応すべくリングもチェンジ スプリングは弾まなくなり、ロープは4本に

ファンの皆様、新日本プロレスが〝ガチンコ〟でいきたいと申しております！

と、UFO川村社長風に絶叫してしまう歴史的大事件発生!!

5月2日の東京ドーム大会において、遂に新日本プロレスがバーリ・トゥード（以下VT）を敢行することになった！

これは31年目の再生なのか？ 崩壊への序曲なのか？ もしかして、超大がかりなドッキリカメラ？

そんな余計な詮索をしてしまうほど、非常に危険な賭けとなるプロレスとVTの二部構成。いくらボーダーレス化が顕著なマット界とはいえ、プロレスと格闘技の混合はマット界始まって以来の出来事。同じリングでVTとプロレスがしっかり区分けされることで、あらためて「プロレスとは何か？」と否が応でも考えさせれる試みとなる！

この前代未聞の革命を遂行せんとするのは、いつ何時でも過激なメッセージを新日本に送っていたアントン総帥ではない。〝昭和の仕掛け人〟新間寿氏でもない。新日本プロレスの取締役でもある〝ミスター・ガチンコ〟川村社長でもなかった。エ？ ドラゴン？ 藤波社長だって「殺し合い」を容認する気だよ！

プロレスの根底を覆すプロジェクトの陣頭指揮を執るのは、上井文彦・新日本プロレス渉外担当取締役。上井取締役は新日本のスポークスマンとして、健介離脱問題などの会見で度々顔を出しているので、ご存じの読者の方も多いのではないだろうか？

その上井取締役は新日本プロレスホームページにおいて、VTが導入される5・2東京ドーム大会への所信表明を寄せている。

「新日本プロレスは昭和47年の旗揚げより、キングオブスポーツを標榜し、プロレスこそ最強の格闘技と位置付け、アントニオ猪木はその名のもとに幾多の異種格闘技戦をこなし自身の闘いをもってそれを証明してきました。しかるに近年、K―1やPRIDEという格闘技のライバルが台頭し、新日本プロレスの存在位置そのものが気薄に感じられるようになり、オーナーのアントニオ猪木にさえ存在意義を問われているというのが現在の状況です」

同じHP内で「もちろん新日本プロレスで行ってきた格闘技戦で慣れている部分もありますけどね」と呑気に対応している田中リングアナは現状を理解しているのだろうか？ プロレスの団体でVTが行われるという時点で危機感は大いにあるべきなのだが……やっぱりドッキリカメラ？

新日本の現状に危機感を抱く上井取締役が標榜するのはストロング・スタイルの復興である。

格闘技がベースの選手が集う魔界倶楽部、ジョシュ・バーネットやTKの参戦、格闘エリートコースを歩ませる中邑真輔など、上井取締役には〝強い新日本プロレス〟を取り戻そうとする仕掛けが多いが、今回のVT路線は究極の起爆剤となるのだろう。新日本の未来にどのような影響を及ぼすかはいま現在ではわからないが、この大革命はとてつもないエネルギーを放射しているのはたしかなのだ。藤波社長の肉体改造にしたって、きっとVTをやる気だからだよ！

そして『PRIDE』、UFCを超えるハードさである新日本VTルールの過激さもさることながら、『馴れ合い的な試合を行った場合及び、双方あるいは一方の競技者が作り試合を行った場合』とわざわざ明記するんだから、その覚悟には恐れいる。つ、作り試合ですか……。

ルールについてはP34でも触れているが、新日本は環境面でもVT対応にするためリングを改造。ロープを3本から4本に取り替え可能となっており、スプリングも調節可能でマットの固さも変えられるという。

4月12日にお台場で行われた5・2前夜祭では、初公開されたリングに田中リングアナが「いつもより固くなってます」と余計なカミングアウトをしたりするなど、VTの突風が新日本に吹きすさんでいるのだ。

上井取締役の提言は続き、「プロレスとは、全ての格闘技の要素を含んだ最強の格闘技！……新日本プロレ

スのレスラーはいわゆる総合という名

が大事だと思う。だから僕に新日本

ント方面に針を振った。新日本は今

けなの です。あなた達は今のままで良いのですか？」

？ 決裂か？

リ・トウード

数” デスマッチ開戦!!

スのレスラーはいわゆる総合という名の格闘技も技術も道場の練習でこなし」ていくことを理想とする。

「去年の大晦日、中邑真輔の試合の時、テレビ局などいろいろな事情があったにせよ……セコンドに新日本の選手がいなかった！という現実が私は本当に悲しかったのです」。

本誌編集長風に言えば「気づくのが5年遅い！」、高田総裁風に言えば「やりたいことがわからないのは、もう10年くらい経ってる」話であるが、K-1、『PRIDE』にソフト&ハード面で遅れを取った新日本が、これをきっかけにやっと総合格闘技に本腰を入れることになったのだ。

「5・2東京ドームはうちの選手に対する問いかけなのです。あなた達はいまのままで良いのですか？ 現状に満足せず、新日本のレスラーには常に挑戦してもらいたい」。

上井取締役の勇ましい言葉は続くが、当日VTに挑戦する新日本のレスラーは中邑と中西の2人だけ!!

上井取締役は「会社の方針として（拒否することは）許しません」と、継続的にVT敢行させることを『プレイボーイ』インタビューで力強く語っているが、5・2では新日本勢がVTに挑む雰囲気は当然薄い。

しかも、元UFC王者に見合うファイトマネーを貰えないにも関わらず、「新日本の提示するギャラで充分。お金よりも新日本の強さを見せるのが大事だと思う。だから僕に新日本のフラッグを振らせてくれないか？」とまで言うジョシュ・バーネットの泣かせるエピソードにしても、よく考えれば新日本に参戦して半年足らずのジョシュに言わせてるほうがおかしい話なのだ。

上井取締役が新日本のレスラーにVTで「どうか負けることを怖がらないでもらいたい！」と訴え、先日の『W-1』特別番組でも「新日本のチャンピオンは『PRIDE』の選手に挑戦すべきなんです！」と吠える気持ちが痛いほどわかるのである。

今回、一歩踏み込んだ中西しても「藤田！ お前のステージに〝降りていってやる〟」と従来のプロレス言語で叫んだところで、「だったら『PRIDE』の土俵に降りてこいよ」「自分の人気が出なかったらVTをやるんだろ？」とリアルに切り返した藤田の方が100倍説得力がある。

プロレスとVTが同居する壮大なる実験である5・2東京ドームは、大会前から様々な方面に波紋を巻き起こし、『PRIDE』やK-1の台頭、ミスター高橋本の出版、『W-1』の登場で揺らぐ従来のプロレス観を完全に破壊しようとしているのだ。

そして破壊王風に言えば、この破壊からいったい何が創造されていくのか？

もう1つのプロレスの巨大な実験であった『W-1』はエンターテイメント方面に針を振った。新日本は今回、まったくに逆のVTに針を振ったが、蝶野が言うように「ただ基本的には新日本という会社は〝プロレス〟という看板を掲げている以上、プロレスを見せていく興行会社」である。VTと同じ舞台で行われることにより、プロレスの存在意義を問われることは明白であり、新日本は新しいプロレスを提示をしていかなければならない。上井取締役は、VTの導入という危険な賭けで選手の姿勢を「問いかけ」たが、ファンからは「プロレスとは何か？」ということを問いかけられることになったのだ。

アントン総裁は「格闘技と分けたら、プロレスがプロレスじゃなくなってしまう」と疑念を抱く。

小橋との決戦でプロレスの砦を死守する蝶野は「新日本プロレスが5月2日から生まれ変わる」と声明しながらも、「ただし俺は最高のプロレスを見せるだけ」との従来と変わらぬ姿勢を打ち出している。「プロレスと総合格闘技のどちらが面白いかは、見にきたファンが判断すればいい」とも言う。

プロレスか？ それともVTか？ 融合か？ 決裂か？……それともやっぱりドッキリカメラか？

5月2日に答えは出る！ しっかり眼を開けて見よ!!

プロレスと総合格闘技の どちらが面白いかは、 見にきたファンが判断すればいい

【蝶野正洋／新日本プロレスHPより】

「5・2東京ドームはうちの選手に対する問いかけなので

【上井取締役／新日本プロレスHPより】

融合か？ プロレスとバーリ・
禁断の“敗者追放”

ルーザー・リープタウン

『PRIDE』、UFCを超える凄惨ルール!!
ドラゴンストップ「殺し合いじゃないんだ!」はあるのか!?

「作り試合禁止」の衝撃事項が組み込まれた新日本VTルール「アルティメット・クラッシュ公式ルール」は、『PRIDE』、UFCを超える究極ルールとなった!! だ、大丈夫かよ、こんなの……。

あまりの過激さに大きな反響を呼んでいる新日本VTルール。その概要は下欄の記されているが、これはあくまで抜粋であり、正式なルールブックは17ページにも及ぶ長さだという。

作成の中心になったのは、元リングスの成瀬昌由（現・新日本所属）と、成瀬のラインから招聘されたと思われる元リングスレフェリーの和田さん。この2人が中心となりルール整備が進められたが、ここまで過激なルールの採用については、いくら何でも2人に決定権はないはず。新日本プロレス側の意向も強いのではないだろうか。

一時はロープエスケープ有りのルールも検討されたと言われているが、エスケープどころか『PRIDE』が禁止しているヒジ打ちが認められ、UFCが禁止している4点ポジションからのあらゆる打撃が認められた。一瞬足りとも気が抜けない選手からすれば、極力無駄なムーブは避けて、慎重に手数を出していきたいところだが、攻撃の積極性が大きく考慮される判定基準となっている。動いても地獄、動かなくても地獄――。しかも膠着ブレイクも存在してるというから、究極も究極だ!

もはやリングが血で染まることは必至であり、この過酷なルールに対応する選手の力量は当然問われてくるが、試合を支える審判団の存在も重要となってくる。

レフェリーを務めるのは、和田さんと塩崎啓示氏。ジャッジには岡林章氏、平直行氏など、総合格闘技ではおなじみの面々が試合をサポート。本誌としては、藤波社長に「殺し合いじゃないんだ!」と凄惨なシーンをドラゴンストップする役割を担ってほしいが、お呼びじゃないかドラゴンは。

和田「アグレッシブ、ダメージを一番の主軸に考えて作ったルール」――。何が起きるんだ!?

【主な反則】（15）双方の競技者が、互いに戦意を示さず、馴れ合い的な試合を行った場合及び、双方あるいは一方の競技者が作り試合を行った場合。

新日本プロレスリング ULTIMATE CRUSH オフィシャルルール

【試合形式】
◆試合時間：規定3ラウンド（5分×3R）インターバル90秒
◆試合規定：規定3ラウンド・マストシステム採用によりドロー判定無し（延長ラウンド無し）
◆試合規則：オフィシャルマッチは全て5分3ラウンド制とし一本勝負とする。

【体重制限】
◆アルティメットクラッシュ・オフィシャルルールにおいては、体重制限は設けず、原則的にフリーウェイト制とする。

【競技コスチューム】
◆着衣
※スパッツ
※ムエタイ・ボクシング等のトランクス
※伝統的な格闘技の道着の上・下
※全身がフィットした薄手のウェットスーツ生地等及び**覆面**
◆防具
※マウスピース・ファウルカップの着用の義務。
※オープンフィンガーグローブの着用の義務。（主催者認定の指定した物）
※シューズの着用は自由。（レスリング・サンボシューズ等）
※エルボーパッド・ニーパッドの着用は自由。
※シンガード・レガースの着用は自由。
◆身体保護・補強用具
※ナックルパート（拳頭）へのバンテージ・テーピングの着用は自由。
※古傷・怪我等の負傷個所へのテーピング・サポーターの着用は自由。
※身体へのワセリン・グリース等、油脂類塗布による使用は一切禁止。
◆試合における競技用着衣使用の規定
試合中の競技用着衣の使用において、着衣を掴む・引っ掛ける等の利用行為は、伝統的格闘技の道着の上・下に限り有効とし、それ以外の着衣（スパッツ・トランクス等）の利用行為は認められない。尚、道着の帯を掴む・引っ掛ける等の利用行為は認められるが、帯そのものにおける絞め・関節技等による利用行為に限り禁止とする。

【勝敗の決定】
◆タップアウト（T.O.）
◆ノックアウト（K.O.）
◆テクニカルノックアウト（T.K.O.）
※レフェリーストップ
※ドクターストップ
※棄権（セコンドが、試合中リングにタオルを投入した場合）
※試合放棄（戦意喪失）
◆判定勝ち
◆反則負け

【競技規定】
◆スタンド・グランドポジションに関わらず、膠着状態の場合はブレイクとなる。

【判定】
◆ジャッジ3名・加点法によるマストシステム

【主な反則】
◆目に対するあらゆる攻撃。
◆鼻腔・耳腔・口腔・肛門等の粘膜部位に指を入れる・引っ掛ける等の行為。
◆咽喉（喉仏）への直接的な鷲掴み。但し、**ラリアート**による当て身技の攻撃は認められる。
◆金的部位へのあらゆる攻撃。
◆頭髪等の体毛を掴む行為。
◆後頭部・延髄・脊髄へのあらゆる打撃攻撃。
◆手足の指3本以下を掴む・折る等の指関節技の行為。
◆顔面・頭部への肘下ろし打ちによる打撃攻撃。
◆頭突き（ヘッドバット）攻撃。
◆リングロープ・コーナーパッド・マット外側部を掴む等の利用行為。
◆相手競技者をリング外へ突き落とす・押し出す・投げる等の行為。
◆自ら故意に、エスケープするようにリング外へ（場外）逃げる・出る行為。
◆道着の帯そのものによる関節・絞め技等における利用行為。（首を絞める等）
◆身体にオイル・ワセリン・グリース等の油脂類を塗布する行為（潤滑する整髪剤等も含む）。
◆双方の競技者が、互いに戦意を示さず、馴れ合い的な試合を行った場合及び、双方あるいは一方の競技者が**作り試合**を行った場合。

【主な有効技】
◆有効個所へのあらゆる打撃技。
※顔面・頭部への肘打ち。
※グランドポジション（四つんばい、あお向け、うつ伏せ等）での顔面・頭部への蹴り上げ・踏みつけ・膝蹴り・膝落とし等。
※上腕・前腕部等で、相手の顔面・頭部・頸部へのラリアートによる当て身技。
※グランドポジションにおける顔面・体幹部等への**ボディプレス及びヒッププレス**等の浴びせ技。
◆あらゆる関節技。
◆あらゆる絞め技。
◆あらゆる投げ技。
◆あらゆる固め技。

再生か？ 崩壊か？
ULTIMATE CRUSH
5・2新日本プロレス

もうどうにも止まらない！

アントン総帥 成田会見

プロレス・格闘技の2部構成に大反発!!「失敗したら新日本の名前を変えてもらう!!」

時代の変化を気付かせるべく、いつ何時過激なメッセージを新日本に送り続けてきたアントン総帥。今回、新日本はバーリ・トゥード進出することで、新しいプロレスの形成を目論むが、アントン総帥の胸中はいかがなものであろうか？　先月の26日と今月の9日行われた成田会見は、新日本とアントン総帥のいまだ変わらぬ距離を浮き彫りにしている、5・2を考える上で欠かせない会見となった。

◆プロレスと格闘技を分けるって？

その分けるということが、何回も言ってるようにわかんないね！　それはもう根本的に〝猪木プロレス〟じゃなくなってるんだから、ある意味での猪木イズムというものが一人歩きしたりしている。もうね、ズバリ言って猪木イズムを封印してしまうかもしれないね。結局、いまのプロレスは猪木のプロレスじゃないんだよね。ファンの人からもそういう手紙をもらったりするんだけど。「これは面白いだろうな」っていうマッチメイクや秘策を彼らが生み出せれば、それは脱皮した形になっていくけど。要はいままでの遺産を引きずってやってる限りは、多少の色を変えたとしても世の中そんなに甘くねぇですから！

◆「新日本プロレス」の名前を変えろ!!

この半年、1年はなんかやたらに俺の色を拒否してたのが、ここにきて逆転しちゃって猪木色を強くしてるわけですからね。別に強くするのは構わないけれど、それが俺の意志とそぐわなければ、そこをちょっと難しいよと。（新日本が）心地良ければいいけど、良くねえもんね！　いまはみんな俺の言うことに聞く耳は持とうとしてるけどさ。いままでは聞こうともしなかっただろ？　そのたびに俺を悪役に仕立てようとした馬鹿もいてさ。まぁ、全部の責任を取れとは言わないけど、（5・2は）1年の総決算だし、結果は結果で責任は取らなきゃいけない。新しく生まれ変わるんだったら、社名でも変えるまでね。だって新日本じゃ世界に通用しねぇもん!!　しかも老舗だから社員の奴らも何人かアグラをかいて、ある人からも「あの態度はなんだ!?」って俺のところに来てるんだけど。その老舗の看板だけで偉そうにしてる奴は俺のところに連れてこい！　ブン殴ってやるよ！

◆俺が調整期間の役割をする

（5・2ドームに）Ｋ―1の選手が出るけど、いろんな問題が出てきて調整役をやらされてるんですよ。面倒くさいんだけど、ファンに夢を与える意味でもやっていかないとね。コミッショナーというのは嫌いなんで、それに代わる言葉を探してるんですけどね。まぁ、（挑戦期間を）やるのは俺しかいないというか。ンムフフフ。

◆俺は5・1も触ってねえですから！　どうなる!?　5・1「猪木フェスティバル」

パチスロブームらしくて、（俺の台が打ちたくて）長蛇の列ができているというか。ンムフフフ。（パチンコ店から）イベントに呼ばれてるんだけど、現実問題として全国の店を回るわけにはいけねえですからね。だったら、東京ドームに集まってやってもらおうかなと。ただ、そういうアイデアは出したけど、俺は（5・1も）触ってないですからね。何で俺がやらなきゃならないの？　そんな湿っぽいんだったらやめとけよって。ンムフフフ。

◆〝狂犬ストーカー〟イズマイウ来日？

（5・1には）ロス道場の選手がノーギャラでもいいから上がりたいと言ってるでね。出るかどうかはわかりませんけど、とりあえず連れては来ますけどね。

◆永久電機完成間近!?

中東湾岸のいろんな国の格闘ファンや王子が（大会開催の）話を持ってきましたね。中国からも前から打診が来てるんですけどね。でも、俺はもうやらないですよ。やりたい奴の応援をするだけであって。もう何遍も言うように俺の役割も変わってきてるんでね。プロレスだけじゃないんですから。俺も昔からいろんな事業をやってきたけど、それは選手が惨めな思いをしないようにだからね。俺は我々の先輩がどのような道を辿ったかを知ってるから、俺たちの後輩が少なからずそのような目に遭わないように、いろんな種を蒔いたりしてきてるんであって。それは思い続ければ必ず実るというか、俺の周りではやっと芽が出てきましたから。もうそろそろですね。世界中が俺を追いかけ回すことになって、プロレスの記者さんたちとは会えなくなる日も。ンムフフフ！

本当かよ!? 呑気なブラジル青年に実力者説が浮上!!

"猪木Ⅱ世" LYOTO

"新日本の若虎"中邑真輔と共に新日本VT路線のエース格として期待されるLYOTO。空手、相撲、柔術と様々な格闘技を習得しており、"猪木2世"として将来を嘱望されているが、今回がプロデビュー戦。情報不足も手伝って、その実力を不暗視する声も挙がっている。はたしてLYOTOは強いのか？　そして何者なんですか？　呑気な顔立ちのブラジル人の実像に迫った!!

移民先のブラジルでアントン総帥が力道山に見出されたように、アントン総帥がブラジルより発掘した日系2世LYOTO（リョウト）。デビュー前から"猪木2世"という冠が付けられるほど、将来を期待される実力を持っているらしいが、いまだ実像はベールに包まれたまま。至って呑気な顔立ちから"猪木2世"の殺気どころかドン・中矢・ニールセンに似てるぐらいの印象しかないのだが、驚くことに「LYOTO、強ぇ！」という情報が各方面から寄せられている！

LYOTOは本当に強いんです!!

……と、書いてる自分ですらまったく信じられないのだが、呑気なブラジル青年に浮上した実力者説を、デビューまでの足取りと共に検証しよう。ダーッ（呑気に）。

最近ではテレビや専門誌に度々登場していることで、存在が知れられるようになったLYOTOだが、当初は存在すら疑わしかった。LYOTOの名前が報道されたのは昨年の5月22日、アントン総帥の成田空港会見でのこと。「『PRIDE』、K-1、プロレス……。何でもアリのモハメッドな凄ぇ奴がアマゾンにいた！」と突如ブチかましたアントン総帥。その後も成田空港会見が開かれる度に「とにかくLYOTOは凄ぇですから！」とイヤになるほど愛弟子を猛アピール！　しかし、試合をやるどころか姿さえも現さないLYOTOに、アントン総帥の成田会見恒例となった「永久電機」話同様、マスコミはすっかり黙殺。聞き流すのは当然なのであった。

実はLYOTO、アントン総帥が名前を口に出す前から幾度か来日をはたしている。藤田が悪夢のアキレス腱断裂に見舞われ、小川直也出場問題で揺れに揺れた一昨年の『猪木祭り』も観戦している。その『猪木祭り』では藤田、小川の不出場によりバンナの相手が決定せず関係者を慌てさせたが、そこでアントン総帥は「ブラジルにイキのいい若い奴がいる。そいつにやらせよう！」と緊急提案したらしいのだ。そのイキの良い若い奴とはLYOTOのことに

【LYOTO】ブラジル名:リョウト・カルヴァーリョ・マチダ。1978年生まれの24歳。185センチ、94キロ。空手3段、相撲2段、柔術紫帯。空手は州大会、ブラジル大会、パン・アメリカンで活躍。型、組手と優勝は数え切れない。相撲は州大会15歳の部・優勝、00年ブラジル大会115キロ以下準優勝。柔術は州大会15歳以下で優勝、白帯の部で準優勝。

KING of SPORTS NEW JAPAN PRO-WRESTLING
再生か？ 崩壊か？
ULTIMATE CRUSH
5・2新日本プロレス

ホント!?「寝技でLYOTOに勝てる日本人はいない」とアントン総帥が断言！

良い若い奴とはLYOTOのことに違いない！　きっと、そうだ！
　一昨年の紅白にはGacktが初出場しているが、LYOTOが初試合したところで視聴率的にはプラスの要素はズバリ言ってまったくなし！　打倒・紅白を目論んでいたアントン総帥が、そんな無謀なプランを実行しようとするほど愛弟子への愛情は高く、それだけ期待は大きいと言えよう。
　そのLYOTOが遂に表舞台に姿を現したのは、昨年の11月『PRIDE．23』のアントンタイム。翌月の『猪木祭り』出場の噂も流れたため、さっそく本誌はインタビューを敢行したが、『日本で成功してやる！　たっぷり稼いでやるぜぇ！』というブラジリアン特有のギラギラ感皆無であり、「茨城のおじいちゃんに会ったことが嬉しかったなぁ。親戚はいいもんだねぇ」とホノボノさ満点。〝猪木2世〟として期待されてることを伝えると、カタコトの日本語で「ホント!?　イノキニセイ？　イノキニセイ？」と無邪気にはしゃぐLYOTO……。
　結局、『猪木祭り』の出場は、公開プランも浮上していた永久電機と共に見送り。今回、ようやく謙吾とのVTデビュー戦が決定したが、舞台がプロレスのリングという不信感からなのか、格闘技専門誌に「彼はプロデビュー戦。謙吾はともかく、はたしてバーリ・トゥードの試合ができるのか」と意味不明な突っ込みを受ける始末。デビュー戦だとバードできねえのかよ！
　あまりにもミステリアス過ぎるので疑問を投げかけたくなるのはわかる。

いきなり「日本でLYOTOに寝技で勝てる奴はいない」とまでアントン総帥に言われたら誰だって胡散臭く感じるし、実際LYOTOは、ノゲイラを育てた柔術家・デラヒーバの一番弟子から指導を受けているが、州大会レベルの戦績しか収めてない。
　ところが、そのアントン総帥の豪語振りが、あながち間違いではないことが本誌の取材で明らかになった！
　藤田和之に連れられGIスクエアを訪れたLYOTOとスパーリングをした滑川康仁の証言によると「寝技、強いよ。あの体重で高瀬（大樹）選手レベルの足さばきだから」とマニアックなたとえで高評価！　高瀬といえば「桜庭さんと菊田さん以外、寝技で負けることはない」と語る実力者である。ホントかよ、滑川!?　足を大怪我して不自由だから、凄い足さばきだったと思えるんじゃ……。
　続いて、名前を出さないこと条件に寝技世界一の某選手に聞いたところ「スパーリングをした限りでは、黒帯……いや、茶帯レベルだね。謙吾選手とやるんでしょ？　打撃vs寝技という意味では面白いね」。そして、ロス道場を管理するイズマイウやジャスティン・マッコリーもその寝技を高く評価していると聞く。出稽古先ではあのレナート・ババルまでもが「俺以上の実力を持っている」と言うではないか！　まぁ、日本に来るならワラにでもすがりつくイズマイウと、破壊王とアントン総帥がマーク・ケアー問題で揉めた際、ZERO-ONEを裏切った御褒美としてロス道場を任されたマッコリーである。ヨイショ発言も十分有り得るし、ババルにしたって最近は低迷気味だし否定材料はなくもない。しかし、それでもパンアメリカン空手王者のLYOTOが得意分野の打撃ではなく寝技だけでここまで評価されると、幻想だけは高まるばかり。その空手にしても、しっかり実績はあるものの、アントン総帥が「ちょうど兄貴のグループの弟子なんです」と、実兄・相良寿一氏が主宰した〝伝説の空手〟三次元神来手の流れを汲むことが判明するのだから、どこを切ってもミステリアスな〝猪木2世〟！
　スミヤバザルやジミー・アンブリッツにしても幻想溢れる存在であるが、映像や戦績などから全貌は明らかになっている。LYOTOは、情報が発達した現代に消滅したはずの〝未知の強豪〟なのだ！　未知過ぎるのが不安を感じさせるが、正体不明だからこそ我々の予想を超える結末を生んでくれるに違いない。
　5月2日、その正体を見ずにはいられない！　ンムフフフ！

再生か？崩壊か？
ULTIMATE CRUSH
5・2新日本プロレス

実力は測定不可能!! リアルなベースを持った 幻想VT戦士!!

MMA

元UFC王者ジョシュ、待望の日本VTデビュー!! 怪物アンブリッツも侮れないぞ！

ジョシュ・バーネット
×
ジミー・アンブリッツ

まさかジョシュの初ＶＴが新日本のリングで見れるとは！シュルト、クートゥアーなど撃破した実力を持つ元UFC王者ジョシュの相手は、キング・オブ・ゲージ王者アンブリッツ。ダン・ボビッシュに勝った経歴を持ち、ベンチプレス340キロをリフトするモンスターだ。ジョシュ危うし!?

蒙古戦士襲来!! 横綱・朝青龍の実兄が世界のＴＫとド迫力顔の対決だ！

ドルゴルスレン・スミヤバザル
×
高阪剛

ブルー・ウルフ＆朝青龍の実兄はモンゴル相撲の猛者であり、レスリング・フリースタイルのモンゴル代表としてアトランタ＆シドニー五輪に連続出場。WWEのカート・アングルと対戦し僅差の判定負け。脅威のポテンシャルを秘めているが、一番の驚きは27歳らしからぬこの顔だ！

五輪レスラーの実力が爆発!? 新日本の“最終兵器”は“世界一のバカ”だった!!

中西学
×
藤田和之

全日本選手権3連覇、バルセロナ五輪出場と輝かしいアマレスの実績を持つ中西だが、どこでどう道を間違えたのかすっかり“世界一のバカ”キャラが定着。バカ返上と新日本の強さを取り戻すためにVT初出陣する。アルゼンチンが炸裂すれば、ドームは爆発必至だろう。ホー！

“新日本の若虎”中邑が2度目のVT敢行!! K-1巨人戦士狩りに挑む!!

中邑真輔
×
ヤン・“ジャイアント”・ノルキヤ

昨年、安田忠夫戦でデビュー。すぐさまアメリカに渡りVT特訓後、『猪木祭り』に参戦。ダニエル・グレイシーに一本負けを喫したが、初ＶＴとは思えない勝負度胸の良さをみせた。新日本VT路線の鍵を握る男は、青山学院大学レスリング部主将を務めた経歴を持っている。

パンクラシストが新日本初登場!! 船木の秘蔵っ子が猪木の秘蔵っ子と激突!!

謙吾
×
LYOTO

“尾崎の野郎”ことパンクラス尾崎社長に「あとは実力だけ」と誉め言葉（？）を送られた謙吾。永遠の“未完の大器”から脱却すべく、未知なる世界・新日本のリングに登場！　“猪木2世”ことLYOTO と対戦する。マルコ・ファス道場で特訓した成果を発揮できるか？

5・2大会カード

＜格闘技＞
- ◆LYOTO vs 謙吾
- ◆ドルゴルスレン・スミヤバザル vs 高阪剛
- ◆中邑真輔 vs ヤン“ザ・ジャイアント”ノルキヤ
- ◆ジョシュ・バーネット vs ジミー・アンブリッツ
- ◆中西学 vs 藤田和之

＜プロレス＞
- ●飯塚高史 vs ケン・シャムロック
- ●エンセン井上 vs 村上和成
- ●天山広吉 vs U-30優勝者
- ●金本浩二&獣神サンダー・ライガー vs タイガー・マスク&ヒート
- ●小橋建太 vs 蝶野正洋
- ●永田裕志 vs 高山善廣

【日時】5月2日(金) 17：00～
【場所】東京ドーム
【お問い合わせ】新日本プロレス
TEL 03-5468-3111

Information

★猪木のファン感謝デー
ULTIMATE FESTIVAL
永久電機は登場するのか!?
アントンの謎掛けイベント!!
【日時】5月1日(木)　18：30～
【場所】東京ドーム
【入場券】¥2000（5/2ドーム大会のプレミアムシート、アリーナA、アリーナBチケットをお持ちの方は無料）
【お問い合わせ】新日本プロレス
TEL 03-5468-3111

Pro-Wrestling

蝶野正洋 × 小橋建太（王者）

プロレスの砦を守る2大対決

永田裕志 × 高山善廣

紙のプロレスRADICAL

2003 NO.61 CONTENTS

山口　いまだに正式な読み方がわからない

ない（笑）。

の失言をビデオで上映したら、いきなり

山口日昇&吉田 豪が毒舌トークで送る
月刊Y²談

新日本VT敢行!!

英雄撃沈!!

サスケ当選!!

一寸先はハプニングのマット界――。
強気の一足が道となる!!

VOL.04

構成／ジャン斎藤

designed by matsu［Two three］

超大物を使った新組織の噂もあるし、格闘技方面も一寸先は闇な状態［吉田］

山口　いまだに正式な読み方がわからない『月刊Y2談』だけど……今回も例によってターザンの『生ゴン』降板ネタから入るつもり？

吉田　当然です！（キッパリ）。その件については、この前やったロフトプラスワンのイベントでも、ターザンは思いっきり炎上してましたからね（笑）。

山口　ガハハハ！　まだ騒いでるんだ、ターザン（笑）。それって、豪ちゃんとターザンが何ヶ月かに1回ロフトで開いてるイベントのこと？

吉田　ええ。で、この間やった回では『サムライTV！』との降板交渉を暴露したんですけど、ホントにとんでもない話なんですよ（笑）。まず騒動勃発当初、ターザンは『サムライ！』側から「番組を1ヶ月休め」と言われたらしいんですけど。

山口　交渉の落とし所を、ほとぼりが冷めるまで時間を置くことにした、と。

吉田　ただ、その交渉場所がターザン曰く「プアーな店」だったらしくて「俺にはVIP待遇しなきゃダメなのに、出された食事がソーセージの盛り合わせですよォォォ。それで人間性がわかるじゃないか！」つまりターザン的には、『サムライ！』側の人間は「ソーセージの盛り合わせ程度の人間性」ってことだったんですよ（笑）。

山口　ガハハハ！　それは逆にターザンの人間性がソーセージ級だって証明なんじゃない（笑）。

吉田　加えて「こっちは契約してるんだから、人に休んでくれって頼むなら条件を提示しないとダメですよ。たとえば100万円出すとか、それが普通なんですよォォ！」って、誰がどう考えても普通じゃないことを狂ったように言い始めたから、それまでノリノリで聞いていたイベントの客も一斉に引いちゃって（笑）。

山口　なんで番組を休むだけで100万円も貰えるんだよ。出てもそんなに貰えないだろ（笑）。しかし、あのオヤジのまがまがしさには誰も勝てないよなぁ……。

吉田　しかも、その話し合いで最後に「よし、わかった！」って言っておきながら、各地で『サムライ！』&ノアの悪口を言いまくったから、知っての通り『サムライ！』から絶縁宣言されるハメになったんですけどね（笑）。

山口　ターザンは諸事情に対して「わかった！」って納得したんじゃないの？

吉田　いや、「そのときの『わかった！』は『お前たちの魂胆はわかった！』って意味なんだよォォォ！」とのことでした（笑）。

山口　俺もわかった！　その件は100%ターザンが悪い！　以上!!（笑）。

吉田　その上、ターザンは「ノア＝フセインですよォ!!」なんて失礼なことも断言してたのに、イベントで騒動のきっかけになった『月曜生ゴン』の三沢会見とターザンの失言をビデオで上映したら、いきなり「……いま見たら、ノアは全然悪くないなぁ」って言い出したわけですよ（笑）。

山口　素直なんだかネジ曲がってんだか、まったくわからない（笑）。

吉田　「（仲田）龍ちゃんはホントはいい人なんだよぉ」「この日は何かイライラしてただけなんだよなぁ」ってことで、ターザン的には『サムライ！』問題は終焉を迎えたらしいです（笑）。

山口　だけどさ、この騒動のおかげで俺も『サムライ！』から外されたっていうじゃない？　よく知らないけど。

吉田　会長（山口日昇のアダ名）は気がついたら『U－STYLE』の解説から外されてましたね。まあ、ターザンの代打で出た『月曜生ゴン』で無闇に「方舟！」発言を連発したから、しょうがないでしょうけど（笑）。

山口　あとね、『紙プロ』でも『サムライ！』や『生ゴン』の話を毎回のようにしてるじゃない。そこで、うちのガンツが「（『サムライ！』は）ホントにアスホールが小さいですね」って言ったことかなんかが上層部の怒りを買ったっていう話も聞いたよ（笑）。

吉田　それってガンツに確認したら、どうやら『SRS－DX』座談会での小松（魔裟夫）君の発言みたいですけどね（笑）。

山口　ふ～ん。まぁ、本当にアスホールが小さいのはターザンって気がしないでもないけど、俺も豪ちゃんも『サムライ！』には出られないってことなんだろうな。

吉田　残念ながら浅草キッドも『月曜生ゴン』から外れたわけですけど、最終日には玉ちゃんが「菊池さんもいなくなるの？」とか言ってたそうです（笑）。

山口　ガハハハハ！　やるなぁ、玉ちゃん！（笑）。

吉田　で、代わりに毎週木曜日に『浅草キッドの海賊男』という録画収録のコーナーが始まって、最初のゲストが前田日明だったわけですけど、遂に『紙プロ』絶縁宣言が飛び出しましたね！

山口　ああ～!!　俺、この間仕事で徳島に行ったんだけど、第二次UWF時代から徳島のイベントには欠かせない福田の大将っているでしょ？

吉田　フクタレコードの名物店長ですね。

山口　その福田さんの店に挨拶に行ったら「昨日、アキラ兄さんが山口さんのことを言っとったで」って言われてさ。その場でビデオを見せてもらったんだよ。

吉田　（水道橋）博士が「最近は『紙プロ』にも出ないし」って振ったら、前田が「山口はね……」って言い始めた途端、ピー音が2～3分も流れ始めるという衝撃の放送だったわけですけど（笑）。何か心当たりはあるんですか？

山口　そのピー音のところは、俺が某イベントに某選手をブッキングをして大金貰ってるという話でしょ、たぶん。そのことは

月刊Y2談

Y2談出席者

○山口日昇
本誌絶賛報道中のターザン降板騒動の余波（？）で、しばらく『サムライ！』の出演機会がなさそうな本誌・鬼畜編集長。U-STYLE旗揚げ戦で解説を務めた勇姿を読者の皆様にお届けします。隣にいるのはTKです。

吉田 豪○
本誌・スーパーバイザー。今号のプロフィールPHには、吉田豪の秘蔵写真から懐かしい顔が並ぶ一枚がセレクト。右・アメリカ君、中・原タコヤキ君。ちなみにタコヤキ君の『紙プロ』離脱もソープ事件が発端らしいです。

去年からアッチコッチで前田日明が言い回ってたみたいなんだけど、面白いことに額がどんどん釣り上がるんだよね。最初は300万だか400万で、それから700万になって、いまでは1千万貰ったって話になってるんだよ（笑）。

吉田　「倍率ドン！　さらに倍！」って感じですね（笑）。

山口　だから、ここで宣言するけど、俺はこれからどんな仕事でも1千万以下では受けません！　原稿でも、たとえ一文字書くだけだとしても1千万円以下じゃ受けないですよ!!

吉田　どうしてそういう子どもみたいなへソの曲げ方をするんですか（笑）。

山口　だって、ものには相場ってものがあるし……（ムキになって）それに頭にくるじゃん！　そんな言われ方してるって聞いたら。

吉田　実際、ブッキングには関わってるってことでいいんですか？

山口　ブッキングって言われてもさ……俺がやったのは、ブッキング専門のブッカーKとかがやってることとは違うからね。たとえば簡単に言うと、俺が「このタイミングで●●対▲▲」があったら盛り上がるなぁって考えたとするでしょ。その企画をイベントをやる側としてもやりたいんだけど、進めるには数々の障害がある。その選手に企画の芯や意味を説明したり、イベント側の意向を伝えたり、その選手の意見を聞いたり、その他の交渉事も当然やらなきゃいけない。でも、イベント側にはその選手とのパイプがないから、俺にやってくれって頼まれたんだよ。

吉田　要するに、女子格闘技なんかでチョロでもやってることですね。

山口　へぇ〜、チョロってそんなこともやってんだ！　進行もロクにできないのに……って、チョロと一緒にするなよ!!　実際、鬼のように大変な作業なんだから。

吉田　で、その企画をやったことによって某イベントから大金は貰えたんですか？

山口　大金は貰えないよ。交渉事をするときの大まかな経費は貰ったけどね。持ち出ししてるものを後から貰った。時間もベラボウにかかったし、それは貰わにゃウソでしょ。大まかな経費だから大赤字だったときもあるし、ほんのちょっと黒字が出たときもある（笑）。

吉田　お酒の出るような店で選手と交渉するときの経費は貰っているけど、成功報酬は貰ってない、と（笑）。実際、その某イベントもそんなにお金ないみたいですからね。儲かってそうだから、みんな誤解してる部分はありますけど。

山口　俺、去年さ、前田日明がそういうことを言ってるって聞いたときは、頭にきて2日間寝られなかったからね（笑）。「一方向からだけじゃなく三つの方向から聞いた」とか「信頼してる人から聞いたから間違いない」とか言ってるらしいけど、じゃあ俺のことは信用してなかったんかい！って。「フェイス・トゥ・フェイスで向き合えば、人間わかり合えないことはないんだよ」って何度も本人から聞いてたけど、俺とは一切その件については直接話をしてないんだから。

吉田　会えば簡単に誤解は解ける話なんだから、会えばいいじゃないですか。

山口　会ったら確実に怒鳴られるじゃん。怒鳴られるの嫌いなんだよ、俺（笑）。

吉田　またそんな子どもみたいなこと言われても困りますよ（笑）。

山口　だって、なんで身に覚えがないことで怒鳴られなきゃならないんだよ（笑）。でもさ、去年ゴールドバーグが初来日したとき全日本の会場に行ったら、元子さんに「あの人でしょ、ゴールドバーグを入れて掻き回したのは」って指されてたっていうしさ……。ズバリ言って、ゴールドバーグなんか触ったことねぇですから！

前田日明から、遂に『紙プロ』絶縁宣言が飛び出しましたね［吉田］

吉田　ダハハハ。女帝の目に入るなんて光栄じゃないですか！

山口　あとは、会ったこともない人に根も葉もない噂を広げられたり、裏で悪口をネチネチ言われたりさぁ……ホント、この業界って人の足を引っ張ることに関しては尋常じゃないエネルギーを生むよね。そんなことやってる場合かっていうの！　だいたい誰がどう儲けたとか儲けないとか、そんなことどうでもいいじゃん。この業界はね、女々しいんだよ、女々しい!!

吉田　ダハハハ！　なんで前田日明化してるんですか（笑）。でも、このままだと会長の誤解はドンドン広がりますよ。何しろブラジリアン・トップチームをリングスから引っ張ったのも会長だって噂になってますからね（笑）。

山口　………そういうことにしとこう！　もう、それでいい。（投げやり気味に）ボクが1千万円貰ってみんな引っ張りました！　ゴールドバーグもロシアン・トップチームもプラソ・デ・プラタも全部俺です

よ！

吉田　ダハハハ。なんで突然ブラタが出てくるんですか。でも、ルチャ軍団はありそうですよね（笑）。かつて中学生時代にマスカラス・ファンクラブの会長も務めた男がドス・カラスの息子やエル・カネックを使って、大嫌いなパンクラスを貶めたと考えればすべて合点がいく気がするし。

山口　合点するなよ、そこで！　パンクラスが大嫌いなんて遠い遠い遠～い昔の話ですよ（笑）。

吉田　じゃあ軽くフォローすると、本当に会長が儲けていたら『紙プロ』はもっと羽振りがよくなってるはずですからね。ボクも事務所代代わりに『紙プロ』を手伝ってたら、いつの間にか『紙プロHand』（iモードサイト）で毎週更新のコラムまでノーギャラでやらされてるボクが言うんだから間違いないですよ（笑）。

山口　人聞きの悪いこと言うなよ。ギャラはちゃんと払うよ！（なぜか嬉しそうに）あ、そうだ。こうしよう！　ギャラの代わりにソープに連れて行ってあげるよ、豪ちゃん！（笑）。

吉田　今度は絶対に信用しないです！（※編集部注＝かつては『紙プロ』社員だった吉田豪がフリーになったきっかけは、『Rintama』創刊号で「儲かったらソープに連れて行く」と言い残し失踪した山口の分まで仕事をして、実際に儲かったにも関わらず一人でソープに行った山口に激怒したため）。

山口　でも前田総帥に誤解を受けたのは、きちんとフェイス・トゥ・フェイスで向き合わなかった俺も悪いんだけどね。まぁ、日明兄さんにも、そろそろ動いてほしいけどねぇ……と、その問題はそれくらいにして、そろそろ今月を振り返ろうか。今月見た試合では『U－STYLE』の田村潔司vs三島☆ド根性ノ助が面白かったな。

吉田　『U－STYLE』はメインだけ評判がいいですよね。田村vs三島に〃闘い〃は見えたんですか？

山口　うん。大会全体としては田村自身が「選手やスタッフの緊張感がまだまだ足りない」って言ってたようにもの足りなかったんだよ。プロレス界や格闘技界に〃闘い〃を挑むという点では緊張感が足りなかった。でもメインは三島の良さを田村が引き出したし、三島も初めてのスタイルにしてはファンをビックリさせるムーブを見せてたからね。でも本人たちよりスタッフのほうが緊張したんじゃないかなぁ、初対決だし。三島がファースト・エスケープを奪ったんだけど、そこまでの過程で盛り上がるっていう雰囲気も久々に味わったね。

吉田　ファースト・エスケープを奪うまでが勝負ってことで、三島的には目標は達成したんでしょうね。

山口　三島はそのことに全神経を集中してたから、後半はスタミナが切れちゃったけどね。でもその後の田村のスタミナには驚いた。初めてであそこまでできる三島も大した選手なのは間違いないけど、あのスタイルでは田村はやっぱり横綱だね。久しぶりにカッコいい田村を見た。

吉田　つまり、ここ最近は全然格好良くなかった、と？（笑）。

山口　（無視して）でも『U－STYLE』の理念が選手間にまだまだ浸透してないよね。田村がまだ伝え切れてないというか、田村もイチイチ言う人じゃないからなんだろうけど、下の選手にしてもどうやっていけばいいのか手探りしてるっていう部分が見えすぎる。今回もロープに飛ばそうとしたり純プロレスムーブを見せた村浜の試合後の発言（「窮屈でやってられない」etc）は溝を生みそうな気配だけど、そこで溝を〃広げながら埋めていく〃作業が緊張感を生んでいくと思うんだよ。『U－STYLE』はあのキャパでやっていく分には面白くなると思うけど、やっぱりマット界全体に波及していってほしいじゃない。「やりたくない人はやらなくていい」っていう考え方だけだと、ヘタしたら田村潔司の家庭菜園的な空間になりかねない。理念をハッキリ打ち出した上で、各自の考え方の溝はリング上の闘いで埋めていく。そういう緊張感ある空間の中で、各選手が各々の存在感を出していけば、大きくなっていけると思うけどね。

吉田　そういう意味では今月、一番存在感が出てたのはサスケ社長ですかねぇ（笑）。

山口　ガハハハ！　お前、『U－STYLE』見てないからってムリヤリ話を展開させるなよ！　まぁ、サスケ社長の当選は喜ばしいことだけど前代未聞と言えば前代未聞だよな。マスク姿で選挙活動して当選するんだから（笑）。

吉田　マスクマンって、マスクの形や色を変えたり妙な懲り方しますけど、サスケ社長は手抜きと思えるほど変えてないのがプラスになったんでしょうね（笑）。

山口　しかも議員になってもマスクを脱が

サップは〃怒〃の部分が全然出ないうちに、〃哀〃のまま負けてしまった【山口】

ないって言ってるでしょ。「これが私の素顔なんですよ～」って（笑）。

吉田　まあ、素顔だと確実に落選してたはずですからね（笑）。

山口　ヒドイこと言うね、キミ（笑）。サスケのマスク問題は一般マスコミでも大々的に扱ってるね。「マスクは脱げ」と言ってる人たちの言い分としては、「有権者は政治家の表情を見ながら判断していくもんだから、表情が見えないのは問題だ」っていうことが大きいんだろうけど、この前、報道番組に電話出演したサスケ社長は、自分の映像を見ながら「いやいや、ちゃんと見てください。喜怒哀楽が見えませんか？　出てるじゃないですか！」と言ってたからね（笑）。

吉田　サスケ社長は過去にAVに出たときも「マスクの下で表情を出すのが私のテーマだ」って言ってましたからね（笑）。

山口　ガハハハ！　だから、いまそういうことをぶり返すんじゃないよ！（笑）。でも『フライデー』（4月18日発売号）ではさっそく高校の卒業アルバムの写真が載ったし、今度出る『週刊ポスト』ではそのAVの話が暴露されるらしいし、『週刊現代』ではMASAみちのく時代の素顔の写真が載っかるらしいよ。

吉田　サスケ社長はホント隙だらけですからね。ボクが対立候補だったら、あれだけ誹謗中傷ビラを撒きやすい人もいないですよ（笑）。

山口　それ以上にサスケもタフだから大丈夫だと思うけどね（笑）。さっそく表情が見えやすいものに改良したマスクを発注してるっていうし。でも、俺は前からサスケを〝喜怒哀楽がハッキリわかるマスクマン〟だと思ってたよ。だって見えちゃうんだもん、喜怒哀楽が（笑）。

吉田　また船木みたいなこと言い出しましたねえ（笑）。

山口　トップ当選して、マスク問題が大きな話題になって知名度もまた上がったわけだけど、それがみちプロの観客動員に繋がって、みちプロが盛り上がってくれればいいけどね。

吉田　政治家レスラーとしてのデビュー戦が、つぼ原人、フジ原人と組む、「サス原人」としての原人タッグらしいですから、おそらく今後も市議会議員になって伊勢崎暗黒街化計画を進めるポーゴと絡んだりとかの小ネタを繰り返すんじゃないですかね（笑）。

山口　大仁田との、中央vs地方の政治家電流爆破マッチもありえるね。プロレス以上に政治っていうのはイメージが大事な世界だし、政治家になったことで必要以上の突っ込みを世間から受けるだろうけど、サスケ社長の持ってるエネルギーで、世間からの突っ込みなんかバンバン跳ね返してほしいね。

吉田　猪木さん張りにスキャンダルの宝庫だからこれから大変でしょうけど、本当に頑張ってほしいですよ（笑）。

山口　猪木さんと百瀬さんと言えば、地上波のレギュラー番組が始まったね。百瀬（博教）さん、サップと共演するテレビ東京系の『プラチナチケット』。

吉田　あれ、番宣CMの時点で凄かったんですよ!!　日テレのドラマの宣伝みたいに猪木さんと百瀬さんのツーショットで、猪木さんが「日曜10時は……」って言ったら百瀬さんが「プラチナチケットォ!!」と叫ぶ、そのビジュアルだけでも（笑）。

山口　ガハハハ！　1回目の放送だと、百瀬さんの人生相談のコーナーが異彩を放ってたね（笑）。

〝笑うなら笑え〟という気概、悟りみたいなものを滲み出していた［山口］

吉田　小池栄子が結婚問題を相談してきたんだけど、百瀬さんは彼女の大ファンだから「お前が結婚したら写真集なんて誰も買わねぇよ！」って全面否定しちゃって、小池栄子は涙目になるっていう（笑）。サップにしても、柔道を辞めようと思っている心の弱い少年を励ますために「絶対、ミルコに勝つ！」と約束したらアッサリ負けちゃうし。

山口　ガハハハ！　あのイレギュラーな感じは面白かったけど、豪ちゃんは実際のサップvsミルコ（3・30）はどうだったの？

吉田　あの日は佐竹vsキモ以来、久々にK―1観戦するつもりだったんですけど、ターザンが惚れてる人妻とカラオケ行くことになったから急遽キャンセルしたんですよ（笑）。

山口　そこでもまたターザン絡み！　ターザンに呪縛されてんじゃないか（笑）。話を戻すと、試合内容は良くなかったけどミルコの凄みは出たよね。

吉田　ただ、サップの凄みがまったく出なかったのが問題ですよ。潰すにはまだ早いはずなのに。

山口　〝怒〟の部分が全然出ないうちに、〝哀〟で終わっちゃったから、メリハリがなかったね、あの試合のサップには。

吉田　あと、今回は「練習不足でサップ

危うし」ってアングルで引っ張ってきたじゃないですか。で、いざ負けたら角田さんが「ボクなら試合前の仕事は断る」ってコメントしてたんですけど、館長の事件のイメージを消すためにあれだけ仕事してたんだし、そもそもサップのTV仕事を組んでるのはK―1側じゃないかっていう（笑）。

山口　角田さんはK―1の競技面の統括をするプロデューサーだから、役割的にそういう言い方はやむなしでしょ。それよりも4・6の『K―1ジャパン』後に角田さんが言った「（ジャパン勢は）闘い方は変えなくていいから、考え方や哲学を変えろ」っていう発言はインパクトあったなぁ。俺はうちのスタッフにも同じことを言いたい（笑）。まぁ、3・30のGPは、K―1新体制第1弾の大会としてはまずまずの成功だとは思うよ。

吉田　そういえば『PRIDE』の新体制も発表されましたね。

山口　4・15の会見には猪木さんも登場したんだけど、いきなり「生きてますかーッ！」「今日も『PRIDE』は生きている」って叫んでたよ。生きてるんですよ、『PRIDE』は。

吉田　森下社長の死去に伴う新体制の発表の席だったんですけどね（笑）。

山口　あと、高田延彦に『PRIDE』統括本部長の肩書きが付いたんだけど、「具体的に何をやるんですか?」っていう質問に、「わかりやすく言いましょうか?　何でもやります！っていうことです」っていう発言には驚いた。

吉田　それより藤田がヒョードル戦に名乗りを上げたことに驚いてくださいよ（笑）。

山口　猪木さんもビックリしたっていうよね、藤田のチョイスには。勝ち負けはともかく、藤田がヒョードル戦を選んだ意味が試合から立ち昇れば藤田大復活になるよ。復活ということで無理矢理つなげるけどさ（笑）、アレク（サンダー大塚）も動き始めたよ。アレクはプロレスを再び真剣にやりたいと思ってて、実際、複数の団体からオファーがあったらしいんだけど、最近プロレス界の動きも肌で感じてないらしいから、どこのリングに上がっていいのか迷ってるようなところがあったんだよね。だから俺さ、「ZERO―ONEの地方大会を見て、その熱の正体でも探ってみたら。ファンが何を求めてるかがわかるはずだから」って言ったんだよ。で、アレクは4・5の松山大会をお忍びで観戦しに行ったわけ。

吉田　つまり、会長がZERO―ONEに選手をブッキングしたわけですね（笑）。

山口　そう！　1千万円貰って……って、いい加減にしないと本気にされるだろ（笑）。

吉田　まぁ、ZERO―ONEにそんな大金あるわけないですからね（笑）。

山口　で、アレクはその前に3・27の後楽園大会で破壊王に久しぶりに挨拶しに行ったら「お前は悩みすぎや！　飛び込んでくるなら飛び込んでこい!!」って言われたんだって。

吉田　破壊王らしいなぁ（笑）。

山口　それでアレクが松山大会に改めて勉強しに行ったら、今度は破壊王に控室で「何しに来たんや！　タイツは持ってきたんか!?」って言われて、アレクが「今日は観戦しに来ました……」って答えたら、「観戦？　レスラーが会場に来るときにタイツも持ってこないでどうするんや!!　挨拶はこの前で済んでる。リングに上がらないのに来るな!!」って怒鳴られた（笑）。

吉田　ダハハハ！　挨拶は舞台裏でやっただけなんですけどね（笑）。

山口　俺も一応、アレクの仲人だからさ、"いまはZERO―ONEに熱気があるから、勉強してみたら"って意味で観戦をすすめたんだけど、見事に破壊王に怒られた（笑）。アレクには悪いことしちゃったけど、でも、その破壊王の言葉でアレクが目を覚ましてくれればいいと思うんだよ。レスラーはリングに上がってナンボっていう部分にね。今後アレクがZERO―ONEに上がるのかどこに上がるのかはわからないけど、そういう破壊王のプロレスに対する姿勢や気概をどう受け取るかだよね。プロレスはエンターテインメントなんだけど、エンターテインメントこそ、真剣に命懸けでやらなきゃ意味が伝わらないものだからさ。破壊王が、冬木が亡くなる3ヶ月前に「あと何ヶ月しか生きられないなら、最後までプロレスラーで死んでくださいよ！　もう1回タイツ履いてくださいよ！」と絶叫したことだって、芝居がかってるって言うのは簡単だけど、そう叫べるエネルギーや思いは尋常じゃないよね。

吉田　破壊王と冬木のやり取りは奇跡的でしたよね。破壊王と対戦が決まった冬木が「初めてアングルがないプロレスができる」と言ったことにも痺れて「いますぐ『紙プロ』で冬木インタビューを組め！」ってスーパーバイズしたんだけど、残念ながら手後れで……。

芝居がかってると言うけど、破壊王のエネルギーは尋常じゃない［山口］

山口　あれほどあからさまにカミングアウトしながらも、納得できるプロレスの定義を打ち出せた人はいないよね。演者としては生真面目過ぎたという部分があったから、スーパースターにはなれなかったけど。

吉田　あと、エンターテインメントをビジネスとして打ち出したけど、世代的に旧世代の人だからギリギリまで踏み込めなかったですからね。だからこそ三沢の信頼も失うこともなかったんだろうけど、それが物足りない部分でもあって。前に冬木が『紙プロ』のイベントに出たときにも荒井社長をイジった映像を流して客席で笑いが起こったら、本気でイヤがってたわけじゃないですか。

山口　ビジネスじゃない部分で、プロレスラーとして譲れない線引きがあったんだろうね。でも、見事な死に様だったと思うよ。最後に破壊王と決死でギリギリのプロレスを見せてくれたし。

吉田　本当に最後までプロレスラーでしたからね。

山口　死の2時間前に東スポが写真を撮ろうとしたときに、奥さんが「パパ、お仕事よ」って呼び掛けたら、昏睡状態の冬木が反応したっていうじゃない。昨年末の後楽園で、冬木が「俺はガンだ。他にも転移した」って言ったことも、いま考えると凄い話だし。

吉田　ただ、そのときは客席も失笑してたじゃないですか。戒名募集の流れでただのアングルだとしか思われなかったのが冬木の不幸ですよね。

山口　そこで笑われちゃうのが、いまのプロレスの受け取られ方ってことなんだろうけど、"笑うなら笑え"っていう気概というか悟りみたいなものを冬木は滲み出してたよね。それが説得力になってた。どこかみたいに「笑うな」「またぐな」と強制するだけじゃ、もはや伝わらないんだよ。

吉田　エンターテインメントの中にリアルがあるのは理想の形なんですけど、やっぱり狼少年みたいなものでたまにリアルを混ぜてもなかなか信じてはもらえないわけじゃないですか。それは新日本がバーリ・トゥード（以下VT）を始めることにしてもそうですけど、これだけ上井さんが過激な発言を繰り返し、「作り試合禁止」を折り込んだ最も過激なルールも作ったのに、「どうせプロレスなんだろ」って思ってるファンもまだ多いわけじゃないですか（笑）。

山口　そういう受け取られ方に対して何を見せるかだね。プロレスだろうがVTだろうが、「俺たちは真剣にやってる」「一生懸命にやってる」と言うだけじゃ届かない。リング上からどう伝えるかだよ。それを見てみたいから、俺は今度の5・2はZERO－ONEを蹴って新日本に行くよ（笑）。

吉田　OH砲は地方で見ればいいってことですか（笑）。たしかに5・2は面白いとは思いますよ。だってVTが行われるリングに小橋が立つってだけでもドキドキするじゃないですか。

山口　それを考えると凄いよなぁ（笑）。今回の実験は大がかりなカミングアウトとも取れるしね。

吉田　リングが固くなったことまで発表したりとか、緩やかなカミングアウトをしてると思うんですよ（笑）。

山口　でも、二部構成にして完全にプロレスと格闘技を分けるってことは猪木さんの考えとは違うよね。

吉田　「プロレスは闘いである」という理念から外れますからね。ガチンコをやるのはいいけれど、同じ舞台で一緒にやって「プロレスとは別物」って打ち出すのが猪木さん的にはダメなんだろうし。ケロちゃんは「VTはプロレスとルールが違うだけ」って表現してたけど、誰もそうは見ないわけじゃないですか。

山口　上井さんのやろうとしていることは興味深いんだけど。

吉田　『プレイボーイ』のインタビューだと、上井さんは「ウサギとカメになぞらえたら、新日本は強いウサギで前を走っていたけど、いまはカメになってる」「猪木さんの時代の貯金をすり減らしてきたからVTをやるしかない」「反発しようが教育します。会社の方針として許しません」「今回5・2ドームでこぼれた選手たちも10月のドームでやらせます」とまで言い切ってたんですよ。橋本や武藤が去ったあと、新日本を支えてきた天山あたりにとってはつくづく同情するばかりなんですけど（笑）。だから武藤が『東スポ』で「VTがイヤな人は全日本に来い」とメッセージを出してるんでしょうけど。

山口　でも今回のVT路線が成功したら、新日本はVTの団体になるっていう方向性ではないと思うよ。天山や蝶野のように、アメリカンというかエンターテイメントなプロレスをやっていきたい一派もいるわけだから、そっちはそっちで強化していくんじゃないの？　それともプロレス部門

5・2はプロレスとVTの負けた方が弾かれる壮大な敗者追放マッチ［吉田］

もエンターテインメント色を排除していくわけ？

吉田　要は強さを証明しながら、それをベースにしたプロレスをやっていくんだと思いますよ。

山口　でも新日本がVTをやるのは衝撃的だし、たしかに目新しさはあるんだけど、VTのレベルが『PRIDE』を軸にどんどんレベルアップしてるときに、この方法論でどれくらい届くかが問題だよな。

吉田　高田の言うところのVTに出る選手がほとんど外部の人間だってこともありますし、新日本所属のレスラーも少ないし。そもそも、『PRIDE』がルールを過激化してから日本人が勝てなくなって、地上派のゴールデンタイムからも遠ざかったのに、なんでそれ以上に過激なルールをやるのかっていうのも謎だらけだし。

山口　もし藤田が中西に負けたら、ヒョードル戦はどうなるのかっていうのが気になるなぁ。

吉田　中西が勝って、そのままヒョードル戦にスライドすれば最高ですけどね（笑）。

山口　それは見たい！　でもさ、5・2ドームは試みとしては興味はあるんだけど、VTの勝敗に対する興味って沸かなくない？

吉田　まったくないですね。あるとすれば、プロレス部門と格闘技部門の勝負だけですよ。

山口　よく海外でやってたルーザー・リーブタウンマッチ（敗者追放マッチ）だね。

吉田　これは壮大なルーザー・リーブタウンマッチなんだと思うんですよ。VT部門が成功したら純プロレスをやっている選手たちもVTをやるか退団するかを迫られるけど、失敗したら上井さん&上井さん一派が弾かれる流れになるんじゃないかっていう。

山口　プロレスとVT、どっちが追い出されるかっていう勝負ね。その判定は観客がすると。プロレスと格闘技をハッキリ分けて同じ舞台でやるのは初めてだから、その視点で見るのは面白いね。

吉田　ただ、今回はVTマッチにはそれぞれのカードにテーマがないし、蝶野vs小橋は切り札すぎてその先に繋がらないカードじゃないですか。いまは『PRIDE』やK―1にしてもそうですけど、マッチメイクに溜めもないし先が見えない頂上対決ばかり組みすぎだと思うんですよ。いまは先のことを考えられない状況なのはわかるんですけどね。

山口　どこの作り手にも先は見えてないからね、いまは（笑）。

吉田　超大物を使った総合格闘技の新組織旗揚げの噂も流れてるし、格闘技方面もいまは一寸先が闇みたいな状態じゃないですか。

山口　あれほど盤石と思われたK―1や『PRIDE』にしても、先が見えにくいのはたしかだしね。

吉田　ましてやプロレスに見えるわけがない、と（笑）。プロレス界だと、先を見据えたマッチメイクをしてるのはノアぐらいなんですかね。

山口　従来のプロレス物語の繋げ方をしてるのはそうだろうね。ただノアファン以外にはまったく届かないけど。

吉田　慎重すぎると届かないし、逆にいいカードをすぐ組むと先に繋がらないわけですよね。

山口　精一杯感だけが見えちゃって、先々を見据えたものが作れてない空気はあるよね。ただそれはね、選手の問題っていうよりもフロントやブレーンの問題だよ。いまのブレーンや関係者って「現状のタマじゃキツイ」とか、ネガティブな見方しかしないじゃない。声を大にして言っておくけど、タマの問題じゃないよ。タマをどう見せるか、どう光らせるかは、フロントやブレーンの問題ですよ。

月刊Y²談

吉田　せめて気持ちだけでも強気じゃないと、続くものも続いていかないですよ。それは興行だけじゃなくて雑誌とかでも同じなんですけど、最近は原稿依頼の時点でネガティブですからね。こないだも、ある雑誌の創刊号に仕事を頼まれたから「こんな時期に創刊なんて凄いですね」って言ったら「たぶん売れないと思うんですけどねぇ」って編集者が返してきたり、他にも「返本率が●%で、何度も廃刊の危機があって」とか愚痴られたりで。そんな雑誌で連載したくないじゃないですか（笑）。

山口　ガハハハ！　そういう意味では上井さんのやろうとしてることは強気なだけでも評価はできるよね。どうなるかはまったくわからないけど（笑）。

吉田　せめて団体には強気であってほしいって意味では、やっぱりいつ何時でも異常に強気な破壊王がいいっていう、毎月恒例のオチになっちゃうんですかね（笑）。

山口　前田日明にも、いつ何時でも強気でいてほしいよ、俺は（笑）。

【03年4月某日／編集部にて収録】

藤田vsヒョードルの決定には驚いた。生きてるんですよ、『PRIDE』は【山口】

―く、クルクルパーですか!?

島田　苦しい苦しいって言って誰

ら、島田さんがルールディレクター

うが渡ってこないだけでね。

たいよね。また言った言わないって

もはや泥沼!?

島田裕二が前号の尾崎社長(バンクラス)の絶縁宣言に反論!

オレ様も"あの人"とはもう関わりたくないね!

「島田というのは嘘つきで悪い男」「ボクの名前を出して茶化すのはやめてほしい」「菊田vsアレク戦の数日前に『菊田の急所を蹴れ』って言ってるんです」「人間として認めたくない」――『PRIDE.20』での菊田vsアレク戦以降、尾崎社長と島田裕二の関係は良くなるどころか悪化するばかり。前号では尾崎社長から絶縁とも取れる発言が繰り返された。それに対し「反論させてくれ」と名乗り出る男が現れた。他ならぬ島田裕二本人だ!

聞き手＆撮影／松澤チョロ
designed by matsu(Two three)

――島田さん、今日はマジメに答えてください。尾崎社長から「僕の名前を出して茶化すのはやめてほしい」という発言がありました。

島田　俺は茶化してるんじゃなくて真実を伝えてるだけだから。その真実に目を向けようとしない尾崎さんにも問題あると思うよ。

――島田さんの方も、名前を出されたくないって感じなんですか?

島田　いや、出してくれてもいいよ。やる気があるんだったら真剣に『W―1』とかのリングでやってもいいと思ってるから!

――だから、そういうこと自体が尾崎社長にとっては茶化されてるってことなんじゃないですか?

島田　茶化されるって言ったって、この業界にいるんだからさぁ、プライベートも仕事もプロレスしないとね。でも俺はね、尾崎さんのことは嫌いじゃないから! これはハッキリ言うけど。

――人間的には嫌いではないと?

島田　やっぱり、団体を経営したりとか、選手だけじゃなくてフロントも守らなきゃいけないとかあるからね。俺もバトラーツ時代とか、そういうことやってたけど、選手だけいい思いさせてたらフロントからは「なんで俺らは」ってなるし。そのバランスを調整するっていうのは大変だからね。あとスポンサーの接待やったり、スポンサーを見つけてきたりとか、尾崎さんは一生懸命やってると思うよ。不景気の中、いろんなスポンサー見つけてるみたいだし、そういう意味では凄い評価してるから。やっぱりビジネスには長けてると思うよ。10年やってこれてるっていうところを見ればね。

――では、島田さん的に一番納得がいかないのは、「レフェリーとしても、人間としても認めない」っていう発言ですかね?(笑)。

島田　だからね、尾崎さんとは、ちゃんとつきあったことがないのに「嘘つき」だとか「悪い人間」とかって言うのはおかしいと思うんだよね。たとえば、尾崎さんと10年来つきあってて、なんかやられたんだったらまだしも、実際10年付き合って、そんなこと俺に言う人いないから。●●ぐらいかな。

――そうなんですか(笑)。で、尾崎社長は、島田さんが「睨まれた」と言ってたことに対して「まったく覚えはない」って言ってましたが、それはどうでしょう?

島田　下から睨みつけられたのは、TBSでやった『サイボーグ魂』の女子格闘技の大会の時なんだけど、ちゃんと証人がいるからね。「尾崎さん、こんにちわ」って言ったら、下から睨まれたのは事実。あと、『PRIDE』に佐々木選手が出た時もそう。ボクと豊永(稔)が一緒に歩いていてたら、前から尾崎さんが来て、豊永が「お疲れさまです」って言ったら「頑張ってるね」って答えたんで、俺も「尾崎さん、お疲れさまです! 尾崎さん、尾崎さん!」って何回も言ったんだけど、無視されて遠くへ行っちゃったしね。下から睨まれて、その後、クルクルパーをされたのも事実だから。

俺はジム生のためなら尾崎さんに何でもできるよ！

—く、クルクルパーですか⁉

島田　そうだよ。この間ね、いい格言を見たんだよ。「人生は忘れることより許すこと」っていうね。つまり、forgetよりforgiveなんだよ。

—英語できましたか（笑）。

島田　そう。だから尾崎さんが、いままで俺にしてきたヒドイ仕打ちも忘れて、許して、もう相手にしたくないね。それで、この間、いろんな社長が集まったりする講演会に行って、そこにHISの澤田社長が来て講演をしたんだけど、澤田社長が言ってたよ。「運のない人とつきあうな」って。それ聞いてから、もう尾崎さんを相手にするのはやめようと思って。

—尾崎社長は「運がない人」ってことですか？

島田　なさそうな感じがするんだけどさぁ。いつも顔色良くないし。

—でも、この間、話を聞いたらスポンサーとかも含めて順調だって笑顔で答えてくれましたけど。

島田　苦しい苦しいって言って誰が応援するんだよ。ハッタリかますのがプロレス経営だろ！

—それは島田さんもバトラーツ時代やってましたよね（笑）。

島田　顔で笑って心で泣いてだよ。ただ、パンクラスさんとは、つきあっていきたいんだけどね。

—パンクラスとつきあいたい？

島田　もし尾崎さんが俺と話したくないなら、坂本（常務）さんとウチの野口が話せばいいんじゃないの？　選手の貸し借りとかアマチュアの交流とか。俺を嫌うのとBCGのジム生を大会に出場させなくするのは別の次元だよ。全く関係ないんだから。俺はウチのジム生のためなら尾崎さんに何でもできるしね。一日運転手でも土下座でもしますよ（キッパリ）。

—そ、そこまでしますか⁉

島田　BCGのジム生は俺の宝だからね。でも、ウチの野口と橋本のためにはしないけどさ（笑）。

—でも実際、いまの関係だったら、島田さんがルールディレクターを務めている『PRIDE』にパンクラスの選手が上がるっていうのは難しいんじゃないですか？

島田　だって、佐々木選手が出た12月もさぁ、尾崎さんの言うことを全面に飲んでるじゃん。

—「島田はリングサイドに近づいてはいけない」って要求ですね。

島田　そう。ある一選手のマネージャーの要求に全部応えてるんですよ。そういうことをやってることがちっちゃいなぁって思うんだけど、「好きにやってください」って条件を飲んだけどね。そういう個人の好き嫌いで、選手の出場する芽を摘んだら選手が可哀想だよ。パンクラスには、いい選手が一杯いるんだから。まあ、いずれはBCG vsパンクラスでもやりたいね。

—そうですか。で、2人の溝を作った原因は、やっぱり菊田vsアレク戦ってことになりますよね？

島田　俺の中では全く溝はないんだけどね。橋は架かってるのに向こうが渡ってこないだけでね。

—そ、そうなんですか。それで、アレクvs菊田戦の試合前に「急所を蹴れ」って島田さんがアレクに言ったってことなんですけど？

島田　言うわけねぇじゃん！　連れて来いよ、言ったって人を。人の言うことを信じてたら『東スポ』の記事が全部正しいって言ってるのと同じでしょ。じゃあ、河童いたのかよ！（笑）。

—IWAにはいますよ（笑）。で、結局、アレクvs菊田戦後は2人の話し合いは行われてないと？

島田　俺は「いつでもいいですよ」って言ってるし、会場で会っても挨拶しに行ってるから。ただ、無視されるけどね。何か言いたいことがあるんだったら、直接言ってってことだよ。陰でとか雑誌で言ってばっかりだからさ。そうだ！『紙プロ』で間に入ってトークショーとかすればいいじゃん。

—ト、トークショーですか⁉

島田　まあ、やるなら公開でやりたいよね。また言った言わないってならないように。だから、これを読んだ尾崎さんが、なんかやりたいとか話をしたいとか言ってきたら客から6千円ぐらい取って、『紙プロ』と3分の1ずつ割ってトークショーでもやろうよ！

—6千円は高すぎます！（笑）。

島田　まあ尾崎さんが嫌だって言うんなら別にいいんだけど。俺的には、とっくに終わってる問題だから。人を憎むことから何も生まれないしね。それにやっぱ、人生大らかにいかないと。まあ、そんなことより、もっと楽しい話しようよ。

—自分で反論するって言ったんじゃないですか（笑）。

島田　（無視して）そうそう、BCGで6月1日に女子のアマチュア大会やるから！　あとウチのダイエットコースは確実に痩せるよ。詳しくは下のアドレス参照！　どれぐらい凄いか一発でわかるよ。あ、あと麻布柔術アカデミーもバンバン広めるよ!!　ヨロシクッ!!

PRAY BACK
尾崎vs島田の遭遇［その1］

須田vs長南戦がメインの12・8『DEEP』ディファ有明大会のロビーで遭遇した尾崎社長と島田レフェリー。島田氏によると「尾崎さん、お疲れさまです！」と挨拶をすると、目線を逸らし、振り向きざまに、クルクルパーのジェスチャーをやられたという（その時の模様を再現するBCG野口＆橋本）。

PRAY BACK
尾崎vs島田の遭遇［その2］

TBS『サイボーグ魂』主催・女子総合格闘技大会の会場でも遭遇している尾崎社長と島田レフェリー。この大会でルールディレクターを務めた島田氏が2階席で観戦していた尾崎社長に挨拶をすると、下から睨まれ目も合わせてくれなかったという（自ら尾崎社長役を演じ、その時の模様を再現する島田氏）

"理不尽大王" 冬木弘道 追悼企画

思い出の中の冬木弘道

元・FMW中継解説者

杉作J太郎

98年から01年までFMW中継の解説者として大活躍、引退試合の直後に冬木弘道が「エンタメ路線を確立した俺にとって大事な人」と評した杉作J太郎先生が"素顔の冬木弘道"との濃密な思い出を語る!!

聞き手/スモーノブ designed by matsu(Two three)

当時は24時間会ってる日が週3日ぐらいありましたから！

――今日はエンタメ路線以後のFMWを語る上では欠かせない杉作さんに、冬木さんとの思い出を語っていただければと思います。そもそも、杉作さんがFMWに関わり始めたのは、いつ頃からなんでしょうか？

杉J　98年の5月頃ですね。『ディレクTV』でFMW中継の解説をということで。

――冬木さんとは、そこで初めて会ったんですか？

杉J　いや、その時は三回目です。最初に会ったのは、冬木さんが全日本プロレスにいた頃ですね。鶴見五郎さんがやってるジムの忘年会に、いしかわじゅんさん（漫画家）と一緒に行ったんですよ。そこには鶴見さんと高杉正彦さんと剛竜馬さんがいて、冬木さんが小橋（健太、現・建太）さん、小川（良成）さん、菊地（毅）さんと一緒に来てたのかな。

――国際プロレスつながりの忘年会に、冬木さんが後輩を連れてきてたわけですね。いまから考えるとあり得ない豪華な組み合わせの忘年会ですけど（笑）。

杉J　忘年会自体は近所のお年寄りとか、子供さんとか、和気あいあいとしたパーティーでしたよ。その後、みんなで駅前のスナックに行って、そこには何時間もいたんですけど、冬木さんは一言も話さなかったですね！

――お酒も入ってたわけですよね？

杉J　鶴見さんはあの雰囲気ですから、愉快な感じでやってるんですけど全然それに乗ってこないんですよね。ニコリともしない。当時はフットルースをやってた頃で、まだハンサムだった頃でしたからね。「無口で怖い感じの人だなぁ」という第一印象でしたけど。

――次に会ったのは、いつ頃ですか？

杉J　WARの頃ですね。『理不尽音頭』（冬木軍が出したCD）が出るっていうんで、雑誌の取材でWARの道場まで行ったんです。前に会ったときとはリング上のキャラも変わってたんですけど、そこでも一言もしゃべらないんですよ！　取材なのに！

――一応、CDのプロモーションなんですよね？

杉J　だけど、何を聞いてもしゃべらないしニコリともしないから！　何時間か粘ってたらね、遂に「杉作J太郎っていうのはとんでもない人間だから、何を書かれるか分らないからしゃべっちゃいけない。そういう話をある人から聞いたんだよ。だから、今日、俺はしゃべるわけにはいかないんだ」って言うんですよ！　俺に思い当たる節はないし、プロレスでメチャクチャな原稿を書いたつもりはないからね。どっちかといえば、提灯記事みたいなのしか書かないタイプの人間ですから（笑）。

――愛に溢れた原稿というか（笑）。

杉J　「いや、それは勘違いですよ」って言ったんですけどね。その後、冬木さんがチャンコも作ってくれて、それを食べてから帰りました（笑）。そんな感じだったから、「理不尽音頭」とか言ってたけど、マジメな人だなぁっていう印象ですよね。

――よっぽど上の立場の人に口止めされてたんですかね？

杉J　まあ、ぶっちゃけて言うと邪道&外道なんですけど（笑）。

――なぜだッ!?（笑）。

杉J　邪道&外道に言われたことを冬木さんが律儀に守ってたんだよねぇ（笑）。で、三度目に会ったのがFMWから「解説の仕事をやらないか」っていう話が来た時。その仕事を請けるのは全然いいんですけど、唯一俺が気になったのは当時邪道&外道がいたっていうことだったんですよ（笑）。「何かと思ってたんだけど、勘違いしてるよなぁ」それがいつの間にか中継の中のストーリーみたいになっちゃって。「また、お前やってるのか!?　この野郎ッ!!」「ヒェ～、許してくれぇ～」なんてやってましたけど（笑）。

――そこから本格的に『ディレクTV』で解説者として、冬木さんとも仕事を一緒にしていく立場になるわけですが。

杉J　当時の冬木さんのイメージは、二度会った時のままでしたけどね。当時、放送会議というのがあったんですよね。『ディレクTV』の担当者とか、荒井社長、冬木さん、いろんな人が来てたんですね。僕も仕事上、冬木さんに耳障りなことを言ったりしてたんですけど、絶対に怒らなかったなぁ。「エンターテインメント・プロレス」を標榜してて、TV放送をとにかく大事に考えてましたから。会議も多かったんですよね。当時は24時間ぐらい会ってる日が週に3日ぐらいありましたから！

――そんなに長時間!?

杉J　人間、いろんな出会いがあって影響を受けたり、得るものがあると思うんですけど……。俺が完全に冬木さんから受け継いだものがあったんですよね。誰と話してもそれが出てきちゃって困るんですけど、相手のことを「アンタ」って言う癖がついちゃったんですよ（笑）。

――たしかに、冬木さんはよく言ってましたよね。「アンタ」って（笑）。

杉J　冬木さんの印象は「アンタ」って呼び方に集約されるようなところがありますよね。人間との距離感がすごく微妙な感じの人でしたから。いきなり人の懐に飛び込んだり、飛び込ませたりするようなタイプの人ではなかったんですけど、かといって人を遠ざけるタイプの人ではなかったですよ（笑）。すごく心地のいい距離感を保ってた人だなと思います。

――あと腐れのない感じですね。

杉J　だから人に恨まれたり、後ろ指を指されたりするようなことのない人だと思いますね。すごくマジメな人でしたよ。それ

当時、冬木が推進していた"エンターテインメント・プロレス"は常識や固定概念との闘いだった。「プロは見られてナンボ」という冬木の哲学が当時のFMWを支えるアイデンティティーだった。

WWFやモー娘。のライブより、FMWの横アリ大会は豪華だった！

に冬木さんの「エンターテインメント・プロレス」に対する意気込みって凄かったですよ。それを一番感じたのは、99年11月の横浜アリーナ大会ですよ！　あの時は信じられないぐらいのセットを組んだじゃないですか？　数年後にWWF（当時）が来日したじゃないですか？　あの時は僕はノブさんと近くの席で見ましたけどね？

——2つ隣の席でしたよね、僕らの間には菊地孝先生が座ってたんですけど（笑）。

杉J　僕はWWFの2日ぐらい前にTBSラジオ「タンポポ編集部OH・SO・RO！」のイベントがあったんですよ。タンポポが出たんでそれも見に行ってたんですけど（笑）。遡ること5ヶ月ぐらい前には、5期メンバーこけら落としのモー娘。ライブも見てるんですけど……どれを比べてもFMWが一番豪華なセットでしたよ！

——ハロプロよりも豪華なプロレスって、凄いですよねぇ。

杉J　あの日の開場前に「冬木さん、どこ行ったのかな？」と思って見回したら、一人でポツンと離れた席で会場を見てるんですよ。「何してるんですか？」って話しかけたら、目にうっすら涙が浮かんでましたね。「嬉しいよ。こりゃすごいことだ。プロレスの歴史が変わるよ」って冬木さんが一人で噛みしめてて。皮肉なものでね、その日の試合で冬木さんは田中（将斗）に負けて、FMWを追放されるっていう試合だったけど（笑）。

——たしか、敗者追放マッチで「負けたらゴミ収集車で夢の島行き」っていうルールでしたけど、負けちゃったんですよね（笑）。

杉J　そういう意味でも、冬木さんは日本のプロレス界で一番最初に「エンターテインメント・プロレス」をやろうとして、なりふり構わず突き進んでいった人だったんじゃないですかね？

——ドッグフード・マッチ、怪談マッチ、ハヤブサ全裸事件、冬木さんもリング上で放尿したり……凄い勢いでしたよね。あと、この頃はハヤブサというかH（エイチ）の汚れ方がハンパじゃなかったですけど。

杉J　肛門爆破なんてのもありましたけど、あれは面白かったなぁ……（しみじみ）。

——プロレス史上初の衝撃シーンでしたからね（笑）。

杉J　でも、当時は叩かれることも多くて、しんどい思いもしましたけどね。「叩かれてナンボ」って思ってた部分もありましたから。「そこまでやったらやり過ぎだろう」っていうところまでやって、そこで初めてアナウンス効果がある。世間体のいいところで止めてたんじゃショックにならないですよ。いいショックも悪いショックもありますけど、いいショックだけじゃ多分ダメだったんですよね。

——必要悪ですよね。

杉J　冬木さんは、そういう部分は全くお構いなしでしたよ。これは、あの人のバランス感覚の成せる業だと思いますね。あの人のプロレスはとにかく素晴らしいんですよ。試合の進め方とか組み立て方とか、ハンパじゃない！　リング上でのプロレスには自信はあるから、エンターテインメント路線を安心して進めてたんだと思いますよ。冬木さんがいて、ハヤブサ、雁之助、金村、田中、黒田、邪道&外道がいましたから。そういったメンバーがいることを考えて、「いける」と踏んでやってたんだと思うんですけど。

解説者ながら身体を張ってFMWを盛り上げていた杉J先生。当時、盛り上がる直前のWWF（当時）を日本に啓蒙すべく原稿を書きまくっていたが、最近はプロレス関連の仕事はほとんどやっていない。

——冬木さんはメジャー団体に対抗するためには、どうしたらいいかを凄く考えてましたよね。

杉J　マスコミでの扱いが大きくなるためのダメージは、冬木さん的にはOKだったんじゃないですかね。ただ、FMWに最も大きなダメージを与えたのは『ディレクTV』が消滅したことですね。あそこでFMWが潰れてもおかしくないぐらいのダメージだったと思いますよ。

——当時の経営の苦しさは、荒井社長が本の中で細かく書いてましたけど。

杉J　たしかに、いろいろ書いてありましたけど……俺はプロレス業界外の人間じゃないですか？　そんな人間が一瞬なりともプロレスの仕事をやって、団体もTV局もやったからといって何でもしゃべるというのは……仁義としてね……。荒井さんの本も、冬木さんの本も読みましたけど、すべてを書いてるわけじゃないですよね？　言えないことが多すぎて、難しいですよ。

——で、話は飛びますが、杉作さんはFMWの仕事を辞めてしまうんですよね？

杉J　2001年5月5日の川崎球場が最後です。

——これは、どういった経緯で離れることになったんですか？

杉J　平たく言うと……リストラというか。いろんな事情もあったでしょうし、僕自身にも問題はあったでしょうし。その辺は話すに話せない内容なんですけど、自分から辞めたわけではないです。丸3年間ずっとやってきて……しんどい仕事だったですよ。3年間、他の仕事より優先させてやってましたんで、それがなくなって寂しかったのと……お門違いかもしれないけど、感情的に複雑なものがあったんでね。笑顔ではいられない、若干腹も立ちつつ……それはしょうがないですけどね。その後はFMWを見てないですし、あれだけ見てたWWFも全然見られなくなっちゃってね。

——それが原因だったんですか……。

杉J　ホント、抜け殻みたいになってましたね……その抜け殻にモーニング娘。が入ってきたんですけど!!　モーニング娘。がいなかったら、俺はおかしくなってたかもしれないなぁ（しみじみ）。

人に恨まれたり、後ろ指を指されたりするような人じゃないですよね

――な、なるほど（笑）。

杉J　ホ～ント、ごっちん（後藤真希）とあいぼん（加護亜依）ちゃんに助けてもらったようなもんですよ!!　FMWにぶつけてた情熱をモーニング娘。にぶつけてましたね（キッパリ）。

――情熱の持って行き場が、そっちに行っちゃったんですね（笑）。FMWの仕事から離れる時に、冬木さんとお話しなかったんですか？

杉J　話したか……話してないか……あの頃のこと、あんまり覚えてないんですよね。あまりにも複雑な心境過ぎたんで。しばらく経ってから、冬木さんから2回ぐらい「もう一回、何かやらないか?」みたいな電話をもらってたんですけど……出来なかったんですよね。もうFMWの人たちと接点を持つことはないだろうな、と思ってましたから。

――自分の中で区切りを無理矢理つけたわけですね。じゃあ、冬木さんと再会したのは2002年4月の引退試合のときだったわけですか？

杉J　当日、別の仕事があって、離れた場所にいたんですよ。冬木さんが病気になったのも知ってたし、その日に引退試合があることも知ってたんですけど、僕も呼ばれてる訳じゃなかったし、受け入れてもらえるかどうかも分らなかったですから。でも、冬木さんと微妙な感じになったまま別れてましたからね……。そのうち日が暮れてきて、「ディファ有明で試合が始まってるかなぁ……」って思ってね、「行くだけ行って挨拶だけはしてこないとダメだ！」と思ってね。花を買って、高速を飛ばして会いに行きました。リングの上で冬木さんに久しぶりにお会いしたんですけど……いろんな嫌な出来事もありましたけど、あの瞬間はそういうのもなくなりましたよね。冬木さんと俺の関係がおかしくなったわけじゃないし。誰かが悪いことをしておかしくなったわけじゃないですからね、それは荒井社長も含めてですけど。

――冬木さんは「杉作さんが来てくれたのが嬉しかった」って、その日の控室でコメントしてましたよ。

杉J　ひっくり返して行った仕事の方は大変なことになっちゃいましたけどね……その選択は正しかったと思いました。あの日は、冬木さんも凄く元気そうだったんで「手術が上手くいくといいな」と願ってました。

――その手術は成功するんですけど、2002年末に冬木さんは「ガンが転移した」ってリング上から告白したんですよね。

杉J　あれを新聞で最初に見たときは「ウソなんじゃないの?」と思いましたけど、その後の橋本（真也）さんの対応とか見てると、こりゃそれどころじゃないなって。ちょうど亡くなる一週間前に新宿鮫選手から「冬木さんが危ない」って連絡をもらってね。ただ、本人には病状のことを教えてないっていうわけですよ。僕が頻繁に顔を出してるような人間ならいいですけど、僕が行ったら「普通じゃない」って冬木さんが思うんじゃないかと思って行けなかったですね。「病状が回復しないかな」とか「俺も病院に行ければ」と思いながら仕事が手に付かないような状態で毎日を過ごしてたんです。「どうしよう、どうしよう」と思ってたら、3月19日の夕方に亡くなってしまって……。

何らかの事情で冬木と別の道をいかなければならなかった者たちも、2002年4月14日の冬木弘道引退記念興行には大勢駆けつけた。杉J先生の他にも、袂を分っていた元・冬木軍の邪道＆外道など、冬木を慕ってきた者は数多く訪れた。

――亡くなったと聞いて、病院には？

杉J　行きました。聞いたときには、気がおかしくなりそうでした。病院に着いたときには、ちょうど冬木さんが自宅に帰られるところだったんですよね。それで黒田選手から住所をもらって行ったんですけど、頭の中がこんがらがってね……家までたどり着けなかったんです。混乱してましたね。

――22日にお通夜があったわけですが。

杉J　その前日に、レコード発売後の初ライブがLL　COOL　J太郎の初ライブが恵比寿MILKであったんですけど、とてもじゃないけど人前に出てライブをやるような状態じゃなかったんですよ。

――LL　COOL　J太郎をやってる場合じゃないだろう、と。

杉J　ええ。当日、会場には行くだけ行ったんです。でも、曲が流れるんですけど、自分で作詞した歌詞が一切思い出せなかったです。みっともない話ですけど、お客さんのいる前で一回歌詞を聞いて、それでも歌えなかったです。頭の中がいっぱいで……。

――なるほど……。お通夜では元FMWの選手が大勢駆けつけてましたよね？

杉J　僕は次の日、昼からどうしても外せない仕事だったんでお通夜は明け方までいたんですよね。そこで、みんなとFMWの頃の話をしてる間に「こんなこともあった」「あんなこともあった」って、みんなで大笑いしてましたね。別に愉快なわけじゃないんだけど、思い出してるとバカバカしい出来事が多かったんでね（笑）。お通夜を夜通しやるのは、やっぱり意味があるのかな、なんて思ったり……そうだッ！　その日、お通夜に着いてすぐに「おう！」って肩を叩かれてね、誰かと思って振り返ったら鶴見さんが立ってたんですよ！

――はぁ～、不思議な因縁ですねぇ。

杉J　一番最初に冬木さんに会ったときは鶴見さんの忘年会だったし、最後のお別れのときも鶴見さんに会ったんですよねぇ。もちろん、鶴見さんも辛そうにはしてましたけど……その時に言ってましたよ。「またスナックに来てよ」って（笑）。他の人には分らない話だとは思うんですけど、僕の中ではグルッと一周したような出来事でしたねぇ……。ご冥福をお祈りします。

【4月13日、世田谷区内「ガスト」にて収録】

前日の通夜に続いて300人以上のファンが訪れた告別式には、WEWの会場で使われていたスクリーンが置かれ、冬木の試合映像が流されていた

喪主をつとめた妻の薫さんは、冬木さんの遺体に「ごくろうさま」と声をかけ、集まった弔問客にお礼の言葉を述べた。「42年の短い人生ではありましたが、23年間のプロレスラー人生、皆様に愛され、支えられて生きてきた、そんな主人と一緒にいた私は、とても幸せでした。主人はこれから、天国への新しいリングに向かって旅立ちます」

理不尽大王、新たなる旅立ち——

5・5川崎球場に、冬木の魂が立ち上る!!

記者に囲まれた破壊王は「みなさんも、冬木さんの顔を見ていってください。本当に、いい顔をされてます。何故あんな顔をしていたのか、僕にはわからない。僕自身には、まだまだ理解できない。僕も、あんな顔をして逝けるだろうか。最後の最後で、超一流のプロレスラーになられた。そんな事を思いました」と、静かに語った

「冬木さん、さあ試合です。行きましょう!」。中村吉佐リングアナの声とともに霊柩車が出発。冬木弘道の入場テーマが流れ「249パウンド、マッチョバディ〜、冬木〜弘道〜」のコールとともに、黄色い紙テープがいっせいに投げられた。

「神よ仏よ、閻魔の鬼も、首を洗って待っていろ。理不尽大王・冬木弘道、新たな旅にいざ出陣」——3月19日、がん性腹膜炎で亡くなった冬木弘道の告別式が、23日、横浜新緑寺・テンプル斎場で行われた。式には、弔問客の受付を執り行ったZERO-ONEスタッフ・選手の他、前日の通夜にも現れた天龍源一郎、佐々木健介、神取忍らも訪れ"新たな闘い"へ旅立つ冬木を見送った。

5・5、電流爆破マッチの対決相手として冬木から指名を受けていた橋本真也が代表して別れの挨拶を行った。破壊王は、祭壇に飾られた、紫のガウン姿の冬木の写真に向かって一礼すると、「冬木先輩」と呼びかけ、静かに語りかけた。

「冬木先輩から、対戦のご指名を受けた時、最初は冗談だと思いました。からかわれているのかと思った。3月11日後楽園は、すでに冬木さんは、自分の足でリングに上がれる状態ではなかった。モルヒネをたくさん打ってリングに上がり、意地でも橋本の返事を受けるんだと待っていてくれた冬木さん。自分の返事も、その時はもう決まっていました。人間と人間、男と男。人間命懸けで相手に対峙した時、その思いは通じる。後楽園で向かい合った時の、あのやさしい笑顔。本当に忘れることができない」。

ガンに侵されながらもリングに登場した冬木が命がけならば、その冬木との対戦を受けた橋本も、また命がけだった。

「病状を聞いていて、心苦しい時もあった。レスラーは、人一倍誇りが高く、豪胆で、己が公言した約束事を果たせなかった時は、なんとも心苦しい思いをするもの。志半ばにして旅立たれた、その気持ちを思うと悔しさがこみあげてきます。最初は、なぜ自分なのかと疑問に思ったけれど、今では自分にぶつかってきてくれた事に感謝しています。本当に冬木さん、私を指名してくれてありがとう。命懸けのメッセージは、一生忘れません」。

冬木が、命をかけて実現させようとした闘いは、最後まで冬木のそばにいた弟分・金村キンタローが引き継ぐ。エンターテイメントという言葉から、もっとも遠く、もっとも重たい人の"死"という現実が重くのしかかる中、金村は、通夜の席で「5月5日は、最高のエンターテイメントを見せます」と宣言。

一方の破壊王は「5月5日が終わらないと、区切りがないような気がしている。自分もこの問題を抱えたままでいようと思う。本当にコメントできるのは、その後だと思います」と、己に命をかけて対戦を要求してきた男の思いを背負って、生涯初の、有刺鉄線・電流爆破マッチに足を踏み入れる。昨年は引退記念興行、一昨年は天龍源一郎との一騎打ちが行われた5・5。"冬木弘道プロデュース" WEW川崎大会、旗揚げ1周年の地で巻き起こる闘いは、見る者の感情にどんな揺さぶりをかけるのか? つねに観客へ勝負を挑み続けた男・冬木弘道が仕掛ける最後の"エンターテイメント・プロレス"を、その目に焼き付けろ!!

喫茶店トーク

5.2東京ドーム新日初"バード"記念
超拡大スペシャル!!

井上義啓

元・『週刊ファイト』編集長

「新日本はバードをやれと言うとるんだよ!!」。
常日頃からそう言い続けたI編集長の提言が上層部に届いたのか、
遂にバーリ・トゥードを実施することになった新日本プロレスの東京ドーム大会。
今回の喫茶店トークは新日バード進出&井上予言的中を記念して、
超拡大スペシャルでお送りします! プロレス者よ、心して聞け!!

聞き手/堀江ガンツ　構成/ジャン斎藤　designed by matsu(Two three)

前日の通夜に続いて300人以上のファンが訪れた告別式には、WEWの会場で使われていたスクリーンが置かれ、冬木の試合映像が流されていた

「新日がバードなんかやるか」と言った連中に『井上さんの言った通りになったね』と怒鳴っておけ!!

――今回は遂にバード（井上用語＝バーリ・トゥード）を敢行する新日本プロレスの5・2ドームについて、たっぷりと聞きたいと思います！

井上　ま、俺が言わんでも、猪木がいろいろ言ってますな。

――それはいつものことですけどね（笑）。

井上　猪木が3月22日にパラオから帰って来て「俺がチケットを買って見たいようなマッチメークをしろ！」と言っとったでしょ。日本からロスに帰る3月26日の成田空港では「5・2がもしダメだったら新日本の看板を返上しろ！」とまで言ってるわけですよ。この発言については、さっそくプロレス者から問い合わせがきてるんだよな！

――どんな問い合わせがきてるんですか？

井上　プロレス者は「井上さん、あの猪木の発言は5・2にハッパをかけるために言ってるのか、マジなのかどっちでんねん？」と言うとるわけだよ。で、俺は「これはマジだよ」と言ったわけだけど、猪木がああいうこと言ったのは、マチダリョウト（LYOTO）と謙吾がやるとか、髙阪とブルー・ウルフの兄貴（スミヤバザル・ドルゴルスレン）がやるらしいけど、「お前らが決めたカードでコケたらその責任をとってもらうぞ」という意味なんですよ。それも社長や幹部が辞めるとかのレベルじゃないですよ。猪木が言ったんだから、これは名前が変わりますよ!!

――新日本が遂に社名変更しますか！

井上　名前を変えるなんてね、俺が言うたら「アホか！」ってなりますけど猪木だったらできるわけですよ。猪木が臨時株主総会を開いて「新日本の名前を『格闘技・猪木集団』とか『猪木・格闘ボンバイエ』にします」と言ったら、他の連中がみんな反対してもそうなりますからね。これは口から出任せでもなんでもないんだよな！　マジだぜ！

――『格闘技・猪木集団』の名称は魅力的ですけどね（笑）。とにかく、5・2は猪木さん的には面白くないカードなんですね。

井上　ま、俺からしても、ハッキリ言って面白くないカードですよ。なんべんも言ってるけどね、俺と猪木は考え方や言ってることがもの凄く似とるからね。俺が言ったことをあとで猪木が言ってるし、猪木が言うとったことを俺が活字にしてることもあるもんな。プロレス者からも「似たもん同士ですな」と言われることがあるんだから！　君もそう思うだろう？

――そ、そうですね（笑）。

井上　だから、猪木が面白くなければ俺もそうなるんだけど、小橋vs蝶野なんかもまったくつまらないわけじゃないよ。ただ、小橋を呼ぶなら相手は中西でしょうが！（ドンッ）。蝶野と小橋はタッグながらやっとるし、二番煎じ、三番煎じになっちゃうわけでしょうが。まぁ、デルフィン（井上用語＝平成プロレスファン）たちはこれでいいと思ってるんでしょう。前に三沢が蝶野とチンタラやったときも「三沢が出て来ただけで良かったんだ」とデルフィンたちが言っとったからね。

――今回もそういう声が出てますね。

井上　でも、俺はあくまで〝井上義啓の世界〟から見てるわけであって、デルフィンたちと違いますからね。俺が新日本の社長なら、思い切って三沢に「小橋は中西とバードに近いガチンコをやってください」と頭を下げますから！　デルフィンに考えつくか、こんなこと！

――それはボクにも考えつかないですよ（笑）。

井上　「格闘技界、プロレス界のためになりますからやって下さい！」とお願いすればいいんですよ。バードでドーンとやればプロレス界はバーンと変わりますよ！

――ノアがバードをドーンとやったら、それは大革命が起きますね（笑）。

井上　まぁ、でも三沢は「ダメだ」と言うでしょうな。俺が三沢だったら絶対にダメと言いますから！　許しませんよ、そんなの!!

――ガハハハ！　三沢社長の立場だったらそうでしょうね（笑）。

井上　当たり前ですよ、アンタ！　そんなもん5000万や8000万のギャラを積んでもダメですよ。俺が三沢だったら「井上さん、お前アホか!?　小橋はウチの宝だ。アホー！」って殴りますよ！

――手も出しますか！（笑）。

井上　だけども、そういうことをやらんとダメだよと言うのが猪木の言い分じゃないかと思いますよ。『紙プロ』が猪木にインタビューしてごらんなさいよ。おそらく俺は同じことを言うと思うわ。だから、猪木が社長だったらね、格好悪いけど三沢に頭を下げて頼んでると思いますよ。

――そうなんですかね（笑）。

井上　成田会見でもおそらくそういう言葉が出かかったと思うけど、それを言ってしまったら、ナンボなんでも新日本プロレスの連中に対して失礼だからね。猪木から見たら、新日本の連中のやれることは全部やり尽くしたはずだからな。

――現状で出せる最高のカードなんですね。

井上　俺が言うようなことが全〜部通るんだったら、ヒクソンを呼んで来て中邑とやらせてますよ、新日本は！

――それは言えてますよね（笑）。で、猪木さんや井上さんには不評かもしれないですけど、5・2はここ2、3年の新日本ドームの中では刺激的なカードが多いと思うんですよ。

井上　たしかにバードを入れたからね。これがなかったら言うちゃ悪いけど、う〜んってなもんですよ。

――「う〜ん」止まりですか（笑）。

井上　そのバードにしたって中西と藤田がやるだろ。口ではお互いにやいのやいの言うてるけども、同じ身内だし「よう！よう！」の仲でしょうが。中西とホーストがK―1マッチでやるのとは違うからね。リングの上で向き合ったら敵味方かもしれんけど、長州vs天龍と同じで迫力には欠けますよ。それがハッキリ表れたのが田村vs髙田の試合ですよ。田村は『紙プロ』の取材でも「殴るつもりは全然なかった」って言っとったでしょう。田村は一発も顔面を殴ることはするまいと思って家を出たんですよ。ところが髙田がバーンと飛び込んで来たから、本能的にパンチを当ててしまったんだよな。だから田村はひっくり返って白目を剥いてしまった髙田を見て、真っ青になって「どうしたらいいんや!?」ってリング中央でへたばってしまったんでしょ。

――田村は「やってしまった！」という表情してましたよね。

井上　あれを見て「狙いすました一発だ！」なんて書いとるバカがおるけどね、お前らどこを見てそんな記事を書いとるんだと！（ドンッ）。この前のミルコvsサップにしたって、「ミルコが凄かった！」とか騒いでるけど、言うちゃ悪いけど全然、凄くないですよ!!　チョコンと出したらスコーンと当たっただけですよ、あんなの！

――あんなのですか（笑）。

井上　ミルコの本当のパンチはあんなもん違いますよ。特に柳澤（龍志）とやったときに出したパンチなんて、鳥肌が立ったからね！　凄かったやないか、アレ！

――本当のパンチは井上さんの鳥肌を立たせるんですね（笑）。

井上　ミルコは警官を辞めて朝から晩までパンチとキックの練習をした

と言ってるもんな。そのぶん期待が
たでしょ？　だから俺は『週刊ファ
井上　そりゃそうですよ、アンタ。
るね。今回はみんなが言ってるよう
すよ。ヒョードルにしてもそうです

前田道場最後の遺伝子が歩む

プロレスと格闘技

と言ってるもんな。そのぶん期待が大き過ぎたから「何だあの試合は」となったんだけど、俺みたいに期待しなかったら「凄い！」と唸ったかもしれない。それは目線や立ってるスタンスの違いということですよ。
――井上さんは一段、上のレベルで見てたんですね。
井上　俺がこの試合に求めていたのは、ミルコの凄いパンチと右からのハイ。サップにはダッシュしたときのブンまわしとラッシュを期待しとったからね。それがどっちもなかったでしょ？　だから俺は『週刊ファイト』の原稿で「不渡り」と書いたんだよ。不渡りですよ、あれは！
――流れちゃったわけですね（笑）。
井上　そんなもん大損ですよ！　サップが目という特殊なところをやられたこともあるけども、何かガファリを見たような気がしたからね。一緒に見とったプロレス者が「何や、ガファリと違うんか！」って大きな声で叫んでましたよ！
――ガハハハハ！　コンタクトがズレて負けたような感じでしたか（笑）。
井上　そりゃそうですよ、アンタ。ミルコにしたってあれでKOしたとは全然思ってないからすぐに駆け寄って上から殴ろうとしたわな。ミルコ自身がダメージを与えたパンチだとは全然思ってないからだよ。
――ミルコにしてみれば、普通のコンビネーションですからね。
井上　そういった意味では俺は物足りなかったんだけど、もう一回やったらサップがもの凄い試合をすると思いますよ。それこそ鳥肌が立つような格闘技史に残るような試合になるね。今回はみんなが言ってるようにCMなんかに出過ぎたのがイカンかったんでしょうな。
――サップは毎日、何かしらTVに出てますからね。
井上　そんなわけだからね、サップが負けるのは誰の目にも見えとったし、試合予想としては俺はミルコだったんだよ。だけども、心情としてはサップに勝ってくれと。そしたら次の『Dynamite!』も盛り上がるし、次のK―1もワーと来る。K―1の人気は天井知らずですよ。ヒョードルにしてもそうですけど、ミルコは華がないから客足はどうしてたって落ちますからね。
――ミルコとヒョードルは華がないですか。
井上　言うちゃ悪いけど、ないですよ！『紙プロ』だってノゲイラのインタビューだったら読者は買うけど、ヒョードルだったら地味過ぎてあんまり買ってくれないだろうな。
――ウチは2号続けてそのヒョードルを表紙にしてるんですけど……（笑）。
井上（構わずに）ヒョードルに勝ってくれるなと山口の旦那も思っていたんじゃないの？　ノゲイラが勝って吉田や桜庭と闘うようになったら、ウワーと話題が出てきて、『紙プロ』なんていうのはウハウハするぐらい儲かりましたよ。
――いやぁ、ウハウハ儲けたかったですねぇ（笑）。
井上　ノゲイラが負けたのは集中力、気力を欠いとったからだろうな。なぜ集中力を欠いとったかというと、ここ1年間にサップにしろ何にしろもの凄い試合をずっとやってきとる。だからそのダメージがどうしても抜けきれてないからあの結果を呼びこんでしまった。ヒョードルのパンチも凄かったけど、ノゲイラほどの男が下から攻めなかったのはそういうことですよ。
――ノゲイラは昨年、強豪と連戦しまくってましたからね。
井上　ノゲイラ12月の福岡大会にも出たけど、それから3ヶ月だろ？　それだけあれば俺は十分、調整できるだろうと考えたわけですよ。だけど、3ヶ月やそこらでホントのダメージというのは回復しないのがわかりましたよ。
――では、ノゲイラもしっかり休養

バードとプロレスの2部構成に不快感を露わにしたアントン総帥。「失敗したら新日本の名前を変えてもらう」とまで言い放った!!　怒りの一因には、愛弟子・RYOTOの『PRIDE』デビュープランが御破算になったこともあると言われる。

前日の通夜に続いて300人以上のファンが訪れた告別式には、WEWの会場で使われていたスクリーンが置かれ、冬木の試合映像が流されていた

すれば勝機はあるわけですね。

井上　ノゲイラが「クソーッ！」って出てきたら面白いだろうな。ヒョードルはノゲイラが休んでるあいだは死ぬ気で吉田にぶつかっていけばいいんですよ！

——今後もK—1や『PRIDE』の楽しみは尽きないわけですね。

井上　それと比べたら、新日本のカードは不服だと猪木は言ってるわけ。面白い試合もあるんだけど、やっぱりノゲイラvsヒョードルとかサップvsミルコとかいうカードじゃないからね。それにスミヤバザルにしてもマチダ・リョウトにしても初めての格闘技なんだから、これはどうやったってトチりますよ。

——ベースは凄いものを持ってるかもしれないけど、バードは新人ですからね。

井上　それは見る側も覚悟しとかな。逆に面白くなることだってありますよ。藤田がガーンって殴って中西が白目むくかもわからんし、逆に中西が藤田を担ぎ上げてアルゼンチン・バックブリーカーで背骨を折ったりね。あの技でホントに揺すったら折れますから！（キッパリ）。

——ガハハハ！　ドンドコ揺すったら折れますか（笑）。

井上　1回、本気で揺すってみぃ!!　折れないように途中で投げたりするからアクシデントが起こらないだけですよ！　だから力道山の空手チョップにしたってオルテガなんかが「禁止技にしろ」と言うたんがわかるわ！　だってオルテガの歯が折れてるんだもん。

——折れましたか！

井上　あれはマジですよ！　力道山の全盛期の空手というのは！　キミらは知らんかもしらんけど、デストロイヤーの歯もバーンと飛んだから！（大興奮）。それをセコンドが拾ってね、コーナーに2つ並べて置いとったのを見たときはゾーッとしたからね。デストロイヤーは「リキドーゼンのカラテでミーの歯はみんなこうされた」って言ってましたよ。だから「プロレスなんてええ加減だ！　力道山なんてええ加減だ！」と思ってるんだったら一回やられてみぃ！「馬場のチョップは効かん」って言うんだったら馬場にやってもらえって！

——ゼヒ、ご存命中に一度受けてみたかったです（笑）。

井上　馬場がチョップでスイカを割るところを昔テレビで見たけど凄かったもんな。そのときは沢村（忠）も出とったんだけど、まず沢村のキックで粉々にスイカが吹っ飛ばしたんですよ。さて、次が馬場の番。俺は「馬場がやって割れなかったらどうしよう」思っとったんだよな！

——それは非常に心配ですね（笑）。

井上　でも、な〜んのことはない。馬場がヒョイとやったら4つぐらいにスイカが割れたもんな！　プロレス者が「井上さんみたいに軽い人が力任せにチョップを叩き込んでも効かんけど、馬場みたいにウェイトがあるからズシーンとくるんだ」って言ってましたよ。

——井上さんのチョップじゃ割れませんか（笑）。

井上　それだけウエイトは重要なんですよ。こないだの『PRIDE』で桜庭はウエイト増やしてきたでしょ？　逆三角形とまではいかんけど、やっぱり上半身にバーンと鍛えた感じがしましたよ。だからモンゴリアンにしてもいままでと違って迫力があったからね。桜庭はそれでもヘビー級には届かんけど、ノゲイラとやるべきでしょうな。軽い者が重い者に挑戦するのは構わんのですよ。その逆はダメだけど。ボクシングだってそうやってるでしょうが。

——柔道なんかもそうですね。

井上　ハッキリ言って俺は52キロかなんかしかないけどね、それでもノゲイラに挑戦できる資格はある！（キッパリ）。

——井上さんがノゲイラに挑戦ですか！

井上　挑戦だけなら俺だってできますよ!!

——ガハハハ！　井上さんvsノゲイラはゼヒ見たいです！（笑）。

井上　まぁ、桜庭もあんだけパワーを付けたらね、サブミッションはもういいからK—1でもやればいいんですよ！

——桜庭がK—1ですか!?

井上　吉田だってやるべきですよ!!　こんなこと言うたら桜庭や吉田に「井上さん、アホか」って呆れられるかもしれませんけど、み〜んな期待してるわけですから！

——見たいといえば見たいですけど……（笑）。

井上　吉田なんか「何々パンチを編み出した」って報道されるぐらいキックやパンチの練習をしてるんなら、バードと両立しろと。ミルコにしたってK—1もバードもやってるじゃないか。ミルコなんかいつバードをやるかわからんから、サブミッションの練習を死ぬほどやってるに決まってますよ。朝から晩までゴロゴロ寝っ転がってるだろうな、あの男は。

——ミルコは「次はヒョードルとやる」と言ってますしね。

井上　そういうカードをね、プロレス界も出し惜しみしとったらダメなんですよ!!　先に6人タッグでやって、その次にタッグでやって「さあシングルだ！」とやっても味が抜けてしまいますよ。しかもそのシングルマッチも「2回やりましょう」で、「1回は向こうでやってAが勝って、次はお返しでこっちでやってBが勝つことにしましょう」なんて、そんなもんが平成15年に通用するか！（ドンッ）。

——残念ながら、プロレスの対抗戦はほぼ全部それです（笑）。

井上　タッグだ6人タッグだって引っ張るんだったら、WWEや闘龍門みたいにやりゃいいんですよ。闘龍門なんてのはふざけたことをやってると思うかもしらんけど試合そのものは凄いですよ、あれは。

——クオリティは凄く高いですよね。

井上　やっぱりビシッとした試合をやってますよ。だからみんな観に行くんだよな。WWEにしたって尻を出してどうのこうの、ションベン引っ掛けてマクマホンとビショフとかが「アホ！　オマエはクビだ」なんてワーワー言ってるだけだったら、誰が行くかって。WWEだって試合そのものが凄いんですよ！

——しかし、井上さんはWWEまでチェックしてるんですね（笑）。

井上　ありゃ身体を見てるだけで興奮できるな！　こないだのWWEは

5・2バードマッチ一番の注目カードはやはり藤田vs中西だろう。中西に限らず、今後も新日本レスラーがバードに続々と参戦すると言われる。I編集長の予言によれば、永田がバード路線のエースに君臨すると言うが、はたしてどうなる!?

プロレスはサップVSミルコみたいなカードを出し惜しみせず組んでみぃ!! 明日ことなんか考えんでいい！

日本で2回あったけど、代々木第一体育館を使ったでしょうが。アレ、ウハウハ儲けてますよ!!

——ウハウハ儲けてますか（笑）。

井上　日本のプロレスも「大会場プロレス」は終わったことだし、もう東京ドームでやらなくてもWWEみたいに代々木第1体育館や両国国技館で充分ですよ。新日本も今回のドームのカードで大阪府立体育会館でやれば、満員になるでしょ。それをPPVで流して、3日遅れぐらいでテレ朝、BS朝日でもやったら、元は取れるはずですよ。

——WWEのビジネススタイルと同じですね。

井上　いまは「デジタルプロレス」ですからね。光ファイバーの時代ですよ！

——光ファイバーですか（笑）。

井上　おう！　この前に電話局の連中が来て言うとったけど、「光ファイバーの時代がそこまで来てます。井上さんも引きますか？」って誘われてな。「いまは150万ぐらい掛かるけど、そのうち2万、3万とか10万とかね、そのぐらいの安い金で引けます」と言ってるんだよ。だから俺が引こうと思ったら引ける時代が来るんだよ、光ファイバーは！

——ボクでも大丈夫ですか（笑）。キミだって引けますよ。

井上　話を聞いてみたら何十兆円と投資してるらしいな、光ファイバーは。そういう時代だから、俺は「デジタルプロレス」ということを言ったんだよ。『紙プロ』でもiモードをやってますけど、そのうち携帯で実況中継が見れる時代が来るに決まってますよ。実際、もう動いてるやん、カラー動画で。

——機能的には可能になってきてますね。

井上　そういう時代だからね、頭を切り替えなくちゃならないんだよ。とにかくK—1や『PRIDE』があんなことをやってるんだったらプロレスは出し惜しみせずに最高のカードを持ってこい！　明日はもう知らんでいい！

——明日ことなんか考えるなと（笑）。

井上　今日が成り立ったらいいぐらいの悲壮な覚悟でいかんと。ヘンに出し惜しみして次の大会はどうだとか言っとったら絶対ダメですよ。

——実際、いまのプロレス界は先を見てる状況じゃないですしね（笑）。

井上　K—1、『PRIDE』を見ろと。いまできる最高のカードを持ってきたじゃないか。ノゲイラvsヒョードル、サップvsミルコが終わったからって、K—1や『PRIDE』は潰れないでしょうが。

——K—1も『PRIDE』も勝った方が軸になる流れができますからね。

井上　サップvsミルコは結果的にコケたけど、出し惜しみしないサダハルンバは正しいな。

——谷川さんもドンドン仕掛けてきますからね。

井上　俺だって仕掛けますよ!!　いまは言えないけど、あるところにけしかける案は持ってるんだよ！（ドンッ）。

——井上さんも仕掛けますか！

井上　それはそのうち「はは～ん、あのとき井上さんが言ったのはこのプランだったか！」ということがわかるよ。それが不発に終わるかどうか知らないけどね、そのときにはこういう計画だったっていう話はするから。

——期待してますよ！

井上　おう！　期待しといてくれや！　いまはそういうことをドンドンやっていく時代だからな。キミだってやれるからね！

——あ、これもボクがやれますか（笑）。

井上　そりゃやれますよ、アンタ！　ヒョードルとヴォルク・ハンを呼んで来て、こちらでノゲイラとスペーヒーを引っ張ってきて、ハワイあたりで対談させてボロクソに言わせたらいいんですよ。

——ガハハハ！　実に豪華な対談ですね（笑）。

井上　そこまでレベルを上げんと平成15年の世の中は持たんわな。5・2だって、客がワーと入って中西vs藤田がもの凄い試合をやってね、スミヤバザルの歯はブッ飛んで骨は折れて客がゲーッというような試合をやれば、この平成15年は持つ！

——そこまでやったら盛り上がるでしょうね（笑）。

井上　そうなったら、団体名を変える騒ぎじゃないですよ。新日本プロレスの上にもう1つの新日本プロレ

新日本のバード進出は『PRIDE』やK-1に覇権を奪われた巻き返し策でもある。最後の手段に出た新日本はマット界盟主の座を奪還できるのか。

前日の通夜に続いて300人以上のファンが訪れた告別式には、WEWの会場で使われていたスクリーンが置かれ、冬木の試合映像が流されていた

小橋の相手は中西でしょうが！ バードでドーンとやれば プロレス界は変わりますよ！

スを飾るぐらいになりますよ。

——井上さん的には同じ舞台でプロレスと格闘技に分けることは問題じゃないんですか？

井上　それは猪木も言ってるけど、プロレスはヘナチョコなもんでバードは凄いもんみたいな考え方をするなってことだね。バードじゃないけども、ガチンコに近い凄い試合を俺はやってきたと猪木は言ってるわけでしょ。実際、猪木は（タイガー・ジェット・）シンやハンセンとやったときは凄かったからね！　そこを勘違いしたらイカンですよ。

——プロレスでもホンモノは見せられるわけですね。

井上　猪木にはヘナチョコな試合もあったのもたしかだよ。特に引退のころはもう猪木はダメだなと思ったからね。これまで通りの試合をやったら猪木の影が薄れる。だから俺が「キラー猪木」を打ち出したんですよ！　「キラー猪木」についてはターザンや山口の旦那もアーダコーダ書いとったけども、キミらが言ってる「キラー猪木」と俺の「キラー猪木」とは全然違うから。

——どう違うんですか？

井上　キミらが言ってるような難しいことは俺は言ってないもん。俺の「キラー猪木」はこれまでの風車の理論をやめて、とりあえず相手を殴り飛ばしてブチのめす。それで反則負けですよ、ざまあみやがれというスタイルですよ！

——たしかにターザンとは違う（笑）。

井上　俺は全部反則負けでもいいけど、とにかく凄い試合をやると。形の上では負けだけども勝負では勝つのがキラー猪木論のポリシーですよ。ゴジャゴジャ言うとるキミらとのはまったく違いますよ、そんなの！

——よ～く伝えておきます（笑）。

井上　とにかくね、プロレスでも凄い試合をやれるいうのが猪木の主張ですよ。だから、第1部、第2部と分けるのは猪木にしてれみれば何を言ってるんだと。そもそもプロレスはエンタメとかそういったものじゃない。新日本プロレスがやってきたのはガチプロだろうと。それをストレートにやったらバードもストプロ（ストロング・プロレス＝井上用語）もないですよ。どこに区別があるんだというのが猪木の言い分なんだろうな。だからこのテーマも含めて5・2というのはジーっと見てる必要がある。俺もジーッと見てますよ!!（ドンッ）。

——ガハハハ！　思い切り興奮してますよ（笑）。

井上　ま、なんだかんど言ったけど、2つに分けるのは非常に面白いテーマですよ。猪木がいろいろ言ってボーンと投げた宿題に、新日本プロレスがどういうふう解答を出すのか興味深いからね。

プロレスの部の切り札は、ノアより新日本初登場となる小橋健太と新日本・現場責任者である蝶野の一戦。バード混入の大会でどのような闘いを見せるのだろう。

——5・2はその試金石ですよね。

井上　そこら辺はマスコミもそうだろうけど、ファンのほうがもっと感じ取ってると思いますよ。カードよりもテーマが面白いから「結果がどうなるのか確かめに行こうじゃないか」という話をデルフィンたちが水道橋あたりでやってますよ。

——大阪からでもわかりますか（笑）

井上　そんなのわかりますよ！　そういう連中が5・2にワーワーと行くと思うんだよ。だから今度の5・2は満員にならなかったらおかしいと思う。試合のカードだけじゃなくて、猪木が投げかけた大きなテーマに客を食い付いてくるからな。だから、プロレス者のKさんなんかは「猪木が文句を言ったのは客を呼ぶためのテクニック」と言ってるんだけどね。

——カード以外に付加価値を加えたわけですね。

井上　猪木が爆弾発言をして5・2にはとんでもない大騒動になっとるんと違うか、これは行かなイカンですよとファンに考えさせる猪木の策略かもしれないね。あの人も頭がいいから瞬間的にそういうことを思いつくんですよ。馬場はじっくり考えてそういうことを言う人ですからね。どちらも頭がいいということには違いないんだけど、猪木は瞬間的、馬場はじっくり考えて石橋を叩いて渡る。織田信長方式が猪木、家康方式が馬場ですよ。どちらもタイプは違うけど、あの二人はある意味では頭がいいですよ。とにかく、5月2日には猪木賞賛論が渦巻くと俺は見るね。

——結局は猪木万歳なわけですね（笑）。

井上　「さすが猪木！　よくあそこでこんなことを言って盛り上げた」と誰もが口を揃えて言いますよ。それは新日本プロレスの連中も感謝するだろうな。

——というと、5・2は成功すると思っていいわけですね。

井上　おそらく超満員になると思う。正真正銘の超満員になりますよ。

——いまはなんでもかんでも超満員にする風潮ですけど、しっかり埋まりますか。

井上　まぁ、いまは主催者発表だから実数はわからんけども。それこそ3万人ぐらいしか入ってないのに発表は5500人とかあるからな。

——ありますね（笑）。

井上　マスコミなんかは「主催者発

前田道場最後の遺伝子が歩む

プロレスと格闘技

頭を切り換えないとダメになる。いまは「デジタルプロレス」、光ファイバーの時代ですから

表」と書いとるだろ。観客数と書くと読者から文句がくるからそうなったんですよ。

――そういう理由があったんですか（笑）。

井上　俺が『週刊ファイト』の編集長をやっとったときもそうだったもんね。「3000人ぐらいなのに、5000人だなんてウソ書くな」って何十回と文句を言われましたよ！　だからマスコミは「もうたまらん」と業を煮やして「主催者発表」と入れたんだよ。実数じゃなくて主催者が言うた数字ですよ。本当のことなんか知るかと！

――いやぁ、勉強になりました（笑）。

井上　俺らにしたら、どこの団体も満員になるのを願ってるわけだけどね。国際プロレスがダメだったときもホントつらかったもんな。大阪でやるときなんか吉原さん（国際プロレス代表）が「井上さん、頼みます。何とかして3000人は入るように『週刊ファイト』で盛り上げてください」と頼まれてな。あんとき吉原さんが両手をついて俺に頭を下げたから、俺も一生懸命書いたんだけどラッシャー木村の金網マッチに500人しか入らなかったなぁ。

――それは厳しいですねぇ。

井上　吉原さん、頭を下げたシーンを思い出したら泣けますよ……。いまも涙が出るけどな。キミも俺が涙声なのがわかるだろう！（声を詰まらせて）

――は、はい……。

井上　記者や編集長が団体のことを考えなかったらとんでもない話や！　俺なんか客が入っとったらパーッと心が明るくなるもんね。入ってなかったら記者と顔を合わせて「入っとらんな」と暗い表情になりましたよ。だって入らなかったらこっちの首も絞めるんだもん。『紙プロ』で言えば、K―1、『PRIDE』がダメになったら潰れるだろ！

――確かに厳しくなりますね（笑）。

井上　お互い助け合っていくもんなんだよな、団体とは。『週プロ』だって新日本から締め出されたとき売り上げが落ちたらしいけど、新日本の客足も落ちたようだからな。書かないってことはやっぱり情報が少なくなるんですよ。

――取材拒否はお互いのためにはならないんですね。

井上　しかもいまの時代、団体がプロレスマスコミに「お前、気に入らんことを書くな。書いたら追い出すぞ」というのは無理があるわな。いまは素人がドンドン、ホームページを立ち上げたり、書いたり、意見を言ったりしとるだろ。

――マスコミにだけ言論統制してもしょうがないですよね。

井上　俺だってホームページやったら、止めることはできませんよ!!

――ガハハハ！　止まりませんか（笑）。

井上　たくさんのホームページでみんなワーワー言うてるわけでしょ。どうやって止めるんだと。そんな時代にだね、三沢にアレコレ言うたから山本を外せとかやってるようだけども、一体何をやってるんだと！

――井上さんもサムライ騒動をご存じでしたか（笑）。

井上　もちろんですよ、アンタ！　俺も取材拒否を喰らいましたけど、あれは昭和41年のことですよ。キミはいまいくつ？

――ボクは29です（笑）。

井上　キミなんか影も形もない37年前に喰らっとるんですよ!!　それを平成も15年になってね、ま～だ同じことをやってるというのは、いかにこの業界がダメってことですよ。だいたい、この時代にそんなことがまかり通るならブッシュは世界中を取材拒否してますよ！（ドンッ）。

――ガハハハ！　世界中に取材拒否ですか！（笑）。

井上　団体も生きるか死ぬかでしょうけどね、ブッシュにしてみたらアメリカが潰れるか潰れんかですよ。それなのに、あれだけ叩く報道をされても取材拒否してないからね。

――それはしてないというより、できないだけですよ！

井上　ま、俺は取材拒否されても困りませんからね。俺は自分を評論家でもフリーライターとも思ってないのよ。単なるファンだから！

――井上さんは単なるファンでしたか（笑）。

井上　どこにも所属してないし、キミらに頼まれて原稿を書いたり喋ったり、喫茶店トークでワーワー言うたりしてるだけの話ですからね。ただ、俺のところに文句を言うて来るっていうんだったらいつでも受けてたちますよ。俺も取材拒否を喰らったときはやり返したから！

――どんな反撃をしたんですか？

井上　やったわ！　俺が日プロが気に入らんことや営業妨害になるようなことを喋ったり書いたりしたことはたしかですよ。これは絶対に間違いないない！　あんなこと力道山時代に書いたら殺されてただろうな。

――消されてますか（笑）。

井上　完全に消されてますよ！　あれは東京プロレスの旗揚げをワーと書いたから、「日プロに対して多大

新日本・現場責任者時代、頑なにバードを拒絶してみせた長州。今回の新日本の行動は長州の目にはどのように映っているのだろう。なぁ、金沢。

前日の通夜に続いて300人以上のファンが訪れた告別式には、WEWの会場で使われていたスクリーンが置かれ、冬木の試合映像が流されていた

猪木が投げかけたテーマに客が喰いつく。5月2日は猪木賛美論が渦巻くでしょうな

な損害を与えた」ということで取材拒否を言うてきたんだよな。

──ムチャクチャな理由ですね（笑）。

井上　まぁ、プロレスは芸能界と一緒の部分があって、気に入らんことを書いたら出入りしてくれるないうのはわからんでもないの。サブちゃんの悪口言ったら、北島三郎事務所に出入りできないのと一緒ですよ、そんなの。

──業界の体質的に致し方ないところもあるんですね（笑）。

井上　でもな、出入りできなくなるのはいいけどね、いきなりボーンとやるんじゃなくて、もう少し話し合いをする必要はあるわな。それは長州もわかってることですよ。

──長州さんがわかってるんですか？

井上　ホラ、長州がＷＪを旗揚げしたときに俺がガタガタ文句を言うたけど、長州が何にも言ってないじゃない。あの変わり様は何かと言ったら、おそらく山本とのイザコザが効いてますよ。

──ターザンが『週プロ』編集長を降りることまで発展した新日本の取材拒否事件ですね。

井上　さっきも言ったけど、『週プロ』に載せないことで客数や視聴率も落ちた。何の得にもならなかったと長州が反省したと思うんだよな。

──たしかにあの時期からプロレス界のビジネスは落ちてきましたね。

井上　あのやり方をみて、もう新日本はダメだと言ってたのは1人や2人じゃなかったからね。俺の周囲だけでもかなりおったから！　大阪府立体育館にしょっちゅう行ってた連中が行かなくなったもん。そんなことをしたら「みっともない。もうプロレスなんかいいわ」ってなっちゃうじゃないか。

──熱は冷めますよね。

井上　長州も新日本プロレスにおって社長になったら反省はしないと思うけど、一生懸命に守ったはずの新日本プロレスと喧嘩して出て行ったんだからね。「俺は一体、山本と何でゴチャゴチャやったんだろう」となったはずですよ。だから俺が何を言っても、好きなようにして下さいとなったんだろうな、たぶん。

──ある種、達観してるんですね（笑）。

井上　それは永島の旦那の知恵でもあるじゃないの。長州と永島の旦那は第一弾は最初だからトチったけどね、一生懸命やってトチったんならいいじゃないか。いきなり良くはならないだろうけど、それを教訓にやっていくと思いますよ。「さすが長州、さすが永島の旦那」という団体になりますよ。

──ＷＪの未来は明るいわけですね。

井上　俺もＷＪが超満員になることを願いますよ。俺もワーワー言ってたけど、やっぱり団体のために良かれと思って言ってただけだからね。

──愛のある提言なんですね。

井上　だから５・２も同じことでね、俺がいままで「バードをやれ！」と言ってきたことに対してある連中が「プロレス団体が何でバーリ・トゥードをやるんだよ」「井上っていうのはアホや」と言ってたらしいと某記者から聞いたんだよ。

──結局、井上さんの予言通りにバードをやることになりましたね（笑）。

井上　俺はな、その記者に「『井上さんが言うた通りになりましたね』と怒鳴っておけ」と言いましたよ!!（大興奮）。

──ガハハハ！　これからも愛のある提言をお願いします！

井上　ところで『紙プロ』は新日本から取材拒否を喰らったことはあるのか？

──「取材拒否！」と言われたかどうかは知らないですけど、かなり前から新日本はずっと取材できないです（笑）。あとはノアもそうですけど。

井上　ま、そういうことであまり団体と喧嘩をせんほうが利口ですよ。放っといたらいいんだよ。

──はい（笑）。

井上「ああそうですか」とケロっとしてればいいんですよ。全〜然、気になんかしない。取材拒否されて真っ青になってオドオドするようなことはない。格闘技に乗り換えたっていいんだし、いまは「デジタルプロレス」の時代やから。何だったら光ファイバーに乗り換えたっていいんですよ！　山口の旦那に言うてみい！　大損するかもしれないけどな。

──ガハハハ！　よ〜く伝えておきます（笑）。今日は長時間、ありがとうございました！

井上　おう！　またなんかあったら電話してちょうだい！

【03年4月某日　電話取材にて収録】

成功・失敗に関わらず、5・2ドーム終了後のアントン成田会見はとっても楽しみだ!!　そしてＩ編集長の総括も同様。直後の『紙プロHand』I編集長コラムは必見です！　2人の"I"はどのような評価を下すのか?

MMA米国デビュー戦でベルト奪取!!　プロレスでは打倒『炎武連夢』だ!!

前田道場最後の遺伝子が歩む

プロレスと格闘技

伊藤博之

U-STYLEでプロ初勝利!! 5・5『DEEP』でドスJr.と激突!!

横井宏孝

MMA米国デビュー戦でベルト奪取!! プロレスでは打倒『炎武連夢』だ!!

リングスの突然の休止から1年──。『PRIDE』で頂点に君臨した“最後の皇帝”ヒョードルを筆頭に、元リングス戦士たちは様々な舞台で活躍を続けている。それは前田道場出身という看板を背負う最後の弟子、伊藤博之と横井宏孝も同様。キャリアはまだ1年ちょっとながら、新人とは思えない存在感を発揮する2人に今後の歩むべき道を語ってもらった。

聞き手／松澤チョロ
撮影／吉場正和
構成／ジャン斉藤
designed by ZERO graphics

か、勘弁してくださいよ、伊藤さん(苦笑)。

伊藤　(いきなり長州調で) おい、松澤！　今日は何を聞くんだぁ？

——ど、どうしたんですか、伊藤さん？ (笑)。

伊藤　いや、前号の『紙プロ』で、チョロさん「オイ！　松澤」と呼ばれたいって言ってたじゃないですか。だから、呼んであげようかと思いまして (笑)。

——それは長州さんにですよ (笑)。細かいところまでチェックしてますねぇ。

伊藤　いやぁ、ボクはお忙しい横井と違ってヒマですからね。

横井　(恐縮して) いやいやいやいや、やめてくださいよぉ、伊藤さん。

——伊藤さんの方が先輩になるんですよね。リングスの同期と思ってる人が多いですけど。

伊藤　デビューがほぼ同時期だったからじゃないですか。ボクは入門が1年早かっただけで、横井とは違って前田道場の劣性遺伝子ですからね。

横井　いやいや、全然そんな……。

伊藤　(遮って) 横井にはいまでも練習で可愛がられてますから。ラッパ吹かされてます(笑)。

横井　そ、そんなことないです (笑)。

——やっぱり横井さんは先輩の伊藤さんの目から見ても"怪物"なんですか？

伊藤　怪物ですねぇ。

——今日も、アメリカで奪ったベルト (フックンシュート南東部ライトヘビー級チャンピオン) を自転車のカゴに剥き出しのまま入れて現れましたからね (笑)。

横井　だってベルトケースみたいのが貰えなかったんですよ (笑)。

——でも、通行人はみんな驚いてましたよ！で、今回のアメリカ遠征には、高阪さんや伊藤さんもセコンドとして行かれたんですよね。

伊藤　それは名古屋でやった『club DEEP』で自分が試合したときに、横井が自費で来てくれたんで、今度試合するときは自分も絶対に行こうと思ってたんですよ。それで「どこでやるの？」って聞いたら「……アメリカです」って言われて (笑)。

3・2ZERO-ONE両国大会では、高山善廣とスペシャルタッグを結成！　プレデター組とのド迫力ファイトで国技館を震撼させた横井。

——アハハハハ！　まあ名古屋とアメリカじゃエライ差がありますね (笑)。

横井　も、申し訳ないです (笑)。

伊藤　でも、ジェレミー・ホーンが所属してるミレティッチ・マーシャルアーツ・センターに行って練習もしたんで、意義のある遠征でしたよ。それと自分、向こうでボクシングの試合をしてきたんですよ。

——えっ、ボクシングですか!?

伊藤　クラブに連れて行かれたら地下プロレスみたいなことやってるところだったんですよ。

——ち、地下プロレスに出たんですか!? (笑)。

伊藤　はい (笑)。そこではいろんなルールで試合をやってって「ボクシングの相手がいないから、どうだ？」って誘われたんですよね。相手は、そのボクシングの常連だったんですけど、ダウンを奪って判定で勝ちました。

——おめでとうございます。しかし、度胸ありますねぇ (笑)。

伊藤　(カバンを開いて) 写真はどれだっけかなぁ……。あ、これですこれです！

——思い切りピンボケしてますよ！　本当に伊藤さんなんですか？ (笑)。

伊藤　他のはちゃんと撮れてるのになぁ。横井の試合とかは自分が撮ったんですよ。

——横井さんの試合後の写真を見ると、目の周りとかドス黒くなってますけど、内容的にはどうだったんですか？

ボクは横井とは違って前田道場の劣性遺伝子ですから(笑)。

横井　危なかったです、大逆転勝利でした。

伊藤　ボクも横井の試合は10試合ぐらい見てますけど、いままでで一番危ない場面があったって感じですね。

横井　やっぱり日本でやるのとは違いますよね。あっちに行っても時差とか全然気にしないで眠たいときに寝たりしてたから、ちょうど試合の前ぐらいに凄い眠くなっちゃって (笑)。次からはちゃんと計算して睡眠取らなきゃいけないなと思いましたよ。あと契約で10キログらい減量しなきゃいけなかったし、コンディションもあまり良くなかったですね。

——次なる総合の目標は何かあるんですか？

横井　やっぱりUFCに出たいですね。あの金網の中で闘いたい気持ちが凄く強いんで。あのケンカみたいな雰囲気がいいんですよ。

——UFCのベルトを獲りたいとか、誰かと闘いというよりも、金網の中で殴り合いたいと。

横井　そうですね。ボクはリングスに入る前からUFCに興味あったんですよ。高阪さんがリングスからUFCに行ったじゃないですか。自分も絶対そうしようと思ってたんですよ。

——その道が今回の勝利で見えてきましたね。そういえば、ジョシュ・バーネットがネット上で勝利後にメッセージを寄せてましたよ。

横井　そうらしいですね。まだ見てないんですけど、どんなこと書いてたんですか？

——「ヨコイは前からやるヤツだと思ってたぜ！」とか「リングスはここで生きてた！」って熱く書いてましたよ (笑)。

横井　嬉しいなあ！　ジョシュはいい人ですよね、面白いし、それに強いし (ニッコリ)。

伊藤　凄い面白いッスよ、ジョシュは。永田 (裕志) さんとの試合前にUWFのテーマ曲集を聴いて気分高めてましたもん (笑)。

——そのジョシュは新日本プロレスで、日本で初めてのVTをやりますけど、相手のジミー・アンブリッツは経歴や風貌を見るとかなり強そうですよね。

横井　でも、ジョシュには勝てません！ (キッ

パリ)。彼はスーパーマンなんですから。

高阪さんが言うには、カート・アングルとブロ

パリ）。彼はスーパーマンなんですから。

——ジョシュはUFCも制した実力者ですもんね。同じ舞台で高阪さんもVTをやりますけど、スミヤバザル（・ドルゴルスレン）もかなり強いって話を聞きますけど。

横井 いや、高阪さんの方が強いッス。高阪さん、自分らの見えないところでトレーニングしてるし、練習内容も凄いですからね。一緒にウエイトやったら恥ずかしくなりますから。

——怪物君が恥ずかしくなりますか。

伊藤 アメリカで一番驚いたのは、高阪さんの"世界のTK"振りなんですよ。みんなで『レッスルマニア』を観に行ったんですけど、観客のガイジンに「OH！ TK！ 一緒に写真撮ってくれよ！」って言われてましたね（笑）。

横井 憧れますよねぇ。高阪さんみたいになりたいですよ！

伊藤 いやぁ、横井さんも"世界の横井"ですから！（嫌みたっぷり）。

横井 か、勘弁してくださいよぉ……。

——どうしたんですか、急に（笑）。

伊藤 いやあね、『レッスルマニア』の帰りにみんなでチャイナタウンにご飯食べに行ったんですよ。そしたら向こうに住んでる日本人が「高阪さん、横井さん、サインください！」って頼んできたんですけど、自分は何も言われなくて虚しく北京ダック食べてたんですよね。

横井 い、いや……（言葉に詰まって）。

伊藤 横井の試合のときも、リングアナやってたブルース・バッファロー（UFC名物リングアナ）に観光客と間違えられて「ホラ、やるよ！」ってサインカード貰いましたしね（笑）。

——そのまま貰う方も貰う方ですよ（笑）。ところで『レッスルマニア』はいかがでしたか？

横井 日本とはノリが違いますよ。やっぱり生で見ると会場の雰囲気に圧倒されますよね。ボクもメチャメチャ好きってわけじゃなかったですけど、向こうで観たらファンになっちゃいましたよ、あれは。

——しっかりTシャツも着てますもんね（笑）。

高阪さんが言うには、カート・アングルとブロック・レスナーの試合には細かい攻防や素人にはわからない動きがあって、格闘技的に見ても面白かったと言ってましたけど。

伊藤 そうなのかな？ どの試合だったか忘れましたけど、高阪さん寝てましたよ。

——あ、先輩の陰口ですか（笑）。

伊藤 いや、そういうわけじゃないですよ（笑）。

横井 それはマズイですよ、伊藤さん（笑）。高阪さんはWWEが大好きですよ。「あの喋りが面白いんだよ」とか言ってましたし。

——やっぱり喋りですか（笑）。たしかにあの表現力は凄いですよね。

横井 ブッカーTの表情も素晴らしかったですしね（笑）。あれは、これからZERO-ONEのリングでも活かせますよ。

——これからはWWEナイズされたニュー横井が見られるわけですね。

横井 ま、期待していてください（微笑）。

——同じプロレスのフィールドで活躍してるわけですけど、ゆくゆくはWWEまで上がりたいっていう気持ちも出てきたんじゃないですか？

横井 それはないですね。たしかにWWEは観る分には面白いですけどボクがやりたいプロレスではないですから。リング外の闘いが多いじゃないですか、WWEって。

——それも面白さの1つではありますけどね。

横井 ボクはリングの中で闘いを見せたいんですよ。それに、まずはZERO-ONEで大谷晋二郎、田中将斗の炎武連夢を倒さないと先には進めないですから。

——とりあえず、いまのところプロレスの目標は打倒・炎武連夢なんですね。

横井 （即座に）炎武連夢ッス！

伊藤 そういえば、佐藤（耕平）選手とのチーム名って決まったの？ 募集してるんでしょ。

横井 まだ決まってないんですよ。中間報告を聞いたんですけど、ほとんどが笑わせようとしてる名前が多くて。見てる分には楽しいんですけど、それがチーム名となるとちょっと（笑）。

——ZERO-ONEだからって、面白ければいいと思ってるんでしょうね（笑）。

横井 マジメなヤツをお願いします！ 早くチーム名を決めて炎武連夢を倒したいッス！

伊藤 （恨めしそうに）寂しいよなぁ。リングスの頃は「チーム・ノー・ファイアー」を組んでたのにさ、いまは声も掛けてもらえないからね。

横井 （慌てて）伊藤さんがZERO-ONEに出たら、もちろん一緒にやりますよ！

伊藤 いやいや、横井なんてさぁ、リングスの寮では一緒の部屋だったのに、隣の部屋が空いたら何も言わずにいつの間にか移っちゃうしさ。いつもそうやって仲間外れなんだよなぁ。

——あ、横井さんは伊藤さんに心を開いていないんですね（笑）。

横井 そ、そんなことないですよぉ（苦笑）。

伊藤 ま、いいんですよ。総合無敗の男と、かたや無勝の男ですからね！

——とことん自虐的ですね、伊藤さん（笑）。でも先日のU-STYLEではプロ初勝利を収めたじゃないですか。

伊藤 いや、全然納得してないですよ。総合ではまだ勝ってないですし。それにU-STYLEは内容が凄く問われるじゃないですか？

——伊藤さんは試合後、「納得いかない」って半泣き気味でしたからね。

伊藤 （ムキになって）泣いてないッスよ!!

——でも、涙はためてましたよね（笑）。

伊藤 そ、そうかもしれない（笑）。

——こないだはイマイチでしたけど、U-STYLEの旗揚げ戦では、上山さんのテクニックと伊藤さんの気迫がうまく絡み合って凄くいい試合だったんですけどね。

伊藤 まだ自分は田村さんとか上山さんみたいに技術で見せるのは無理だと思うんですよ。だから何を見せればいいのかなっていったら気持ちだと思うんですよ。1秒でも2秒でもいいから執念みたいなものを出せればいいんですけど、こないだは全然出せなかったんで。

——横井さんなんかは普段はもの凄く腰が低い

ですけど、リングに上がると変貌しますよね。

横井 そうですね。リングに入るとスイッチ入っちゃいますから（ニッコリ）。

伊藤 藤井（克久）さんが言ってましたよ。「横井君は試合のときは怖い顔なんだけど、リング降りると女の子とかにニコニコしてズルいよ！」って（笑）。

横井 でも、その可愛いキャラが本当のボクですよ（ニッコリ）。

伊藤 （冷めた口調で）まったくその通りだよね。自分が12月の『DEEP』（MAX宮沢戦）で負けて落ち込んでたら、横井が「伊藤さん、また頑張りましょう！　お先に失礼します」って帰ったんですよ。で、自分はたまたま携帯が鳴ったんで外出たら、横井は女の子4人ぐらい連れてニコニコしてましたからね！

横井 こ、これ書いたらダメですよ！

伊藤 いや、載せてくださいよ！

横井 ダメです！　勘弁してください、ホントに。別になんもないんですよ。ただ友達と一緒に帰っただけですよ（汗）。

――ただの友達ならぜひ掲載しましょう（笑）。ついでにうかがいますけど、伊藤さんの女性関係はどうなんでしょうか？

伊藤 サッパリないですね……。すいません、ビールください！

――飲みますねえ、伊藤さん（笑）。

伊藤 飲まなきゃやってらんないですよ!!

――アハハハハ！　では、お飲みになって頂いてる間に横井さんにお伺いします（笑）。5月2日には、新日本東京ドームとの興行戦争といわれるZERO―ONEの後楽園大会がありますけど、横井さんとしては、打倒・新日本の意識はあるんですか？

横井 （頷きながら）もちろんありますよ。新日本には高阪さんも出ますけど、絶対に新日本より盛り上げますよ。ボクにとってはZERO―ONEがキング・オブ・プロレスですから！

――ZERO―ONEがキング・オブ・プロレス!!　ZERO―ONEは全日本との対抗戦もありますけど、横井さん的にはいかがでしたか？

横井 う～ん、ハッキリ言って全日本の人とやっても面白くないですね。炎武連夢とやってる方がよっぽど面白いですから、ボクは。ZERO―ONEを中心に頑張っていきます。

伊藤 （突然）ボクの目標は『東スポ』の新人賞を取ることです！

――何ですか、いきなり（笑）。

伊藤 高阪さんにも「いまさら新人じゃねえだろ」って言われたんですけど、去年横井が新人賞にエントリーされたんですよね（羨ましそうに）。

横井 そうなんですよ！　吉田（秀彦）さんとボブ・サップもこの世界では新人ですけど、その2人じゃなかったら絶対ボクだと思ってたんですよ。それが何ですか！　あの結果は!?

――小笠原先生が取っちゃいましたね（笑）。

横井 ホント、ガックリしちゃいましたよ（肩を落として）。今年はたぶん中邑（真輔）君だと思うんですけどね。

伊藤 いや、ドスJr.に勝ってボクが取ります!!

――伊藤さんも『DEEP』で大一番が決まりましたからね。ドスJr.の相手はいろいろと取り沙汰されてましたけど、まさか伊藤さんになるとは思いませんでしたよ！

伊藤 いや、ボクが一番驚いてますよ！（笑）。

――あ、本人が一番ビックリしている（笑）。

伊藤 予定してた選手がケガをしちゃって佐伯さんが本当に困ってたじゃないですか。自分は佐伯さんに拾ってもらって生活してるわけですから、何とか役に立ちたいっていう気持ちがあったんで名乗り出たんですよ。

――恩人に報いたかった、と。ドスJr.の印象は何かありますか？

伊藤 アマレスでオリンピック代表になりかけたエリートですよね。自分、体重が84キロぐらいしかないから、投げられて頭から落とされるんじゃないかなって思いますけど、弱点を見つけましたからね。

――発見しましたか。横井さんは、ZERO―ONEでドスJr.と肌を合わせたことありますけ

TKと愉快な仲間たち ～アメリカ遠征編～

仰天!!　伊藤、地下ボクシングを敢行ーッ!!

（左）ミレティッチのジムでは、リコを破りUFC王者に君臨したばかりのティム・シルビアとも練習。デカイ!!『PRIDE』に来ませんか？（右）思い切りピンボケしているが、地下ボクシングで勝ちどきを受ける伊藤。ホイホイ出ていく根性は素晴らしい!!

TKはWWEでも凄いんです!!

（上）『レッスルマニア』観戦に訪れた元リングス御一行様。なんだか横井が凄い顔してますね。それにしてもゴッツイ3人です。（下）本文中で触れられているが、WWEファンから写真撮影を求められる“世界のTK”!!　異名は伊達じゃなかったのだ。

怪物君、アメリカで初戴冠!!

3・28フロリダで行われた大会にはスペーヒーなど重鎮の姿も見られた。相手のウィルソン・ゴヘイア〈写真〉の打撃で苦しんだ横井だが、3Rにマウントパンチの連打で王座奪取!!　HcS南東部ライトヘビー級王者に輝いた

長期欠場の崔（リョウジ）のために ドスJr.に勝って エールを送りたい〈伊藤〉

伊藤博之

【いとう・ひろゆき】76年、静岡県出身。前田道場からデビューした最後の男。デビュー戦に履いたスッパツに「心は山本、技は金原、体は和田、生き様は前田」と殴り書きしていたエピソードを持つ。現在は『DEEP』、U-STYLEを中心に活躍中！

横井宏孝

【よこい・ひろたか】78年、北海道出身。リングス入団わずか4カ月でプロデビュー。リングス休止後は『PRIDE』、『DEEP』、『LEGEND』に登場。いまだMMA無敗の怪物君。プロレスではZERO-ONEが主戦場。佐藤耕平とのタッグで打倒「炎武連夢」を目指す。

ど、この一戦はどう見てますか？

横井 伊藤さんが心で勝つと思います。

——心技体の〝心〟の部分では勝ってると？

横井 伊藤さんの心は強いですからね。体は鍛えられるけど、心はなかなか鍛えられないと思うんですよ。

伊藤 それはボクが尊敬するゴッチさんも言ってるんですよ。ハートはどんなに練習しても……あ、あれ？　忘れちゃいましたよ！

——肝心なところを忘れちゃいましたか（笑）。

伊藤 まあ、とにかく！（Tシャツを指差して）心は山本、技は金原で行きますよ！

——そして顔の迫力はTK、と（笑）。

伊藤 でも、自分がメインっていうのはダメだと思うけどなぁ（笑）。しかも自分、6試合やってメインを3回やってるんですよ。ちょっと使う方も考えてくださいよ！（逆ギレ）。

——アハハハ！　どんなアピールですか（笑）。やっぱり前田道場最後の遺伝子ってことで、それだけ期待されてるってことですよ。

伊藤 ホント「最後の遺伝子だ」って胸張って言えるような試合をしたいですね。浅草キッドさんが、最後の遺伝子は横井と滑川さんだって某『SRS—DX』で書いてたんですけど。

横井 いやいや、伊藤さんもそうですよぉ。

伊藤 （まったく聞かずに）横井はよく（博士に）食事連れていってもらってるみたいですね。横井は「伊藤さん、今度一緒に行かないですか？」って口では言ってくれるんですけどね。

横井 いやいや、今度一緒に行こうと思ってましたよぉ。

——こうなったら絶対にドスJr.に勝って、博士宅に乗り込みましょう！（笑）。

伊藤 ハッキリ言って、他の選手は「なんで伊藤なの？」って絶対思うだろうし、自分がもしファンとして見たら「なんで伊藤なんかがドスとやるんだよ？　あいつ一回も勝ってねえし、しょっぱいのに」って絶対思いますから。

——またボロクソに言いますね（笑）。

伊藤 だってそうですもん。だから、俺はそう思ってる人を後悔させるような試合をします。

——見返せるような試合を見せてくださいよ。

伊藤 はい！　それと……ドスJr.戦をやるのはアメリカ遠征の成果も出したいし、佐伯さんが困っていたこともあるんですけど、本当は崔（リョウジ）の力になりたいからなんですよ。

——ZERO-ONEの崔選手のためですか？

伊藤 いまの崔は怪我で欠場してるじゃないですか。いつ復帰できるかどうかも、まだわかんないんですよね……。

——復帰まではかなり長引きそうですね。

伊藤 崔はリングスにいたときがあって、自分と同期だったんですよ。カッコつけてるわけじゃないけど、自分が勝つことによってある意味特効薬みたいな感じになれば……。「俺も頑張るから、お前も頑張れよ」って。

——そういう想いがあったんですね。余計に期待しますよ！　これでしょっぱい試合で、また控室で泣かれたらこっちが困りますから（笑）。

伊藤 だから、泣いてないッスよ！（急に立ち上がり）すいません、ちょっとトイレ。

——はい（笑）。横井さんも、元リングス勢は滑川さんも金原さんも手術して欠場中なんで、先輩の分まで頑張ってください！

横井 いやいや、あとはヒョードルに頑張ってもらいますよ。ボクはもう無理です。自分の限界は自分が一番よく知ってますから（微笑）。

——笑顔で悲観的なこと言わないでくださいよ（笑）。リングスどころか、横井さんは日本人最後の砦なんですから。

横井 （謙遜して）いやいや、全然そんなことないですよ。

伊藤 （戻ってくるなり）俺がいない間、悪口言ってたでしょ。ドスJr.に「頭から落とされて死んじゃえばいい！」とか言ってたでしょ!?

——何でわかったんですか？（笑）。

伊藤 やっぱりな（笑）。もう、絶対に勝ってみんなを見返してやりますよ！

——期待してますんで頑張ってください！

【4月10日／高円寺「居酒屋ごっち」にて収録】

"エース"ドスJr.も飛来!!
ドス・父もセコンドで登場だ!!

正直スマン！
エレクトロ・ショック、
カト・クン・リーJr.の
写真はなし!!
プロレス者の想像力を膨らませろ!!

"メキシコ最強幻想"を
持つ男
ブラソ・デ・プラタ!!

ルチャVT軍団がまたやってくる!!
ロシア、ブラジルはもう古い!!
本気になったメキシコを見よ!!
かもしれない

皆さん、メキシコが本気ですよ！

昨年の『DEEP』で行われた日本選抜との対抗戦で全敗を喫したルチャ軍団が、その屈辱を晴らすべく再び襲来!! 復讐に燃えるルチャ勢の本気度をビッシビシと感じさせるエピソードが明らかになった!!

昨年の対抗戦同様、ルチャ軍団のエースを務めるのはドス・カラスJr.。アマレスで五輪メキシコ代表候補の経歴があり（協会とのトラブルで出場取り消し）、「練習を積めば世界最強になれる」とバス・ルッテンも絶賛する身体能力を持つ男は、謙吾に敗れた悔しさから自費でアメリカのマルコ・ファス道場に通いバーリ・トゥード（以下VT）対策に励んでいる。前回の"野武士"中野戦では、魅力であった野性味溢れるファイトを封印してセオリー通りの動きで完勝。お客の声援を人一倍気にするルチャドールとは思えない味気ない勝利を納めたことからも、VTに対して真剣に取り組んでいる姿勢が窺える。ドスJr.はメキシコで道場を立ち上げるプランも予定しており、なんとドスJr.弟や他のルチャ戦士も「俺にもやらせろ！」と総合進出を希望！ ロシアとブラジルの覇権争いが激化するマット界であるが、メキシコ時代の足音が聞こえてくるのは気のせいだろうか。気のせいですね。いや、やっぱり気のせいじゃない！何しろ今回の対抗戦には、ルチャ最強の男が投入されるのだから、ルチャ勢は本気なんです！

そのルチャ最強の男とは、愛くるしいルックス&パフォーマンスで、後楽園ホールの人気者であった140キロの巨漢ブラソ・デ・プラタ。この風貌でメキシコ最強かよ!?と疑うガファリっぷりであるが、今回の試合はメキシコでも注目されてるらしく、最強幻想をしっかり抱いているのだ。あくまで幻想、であるが…。

他に参戦するルチャ勢では、大久保ちゃんに敗れた父親の敵を討つべくカト・クン・リーJr.が意気込み十分。そして父親のカト・クン・リーもそれ以上にエキサイト！「俺も闘う！ ジャポンに行く！」と佐伯代表に詰め寄ったが、ソラールvsみのる張りの場外乱闘を恐れた佐伯代表が「●万円を渡して」メキシコ残留を要請。今回は母国で朗報を待つことになったが、異常なまでの「俺が！俺が！」アピールから一転、金を渡されればアッサリ身を引く姿勢に、ある種のプロ魂を感じさせるから本当に最高だ。かつてドスJr.が初VTに挑む際、あのマスカラスが「俺がやってやる！」と吠えたこともあったが、ルチャ軍団の注目すべき点は、まったく根拠のない自信に満ち溢れたデタラメなエネルギーである。「金的がダメなら、"何でもあり"じゃない！」と吠えるかと思えば、「チョークは反則だ！」と、ちゃっかりアピールする都合の良さもあるが、まったく憎めない素敵なバカなのだ。5月5日後楽園ホールでは、そんな素敵なルチャ軍団をぜひ見届けてほしい。

なお、緊迫する国際情勢の余波で万が一であるがプラタの来日が不可能になった場合、30キロほどプラタより軽いですが、佐伯代表がマスクを被って闘うそうです。ご安心してご来場ください。

ルチャVT軍団 vs 日本人選抜 5対5対抗戦

5･5『DEEP』後楽園大会

【日時】5月5日　18:00～　【会場】東京・後楽園ホール　【お問い合わせ】DEEP事務局 TEL.052-339-0303

1.	深見智之（CMA京都成蹊館）	vs	カツオ（RODEO STYLE）
2.	藤沼弘秀（荒武者総合格闘術）	vs	真霜拳號（KAIENTAI-DOJO）
3.	石川英司（パンクラスGRABAKA）	vs	桜井隆多（総合格闘技TOPS）
	ルチャVT軍団 vs 日本人選抜 5対5対抗戦		
4.	カト・クン・リーJr.（フリー）	vs	大久保一樹（U-FILE CAMP.com）
5.	エレクトロ・ショック（AAA）	vs	佐藤光留（パンクラスism）
6.	ベンガドール・ボクリア（CMLL）	vs	ジャイアント落合（怪獣王国）
7.	ブラソ・デ・プラタ（CMLL）	vs	矢野卓見（烏合会）
8.	ドス・カラスJr.（AAA）	vs	伊藤博之（フリー）

謎のマスクマン「クラフターM」が参戦予告!!

祝・再開！
“組み技世界一決定戦トーナメント”
『アブダビ・コンバット』が帰ってきた！

ADCC 2003 IN BRAZIL

ADCC
Abu Dhabi 2003
Fourth Submission Wrestling World Championship

まさに闘いのワンダーランド!!
格闘技界もう一つの“ドリームステージ”
『アブダビ・コンバット』特集！

“組み技世界一決定トーナメント”アブダビ・コンバットが2年ぶりに帰ってきた！　今回は場所をアブダビから、ブラジル・サンパウロに変えて5月17〜18日の2日間に渡って開催される『世界サブミッション・レスリング選手権』。今年はどんな夢のカードが飛び出すか!?　みんなで叫ぼう、「王子、アンタ最高だよ！」

構成／堀江ガンツ
designed by hisa (Two Three)

この人が一番楽しみにしている
シェイク・タハヌーン王子

講師・川崎“ブッカーK”浩市

プロレスファンのための格闘技講座

アブダビ2003の見どころ教えます!

2年ぶりに帰ってきた“組み技世界一決定トーナメント”アブダビ・コンバット。今回はブラジル開催だけに、例年以上にブラジルの強豪の参加が見込まれているが、各国の予選通過者を見ると、少々馴染みの薄い名前ばかり。というわけで、アブダビ事情通、ブッカーK氏に解説をお願いした。これであなたもアブダビ通!

――さて、今日はアブダビ事情通の川崎さんに、2年ぶりに復活した『アブダビコンバット(ADCC)』の見どころを解説していただこうと思い伺いました!

K 「アブダビ事情通」じゃなくて、「世界の格闘技界にそこそこ精通した事情通」と言ってほしいね(笑)。

――あ、それは失礼しました(笑)。では、その世界の格闘技界を知る川崎さんに、まず今回はなぜアラブ首長国連邦のアブダビではなく、ブラジル・サンパウロで開催されることになったのか聞きたいんですけど。

K それはやっぱり国際情勢的に中近東でやるのが難しいって事情はあると思いますよ。実際に国によっては入国できない選手もいるだろうし、アメリカも厳しいだろうしね。それでサンパウロになったんだろうけど、大会を仕切るのは全部アブダビの人達みたいですよ。

――じゃあ、アブダビの王子が格闘技に興味がなくなったという噂も一部でありましたけど、そんなことはない、と(笑)。

K 一切、そういうことはありません。どうしてこの業界の人はそういう話を勝手に作るんだろうね? ホント困りますよ。昨年、開催されなかったのだって「隔年にして顔ぶれをフレッシュにしたい」っていうことを2年前に王子が言ってたことだからね。

――実際、各国の予選通過メンバーを見ると、見事に一新されていますが、正直、日本のファンに馴染みの薄い選手が多いので、この辺りをどんな選手なのか川崎さんに解説してもらいたいんですよ。

K 俺も、もうちょっと時間があれば下調べができたんだけど、確かに知らない選手が多いよね。だから俺の知ってる範囲で話すと、まず北米代表の**エディー・ブラボー**っていうのは、『キング・オブ・ザ・ケイジ』の実況コメンテーターなんだよ(笑)。

――TVコメンテーターがアブダビ出場ですか!(笑)。

K 結構、向こうのコメンテーターとか関係者って自分でやるのも好きな人が多くて、彼もマチャド柔術の生徒なんだけど、まさか優勝するとは思わなかったよね(笑)。ネットでも結構知られてるらしくて、ヘンテコな技をいろいろ使うらしいよ。

――いろんな人がいるもんですね(笑)。

K あと、**デビッド・テレレ**っていうのは柔術の有名な選手で、世界チャンピオンとかも取ったことあるよ。1月にパンクラスで近藤選手とやったガブリエル・ベラが去年の12月の柔術の試合でテレレに勝ってるんだけど、彼に勝つっていうのは柔術界でも勲章だったみたいで、ヘンゾからは「ガブリエルはテレレに勝った良い選手だ」って言われたからね。それから次の階級の**ディーン・リスター**は、去年の9月にパンクラスにブッキングしたんだけど、石井大輔選手が当日試合不可能になって不戦勝になった選手。

――あ~、覚えてます。

K 『グレイシー・ユナイテッド』っていうチームにも入ってて、ホイスとかあとダン・ヘンダーソンとも練習してるよ。一応、『キング・オブ・ザ・ケージ』のチャンピオンでもあるし、前回のアブダビに出たときはちょっとイマイチだったけど、いまはだいぶ良くなってるみたいだから今回は上位を狙えるんじゃないかな。予備予選は全部一本勝ちしたっていう話だしね。ヨーロッパでは「チーム・スカンジナビア」っていう何年か前に契約した選手達がいるところが予選大会をやったんだけど、名を知ってるのはトニー・ホームと同じヘルシンキの**ミカ・イルマン**ぐらいかな。でも、フィンランドの選手達も修斗に上がった選手が証明してるようにレベルは結構高いと思うから面白いんじゃないかな。

――佐藤ルミナ選手に勝ったヨアキム・ハンセンとかも北欧ですよね。

K そうだね。あと予選には怪我してたみたいで出てこなかったけど、(ジヨン・ユラフ)エイネモも推薦で出てきたら面白いんじゃないかな。

――前回のアブダビでは大活躍でしたもんね。

K ヒーガン・マチャドとホーレス・グレイシーに勝ったもんね。彼も何とかバーリ・トゥードのチャンスを作ってあげたいなと思うんだけど、なかなか今、『PRIDE』も選手が多くてね。2H2Hでも相手になってくれる選手がいないって言ってたよ。

――大物選手が使え切れないぐらいですもんね(笑)。

K いい選手だと思うんだけどね。で、次はブラジルか。この**ダニエル・モラエス**っていうのは確か「グレイシー・バッハ」の選手だね。あと**ドナルド・ジャカレ**っていうのもあんまり詳しくないんだけど、「ジャカレ」っていうのは向こうで言うと“アリゲーター”っていうかワニっていう意味なんだよね。「アリアンシ柔術」っていう名門チームがあって、そこの先生が“ジャカレ”っていうニックネームだから、そこの選手だろうね。それからカカレコは、リングスで金原(弘光)選手が勝ったから知ってるよね? でも彼もヒース・ヒーリングに勝ったりして、いい選手だよ。

――前回も出場した**マーシオ・ペジパーノ**はどうですか?

K 彼は柔術の世界大会でも優勝してるし、ブラジルで「NEXTノゲイラは誰だ?」って聞いたらみんな「ペジパーノ」って言うよ。

――総合もやるつもりなんですか?

K やりたがってるね。「ボブ・サップでも誰が相手でもいい」って。でも、名前がまだ全然ないからね。前回のアブダビも成績を残してないから、今回どれぐらいできるかってとこだけど、ぶっちゃけ、アブダビで勝っても最初の頃に比べてインパクトが落ちてるじゃない。そういう意味では勝ち方と内容が問われてくるよね。

――では、日本代表についても伺いたいんですけど、こちらもなかなか面白いメンバーになりましたね?

K そうだね。横井(宏考)君がZERO-ONEの日程の都合で出られなくなったのが残念だけど、連続出場になる**TK**は一回経験してるから次は違う試合展開になりそうだから楽しみだね。

――打撃のイメージが強い**國奥麒樹真**選手が出るのが意外だと思ったんですけど?

K そう? なんか周りもジェラシーなのか、いろいろ言う人もいるみたいだけど、彼はキング・オブ・パンクラシストとして実績もあるし、あれだ

け試合をこなして地力もあるから、全然不足はないと思うよ。本人にとっても一つの経験としていいんじゃないかな。戸井田（カツヤ）選手もバレット（・ヨシダ）に勝ったことがあるし、やっぱり知る人ぞ知る実力者だからね。あともう一人、横井君の代わりに入るかもしれない。

――他に前回大会に出た選手とかで出場が決まっている人はいないんですか？

K　基本的には前回優勝した選手は出るみたいだよ。菊田選手は近藤選手との試合があるから出れないけれど、他は大体出るって感じじゃないかな。あと、**ヘンゾ**、**アルメイダ**、**ニーノ**（"エルビス"シェンブリ）も履歴書出してるんだったらいけるんじゃないかな、と（笑）。今度、履歴書出したかどうか確認してみるよ。それから有名どころだと、**ゲーリー・グッドリッジ**が出るよ。

――え！　それは決定なんですか？

K　本人は出たいらしいよ。自分の実力を試してみたいんじゃないかな。主催者側からは「ゼヒ！」っていう話みたいだから、本人のスケジュールが問題なければ、多分出る形になるんじゃないかな。

――K-1ラスベガスに出た後、アブダビっていうのも凄いですね（笑）。

K　あとはブラジル開催だから、出たい選手はたくさんいるだろうけど、いま活躍してる選手ってスケジュール次第じゃない？　6月8日に『PRIDE』、6月6日にUFCがあるしね。なんか情報が入ったら、追って連絡しますよ。

――よろしくお願いします！

日本代表推薦選手

[99キロ超級]
髙阪剛
（チーム・アライアンス・G-スクエア）

[87.9キロ以下級]
佐々木有生
（パンクラスGRABAKA）

[65.9キロ以下級]
戸井田カツヤ
（和術慧舟會トイカツ道場）

[76.9キロ以下級]
國奥麒樹真
（パンクラスism）

日本予選通過選手

平田勝裕、三上洋祐、石田光洋、岡見勇信

世界地区予選通過選手

オーストラリア予選

階級	選手
99キロ超級	ソア・ペレレイ
98.9キロ以下級	アンソニー・ペロシュ
87.9キロ以下級	トラバース・グラブ
76.9キロ以下級	ジョージ・ソティロポロス
65.9キロ以下級	クリス・ダンクソン

ヨーロッパ予選

階級	選手
99キロ超級	ミカ・イルマン
98.9キロ以下級	イリア・ラティフィ
87.9キロ以下級	ロバート・サルスキー
76.9キロ以下級	ジョジ・タメリン
65.9キロ以下級	テム・ロニス

ブラジル予選

階級	選手
99キロ超級	マーシオ・ペジパーノ
98.9キロ以下級	アレシャンドリ・カカレコ
87.9キロ以下級	ロナルド・ジャカレ
76.9キロ以下級	ダニエル・モラエス
65.9キロ以下級	ラニー・アイラ

北米予選

階級	選手
99キロ超級	マイク・ホワイトヘッド
98.9キロ以下級	ディーン・リスター
87.9キロ以下級	デビット・テレレ
76.9キロ以下級	パブロ・ポポビッチ
65.9キロ以下級	エディ・ブラボー

スーパーファイト

マーク・ケアー（アメリカ）
vs
ヒカルド・アローナ（ブラジル）

前大会のスーパーファイト勝者と無差別級優勝者で「キング・オブ・ADCC」の座を賭けて争われるスーパーファイト戦は、ケアーvsアローナ。前回、マリオ・スペーヒーをケアーが破っていることもあり、アローナは師匠のリベンジに燃えているという。ケアー、アローナ共にこれまでアブダビ無敗。これぞ正真正銘の組み技世界一決定戦だ！

出場濃厚！注目の大物選手

マーシオ・ペジパーノ
ブラジル柔術界、重量級の雄ペジパーノ。前回は99キロ以下級、無差別級とも2回戦止まりだったが、今年は優勝を狙う。

イーゲン井上＆バレット・ヨシダ
前回、菊田を最も苦しめたのは実はこのルールで強いイーゲン。バレットも今年こそ、因縁のホイラーと完全決着をつけられるか？

ジアン・マチャド
前回、75キロの体重で無差別級準優勝に輝くなど、恐るべき技術を見せまくったジアン。花くま先生も大推薦の格闘芸術家だ。

サウロ・ヒベイロ
前回、菊田にまさかの敗戦を喫したヒベイロ。しかし、柔術界の超大物として、今年は名誉挽回に燃えていることだろう。

ホイラー・グレイシー
現在までアブダビ3連覇中というとんでもない実績を残しているホイラー。今年、38歳だが、遂に今回は敗れるシーンが見れるか？

アレシャンドリ・カカレコ
"音速のグラップラー""ルタリーブリの幸田珍"として、リングスでも活躍したカカレコ。前大会で3位に入賞している。

マーシオ・フェイトーザ
前大会、76キロ以下級優勝のフェイトーザ。この階級は他にホドリゴ・グレイシー、マット・セラなどヘンゾチーム激戦区だ。

ジョン・ユラフ・エイネモ
前大会でヒーガン・マチャド、ホーレス・グレイシーを破り一躍脚光を浴びた"ノルウェーの巨人"エイネモ。日本にも来てほしい。

マリオ・スペーヒー
前大会は王者としてスーパーファイトに出場したが、今回は再びトーナメント出場。もちろん99キロ以下級の優勝候補筆頭だ。

ヘンゾ・グレイシー＆マット・セラ
アブダビで猛威を振るうのがヘンゾ軍団。弟子のマット・セラは前回、現修斗王者・五味隆典からチョークで一本勝ちを奪っている。

コンテンダーズ 戸井田vs小室! いいカードだあ~

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

5・2ドームイズ
出番なしかよ!?

アブダビ直前! 今回はカラーでいっちゃうぞバカヤロー!!

アブダビ日本予選に行ってきましたので、個人的な見方での感想文します。私的この日の目玉は、今成・門脇・桑原・TAISHO・植野らがそろう66キロ級。しかし会場に着き、プレス見てしょぼ~ん。門脇、TAISHOらが欠場だって。でもそのおかげで、リザーバーだった村田くんが出場です。がんばれ村田くん!

他の階級はどうかなとトーナメント表に目を通すと、まっさきに目につくのが、しばらくプロレスシーンから姿を見なかった元バトラーツ、トンパチ・マシンガンズの小野選手の名。対戦相手を見ると慧舟會の西野選手。西野選手は、去年のコンバットレスリングで三角バンバン極めてた印象が強いので、「こりゃ、(西野選手が)三角取りますよ」と会場で会った椎名さんに話してたら、実際そうなってました。

さて66キロ級、一番会場で注目されていたのが〝足関十段〟今成選手。一回戦に登場すると場内が注目、すると対戦相手は三沢チックなロングタイツをはいてるので場内が微妙にざわめきます。試合は足関一直線の今成ショー、はじめの足関台風をしのぎ防いだ三沢タイツの選手に拍手が送られますが、次の足関台風で今成勝利。「この調子で優勝して本戦行ってくれ!」。そう念力を出していたのは、私以外にもたくさんいたでしょう。

そんで今成選手の二回戦。開始早々足関台風でアンクルホールド、両足抱いた不完全な体勢でしたが強引に極めにいきます。しかし完全には極まらず相手は脱出。そしてここから相手のA3ジム平田選手が強かった。アームロックや肩固めで反撃、ポイントもリード。なんとか今成選手もポイントを取りかえしますが、結局負けてしまいました。「アブダビ王子が満面の笑みで今成の試合を堪能する」。そんな私の夢は、これで消えました。しょぼん。

こうなると後は、村田くんと、昔の練習仲間である植野くんの応援だけだ。村田くんは一回戦を秒殺勝利と幸先良い出だしでしたが(相手選手は、かな

花くまさん、一押しの今成は予選通過ならず! そして『紙プロ』Tシャツの村田くん!

前回のアブダビではTKに一本勝ちのジアン・マチャド。今年も、その凄テクが見れるか?

り危険な角度で首を打ってたけど大丈夫でしょうか?）、二回戦で桑原選手にたくさんポイント取られて負けてしまいました。しかし、強敵である桑原選手に本来階級下である村田くんはよくがんばったです。

そして植野くんは、二回戦で実原選手との元骨法対決をアームロックで制し準決勝進出。準決の相手は村田くんに完勝したが肩を傷めた桑原選手、お互い下派の二人だが〝お先に失礼〟（byおニャン子で私が一番好きな曲）てな感じで桑原選手が先に引き込み、苦笑いの植野くん。下から三角の桑原選手、植野くんはこれをはずすと電光石火でアキレス腱固め。のけぞって極めると桑原選手タップ、雄叫びあげる植野くん。今日の植野くんは、全日本アマ修斗で優勝した時のようにノッている。これは優勝行けるなと思いつつ、決勝も得点ボードではポイントリードしたまま試合終了。「やった勝ったー！」と喜ぶも、レフリーは相手の平田選手の手を上げる。どうやら得点ボードは、選手を間違えて表示してたらしい。引き込みについてのマイナスポイント発生時間も決勝のみ違うらしい。これには「聞いてないよ〜」と言いたくもないダチョウギャグを何人かは心の中で叫んだかもしれません。そんなわけでポイントそのままで特別に延長戦になりましたが、そのポイントを守り切った平田選手の優勝となりました、残念しょぼん。

今回は、アブダビ側からレフェリー・ジャッジがやってきたのだが、その情熱のない感じは、どんな番組でもまったく心がなくテキトーに流してるオーラが漂う（そこが面白いのだが）高田純次のようだ。やはりこの大会に情熱そそいで楽しんでいるのは、王子だけなんだろう。永遠とスタンドレスリングを時間いっぱいくり返す（とくに重いクラス）退屈な試合ばかり見せられて、それをぼんやり眺める彼らを見てると、「オレ達は、こんな異国に来てなにをしているんだろう？」とか、ハッと我にかえったりしちゃってんのかなと、彼らの心情を妄想して私は退屈な試合の時の時間をつぶしてました。

王子は、UFCを見て格闘技に目覚め柔術を習い、前回の大会でモーストテクニック賞にニーノを選ぶ、そんなステキな趣味の男だ。だったら、そんな王子が喜ぶようなテクニカルな選手を、各国は推薦で出して王子をニンマリさせてあげればいいのに。今からでも遅くない、ブッカーKさん、推薦で誰か追加してくれないかな？ 今成・花井の足関コンビなんて王子目ん玉丸くして喜びそうなのになあ。そして桜庭選手。打撃なしでの桜庭vsニーノ、桜庭vsジアン・マチャド、見てえーなあ〜。

（近況）「えびボクサー」面白そうだね。まで見てないが、今号発売の頃には見てる予定。

BRAZILIAN TOP TEAM

Bustamante

ブラジリアン・トップチーム最高のテクニシャンが遂にPRIDE参戦表明!!

UFC MIDDLE WEIGHT CHAMPION

ムリーロ・ブスタマンチ

3・16『PRIDE・25』のリング上で、現UFCミドル級チャンピオンが『PRIDE』参戦宣言！　85キロ以下世界最強の男が、遂に"『PRIDE』の最激戦区"ミドル級戦線に名乗りを上げた！　この"進化するベテラン"の強さを知るために、彼にこれまでの歩みを振り返ってもらった。

聞き手／堀江ガンツ　撮影／松本崇　designed by hisa (Two Three)

――今日はブラジル柔術界の重鎮にしてUFC王者のブスタマンチ選手にお会いできて実に光栄です！

ムリーロ　私も"カミプロ"に出られて光栄だよ（笑）。

――あ、UFCミドル級王者が『紙プロ』をご存じでしたか！（笑）。

ムリーロ　ゼ・マリオ（マリオ・スペーヒー）やミノタウロ（ホドリゴ・ノゲイラ）が日本から持ち帰るから、いつも見せてもらっているよ。そこに自分も出るので、掲載誌を見るのがいまから楽しみだよ。

――ありがとうございます（笑）。では、今日はムリーロ選手の昔からのいろんな話を伺いたいと思いますので、よろしくお願いします！　まず、そもそも柔術を始めたきっかけは何だったんですか？

ムリーロ　13歳のときに、兄が柔術をやっていたこともあってカーウソン・グレイシーの道場に入門したんだ。それで実際にやり始めてみて、非常に自分に合っていると思ったので、兄が辞めたあともずっと続けているよ。やっぱり柔術に魅了されたって言うのかな、当時は自分より帯が上の柔術家にはみんな憧れたし、黒帯柔術家はみんな何かしらスペシャリティを持っていたから、それぞれの得意な動きをマネしているうちに自分も上達していったんだ。

――同時期に入門した人で有名な選手はいますか？

ムリーロ　カーウソンの道場ではいないな。ゼ・マリオは私と同い年だが、彼が入門したのは私よりずっと後だからね。あとカーウソン以外の道場では、ホイラー、ヘンゾ、デラヒーバ、アマウリ・ビテッチらが同時期に始めた柔術家かな。

――蒼々たるメンバーですけど、やはり柔術の大会に出ていた頃は、いま出てきたような選手たちがライバルだったんですか？

ムリーロ　いや、彼らとは階級が違ったんで、闘ったことはないよ。その当時のライバルというと、ファビオ・グージェウ、ホベルト・トラヴエンらだね。

――ムリーロ選手が柔術の大会に出ていた頃は、いまのようなプロの総合格闘技が盛んではありませんでしたけど、その当時から柔術家として"プロ"になる気持ちはあったんですか？

ムリーロ　いや、当時はいまのような世界が現れるなんて想像すらしなかったので、プロのファイターになろうなんて発想はまったくなかったよ。私が柔術を職業としたのは、観客の前で試合を見せてお金をもらうのではなく、もともとは大学の授業料を払うために、柔術を教え始めただけだからね。だから柔術の先生として収入を得ようとは思ったが、闘いを人に見せる職業に就くとは思ってなかったよ。

――では、バーリ・トゥードを始めようとしたのはどうしてなんですか？

ムリーロ　最初は望んで出たのではなく、私にはバーリ・トゥードに出る義務があったんだ。

――義務ですか？

ムリーロ　そう。初めて私がバーリ・トゥードに出たのは91年に行われた、柔術vsルタリーブリの3対3対抗戦だった。それは柔術とルタリーブリの威信を懸けた闘いで、双方がベストメンバーを揃える必要があったんだ。そのとき私は柔術家として経験が豊富だったし、柔術界を代表する選手でもあったので、やはり私が柔術を背負って闘わなければならない、そういう義務感があったんだ。結果的にそれが私のバーリ・トゥードデビュー戦にもなったね。

――では、最初は職業というより、柔術の名誉のための闘いだったわけですね？

ムリーロ　そうだね。一番最初のバーリ・トゥードの時は金銭的なものはまったくなかったし、やはり柔術の名を守るための闘いだったよ。ただ、91年以降は93年にアルティメットがスタートし、94年には日本でヒクソン・グレイシー・オープン・トーナメント（バーリ・トゥード・ジャパン・オープン）があって、その辺りからなんとなく自分もプロのファイターとしてやっていける気がしてきて、96年にバーリ・トゥードを

私が桜庭やヴァンダレィと闘ったら
格闘技史上に残る試合になるだろう

Muriro

奴等のやり方には愛想が尽きた。もう2度とUFCに上がるつもりはないよ

再開し正式にプロとなったよ。

——さきほどお話いただいた91年のルタリーブリとの闘いをもう少し詳しく話していただきたいんですけど、やはり当時は柔術とルタリーブリが対立しあっているような状態だったのでしょうか？

ムリーロ　そうだね。ただ、ルタリーブリと柔術のライバル意識というのは、最初はごく個人的なもので、グレイシー・ファミリーとルタリーブリの一部の人間がよくケンカをしたりいがみ合ったりしていただけだったんだ。それがいつの間にか柔術とルタリーブリ全体に広がって、バーリ・トゥードでの決着をつけることになってしまった。しかし、結局その闘いにはグレイシーの人間は一人も出ずに、グレイシー以外の柔術家が柔術を守ったんだよ。

——なぜ、そもそもの発端だったグレイシーが出なかったんですか？

ムリーロ　やはり柔術の威信を懸けた闘いだから、その時点での柔術界のトップ3を選抜したんだが、そこで選ばれたのはグレイシーではなく、我々だったということだよね。

——では、当時からグレイシーよりもムリーロ選手の方が実力が上だったということですか？

ムリーロ　グレイシーより上というより、当時はまだホイスがUFCで優勝する前だから、「グレイシーこそ最強」というイメージ自体がなかったんだよ。やはりグレイシーの中にも凄い選手はいるし、大したことない選手も多い。人間はひとりひとり違うんだから、グレイシー姓を持つ人間がすべて強いなんてあり得ないからね。だから当時のグレイシーは、強い選手もいれば弱い選手もいる、ひとつの有名な柔術一家という感じだった。ただ、このとき選抜された柔術界のベスト3にはグレイシー姓の選手は入らなかったんだ。

——その3人というのはどんなメンバーだったんですか？

ムリーロ　私とファビオ・グージェウ、そしてヴァリッジ・イズマイウだね。

——イズマイウ！　そんな時代もあったんですね（笑）。もちろん柔術が3戦全勝だったんですか？

ムリーロ　そのとおり。全試合TKO勝ちを奪ったよ。

——その柔術vsルタ以来、ムリーロ選手は95年までバーリ・トゥードから遠ざかっていたわけですけど、93年にアルティメット大会がスタートし、一躍にグレイシーの名前が上がったときは、柔術家として嬉しかったですか、それともホイスやグレイシー一族が「最強」と呼ばれることにジェラシーを抱いたりしましたか？

ムリーロ　ホイスの実力に対していろいろ言う人間もいるだろうけど、私は彼の成功と冒険に拍手を贈りたいし、非常に感謝もしているよ。やはり、93年にホイスが勝ったことによって、格闘技のいろんなドアが開かれたことは間違いないからね。だから彼は開拓者であり、柔術家に多大なるチャンスを与えてくれた恩人でもある。そしてブラジルだけで細々と行われてきたイベントを世界に広めたということに関しては、最大級の評価を与えていいと思うよ。

——でも、カーウソンのチームには腕に自信がある選手がたくさんいたと思うんで、「自分たちがUFCに出たら、ホイスよりもっと活躍できる」といった思いはあったんじゃないですか？

ムリーロ　それはもちろんあったよ。カーウソン・チームはバーリ・トゥードに関して常にブラジルのトップを走ってきた選手ばかりだからね。その中で私はトップだったし、アルティメットがスタートした時点ですでに出場する準備もできていた。しかし、政治的な問題があり、UFCには長いこと出ることはできなかったんだ。しかし、ひょんなことから2000年になってようやく日本でUFCに出るチャンスを得た。

——安生選手との試合ですよね。その前にムリーロ選手は、96年に『MARS』という大会でバーリ・トゥードを再開しましたけど、それまで職業は何をなさっていたんですか？

ムリーロ　その当時というのは、私はまだ卒業を控えた大学生だったんだ。それでその後、経済博士号を取得したし、その前にブラジルでバーリ・トゥードの試合もしていたが、基本的には大学で経済の勉強をしながら柔術を教えたりしていたよ。

——へ～、ムリーロ選手は経済博士だったんですか！　よく柔術界のトップとして活躍しながら、そんな学位が取得できましたね。

ムリーロ　やっぱり人間、目標を持つことが大事だと思うからね。大学に通いながらも卒業した後、何をしていいかわからない人間もいるが、私は幸いにも経済で学位を取得することと、バーリ・トゥードのプロになるという目標を持つことができたので、両立できたのだろう。

——それにしても凄いですよ。しかも、バーリ・トゥードを再開した96年には、体格が全然違うスーパーヘビー級のトム・エリクソンとも40分フルタイム闘って引き分けたりしてるんですよね？

ムリーロ　ああ、MARSのトーナメント決勝で当たったね。確かに体格差はあったが、勝つ自信はあった

3・16、ホジェリオが中村を破ったあとリングに上がったブスタマンチはオール日本語（カンペ読んだだけ）で、『ＰＲＩＤＥ』参戦をアピール。85キロ以下世界最強の男がやって来る！

2000年10月にはパンクラスのリングで菊田早苗と対戦。体調不良ながら15分闘い、判定勝ちを収めている。菊田がアブダビ優勝した今、この再戦も見てみたい。

し、実際2度彼を極めかけたから特別な試合だとは思わないね。我々はいろんなタイプの選手と闘い、その経験をチームの新しい選手に伝えているんだ。だから、ミノタウロも躊躇することなくボブ・サップ戦を承諾したし、一本で勝つことができた。自分より大きい相手と闘う気構えはトップチームのメンバーなら、誰しもが持っていることだよ。

――MARSの後、また2000年のUFC日本大会までブランクがありましたけど、それまではなぜ日本やアメリカの大きな大会に出ることはなかったんですか？

ムリーロ　ひとことで言えば、私に合ったオファーがなかったということだね。実際に何度か試合オファーはあったんだけれど条件が合わなかった。やはり私はブラジル柔術界のトップである自負もあるし、練習も積んでいたので、バーリ・トゥードでもトップでやれる自信があった。しかし、その当時来ていたオファーは、金銭的にも対戦カード的にも決してレベルが高いとは言えるものではなかった。だから試合をする機会に恵まれなかったんだ。でも、焦りはなかったよ。しっかりと練習はつんでいたからね。やはり自分を安く売りたくなかったんだ。

――そういえば、マリオ・スペーヒー選手も2000年に『コロシアム2000』で金原選手とやるまで、大きな大会には出てませんでしたけど、それと同じような理由なわけですね？

ムリーロ　まったくそのとおりだね。その後、ゼ・マリオは『PRIDE』のトップ戦線で闘い、私はUFCのチャンピオンになった。試合に出ない時期は練習をしたり、若い選手を鍛えたりできたので、逆にそれはよかったんじゃないかな。そして私は次のステップとして、これからは日本で闘っていきたいと思う。

――日本というと、やはり『PRIDE』ですか？

ムリーロ　私は常にレベルの高い闘いを求めたいから、やはりそうなるだろうね。ただ、これは『PRIDE』のオファーがあってからの話だよ。

――『PRIDE』で闘うなら、闘いたい相手はいますか？

ムリーロ　誰とでも闘うよ。逆に私から質問したい、ファンは私と誰の闘いが見たいんだろうか？　ファンの欲求にしたがうよ。

――そうですねえ、やはりUFCのミドル級チャンピオンですから、PRIDEミドル級チャンピオンのヴァンダレイ・シウバ、それからダン・ヘンダーソン。そして桜庭選手あたりじゃないですかね。

ムリーロ　なるほど。いま言ったような相手と私が闘ったら、もの凄い試合になるよ。特にサクラバと闘えば、私もサクラバもスタンドの打撃、そしてグラウンドのサブミッションどちらでも勝負できるから、『PRIDE』史上に残る試合になるだろう。あとはヨシダとも闘いたいね。

――それはジャケットマッチでもいいということですか？

ムリーロ　う〜ん、彼がそれ以外では嫌というならそれでも構わないが、基本的に私はいまバーリ・トゥードの選手だから、裸で闘いたいね。でも、彼だけが胴着を着るというなら、それは私にとって好都合。非常に幸せだね（笑）。

――あとは、以前パンクラスで闘った菊田早苗選手なんかはどうでしょうか？

ムリーロ　彼もいい選手だね。前回闘ったとき、私は体調を崩していて薬もたくさん飲まなければいけないような状態で、満足いく闘いができなかったから、再戦は私も望むところだ。彼もアブダビで優勝したり、ずいぶん成長しただろうから、いい試合になるんじゃないかな。まぁ、他にも『PRIDE』にはいい選手がたくさんいるから、『PRIDE』からいいオファーがあれば誰とでも闘うよ。私は選手を選ばないタイプだからね。

――となるとUFCにはもう上がらないということですか？

ムリーロ　ああ、もう上がるつもりはないね。実際、契約も更新していないし、いまは『PRIDE』との新しい交渉の場ができるのを待っている状態だ。

――どうしてUFCから離れようと思ったんですか？

ムリーロ　一言で言うなら、彼らのやり方にはほとほと愛想が尽きたということだ。

――一体、何があったんですか？

ムリーロ　いろんな小さなことが積み重なってね。要は彼らはアメリカ人のチャンピオンを望んでいて、ブラジル人の私は必要ないんだよ。だから私はティト・オーティズのようなファイトマネーを要求しているのではなく、UFCの平均的な金額を要求しただけなのに、それすらも「払えない」と言ってくるし、私が前回防衛してからは「もう相手がいない」と言って、次の防衛戦を組もうとも

Muriro Bustamante

Muriro Bustamante

しない。
――ああ、マッド・リンドランドを倒してしまったムリーロには、次のアメリカ人がいないから、試合交渉自体をしなくなったわけですね。では、続けたくても続けられない、と?
ムリーロ やはり交渉的にも限界に来ているし、主催者の姿勢にもガッカリしているので、もうUFCには2度と上がる気はないよ。
――では、今後はトップチームの選手をUFCに上げようという予定もありませんか?
ムリーロ いや、若い選手たちには経験を積ませたいから、UFCでも、どこでも上げていきたいよ。やはりトップチームにはいろんな選手がいて、若い選手、トップ選手、それら各レベルの選手によって送り込む大会も違ってくるので、『PRIDE』には実力とネームバリューを兼ねそろえた選手を、そしてUFCやDEEPには、ネームバリューは少し劣っていも若くて質の高い選手を送り込むというやり方がいい思う。
――今度の5月に『アブダビ・コンバット』がブラジルでありますけど、ムリーロ選手はもうアブダビに出る予定はないんですか?
ムリーロ いまはアブダビだけでなく、サブミッションだけの大会や柔術の大会には出るつもりはないよ。なぜなら、いま私は自分のため、そしてチームのために全集中をバーリ・トゥードに注いでいるので、バーリ・トゥードで必要のないアブダビで勝つための寝技を練習する時間があったら、私はその時間をバーリ・トゥードの練習に当てたい。また、それぐらいしなければ、バーリ・トゥードで世界の頂点に居続けることできないんだ。
――では、今回のアブダビには、トップチームから参加する選手はいないんですか?
ムリーロ いや、ヒカルド・アローナがマーク・ケアーとスーパーファイトで闘うし、あとはゼ・マリオはアブダビと関わりが特に深いので、重量級で出場することが決定しているよ。いま決まっているのは、その二人なんだが、これからオファーがあればもっと増えるかもしれない。
――ムリーロ選手の今後の予定は何か決まっていますか?
ムリーロ いまの目的は、まず『PRIDE』と交渉を待つことだね。手始めに許されるなら、明日リング上で『PRIDE』参戦をアピールしてみたいと思う。
――それはいいですね! では、今後の目標としてはPRIDEミドル級チャンピオンになることですか?
ムリーロ そうだね。私はどのイベントに出場しても、常にそこの頂点を目指すことを信条としているから、『PRIDE』に上がれることになったら、もちろん『PRIDE』のチャンピオンを目指すよ。
――では、ムリーロ選手はベテランですけど、もちろん、まだまだ引退は考えてないわけですね?
ムリーロ 私は肉体も気持ちも、少年のような男だよ(笑)。引退なんてまったく考えてない。やはり日々の練習の中で若い選手たちといつも練習しているから、練習でも試合でも年齢を感じたことはないし、逆に若い選手にパワーをもらっている感じもするからね。それに私は昔よりいまの方がコンディショントレーニングを真剣にやっているし、テクニックもさらに上達しているので、選手生活の中でいまが全盛期だと思う。だからこの時期にゼヒ、『PRIDE』のトップ選手たちを試合がしたいね。
――わかりました。では、『PRIDE』参戦が決定することを楽しみにしています!

【03年3月14日/都内・某ホテルにて収録】

ムリーロ・ブスタマンチ■1966年7月30日、ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ出身。マリオ・スペーヒーと並ぶブラジリアン・トップチームのリーダー。99年柔術世界選手権優勝。02年デイヴ・メネーを破り、UFCミドル級王者に輝く。3・16リング上では『PRIDE』参戦を宣言した。185cm、84kg。

南米の荒ぶる拳
アンジェロ・アラウージョ
Angelo Reis Araujo

俺の得意なテクニックは相手を叩きのめすこと! 勝つこと自体が得意技だ!

ノゲイラが敗れてもブラジリアン・トップチームの勢いはまだまだ衰えない! ノゲイラ兄弟に続くヘビー級の秘密兵器が『PRIDE』出陣を宣言! その名はアンジェロ・アラウージョ。
トップチームの参謀ブスタマンチが「次世代の重量級チャンピオン」と太鼓判を押すこの男は、すでにバーリ・トゥード19戦17勝2敗のキャリアを持ち、メッカ・バーリ・トゥードで3戦全勝の実力者。もともとバーリ・トゥードをやるために柔術の町道場に通っていたが、実績を積んで名門ブラジリアン・トップチーム入りしたハングリー精神の持ち主だ。
デビュー以来、打撃で殴り勝つことを信条としていたアラウージョだが、トップチーム加入以来メキメキと寝技も上達。現在はノゲイラのスパーリング・パートナーを努めるまで成長し、ブスタマンチも「トップチームに来る前から強かったが、そこにテクニックが加わり、いまは誰とでも闘える状態にある」と"メジャーデビュー"へGOサインを出した。本人は早くも「卑怯なレフェリングで負けにされたアレックス・スティーブリングと再戦したい。タダじゃすまさない!」と最初の獲物を指名しており、紳士的なイメージのトップチームとしては異色の、ギラギラとしたハングリー精神と、危険な香りを持った新鋭が『PRIDE』を襲う日も近い!

ブラジリアン・トップチームが秘密兵器を公開!

アンジェロ・アラウージョAngelo Araujo 1978年12月10日、ブラジル・パラナ州出身。身長192cm、体重102kg。ブラジリアン・トップチーム所属。

INDEX

*50音及びアルファベット順

アルシオン ➡03-5745-6101
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24　サンハイツ1004

大阪プロレス ➡06-6636-6672
〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36　フェスティバルゲート2F

怪獣王国 ➡03-5952-1177
〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F

キャプチャー ➡044-959-3333
〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1　横山ビルB1

キングダム・エルガイツ ➡0423-31-2797
〒206-0822東京都稲城市坂浜2305

栗栖ジム ➡06-6790-8896
〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7

喧嘩プロレス二瓶組 ➡044-588-2438
〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2　二瓶ビル

国際プロレス ➡0467-86-0197
〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14

修斗コミッション ➡03-5824-1324
〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8　若山ビル201

新日本プロレス ➡03-5468-3111
〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11

掣圏道 ➡042-544-6979
〒196-0013 東京都昭島市大神町1-2-22

全日本女子プロレス ➡03-3493-6541
〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17

全日本プロレス ➡03-3403-7344
〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12

大日本プロレス ➡045-937-0811
〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347

ダイプロデュース(大仁田興行) ➡03-5496-4900
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3　大北ビル3F

高田道場 ➡03-5749-5030
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6　ワールドパレス武蔵小山1F-B1

高山堂 ➡03-5464-2806
〒150-0011 東京都渋谷区東2-21-9-803ジェイパーク渋谷イーストスクエア

闘龍門JAPAN ➡078-333-9797
〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通2-3-18　メープル中山手210

トータルワークアウト ➡03-3280-5557
〒108-0073 東京都芝区三田4-7-24　明るいビル

ドリームステージエンターテインメント ➡03-5775-5700
〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4　ルーメリ赤坂103

バトラーツ ➡0489-63-0005
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43

パンクラス ➡03-5792-0815
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25

プロレスリング・ノア ➡03-3527-5311
〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25

みちのくプロレス ➡019-626-1333
〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8

DDT ➡03-3868-9181
〒112-0002 東京都文京区小石川2-9-7　MORIMOTO FLATS 4F

DEEP事務局 ➡052-339-0303
〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F

GAEA JAPAN ➡03-5459-3101
〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1 F

GCM COMUNICATION ➡03-3538-5801
〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10　松楠ビル9F

IWAジャパン ➡03-3352-3366
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1　四谷サンハイツ401

Jd' ➡03-5561-0522
〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4　ランディック赤坂ビル4F

JWP ➡03-5849-2341
〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4

K-1事務局 ➡03-3796-2977
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14

KAIENTAI DOJO ➡043-214-6960
〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17

LLPW ➡03-3945-7926
〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4　ビクセル文京105

NEO ➡044-422-8344
〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102

SMACK GIRL実行委員会 ➡03-5545-4766
〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5　ノアビル12階

SPWF ➡0475-42-6687
〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮10073-2

U-FILE CAMP ➡044-932-0282
〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568

UFO ➡03-5447-2121
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5　OK白金台ビル7F

UNW ➡03-3362-3014
〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-5-311

U.W.F.スネークピット・ジャパン ➡03-3337-1889
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-15-1-2 F

WEW ➡03-5958-5651
〒176-0005 東京都豊島区南大塚3-34-4ニューヴァリー2F

WJプロレス ➡03-5458-5915
〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-10-9　東信青葉台ビル4 F

WMF ➡03-5362-7364
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-26　テクノ四谷ビル2F

WWS ➡0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23　レインボー本庄106

ZERO-ONE ➡03-5730-3401
〒105-0014 東京都港区芝2-30-11　寿ビル601

ZST ➡03-5321-9595
〒106-0023 東京都新宿区西新宿3-1-2　廣川ビル4F

祝・トップ当選

岩手県議盛岡区（定数10立候補12）16286票獲得

ザ・グレート・サスケ議員（無所属・新）

議員活動は覆面姿「これが私の素顔です!!」

「みちのく岩手のために!」
ザ・グレート・サスケ 33歳
会社役員 無所属・新

【略歴】①盛岡市材木町出身②盛岡三高卒業③プロレスラー、プロレス団体社長、ブルガリア国立総合大教授

【公約】▽医療の不均衡是正と全県範囲の救急医療体制整備▽「教育県岩手」の再建▽雇用の場拡大を視野に入れた1次産業振興とベンチャー企業育成▽県全域に観光客が訪れる地域おこし、観光開発、情報発信の推進▽家庭内暴力や幼児虐待防止へ相談窓口拡充。

キリトリ線

初代天下一Jr.覇者&
小池栄子のプリンス

坂田亘

ば
ミも
.』王者だ!!

紙の図画工作ピンナップ

これを巻けば今日からキミも『天下一Jr.』王

※両端の穴に輪ゴムorヒモを通しキミだけのチャンピオンベルトを作ろう!!

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇　◎ ジャン斉藤
♠ 松澤チョロ　♥ ささきぃ
◆ 堀江ガンツ　● スモーノブ

(13:30)

)

)

ﾞ(14:00) ♥

0)

♠

9 FRI.

ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
大日本■福島・富岡町総合体育館 (18:30)

10 SAT.

ノア■新潟・新潟市体育館(17:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)

11 SUN.

BAPE STA!!■東京・Zepp Tokyo(15:00)
全女■神奈川・横浜アリーナ(15:00) ◆
ノア■東京・ディファ有明(17:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (14:00)
WMF■東京・バトルスフィア東京(14:00)

12 MON.

BAPE STA!!■東京・Zepp Tokyo(19:00) ♥

13 TUE.

ノア■岐阜・岐阜産業会館(18:30)

15 THU.

K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

16 FRI.

ノア■宮城・宮城県スポーツセンター(18:30)

17 SAT.

闘龍門■三重・県立ゆめドームうえの(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
ノア■宮城・気仙沼市総合体育館 (18:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

18 SUN.

パンクラス■神奈川・横浜文化体育館(16:30) ♠
NEO■東京・板橋区立産文ホール(18:00)
闘龍門■三重・津市体育館(18:00)
ノア■福島・ビッグパレットふくしま (17:00)
GAEA■東京・後楽園ホール(12:00)
DDT■東京・studio DREAM MAKER (16:00)

20 TUE.

みちのく■福岡・小倉北体育館(18:30)

22 THU.

ZERO−ONE■福島・ビックパレットふくしま(18:30) ★
ノア■北海道・室蘭市体育館 (18:30)
WJ■東京・後楽園ホール(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
Gals■東京・北沢タウンホール(18:30)

23 FRI.

新日本■神奈川・大和スポーツセンター (18:30)
ZERO−ONE■青森・河西体育センター(18:30) ★
ノア■北海道・旭川大成市民センター体育館 (18:30)
みちのく■ 小林市民体育館 (18:30)

24 SAT.

新日本■埼玉・草加市スポーツ健康都市記念体育館 (18:30)
闘龍門■広島・県立ふくやま産業交流館(18:30)
ZERO−ONE■岩手・岩手県営体育館(18:30) ★♠
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
アルシオン■東京・ディファ有明(18:30)
NEO■東京・北沢タウンホール(18:30)

25 SUN.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
ZERO−ONE■宮城・築館町総合運動公園体育館(16:00) ★
全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
闘龍門■岡山・津島市文化会館(18:00)
GAEA■大阪・大阪ドーム・スカイホール(16:00)
K−DOJO ■千葉・千倉町B&G海洋センター(19:00)
大仁田興行■東京・ディファ有明(15:00)
NEO■東京・板橋区立産文ホール2Fホール (18:00)

27 TUE.

新日本■栃木・鹿沼総合体育館(18:30)

28 WED.

ノア■北海道・函館市民体育館 (18:30)

29 THU.

全日本■岡山・岡山武道館(18:30)
ZERO−ONE■東京・後楽園ホール(18:30) ★
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

30 FRI.

全日本■徳島・徳島市立体育館(18:30)
ZERO−ONE■三重・松阪市総合体育館 (18:30) ★

31 SAT.

ZERO−ONE■京都・KBSホール(18:30) ★
ノア■北海道・札幌メディアパーク・スピカ(18:00)
WJ■広島・広島サンプラザホール (18:30)
闘龍門■ 愛知・常滑市民アリーナ (18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

RADICAL CALENDAR

4 April

26 SAT.

BAPE STA!!■大阪・Zepp Osaka(19:00)
ZERO—ONE■大阪・大阪府立体育館第二競技場(18:00)★
新日本■大分・別府ビーコンプラザ(18:30)
闘龍門■島根・松江くにびきメッセ(18:00)
K-DOJO■千葉・Bule Field(19:00)
LLPW■埼玉・桂スタジオ(17:00)

27 SUN.

ZERO—ONE■福岡・博多スターレーン(17:00)★♥
新日本■長崎・長崎県立総合体育館(15:00)
闘龍門■岡山・岡山市卸センター・オレンジホール(16:00)
みちのく■福島・保原町体育館(16:00)
NEO■東京・板橋区立産文ホール(16:00)
新宿■東京・歌舞伎町クラブハイツ(18:00)
イーグルプロ■栃木・小山市文化センター小ホール(13:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(13:00)
UNW■東京・ディファ有明(18:00)♠

28 MON.

新日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
みちのく■栃木・矢板市農業トレーニングセンター(18:30)

29 TUE.

ZERO—ONE■愛知・名古屋国際会議場(18:30)★
BAPE STA!!■福岡・Zepp Fukuoka (15:00)
新日本■鹿児島・鹿児島アリーナ(15:00)
WJ■鳥取・県立米子産業体育館(16:00)●
みちのく■新潟・新潟フェイズ(16:00)
闘龍門■愛知・名古屋国際会議場イベントホール(14:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
大日本■東京・後楽園ホール(18:30)
WEW■東京・ディファ有明(15:00)
NEO■東京・板橋区立産文ホール(16:00)

30 WED.

WJ■岡山・岡山武道館(18:30)
みちのく■山形・米沢市営体育館(19:00)

5 may

1 THU.

猪木フェスティバル■東京・東京ドーム(18:30)◎
ZERO—ONE■千葉・成田市体育館(18:30)★
K—DOJO■千葉・Bule Field (19:00)
みちのく■青森・三本木町民総合体育館(18:30)
DEMOLITION■東京・北沢タウンホール(18:30)

2 FRI.

新日本■東京・東京ドーム(17:00)◆◎
ZERO—ONE■東京・後楽園ホール(18:30)★
大日本■北海道・釧路青雲台体育館(18:30)
WJ■愛知・愛知県武道館(18:30)
みちのく■青森・階上町立中央体育館(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)

3 SAT.

BAPE STA!!■北海道・Zepp Sapporo (15:00)
WJ■大阪・グランキューブ大阪(16:00)♠
大日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
WEW■東京・後楽園ホール(12:00)♥
みちのく■山形・中山町総合体育館(16:00)
K—DOJO■千葉・Bule Field (19:00)
闘龍門■石川・金沢流通会館(18:30)
GAEA■愛知・名古屋市枇杷島スポーツセンター (13:30)

4 SUN.

WJ■兵庫・神戸ワールド記念ホール(16:00)
闘龍門■富山・イベントプラザ富山(17:00)
大日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
みちのく■岩手・一関文化センター体育館(16:00)
修斗■東京・後楽園ホール(18:00)
DDT■東京・後楽園ホール(12:00)
K—DOJO■千葉・Bule Field (15:00)

5 MON.

『DEEP』■東京・後楽園ホール(18:30)
闘龍門■新潟・新潟フェイズ(18:00)
BAPE STA!!■宮城・Zepp Sendai(18:00)
WJ■山口・周南市総合スポーツセンター(16:00)
WEW■神奈川・川崎球場(17:00)♥
みちのく■宮城・ニューワールド仙台テニスクラブ(14:00)♥
大日本■北海道・函館市民体育館(15:00)
NEO■東京・後楽園ホール(12:00)

6 TUE.

大日本■北海道・むつ市民体育館(18:30)
闘龍門■東京・後楽園ホール(18:30)◆

7 WED.

大日本■岩手・一関文化センター体育館 (18:30)
SMACK GIRL■東京・六本木velfarre(19:30)♠

8 THU.

大日本■山形・酒田市営体育館 (18:30)
K—DOJO■千葉・Bule Field (19:00)

田村潔司、そして、U-STYLEはどこへ向かうのか!?

これぞ〝U-STYLE〟という闘いを見せつけ三島に勝利!!

旗揚げ戦に続き札止めの観客を集めた4・6U-STYLEディファ有明大会。今大会の目玉カード、田村vs三島戦は予想に違わぬ好勝負で場内も大熱狂！　しかし、その他の試合はというと……。今回はU-FILE会員で『紙プロNO42』では「前田日明が選ぶリングス10周年大会観戦記」に入選した前田達也さんの『U-STYLEはどこへ向かうのか』をお届け！

文／前田達也　構成／松澤チョロ　撮影／平工幸雄

designed by gutty（Two Three）

4・6　U-STYLEディファ有明

突然のサップ戦であり、成瀬への対

U-STYLEはどこに向かうのか。

なんで旗揚げ大会より2回大会の後の方が不鮮明になっているんだろうか。わっけわからん、と田村になってつぶやいてみる。

2週間が過ぎて、鮮明に憶えている試合はメインだけだ。

田村対三島の一戦。それは最高級のプロレスリングの試合だった。それは間違いない。プロレスか格闘技か、とか余計なことを考える必要はない。どんなに田村が嫌いな人間でも引き込むことができる問答無用の面白さ。これがU-STYLEという試合だった。

でも、それが出来るのは田村だけだ。そのことを確認するような大会だったようにも思う。

上山と滑川の怪我が今回の大会を地味にした。そんな声もあったけれど、もし彼ら2人がいたとしても本質的に変わりはなかったんじゃないか。そんな気持ちがする。滑川であっても上山であっても、もしかしたら坂田であっても田村抜きではU-STYLEはできないんじゃないか。

試合後半、ヘロヘロになっていく三島の姿を見ていた時、伝わってきたのは田村の強さではない。田村が田村の目指す道を一人で歩き続けている姿、ただそれだけだ。

現在のU-STYLEは〝田村によるスタイル〟。それ以上でも、それ以下でもない。それは極上のものであることは間違いないが、周囲を巻き込んで何か大きなうねりを作りだす雰囲気があったかと言えば、それはNOだ。

でもそれはなぜなのだろう？

第2回大会の後に聞かれた声。

できていない答えを闘いの中で表現できることだ!!

○田村潔司（U-FILE CAMP） vs 三島★ド根性ノ助（総合格闘技道場コブラ会）●　（10分6秒腕ひしぎ逆十字固め）

「なんでもっと自由にやらせないんだ」

「村浜や三島を次につなげるような展開をなんで作らないんだ」

「大会を通じて何を見せたかったのか、伝わってこない」

みなもっともだ。もしかしたら参加した選手でさえ、何か腑に落ちていないんじゃないかと思える試合が続いた。

U-STYLEとは何か。U-STYLEは何を目指すのか。

それはまだ田村と他の選手の間で共有されていない。それでも旗揚げ大会には、それぞれの選手がその答えを探して行こうとする熱があった。

しかし今回見られたのは、見つけきれなかった未完成な答えを、すでに模倣しようとしている姿だ。それが今回の奇妙な停滞の理由だと思う。決してマッチメイクだけの責任ではない。

もし僕が田村に「U-STYLEとは何か？」とインタビューしたとする。田村はおそらく言うだろう。

「逆にあなたはどう思います？」

逆にじゃない！　と逆切れしてる場合ではない。最近は変なインタビューかわしの技を身に付けつつある田村だけど、そもそも田村は自らの方向性を明確な言葉にすることが苦手なタイプであるのだ。だから僕らは田村の行動にしばしば首を傾げてきたのだ。

最近こそ、美濃輪戦から高田戦へ、そしてU-STYLE旗揚げと、絵に描いたようにファンの期待に沿ってきたから、なんか同じ感覚を持っているような気もしているが、ちょっと記憶を戻せば、

○原 学 vs 越後隆●
（格闘探偵団バトラーツ）（U-FILE CAMP.com）

15分時間切れ　判定／ロストポイント3-2
バトラーツとU-FILEの若手対決は、石川社長直伝の腹固めや飛びヒザで原が攻め込めば、越後はジャーマンや水車落としで反撃する一進一退の攻防に。最後はロストポイント差で原の勝利

○伊藤博之 vs 吉田智彦●
（フリー）（U-FILE CAMP.com）

7分23秒　腕ひしぎ十字固め
この日がデビュー戦となるU-FILEの吉田智彦（ベルギー出身）相手にプロ初勝利を飾った伊藤だったが、本人は「アメリカ修行の成果を見せられなかった」とガックリ

田村以外のU-STYLEとはいかに？

4・6　U-STYLEプチレビュー

突然のサップ戦であり、成瀬への対戦要求であり、「言いたいことがあります」が、「ベルト作ってくれ」だったりしたのだ。田村のやろうとすることがわからない、ということは、そんなに珍しいことではないのだ。
おそらく田村の中でも言語化されていないであろう「U-STYLEとは何か？」というテーマ。
しかし田村の非凡な所は、自分でも言語化できていない答えを闘いの中で表現できることだ。
坂田との試合、三島との試合。どれもあのKOK直前の高阪戦やヤマノリ戦を思い出させるキラ星の輝きを放っていた。
圧倒的な身体のキレと、技と痛みの説得力。言葉で分解していっても、その理由はつかみきれない。
たとえば高阪が新日でやった試合と何が違うのか。
村浜が「これこそがU-STYLEだ」と胸を張る闘いとどこが違うのか。
明確には語ることはできない。しかし明らかにそれは別物である。
田村だけが、プロレスからVTへの方向で語られる時間軸から自由でいることが許されている。
これが全試合並べば無敵だろう。でもそれが不可能であるという現実から、U-STYLEと田村は始めなければいけない。極端な話をすれば、U-STYLEが田村の1試合だけだったとしても、僕はそのために金を払う。
そして、田村の幸福と不幸はそこに存在する。田村の試合の中だけにある「U-STYLEの完成形」を読み解くことができるかどうか。U-STYLEの未来はその一点にかかっている。

田村潔司の非凡なところは、自分でも言語化で き

注目のメインは、三島の奇抜な関節技&打撃に田村の回転体と強烈なキックが交差する好勝負になり場内は沸きっぱなし！　変形のヒザ固めでファーストエスケープを奪った三島だったが、最後はスタミナが切れかけたところに田村の腕十字が極まりタップ。2人とも男だッ！

村浜またもや爆弾宣言!!「田村戦？もう、どっちでもええわ！」

U-STYLE旗揚げ戦での試合後、田村と対戦が決まった三島に「お前、プロレスできるんか？」とアピール、田村にも「逃げるなよ!!」と挑発三昧、純プロレスムーブを散りばめた試合内容も含め物議を醸した村浜。前回の大久保に続きU-FILEの佐々木恭介と闘った村浜は試合後またもや衝撃発言！「やっぱ窮屈ですわ。あれやったらアカン、これやったらアカンとか多すぎる。自分のスキルの何分の1も出せない。プロだったら客沸かしてナンボだと思ってるんで、もうやる気ないですわ。新日本のライガーさんや金本さん、ヒートとか、K-1だったら魔裟斗選手だったりと闘う方が魅力を感じるし、自分で満足できる試合をやれる選手やリングはいっぱいあるんで。自分が見せたいのはこれではない。田村戦？　もう、どっちでもええわ（苦笑）」と、事実上のU-STYLE決別宣言とも取れる発言を残しコメントルームをあとにした。果たして村浜の次回参戦はあるのか？　どうする佐伯代表&タムタム!?

6・29『U-STYLE』大阪初進出！
坂田、三島に続く田村の相手は一体誰だ!?
そして村浜の参戦はあるのか？

日　　時 ■ 2003年6月29日（日）OPEN 16:00／START 17:00（予定）
会　　場 ■ 大阪・梅田ステラホール（梅田スカイビル タワーウエスト3F）
チケット ■ SRS席￥8.000／A ¥6,000／B ¥5,000
※VIP席（¥10,000・最前列）は完売
お問い合せ ■ DEEP事務局　TEL.052-339-0303

前田達也とは誰か？
本職は某放送局のスポーツディレクター。田村の実家の寿司屋で父のサインをもらったことと「前田日明が選ぶ10周年大会観戦記」に選ばれたことが自慢の31歳。前田日明とも前田辰也とも何の関係もない。残念ながら。http://member.nifty.ne.jp/TATSUYA/

○坂田亘（EVOLUTION） vs 大久保一樹●（U-FILE CAMP.com）

8分42秒　逆片エビ固め
前日までZERO-ONEに参戦し、この日を含め初の4連戦となる坂田。大久保ちゃんをイジメのように張りまくり、一度はエスケープを奪われるが、最後はシャチホコ級の逆片エビでフィニッシュ

○村浜武洋（大阪プロレス） vs 佐々木恭介●（U-FILE CAMP.com）

8分49秒　腕ひしぎ十字固め
入場時の四方への礼からグラウンドでの回転体など、"ちっちゃい田村"的な動きを見せ村浜と互角に渡り合った佐々木だったが、最後はジャーマンからの腕十字で村浜の勝利

○藤井克久（UFO） vs 木村直生●（EVOLUTION）

2分10秒　KO（レフェリーストップ）
UFOの藤井が坂田の弟子の刺青ファイター木村と対戦。共に一歩も引かない掌底の打ち合いを見せやり合うも、最後は藤井がジャーマンから掌底の乱れ打ちで木村をKO！

鈴木みのる、"パンクラスMISSION"として新日本出撃宣言！

激震三昧!!
パンクラスはどこへ!?

今年10周年イヤーのパンクラスが揺れている！　鈴木みのるが新日本出陣宣言、新たに団体内に新設されたパンクラスMISSION所属となったのは皆さんもご存知のとおり。さらに石井大輔退団、旗揚げメンバー稲垣の引退、リング内ではヒカルド・アルメイダ旋風が吹き荒れる激震三昧のパンクラスを、タダシ☆タナカが徹底解剖！

文／タダシ☆タナカ　構成／松澤チョロ　試合撮影／乾晋也

激震！ パンクラス構造改革

ヒカルド・アルメイダvs佐々木有生のメインイベントで、またも札止めとなった4月12日の後楽園ホール大会だが、マニアや記者の視線は鈴木に注がれていた。グッズ売り場で一生懸命声を出していたし、ism所属選手には必ずセコンドについていたからだ。道場長としてそれが最後のお勧めであることは明らかだった。

そして17日、鈴木みのるのismからの離脱と、新たに発足した「パンクラスMISSION」所属になることが発表された。ロゴマークからも読み取れるように、総合格闘技とプロレスの両方をやっていく集団を意味するが、当面こちらに合流するのは鈴木だけで、外部選手を引き抜く予定はないという。

4・12後楽園大会でGRABAKAの佐々木有生相手に文句なしの判定勝ちを収め、渋谷、美濃輪に続き対パンクラス、そして、対GRABAKAともに3連勝となったヒカルド・アルメイダ。次は5・18横浜大会のメイン、菊田早苗vs近藤有己戦の勝者との対戦が濃厚だ。この男の勢いを止められるパンクラシストは一体誰なんだ!?

昨年の獣神サンダー・ライガー戦以来、鈴木がいずれ新日本プロレスに登場することは、英文シュート活字の『レスリング・オブザーバー』にはとうの昔に書かれていたが、『週刊ゴング』にも洩らしたことで正式な記者会見となったようだ。

純プロレスマットへの「使節団＝ミッション」というのが名称の由来だが、全方位外交なので新日だけに限らないらしい。鈴木がプロレスをやる姿を待ち望んでいた者も少なくないわけで、パンクラスのことをよく知らなかった新日ファンなどが、「ハイブリット・レスリング」に興味を持つ可能性も高く、この決断は大いに応援したい。

願わくは田村潔司戦など、黄金カードが次々と実現して欲しいものだ。そのリングが『W-1』であってもDEEPになっても、もはや場所では驚かないだろう。バーリ・トゥード戦が組まれている新日の5・2東京ドーム大会では、鈴木は実況席に就くことになっている。ズバリ、ブッカー蝶野正洋が照準だ！

石井大輔退団、稲垣克臣引退

パンクラスの所属選手への方針は、旗揚げ以来一貫して「プロレスをやりたいなら辞めてから」だった。よって会社としては筋を通した格好になる。しかし、団体の創設者にして顔でもある鈴木が別グループ扱いになったのは、十周年にして、組織が大きく揺れていることを意味する。

どんどん混乱してくれた方がファンには面白いかもしれない。経済用語には「会社の寿命十年説」があるように、組織が変わらなければ次の十年間はありえないのだ。

契約更改時期に、最初の変更となったのは石井大輔になる。「頭部へのダメージ回復に一年かかるから」と発表されたが、鈴木の指導方針と衝突していたという怪情報もあった。パンチの破壊力には定評があり、過小評価されていた組だけに再起を期待したい。

うがった見方をすれば、対立した両者が降格処分にされた格好になりかねないが、石井が退団発表後なのにセコンドとして後楽園にいたことで、多くのファンは安心したようだ。ただ、選手フロントともに石井の処遇は波紋を投げかけ、一緒に行動することの多かった美濃輪育久にまで退団の噂がネット上で駆け巡っていた。

本人はアメリカに渡りアレックス・スティーブリングの道場で練習するだけでなく、完治後には現地で地方大会に出場する意思もあるようだ。パンクラスの大会でムエタイのトランクスで闘おうとしたアレックスは、公式ルールでそれが認められなかったので、石井のパンツを借りて試合をしていた仲だった。

稲垣克臣が6月22日の梅田ステラホール大会で引退することも発表された。稲垣は旗揚げメンバーだし、大阪道場の指導者として高く評価されている。今後の動向に注目が集まるのは冨宅飛駈や、ヘビー級のベルトを持ったまま防衛戦をしていない高橋義生ということになるだろう。

新道場長は、この原稿を書いている時点では、まだ決まっていない。ismの選手が外部のリングで闘ったときの勝率が、半分どころか3割しかない結果、企業の理論に従えば、その責任をとって鈴木代表が解任されても不自然ではなかった。もっとも創業者の処遇はどんな組織でも難しいものだ。GRABAKAと違って、ちゃんこの匂いの染み付いた横浜道場をまとめるのは大変！次のボスは誰になるのだろうか？勝率の向上がなければ短命で終わることを先にクギをさしておいた方がよさそうだ。

"エース"近藤有己vs"王者"菊田早苗 5・18横浜文化体育館は必見！

転換期を迎えたパンクラスは、ついに切り札カードを切ってきた。どうやら、この大将戦の勝者に、渋谷修身、美濃輪、そして佐々木までも撃破したヒカルド・アルメイダが絡んでくることになる。

パンクラスは、十周年にして大化けのチャンスを掴んだようだ。

王者か、エースか。
PANCRASE
KING OF PANCRASE TITLE MATCH
KIKUTA SANAE vs KONDO YUKI
Sammy PRESENTS PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
5.18[SUN] OPEN▶15:00 START▶16:30
YOKOHAMA BUNKA TAIIKUKAN

5・18横浜大会、菊田vs近藤戦以外での注目は、エベンゼール・フォンテス・ブラガ、ペドロ・オタービオなどを輩出したルタ・リブレの名門アカデミーア・ブドーカンから初登場となる、2000年『ヒーローズ』ミドル級王者フラービオ・モウラと、2002年『ルタ・リブレ』ミドル級王者エバンゲリスタ・サイボーグの参戦だ。VT12戦10勝（7KO）2敗のモウラはセミで郷野聡寛、VT21試合中16KO勝利を誇る驚異のストライカー、サイボーグは渋谷修身と対戦する。メイン以外も見どころ満載だ！ レッツ横浜！
【問い合わせ】パンクラス　TEL.03-5792-0815

ライトヘビー級キング・オブ・パンクラスタイトルマッチ

【王者】菊田早苗	vs	【挑戦者】近藤有己
郷野聡寛	vs	フラービオ・モウラ
三崎和雄	vs	久松勇二
渋谷修身	vs	エバンゲリスタ・サイボーグ
伊藤崇文	vs	花澤大介
長岡弘樹	vs	アライケンジ
砂辺光久	vs	前田吉朗

4・6 K-1JAPANシリーズ『K-1 BEAST2003』大会レポート

果たして武蔵はホントに腐ってるのか?

5・2 K-1ラスベガス大会で角田信朗vs武蔵の因縁が決着!?

角田引退の花道に武蔵が〝お礼参り〟!?

大会の直後、角田信朗・競技統括プロデューサーの口からは痛烈な批判が次々飛び出した。

「アマチュアの年間行事じゃないんだ」

「賞味期限切れ」

「腐ってるかも」

石井館長の逮捕という非常事態の中、K-1を支えるために闘い続けてきた角田プロデューサーは、ジャパン勢の闘志の見えてこない試合ぶりに疑問を投げかけずにはいられなかった。その言葉の裏からは、

「プロ失格」

「売り物にならない」

「捨てるぞ!」

といったプロデューサーという立場ならではの生々しい感情が感じとれるはずだ。では、なぜ角田プロデューサーは、そこまで言わねばならなかったのか? まず、その大会を振り返ってみよう。

4月6日——山形に初上陸を果たしたK-1JAPANのタイトルは「K-1BEAST2003」。いまや日本一有名な格闘家となったボブ・サップが自らビースト軍を率いて、7対7の全面対抗戦でジャパン軍を潰しにかかるというコンセプトだった。

「技よりもパワー」を合言葉にかき集められたビースト軍は、キック経験の浅い総合格闘家や日本襲来を宣言したばかりのサモアン・ビースト軍団など、K-1での実力は未知数ながら凄みの漂う怪物ばかり。

対するジャパン勢はパワーも体格も劣るものの、キックの技術や経験に関しては明らかに上。だからこそ、ここ最近は実績を残せていないジャパン勢にとって絶好の名誉挽回のチャンスになるはずだったのだが……。

マイク・ベルナルドの豪快なKO復活劇、体重差40キロのトム・エリクソンとノーガードでの激しく打ち合った天田ヒロミの闘争心、圧倒的な体格差のシリル・アビディからダウンを奪った子安慎吾の素晴らしいハイキック、右パンチ一本槍で富平辰文を追い込んだサップの友人チャド・バノンなど、セミ・ファイナルまではビースト軍、ジャパン軍ともに見どころは多かった。

そして、3勝3敗で迎えたクライマックスの大将戦、武蔵の対戦相手はゲーリー・グッドリッジ。決して倒せない相手ではなかったはずだが武蔵は約1ヶ月間、モーリス・スミスと共に打撃特訓を積んだというグッドリッジに大苦戦! 結果は、多くの方がすでにご存知のように「引き分け」。最高のお膳立てを見事にひっくり返す結果となった。

この試合、武蔵は勝たねばならなかった。あるいは、勝ちに行く姿勢を見せなければならなかった……。だが、武蔵は3勝3敗というシチュエーションで、プロとして一番やってはいけない「引き分け」というカードを引いてしまった。だからこそ、試合後に角田プロデューサーは大激怒したのだろうし、「闘い方を変える必要はない。変えなきゃいけないのは中身、ファイターとしての哲学です」と武蔵にだけは厳しいダメ出しをしたのだろう。谷川貞治・イベントプロデューサーでさえ、「大会を壊したとは思わないが、武蔵には勝って欲しかった」とフォローにならないフォローで武蔵に厳しい評価を下したほどだ。

ジャパンのトップという立場にありながら、酷評される試合ばかりが続く武蔵。だが、運命の巡りあわせで、遂に心の底から倒しに行ける相手が見つかったようだ。そう、それが角田信朗だったのだ!

山形大会の翌日、5月2日のK-1WORLDGPアメリカ・ラスベガス大会で角田信朗が引退試合を行うことを発表した。しかし、角田が対戦を希望したスタン・ザ・マンとディック・フライは、どちらも諸事情によりマッチメイクが不可能となってしまう。そこに名乗りを挙げたのが武蔵だった。

「賞味期限は切れてても食えるもんなんですよ」

4月17日の記者会見で、珍しく切れ味鋭いコメントで角田に挑戦状を叩き付けた武蔵は、いままで散々自分をコキ下ろしてきた因縁の相手にキッチリ落とし前をつける千載一遇のチャンスを最後の最後で手に入れたのだった。「腐ってる」とまで言い切った角田に、武蔵は自分のパンチを食らわすつもりでいる。皮肉にも、自分の厳しい愛の鞭が武蔵のハートに火を点けてしまった形だが、角田もこの対戦を前向きに検討中。闘志を剥き出しで倒しに行く武蔵が見られるのか、それとも角田が武蔵の賞味期限切れを証明するのか? 昨年の『紙プロ』大賞ベストバウト部門のトップに輝いた高田延彦vs田村潔司とは別のベクトルで愛憎が渦巻く引退試合となりそうだ。

文/スモーノブ

ガッツが見えた!

オンナが見えた!

スマックガールはOK牧場!!

「ガッツだぜ!!」とばかりにパワフル魂が炸裂した4・2スマックガール。ディファ有明から六本木ヴェルファーレへ場所を移動しての第2弾は、辻結花vsWINDY智美という現在のスマック最上級のカードが実現! これぞド真ん中!

構成/松澤チョロ　撮影/松本崇　designed by gutty (Two Three)

「ハッキリ言って、K-1よりもスマッ

ろだろう。それがガチンコなら尚更。

NDYのハリケーン級の打撃を凌いだ

観客に女子総合、そして辻結花という

女版サクVSミルコ戦を制し、辻ちゃん、DEEP出陣!!

対戦相手は、ビジュアル系プロレスラーか!?

3月29日は長野で女子総合の新大会『ARKADIA』に出場、翌30日はサップvsミルコ戦を観戦した辻ちゃん。風邪気味で体調は万全ではなかったが見事勝利！　次は7月のDEEP大阪大会だッ！

【写真左】インディー団体ナイトメアからスマック初登場のマスクマン・唯我。セコンドの死神が見守る中、柔道出身者らしく豪快な投げからの腕ひしぎ袈裟固めで勝利！　試合後は石原、久保田、高橋といった大型選手との対戦をアピール。
【写真右】一年前の両者デビュー戦以来の再戦は、同郷のガッツの応援の甲斐あって渡邊が判定ながらも勝利！

『PRIDE25』での桜庭の入場をパクったナナチャンチン。『紙プロ』で出した『さくぽん』付録の手作りサクお面を被り登場するも、TBS『サイボーグ魂』に出場した若奥さん大畑にあっさりとスリーパーでタップ！

この日も34秒で禅道会の大畑綾子に敗れ、連敗街道ばく進中のナナチャンチンは、懲りずに会場で発見したフックンシュート・ライトヘビー級王者の横井宏考に対戦を直訴!! レフェリーは和田良覚!! 次回大会で実現か!?

いろんな意味でターザンも大騒ぎのサンボの女王しなしさとこvs沖縄唐手の川江礼子の一戦。3人の子供を持つ川江のおっかさんが奮闘するも最後は腕十字でタップ。勝利したしなしは応援に駆けつけた知り合いの関取の肩車でビッグな退場

プライドに続きスマックでも大乱闘ボッ発!?

全日本アームレスリング50キロ級王者の山田洋子がスマック初参戦。グッドリッジのテーマ曲で胸を叩きながらの入場。セコンドは何故かアレクが

ゴングと同時に突っかけてきた坂口に怒り心頭の山田。剛腕を活かしたフロントチョークで坂口を下し、さらに突き飛ばすと坂口＆セコンド陣が激怒！互いに怒声を浴びせ、大乱闘寸前!!

可愛らしいコスチュームとは裏腹に、かなりの気の強さを見せた腕相撲王者・山田。怒りが収まらない山田をセコンドがコーナーまで強引に強制移動。そのルックスと共に次回大会も注目だ

「ハッキリ言って、K-1よりもスマックガールの方が何倍も楽しかったよ!」と、最近になって〝女子格〟をあちこちでプッシュしているターザンも言っていたが、それに関してはボクも同感。

3月末から4月上旬にかけて、ZERO-ONEの後楽園大会と破壊王凱旋興行、サップvsミルコがあったK-1埼玉スーパーアリーナ大会、田村vs三島のU-STYLEディファ大会、同じ日にあったWJの餅つき大会(って、これは違うか)、パンクラスの後楽園大会と、かなりの興行を見てきたが、その中でも今回のスマックはズバ抜けて面白かった。まさにド真ん中!

いまのところ、ボクにとっては『PRIDE25』に並び、今年のベスト興行候補のひとつ。まあ、あまり他の大会と比較するのもどうかと思うが、前から散々言ってるとおり、やれ「女子だから」とか「レベルが低い」だとかいう理由で女子総合を毛嫌いしている『PRIDE』やK-1、それに『紙プロ』読者の皆さんにも「『PRIDE』やK-1と同じぐらい面白いですよ」、いや、「それ以上に面白い時もありますよ」と教えてあげたいだけなのだ。

まずは、はじめの一歩。一度でも見れば「もう一丁!」と見る者に思わせるものがそこにはある。タレントの水野裕子の出場で話題を呼んだTBS『サイボーグ魂』主催の女子総合の大会のテレビ中継が評判良かったのも、女子総合の可能性を感じさせる話である。いまはまだ、集客的には何百人レベルの盛り上がりの女子総合だが、何かの拍子で、それが何千人レベルになるのも、そう遠くはないと改めて感じたのが4・2のスマックだった。

「じゃあ、何がそんなに面白いの?」と言われれば、それこそターザンも言っているとおり、女の闘いの方が男よりも感情がストレートに表に出るところだろう。それがガチンコなら尚更。

〝ド真ん中〟ことWJの永島専務が好んで使う、〝勇気〟〝怒気〟〝殺気〟〝元気〟という4つの〝気〟が必要以上に見えるのが女子格闘技、そしてスマックの最大の魅力だと思う。

で、この日の第一試合はスマックの定番、〝北の最小兵器〟ナナチャンチンの試合。毎回毎回、自分より大きな相手に臆せず向かっていく、その〝勇気〟が評価されてきたナナチャンチンだが、ここ最近はパフォーマンスばかりが目立ち、その〝勇気〟が、ちっとも伝わってこないのが残念。「テメエは、それでいいや」とは、さすがに言いづらくなってきたので、次こそは期待!

そして、2試合目ではスマック常連の坂口一美と、初出場となる全日本アームレスリング50キロ級王者の山田洋子の一戦。坂口のゴングと同時(1秒前?)のジャンピングニーでの奇襲に怒った山田が自慢の剛腕でフロントチョークを極め勝利。試合後も怒りが収まらず坂口に突っかかっていく山田に、坂口のセコンド陣が激怒! 乱闘寸前のところで関係者が割って入りなんとかその場は収まった。さすがに迫力では、シウバとランペイジの乱闘には及ばないが、女性特有の〝怒気〟がビンビンに感じられる闘いだった。

注目のメインは、女版サクvsミルコと戦前から注目を集めていた辻結花vsWINDY智美戦という現在のスマックにおける最高のマッチメイク。WINDYがキック界の暴れん坊女王らしく鋭い眼光で睨みをきかせると、対する辻も、辻ライガーマスクを取ると、中から現れたのは、これまでに見たことがないほど気合いが入った怖い顔。互いに、これ以上ない〝殺気〟を漂わせ、いざゴング!

試合は、ミルコというより女版アイブルといった感じのWINDYのハリケーン級の打撃を凌いだ辻が下からの十字で見事勝利! 試合中とは一転、顔をほころばせ「めっちゃ嬉しい!」と飛び跳ねて喜びを表現した辻ちゃん。

以前、『紙プロ』で対談した顔なじみの横井宏考とともに、総合での連勝記録をまたもや伸ばした辻ちゃん。(なんとデビュー以来10戦全勝!)。

そんな辻ちゃんの次なる舞台は7月に地元大阪で開催される『DEEP』に決定! 以前から「大阪とハワイで闘いたい」と言っていた辻の念願が叶い、女子としては初の『DEEP』参戦となる。対戦相手には某ビジュアル系プロレスラーの名前も挙がっているという噂も入手したが、辻ちゃんなら誰が相手でも、必ずや『DEEP』の観客に女子総合、そして辻結花という存在を突き刺すのは間違いないだろう。

最後に、この日のスマックの会場一番人気は、なんとガッツ石松! 隣町出身の渡邊久江の応援に訪れたというガッツは渡邊の勝利を確認するとリングに駆け上がり「おめでとう!! でももっと、お客さんが喜ぶ試合をしなきゃいけない。(ジェスチャー付きで)左ジャブを出して、幻の右を出して、最後にOK牧場!って言えばいいんだよ!!」との抜群なマイク。ガッツの〝元気〟溢れるアピールに場内からは大歓声! 〝勇気〟〝怒気〟〝殺気〟そして〝元気〟! 4つの〝気〟が充満したスマックガールが格闘技界の〝ド真ん中〟を突っ走る日は、もう、すぐそこまで来ている。ん~、OK牧場ッ!!

最後は、グラウンドで重いパンチを振り下ろすWINDYの腕を瞬時にキャッチした辻が下からの腕十字を極め勝利!

何度も得意のスーパー・ロータックルを仕掛ける辻だったが、WINDYにがぶられると強烈なパンチを浴びまくった

「もう少し打撃できると思ったけど甘かった」と試合後、語った辻だが、WINDY相手にスタンドでも果敢に打ち合った

辻ライガーマスクを手に入れろ!!

パンクラスで練習を積むWINDY智美と対戦した辻ちゃん。毎回恒例の辻マスクネタは、パンクラスとも因縁浅からぬライガー。マスクには、しっかり「辻」と入っている世界でただ1つの、このマスクを辻ちゃんのご好意により『紙プロ』読者1名様にプレゼントします(十ビッグボーナス付き)。宛先と詳細はP159参照!

“AMMS INTERNATIONAL PRESENTS SMACKGIRL Third Season-III”

ゴルドーからの刺客がスマックを襲う!!

日　時■2003年5月7日(水)START 19:30
会　場■六本木ヴェルファーレ(※六本木駅下車徒歩1分)
チケット■ロイヤルVIP指定席:20,000円(食事付き) VIP指定席:10,000円
SRS指定席:5,000円(当日500円増) スタンディング:2,500円(当日500円増)
お問い合せ■マックガール実行委員会　TEL.03-5545-4766

久保田有希 vs ファティア・アバハイヤ(ドージョー・カマクラ)
X vs カロリン・フグレコス(目白ジム)
しなしさとこ vs X
渡邉久江 vs X
亜利弥' vs ジェット・イズミ
玉井敬子 vs 唯我

※参戦予定選手　山田洋子他

“神”が地上に降りてきた！

3・30『レッスルマニア19』でホーガン伝説に終止符(ピリオド)!?遂に素顔を晒し始めた最後のスーパースターに迫れ!!

“ハリウッド”・ハルク・ホーガンは地球上で最も有名なプロレスラーであり、80年代から世界を股にかけて第一線で闘い続けてきた最高にして最後のスーパースターだ。そのホーガンが、“地球最大のプロレス祭典”3・30『レッスルマニア19』で区切りの闘いを終えた。昨年の『レッスルマニア18』でロックを相手に見事な復活を遂げたホーガンを「“超人”が“神”になった」と僕は書いた。1年後、“神”はいきなり人間臭い部分をカミングアウトし始めて、僕らの目線まで降りてきた。前号で紹介した自伝ではステロイド問題やビンス・マクマホンとの確執など、スポットライトを浴び続けたスーパースターについてまわる影の部分を告白しているのだ。ホーガン伝説はいま、まさに最終章を迎えている。プロレスの神髄を体現し続けるホーガンだが、引退はそう遠くない日にやってくる。今月は、そんなホーガンの“人間臭い”部分をクローズアップしてみたい（スモー）。

構成／スモーノブ
photo/George Napolitano
designed by ZERO graphics

3・30『レッスルマニア19』ホーガンVSビンスの私闘

20年——恩讐の彼方に地球規模の因縁が決着!?

文・阿部タケシ

現在、『ワールド・プロレスリング』が「愛と憎しみの名勝負」といったタイトルで、過去の名勝負を放送している。そこでは現在進行形の試合映像よりも、過去の試合映像が評価を受けているという。そんな回帰現象が現在、WWEでも起こっている。

しかし、WWEは「あの頃はよかった」という安易な形で感傷にひたるようなものではなく、「あの時代の奴等は今でもスゲェんです!」という部分をキッチリ見せてくれる。ザ・ロック、ストーンコールドなどが現在のWWEの重要な中枢を担っているが、その輪の中に平然と入り、キッチリとファンを唸らせているのが、ハルク・ホーガンであり、"世界最強の素人"ビンス・マクマホンだ。

この両雄の一戦には「20年の確執」という副題が付けられていた。一言で「20年の確執」と言っても、じつに長い期間である。その間に両者は付いたり離れたり、信頼したり憎みあったり。この20年もの間、様々な出来事がビンスとホーガンにあったが、2人はあくまでビジネス上のパートナー関係であり続けた。

例えばこんな話がある。ビンスが近所に住んでいたホーガンに「これでもっと俺に付き合えるよな」とバイクをプレゼントところ、ホーガンはもちろん感動した。一見、お互いを知り尽くした親友同士の会話に聞こえるが、ボクにはビンスの「これからも一緒に走っていこうぜ!」というメッセージではないかと思う。それは親友としてではなく、強固なビジネス上のパートナーとして……。

この確執の最大のポイントは、1985年にレッスルマニアの成功でアメリカンプロレスの象徴となったホーガンが、AWA時代から使用していたアナボリック・ステロイドを巡って、世間から批判の餌食となった事件だろう。今まで合法であったアナボリック・ステロイドの使用が、「使用方法によっては非合法である」と政府が発表したことで、様々なメディアに露出していたホーガンに対し、"筋肉=ステロイド=非合法"というイメージがまとわりついた。

さらに政府はホーガンのステロイド使用よりも、ステロイドの使用を許可したビンスに問題があると判断。「レスラーにステロイド使用を勧めた」という疑惑でビンスが追及されることになった。レスリング・ビジネスの成功者となったビンスだったが、ホーガンのステロイド使用という思わぬ事態で世間のさらし者にされ、ホーガンに対して憎悪の感情を抱くようになっていった。もちろんビンスはステロイドを勧めたことはないし、ホーガンも個人の自主的に使用したことを告白している。

政府はホーガンと接触し、「ビンスにステロイド使用を勧められた」と法廷で証言するように仕向けた。しかし、ホーガンは断固としてこれを拒否。裁判でもステロイドは「ない」ときっぱり言い切り、裁判は無罪で決着した。ホーガンはビンスを弁護したのだ。しかし、ビンスは「WWEのステロイド容疑はシロ」で、「ホーガンの使用はクロであるべき」と激高! 「ホーガンがハルク・ホーガンというキャラクターを守るためについたウソと、WWEを守るためのウソは別物だ」と言い放った。やはり、ビンスとホーガン、両者ともにビジネス上の関係にすぎないことが再確認できたはずだ。

ビンスとの関係が悪化したホーガンは、リック・フレアーの誘いがきっかけでWCWへ移籍。ビンスとは絶縁状態となった。しかし在籍したWCWの経営悪化で廃業、そしてホーガンの父の死……。父の遺言であった「プロレス界を立てなおせ」という言葉と時を同じくしてビンスからWWE復帰を持ちかけられ、再びホーガンはWWEのリングに戻った。しかしホーガンは、以前のホーガンではなく、ビンスから学んだ"ビジネス"という一枚の壁を隔てた関係でビンスと接しはじめた。お互いの本性を隠しながら。

過去に様々な相手と闘ってきたホーガンだが、今年1月の再復帰の相手には、WWEの黎明期を共に支え、お互いステイタスを築きあったビンスを選択した。この抗争にはWWEの歴史とお互いの思いを再確認するという意味合いもあったはずだ。

『レッスルマニア19』の記者会見でビンスは「この試合のピリピリした緊張感はリアルだ。私はその緊張感を楽しむつもりだ」、「ホーガンに対する様々な怒りをケンカではなく、正当な方法でブチまける絶好の機会だからな(ニヤリ)」とサラリと言ってのけた。それが逆にリアルに見えた。その言葉通り、試合は壮絶を極めた。ビンスはリング下から取り出したラダーに乗り、放送席に横たわるホーガンにレッグドロップ一閃! リング下から鉄パイプを取り出すビンスの顔!(この顔は究極の憎悪が垣間見えた瞬間だった)ハードコアなシーンの連続であったが、ビンスの憎悪をホーガンがすべて受け止め、必殺のレッグドロップで勝利を収めた。

ホーガン自身、リングで試合が出来る期間はそれほど長くはないと常々口にしている。残り少ない選手生活で、ビンスとの一戦は必須だったに違いない。そして、2人はこの試合で身を持ってWWEの歴史を再確認した。この両者の対戦は誰もが認める死闘であったが、ボクはむしろ"私闘"だったと思う。

昔、ビンスが言った「これでもっと俺に付き合えるよな」というあの言葉の通り、二人の関係はこれからもずっと続いていくに違いない。

「ビジネスは私的なものだ。"ビジネスだから恨むな"と言われても私には出来ない」と『コンフィデンシャル』で語っているビンス。『WM19』ではビジネス上のパートナーを血ダルマにした。 photo/George Napolitano

WWEファンクラブの会報誌「RAWマガジン」第2号、完成!!

7月に再来日が予定されている公演のチケットの最優先受付、スーパースターズの情報&インタビュー満載のRaw Magazine 日本語版(ALLカラー64ページ)を隔月発行、スーパースターズ参加のファンクラブイベントに参加等、特典満載のWWEファンクラブが入会募集中!! RAWマガジンには独占記事が満載! スティーブ・オースチンが初めて語った、職務放棄強行の理由など、WWEファン必読だ! 提供■WWEファンクラブ事務局

阿部タケシ(ta_abe@ybb.ne.jp)■WWEファンクラブ会報誌「RAWマガジン日本語版」を手伝ってます。今すぐ入会! http://www.wwe-dvd.com/ http://www.wwefanclub.ne.jp
ちなみにネタバレ通信の「老爺&蛇丸」はボクじゃないです。

※読者プレゼントの応募方法についてはP.159を参照のこと!

日本NO.1ハルカマニアが接したスーパースターを語る

我が父ハルク・ホーガン

世界中に何億人というファンを持つスーパースターの中のスーパースター、"ハリウッド"・ハルク・ホーガン。当然、日本にも熱狂的なファンは多い。だが、このページで紹介するYOSSY 佐藤氏は、おそらく世界でも屈指の"ハルカマニア"だ。佐藤氏はホーガンも認める日本ナンバー1の友人であり、実の息子ではないが、まるで父親のようにホーガンを慕っている。じつは、昨年3月と今年1月に小川直也がホーガンと密会した時も佐藤氏は同行しているのだ。そんな佐藤氏にホーガンとの20年来の付き合いを語ってもらった。リング上では見せない素顔のホーガンに迫る貴重な証言が続出したぞ!!

聞き手／スモーノブ
写真提供／YOSSY佐藤　取材協力／"PAINTMAN"SEMBA

——そもそも佐藤さんがホーガンと最初に会ったのはいつ頃ですか?

佐藤　1982年ですね。12歳の時でした。じつはホーガンが一番最初に知り合った外人選手なんですよ。当時、僕はプロレスラーの追っかけをやってて、外人選手の泊まってた京王プラザホテルにしょっちゅう行ってたんですけど、そこで声をかけてもらったのが最初ですね。

——その頃、佐藤さんの風貌ってどんな感じだったんですか?

佐藤　つるっパゲで眉毛も剃ってました(笑)。親に学校サボってプロレスの追っかけをやってるのがバレて、頭と眉毛まで剃られちゃって。それを見たホーガンが「俺が眉毛を書いてやる」と言って、サインしてもらったマジックで眉毛を書いてもらったんです(笑)。

——アハハハハ!

佐藤　こないだの『紙プロ』の記事でも『フライデー』の仙波さんがクリス・ジェリコに落書きされてましたけど、あれと一緒です。だから"ペイントマン"って理解できるんですよ。そうやって面白いツボを拾う頭脳があるレスラーって出世してると思うんです。それがキッカケで、ホーガンが一緒に食事やトレーニングに連れてってくれるようになったんです。あとは特別にホテルの部屋にも入れてくれたり。「ほら、頑張って取ってきたぞ。サトーにやるよ」って、その場でMSGタッグ優勝の記念メダルをもらったこともありましたから。そんな時には、バァ〜って涙が出てきました。

——うわぁ〜、いいなぁ。

佐藤　でも、追っかけてると言われましたよ。「お前、今日は学校に行ったのか?」って。「今日は学校をキャンセルした」って答えると、「ダメだ。学校はちゃんと行け!」って。懲りずに次の日も学校をサボってホテルに会いに行くと、シカトされたりするんですよ。教育的な部分はしっかりしてましたね。

ホーガンを追っかけてはるばるアメリカへ!!

——海外まで追っかけたことは?

佐藤　ありますよ。93年11月にはホーガンの自宅に行きましたから。ブライアン・ブレアーと知り合ってフロリダ州タンパにある彼の家まで遊びに行ったときに、たまたまホーガンからブレアーに電話があって「サトーが来てるのか? じゃあ、ウチに遊びに来いよ」って。「裏庭に行こうぜ」ってことになって、行くとボートが2台あって「速いのにする? それともゆっくりのにする?」って。もちろん「速いの」って答えたら、パワーボートに乗せてくれたんですよね(笑)。

——夢のような時間ですね!

佐藤　あとは、96年かな? nWoの全盛期にLAまでWCWを見に行ったんです。ホテルのロビーで「ホーガンは泊まってないのかな?」って探してたら、いきなり「サトー!!」って向こうから声をかけてくれて。試合が終わった後に飲みに行ったんですよね。その時は、他にもザ・ジャイアント(現ビッグ・ショー)とかエリック・ビショフとかカート・ヘニングとか15人ぐらいいたんですけど、「お前はここに座れ」って真横に座らせてくれて。

——特等席ですね!

佐藤　今までも14歳の頃に京プラでサムゥにガンガン飲まされて酔っ払って、ホーガンの部屋まで担いでもらったことはあるんですけどね(笑)。アメリカで飲んだ時は「お前もビールが飲めるようになったんだなぁ」って感慨深そうに言ってくれたのを覚えてます。

——13歳だった子がビールの味を覚えてるわけですからねぇ(笑)。

佐藤　でも、ホーガンはいくらお酒を飲んでも、翌朝早くからトレーニングをしてるんですよね。ホントに、トレーニングは嘘偽りなく毎日やってましたね。昔からビタミンのサプリメントを毎日20錠くらい飲んでたし。「プロだなぁ」と思いましたね。いろんなものを犠牲にして、スーパースターをやってるんですよね。

——「トレーニングをして、ビタミンを摂り、神に祈れ」っていうハルカマニアの3か条は実践してたんですね。最近、自伝でステロイド問題をカミングアウトしてますけど。

佐藤　スーパースターの宿命でしょう。普通の人がステロイド打ってもオナニーにすぎない。ホーガンには立つステージがあるわけで、そこに立つということは桁外れな何かを見せなきゃいけない。それがショー・ビジネスだし。だいたいステロイドを打ってもトレーニングしなきゃ意味ないですからね。それを続けるって、凄いことですよ。今年1月に来た時も、朝6時から原宿のゴールドジムに行って一人でトレーニングしてましたからね。

——そうそう、1月にホーガンが日本に来ましたよね。

佐藤　日本に着いて、まず僕に連絡を取ろうとしてくれたらしいんですけど、前の携帯番号にかけちゃったらしくて「誰か知らない女が出たぞ」って(笑)。日本に来たっていうニュースを聞いて、僕は自分から連絡

スーパースターが教えてくれたものに対して、インスピレーションを感じなかったら負け!!

を取って会いましたけど。

——今回来日したそもそもの目的は『W-1』との交渉じゃなくて、息子ニコラス(ニック)君(12歳)の車を探すためだったたんですよね。

佐藤　そうです。まずニックと幕張メッセでやってたモーターショーに行って、帰ってきてから、僕らと会ったんですよ。『W-1』関係者はホーガンに「夜、ホテルに帰ってきたらミーティングしたい」って言ってらしいんですけど、その人たちのことを待たせて、ホーガンは僕やフミ斉藤さんとビールを飲んでたんです。結局、『W-1』関係者とホーガンとの距離が遠いんですよ。「誰なんだよ、アイツら」って言ってましたからね。ホーガン自身も最近の日本のプロレス事情はいまいち把握してないみたいで。「スタンディング・シュートの会社とグラウンド・シュートの会社のプロレス部門? それ、どういうことだ?」って(笑)。

——『W-1』は分りにくいでしょう。

佐藤　ホーガンによると『W-1』関係者は、とにかく「出てくれ。試合では動かなくてもいいから、とりあえず人前に出てくれ。お金はもっと出すから」って。異常に高いギャラを提示されたらしいですけどね。

——それを蹴ったわけですよね?

佐藤　ホーガンは「別に金じゃないよ」って言ってましたから。「なぜ俺がプロレスをやるのかというと、息子のためだ。ニックが俺の一番のファンなんだよ」って。残り少ないプロレス人生で、やりたいことをやって子供を喜ばせてあげたいっていうのが一番なんだと思うんですよ、ホーガンの中では。だから、ある程度の金額とプロレスを理解する心のある会社であれば、ホーガンはお友達プライスで来てくれると思いますよ。「『W-1』に来なかった理由は、ぜ〜んぶギャラ!」って、I編集長が『紙プロ』で言ってましたけど、あれは違いますよ!!「金、金」言ってたのは『W-1』側で、ホーガンはプロレスの話をしたかったはずなんですよ。一度だけ、XWFに出たときも友情だけで金なんか出てないはずですから。「ジミー(・ハート)がやる団体なら協力してやるよ」っていう感じだったと思いますよ。実際、ホーガンは「オガワにはいつでも協力する」って言ってましたからね。

——おお、あのホーガン・小川の密会現場にも、佐藤さんは同席してたんですか?

佐藤　ええ。「もし、アメリカでプロレスをやりたいなら俺のところに来い」「オガワは絶対にアメリカでもスターになれる」って小川選手に直接言ってましたよ。猪木さんがホーガンを真のスーパースターにしたように、ホーガンが小川選手を真のスーパースターにするっていうのも面白いと思うんですけどね。個人的にはホーガン&小川組を見たいです!

この写真は83年頃に佐藤氏が撮影。左はカート・ヘニングとアドリアン・アドニスだ!! この頃、佐藤氏をトレーニングに連れて行くと、施設内のマットでプロレスごっこをやらせて、それを喜んで見ていたという。当時から「"これ買って来い" とか "ナンパしてこい" とは絶対に言わなかった。そういう部分が他のレスラーとは違います」(佐藤氏)とのこと。

ジャパニーズ・ナンバー1・フレンド

——佐藤さんにとってホーガンって、どんな人ですか?

佐藤　すべてです。お父さん的な感じもあります、たまにしか会えないですけどね。考え方も、たとえば自分が失敗した時なんか「ここでギブアップしていいのか? ホーガンならギブアップしないだろうな」って感じですよね。たしかに僕とホーガンじゃ全然違いますけど、こんなバカでもホーガンは目をかけてくれたんだから頑張らなきゃって。

——今度出るホーガンDVDの中で、黒人の少年がホーガンのサイン会に来て「あなたのおかげでギャングを辞めることが出来た」って涙ながらに言うシーンがあるんですよ。

佐藤　ああ、ホーガンにはそういうパワーがありますよ。僕にも昔、誰とでもケンカしてた頃があったんですけど……。「それじゃあいけない」って思いまして……。僕はここに至るまでいろんな部分で浮気もしましたよ。ロックンロールや不良的な部分にハマった時期もありましたけど、気がついたらブーメランのようにハルカマニアに戻ってくるんですよね(笑)。死ぬ時は、ハルカマニアTシャツやホーガンのフィギュアや生写真と一緒に棺桶に入りたいと思います。それぐらい、ハルク・ホーガンが自分の人生を変えてくれたと思います。僕はスーパースターにはなれないですけど、スーパースターが教えてくれたものに対して、インスピレーションを感じなかったら、負けですよね。せっかくの出会いをダメにするわけにはいかないですから。

——ホーガンって、人の心に作用する何かがありますよね?

佐藤　なぜ、僕が飛行機に乗ってアメリカまでホーガンに会いに行くかというと、たったの5分でも10分でもいいから、ホーガンとトークしたい、そのためだけに行くんです。それで、すごく刺激をもらえますから。

——佐藤さんは『レッスルマニア19』にも行ってるんですよね。

佐藤　ホーガンにも会いました。それで、「お前、いくつになったんだ?」って聞かれて。「33歳だよ」って言うと「エーッ!?」と驚いてました。ホーガンにとって僕はクレイジー・ボーイ・サトーのままなんでしょうねぇ(笑)。じつは、ホーガンの仲間がビデオカメラを回してた時に僕の肩を抱いて、カメラに向かって「Sato,Japanese No.1 friend」って紹介してくれたのは、すごく感激しました!

【4月5日、都内某所にて収録】

今年も2月の「NO WAY OUT」と3月の「Wrestle Mania」でアメリカまで飛んできた佐藤氏。ホーガンだけじゃなく、1月に日本まで車(お目当ては黄色いスープラ)を探しに来た息子ニコラス君とも仲がいい。

ネタバレ通信 vol.3

老爺（ろうじい）&蛇丸（じゃまーる）の2P警告隊presents

『レッスルマニア19』でホーガンは引退したのか!?

老爺 『レッスルマニア19』、行って来ましたよ！　読者プレゼントもゲットしてきましたんで、ガンガン応募してください！

蛇丸 僕は残念ながら行けなかったんですが、現地で見た感想としては、どの試合が一番面白かったですか？

老爺 やっぱりビンスvsホーガン、あとはHBKvsジェリコですね。この2試合は完璧にお客さんの雰囲気が完璧に出来上がってました。

蛇丸 HBKvsジェリコですか？

老爺 あの試合でガラッと観客のテンションが変わりましたから。ジェリコが1月の日本大会でも見せた受けの上手さとHBKの全盛期のような華やかな試合スタイルが交錯して、20分以上試合をやってたけど全然飽きなかったですから!!

蛇丸 で、ビンスvsホーガンですか。この試合を最後に、ホーガンがリングを離れるんじゃないかと言われてましたけど……。

老爺 じつはこの試合中にロディ・パイパーが上がってきたんですよ。ホーガンの一番のライバルですからね。今後は『SMACK DOWN』に上がるんですけど、昔やってたパイパーズ・ピットっていう番組中のインタビューコーナーも復活させるみたいですから、ホーガンとの決着戦はいずれ組まれると思います。ホーガンが完全引退はないでしょう。

蛇丸 ビンスとの因縁も、いまだに続いてるみたいですね。『レッスルマニア』前の『SMACK DOWN』でもステロイド問題を持ち出して、エグイ口論をしてましたけど。

老爺 あの時は、ほとんどアドリブでやってたらしいですよ（笑）。

蛇丸 え〜っ!?　マジですか!?

老爺 あくまで噂ですけど、ビンスはやっぱりホーガンのことを相当嫌ってるみたいですね。ホーガンを育てたのは自分だっていう自負もあるし、WCWに移ったのがノコノコ帰ってきて「ハルカマニア」とか言ってるのがホントに許せないらしくて。

蛇丸 いい話だなぁ（笑）。もう、決着なんて言わずに、どこまでもやり合って欲しいですね。

入場時の演出からファンの度肝を抜きまくりのハート・ブレイク・キッド！　通常はリングから上がる花火がSAFECO FIELDの看板から上がった！

photo/George Napolitano

フジのWWE番組はいきなりの大不評!?

蛇丸 WWEって、果てしない大河ドラマじゃないですか。その流れをぶつ切りにしたWWE番組がフジテレビで始まったわけですけど（笑）。52週契約なのに、早くも1週目から大不評ですね。コアなWWEファンはCSやCATVで見てるんだろうから、そこまで目くじら立てる必要もないと思うんですけど（笑）。

老爺 フジテレビとしては、全くWWEを知らない人を取り込むっていうコンセプトですからね。

蛇丸 企画段階では「超超超スマックダウン」というタイトルだったらしいですけど。

老爺 よっぽど凄い『SMACK DOWN』かと思いますよね、そこまで「超」がついたら（笑）。

蛇丸 でも、初回の放送で「WWEを教える番組です」ってアナウンサーが言ってたのに「その前に、あなたたちが分ってないでしょ？」ってツッコミが各方面から飛んでます。

老爺 TVでは放送されてないですけど、前説の東京ダイナマイトは凄く面白かったんですよねぇ。ハチミツ二郎さんはドッカンドッカン受けてましたよ。WWEを分った上でのネタだったんで。

蛇丸 F−1だったら川合ちゃん、K−1だったら谷川さん、W−1だったらターザン山本っていう具合に、普通スポーツ中継には分りやすく解説してくれるスペシャリストがいるはずなんですけど。

老爺 ジミー鈴木さんにやって欲しいなぁ（笑）。しかし、初回の収録にゲスト出演したTAJIRIは、顔が曇ってましたねぇ。

蛇丸 記者会見でもガレッジセールを怒鳴りつけてたし（笑）。もちろんそれは台本ですけど、じつに迫力ありました。

老爺 その直後に素晴らしいことを言ってましたよね。「いままでプロレスをわかってなくてコケた番組がいくつもあったけど、そういうふうになってほしくない。WWEのことは世界中の人が知っているけど、そのへんの意識は日本が遅れていると

トリーのヌード掲載の『PLAYBOY』も放出

PRESENT 1名様 読者プレゼント

日本の某SHOP関係者が大量に買い込んだとの情報もあるトリー・ウィルソンのヘア・ヌードが拝める『PLAYBOY』をプレゼント！　野郎ども、欲しければハガキ出せ！　提供■老爺

PRESENT 各1名様 読者プレゼント

『レッスルマニア19』のメイン級カードがズラッと並んだ左のシャツもシビレるが、ホーガンとビンスの横顔が最高にクールな右のシャツも捨てがたい。この歴史的大イベントの記念すべきTシャツだ。ハッキリいってプレゼントしたくない、欲しいです！　でも、泣く泣く読者プレゼントに出しますよ！　提供■謎の業界人I氏

PRESENT 1名様 読者プレゼント

『レッスルマニア19』の記念キャップをプレゼント！　刺しゅうでロゴが縫い付けてある強力キャップだ。提供■謎の業界関係者I氏

※読者プレゼントの応募方法についてはP.159を参照のこと!

2P警告隊（にぺーじけいこくたい）とは？■WWE『RAW』の用心棒タッグ・3分警告隊（ロージー＆ジャマール）にあやかり命名。あらゆる手段でWWE情報を漁る「老爺」（ろうじい）と、プロレス業界の末端に潜伏する「蛇丸」（じゃまーる）のコンビで、『東スポ』名物企画「プロレス情報局」の記者とデスクのやりとりような合体殺法を繰り出すらしい。

好評につき今月は1P増!!『WM19』の裏話も満載!!

まず、このページはTV放送前の情報がガンガン入ってるネタバレ満載のページであることを宣言します! 裏ネタ情報密売人の“2P警告隊”が、今回は3Pに渡って大暴れ! さらに、賛否両論が渦巻くフジテレビ「WWEスマックダウン」も徹底分析! マニア必見の噂&ゴシップ爆弾「老爺レポート」も必読だ!

思う」って。ホントにその通りだと思いますよ。

蛇丸 『週プロ』でもTAJIRI自身が収録前日にシナリオを突っぱねたことを書いてましたけど、伝わってくる話を聞く限りTAJIRIは間違ってない!

老爺 もっとTAJIRI自身を掘り下げて欲しかったですよね。個人的には、WWEの情報番組みたいな形でもいいと思いますけど。現在進行形のストーリーを説明しながら放送した方がいいですよ。

蛇丸 いろいろ厳しいこと言ってますけど、僕らは期待してるんで、どんどん面白い番組を作ってWWEファンを増やして、このページの読者も増やして欲しいですよ(笑)。

老爺 世間に浸透させる大チャンスですからね。一度、フジテレビの関係者は『RAW』や『SMACK DOWN』を現地で見た方がいいです! 公開収録番組の作り込み方を見るのは勉強になるはずだから。偉そうな言い方になっちゃいますけど。

遂にゴールドバーグ来襲! その時、舞台裏は……!?

老爺 遂にゴールドバーグが年間100試合の契約を交わしました!

蛇丸 契約交渉はかなり揉めてたみたいですね?

老爺 『W-1』との契約が残ってましたから。

蛇丸 ただ、『W-1』自体が暗礁に乗り上げてますからねぇ。

老爺 だから、今回の契約は異例なんですよ。WWEに上がりながら、『W-1』でも試合が出来るという契約らしいです。昔、FMWで「WWF提供マッチ」と銘打ってシャムロックvsベイダーが組まれてましたけど、WWEの選手が他団体で試合するのは、あれ以来でしょうね。シャムロックが口から血を吐いて、全く試合にならなかったんですけどね(笑)。

蛇丸 あれはホントにひどかった(笑)。でも、『W-1』を見てても感じるんですが、ゴールドバーグは長い時間の試合だと全然真価を発揮しないですよね?

老爺 スコット・スタイナーと匹敵する単調な試合運びですから(笑)。正直言って、ファンの間ではこの契約も賛否両論ですよ。ボク個人も「そんなに価値あるのかな?」って思いますもん。しかも、バックステージでは相当に評判が悪いみたいです(笑)。ジェリコとWWEのバックステージで顔を合わせた途端に、さっそく口論したという噂もありますよ。

蛇丸 それはTVカメラの回ってないところで、ですか?

老爺 そうですね。「しゃべれない、試合も出来ない、なのにお前は何でそんなデカい態度なんだ!?」って。

蛇丸 ジェリコ、かっこいい!(笑)。

老爺 トリプルHも敵意剥き出しですよ! 『RAW』での試合後に、タイタントロンでゴールドバーグの紹介映像が流れると、リング上から中指を立てたり「SUCK IT!」のポーズをしてましたから(笑)。サマースラムでその両雄の一騎打ちが噂されてますけどねぇ。

蛇丸 WWEの選手が素で答えるインタビューって、わりと他の選手の人間性に触れたりしますよね?

老爺 ゴールドバーグに関しては、どの選手のインタビューを探してもいい意見が全然ないんですよ(笑)。

蛇丸 そういう選手って珍しいよなぁ(笑)。これは噂話ですけど、『W-1』の時も結構わがまま言ってたらしいですからね。「ママチャリでドームに入るのは嫌だ」とか。

老爺 それはママチャリで入場っていう演出の方が間違ってると思いますけど(笑)。まあ、WWEとの契約に関しては、エージェントのアーン・アンダーソン、レフェリーのニック・パトリック、親交の深いロックがプッシュしたと言われてます。

蛇丸 そのロックと『バックラッシュ』で対戦するわけですね。

老爺 WWE、WCWで同時期にのし上がってきた選手なんで、この試合に関しては噛み合うと思いますよ。

ここだけの噂話、満載!!
老爺レポート

いつもバツグンの質問を飛ばし、スーパースターズの恥部を引き出すコメディアンのハワード・スターンが今回もやってくれた。スターンのラジオ番組にゴールダストが出演した際、前妻であるテリーのことを質問。ゴールダストは「奴はいいオン……、ホー!ホー!(売女)。グンッ!グン!」といつもの感電キャラで罵倒。しかもそのテリー、結婚中、2人の相手に浮気していたと告白。RAWのステージ裏ですれちがうことがある2人だが、言葉はまったくかわさないとか。ちなみにこのインタビュー中、ゴールダストは全編通して感電キャラであった。

新日やリングス、WWEにも参戦していたトニー・ホームこと、ルドウィック・ボルガが、フィンランドの国会議員になった。

カート・アングルが4月11日に首の手術を行った。経過は順調で、早ければ6週間後には復帰。

ジェリコが「ゴールドバーグと揉めたのはあくまでも個人的なこと。ヤツとは既に仲直りもした。最後にひとつ言っておきたいのは、もっと回りの人間に気をつけるべきだ」とコメントした。ホントに仲直りしたの?

アラバマで行われた『SMACK DOWN』のハウスショーでジョン・シーナがブロック・レズナーのF5で受身に失敗し失神! シーナはリングの上に10分間気絶し、会場が一瞬凍りついたらしい。

スティングとレックス・ルーガーが近々WWEのリングに復帰するとの噂。スティングは6月の参戦予定、レックス・ルーガーについてはサマースラムが濃厚らしい。しかし、いずれもハウスショー出場をシブることも考えられ交渉は長期化の様相。

ブッカーTが雑誌で好みの女性像を語った。「俺の女になるには、乳の形がよくてデカイ尻が条件。あとセクシーな唇。朝起きたら一番最初にキスしたくなるようなやわらかい唇じゃないとなダメだ。嫌なタイプ? うーむ、ショーが始まる4時間も前に会場に待ち伏せ、俺の名前をスゲェ顔で叫ぶヤツ。それと『ブッカー、貴方の赤ちゃんが欲しい!』というサインボードを持っていたりする女はまっぴらだ。そういう連中には近づきたくねぇよ」クールだ。

遅刻常習犯のジェフ・ハーディーが、毎週末に行われるハウスショーへの出場を隔週にして欲しいと頼んだ。理由としてはガールフレンドともっと一緒にいたいということ、音楽活動にもっと力をそそぎたいこと、だといわれている。今回WWEがOKを出した背景には彼のグッズの売上がいいこと等がある。ただやはり以前のようにレスリングに情熱を注いでほしいというのが本音のようだ。

「ディーバがかつてない露出をする」と断言したワリには、結局水着&下着ショーで終わった「Girls Gone Wild」。同番組のプロデューサーと関係者3人が薬物不法所持の容疑で逮捕されたらしい。また、未成年のヌード撮影をした余罪も追求中。WWEは今後一切「Girls Gone Wild」とは関係を持たないと発表した。「Girls Gone Wild」は毎週深夜にアメリカで放送している低俗番組。

ストーンコールド、再び戦線離脱の真相は!?

蛇丸　で、『RAW』にゴールドバーグが来た途端に、オースチンが戦線離脱してしまいました。これも裏読み出来そうな展開ですが、実際のところはどうなんですか？

老爺　首の具合が思わしくなくてストレスが原因の心臓動悸もあったり、『レッスルマニア』前日に緊急検査を受けたという説もありますね。体調はよくなかったようです。『レッスルマニア』はオースチンvsロックだったんですけど、過去4回の対戦の中では過去最低の出来だったという声が多いですね。今後も『RAW』には出続けるんですが、選手じゃなくてコミッショナー的な位置で、ビショフを脅かすポジションをやっていくんじゃないかと言われてます。オースチンの親友であるJRも、ビショフのやり方に腹を立てて実況席を立っていなくなるっていうストーリーで（笑）。結局、オースチンと結託して反ビショフのポジションでやっていくんじゃないかと言われてます。

蛇丸　いやぁ、またオースチンが失踪したかと思ってヒヤヒヤしましたが、これで一安心ですね。

『レッスルマニア19』出場ならず!! ネイサンが、またもやズッコケた……。

ZERO-ONE外人と現地でコンタクト成功!

蛇丸　さあ、今月も恒例のネイサン・ジョーンズと、スパンキーことブライアン・ケンドリックの話題をいきますか!!

老爺　アメリカでもネイサンは面白かったですねぇ（笑）。『レッスルマニア』でTVマッチ・デビューするっていう破格な扱いだったんですけど、『レッスルマニア』放送1時間前の『サンデーナイト・ヒート』枠でFBIとビッグ・ショーに便所でタコ殴りにされて、試合に出られなかったんですよ（笑）。

蛇丸　期待を裏切らないなぁ（笑）。観客はどういう反応でした？

老爺　大爆笑（笑）。マンガのような横たわり方でしたからね。2メートルの大男が目を閉じて、腹ばいで、背中の上にイスが乗ってる状態で便所に転がってるわけですから（笑）。でも、アメリカでの人気は浸透してますよ。インターネットの検索サイト「lycos」で、最も検索されたWWEスーパースターのランキングが公表されたんですけど……。

蛇丸　これはアメリカの「lycos」ですよね？

老爺　そうです。1位トリッシュ、2位トリー、3位ステファニー、4位ステイシー……。

蛇丸　ディーバが上位独占ですか？

老爺　間違いなく不純な動機でしょうけど（笑）。5位ロック、6位ストーンコールド、7位リタ、8位ゴールドバーグ、9位ホーガン、10位ジェリコ。で、ネイサン・ジョーンズは健闘してますよ。18位に食い込んでますから。17位がレズナーですから大健闘ですよ。ファンの中でもかなり幻想が膨らんでるみたいですね。試合もロクにしてないのに（笑）。

蛇丸　ケンドリックはどうですか？

老爺　『レッスルマニア』には出てなかったですけど、翌々日の『SMACK DOWN』でマティテュードと絡んでました。おそらく『バックラッシュ』でクルーザー級王座に挑戦するかもしれないですね。

老爺　ベルト取って欲しいなぁ。

蛇丸　個人的な話で申し訳ないんですけど、じつはファンイベントの時にハシフ・カーンのパーカーを着てケンドリックにサインをもらおうとしたら、口を開けて大喜びしてくれたんですよ。それで、僕の時だけ「Do you know my pose?」って聞いてくるから、「I know」ってタイタニックポーズで記念写真を撮りました！

老爺　で、その写真がコレですね。あ、ニディアも一緒だ！　そっちの方がうらやましい！（笑）。

【4月某日、都内某所にて収録】

いまにもセリーヌ・ディオンの歌声が聞こえてきそうなタイタニック・ポーズの老爺と、それを支えるケンドリック＆ニディア。羨ましい……。アメリカでも頑張れ、レオナルド・スパンキー！

ビンスが藤波潰し画策？ 85年の藤波vsホーガンは真剣勝負だったのか!?

現在、絶賛発売中のDVD『WWEレジェンド・オブ・ホーガン』は、じつに衝撃的な内容だ。なぜなら、ホーガンが過去の「真剣勝負」を告白しているからだ。それは新日本プロレスのリング上！　なんと、相手がTATSUMI"DRAGON"FUJINAMIだという。一体、いつそんな真剣勝負が行われていたのだろうか？　資料を調べると、1985年（昭和60年）6月11日、東京体育館でWWF世界ヘビー級選手権のベルトを巻いたホーガンは藤波の挑戦を受けている。結果は11分4秒、体固めでホーガンの勝ち。結果だけなら、普通の試合のようだが……。

この年はまさに『レッスルマニア』がスタートしており、WWFが大きく路線変更した年でもある。DVDに収録されているホーガンの証言によると、藤波戦を前に、ビンスは「もう新日本には戻ってこないから勝て」と悪魔の囁きをしている。結果、「幸い骨折することも、王座を失うこともなかった」とホーガン。残念ながら藤波の証言は取れない（新日は取材拒否なので）が、敢えてこの証言を鵜呑みにするならば、ビンスが藤波潰しを指示したということになる！　おそるべし、ビンス！　この件は次号でも追ってみたい。

そんなわけでハルカマニア誕生から電撃的なWWE復帰までを追った貴重な証言と映像がたっぷり詰まったDVD『レジェンド・オブ・ホーガン』は間違いなく名作だ。ホーガン・バブルヘッド人形もついた"スペシャルBOX"は500組限定生産なので急いでGET!!

（右）『アルマゲドン2002』（DVD¥3800/195分収録）2002年12月開催のＰＰＶ大会。トリプルＨvsＨＢＫなど名勝負テンコ盛り！（右下）『レジェンド・オブ・ホーガン　スペシャルBOX』（DVD¥5800/82分収録）限定生産なのでハルカマニアはお早めに！（下）『レジェンド・オブ・ホーガン』（DVD¥3800/82分）。アメリカで発売された"HULK STILL RULES"とは別内容なので要注意。　提供■ユークス

PRESENT 各1名様 読者プレゼント

※読者プレゼントの応募方法についてはP.159を参照のこと!

アメプロ本
続々出版記念

昭和プロレスの凄みに触れる
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

またしても衝撃事実発覚!!

“マット界最後の秘境”
『全日本プロレス中継』の真実

元『全日本プロレス』実況担当
倉持隆夫［後編］

聞き手／吉田豪　構成／松澤チョロ　撮影／堀江ガンツ
designed by matsu（Two three）

前号では予想通りの大反響を巻き起こした元全日本プロレス実況担当・倉持隆夫インタビュー。後編となる今回は、さらに危険度アップの発言がてんこ盛り！　日本テレビと馬場さんの密接な関係から、倉持さんの意外なアントン評、ライバルと言われた古舘伊知郎について、さらには衝撃の人気女子アナとプロレスラーの交際話、もちろん実況席から見た全日本プロレス中継の真実まで、またしてもたっぷりと語ってくれました！

――鶴田さんとは、奥さんを口説く手助けをするほど仲が良かったことはよくわかりましたけど（笑）。馬場さんとはいかがだったんですか？

倉持　そこは一線を引いてましたね。それに馬場さんっていうのは大社長であり大プロデューサーでしたけど、ボクらは馬場さんのレスラーとしての顔以外の裏のことは何も知らぬ存ぜぬの形で、ひたすら実況してればいいっていう教育を受けてたんで、全日本プロレス株式会社と日本テレビとの縁とか金銭的なこととか薄々わかってましたけど、わざと知らないフリをしてましたから。

――裏側には色々とシビアな部分があるからこそ、あえて一線を引いたわけですね。

倉持　そうだよね。だって馬場ちゃんと親密になれば、当然ボクは日本テレビの社員でしたから、お金の話にもなるだろうし、そうすれば放送にも影が見えてきちゃうじゃないですか。

――徳光さんも馬場さんから「人との付き合いとか、物の見方っていうのは距離をおいて初めてわかる。近寄りすぎると見えなくなったり、いやなモノを見過ぎてしまう」ってアドバイスされたらしいですけど、結局そういうことですよね。

倉持　うん。上からも、「あくまで、「スポーツ選手として見ていてくれ」って言われてたし、「そういう裏の話はプロデューサーの仕事だから」って。日本だけじゃなく馬場ちゃんとはアメリカとかにも一緒に行ってるんですけど、あくまでも「世界のジャイアント馬場がニューヨークを歩いてる！」っていう見方で見てたから（微笑）。そういう意味では最後まで一選手としてしか見てませんでしたし、ビジネスとしては見てなかったですね。

――そういう接し方で素の部分を見なかったからこそ、実況でも当たり前のように「世界のジャイアント馬場！」って連呼できたんでしょうね（笑）。

馬場さんは、景気の悪い時には毎日のようにウチの経理の所に現れたりしてましたね

倉持　バカみたいに喋れたんでしょうね（笑）。だって景気の悪い時には毎日のように、あのデッカい身体でウチの経理の所に現れたり、プロデューサーを伴って社長の所に談判に行ったり、要は「制作費を上げてくれ」ってことをしてたわけだからね。

――そんな生々しい姿が嫌でも目に入ってくるわけですね。

倉持　要するに全日本プロレス株式会社っていうのは日本テレビの子会社ですから、結局はビジネスなんですよね。馬場さんも社長ですから、苦しい時代は日本テレビも助けてやったしね。そこに元子さんが絡んできたりとかもあったけどさ（笑）。

――ダハハハハ！　その距離感は最後まで保てたんですか？

倉持　あくまでも、大スターのジャイアント馬場さんっていう見方で最後まで付き合ってましたね。ジャンボとは友達というか、俺の方が年上だしアドバイザーみたいな感じだったけどね。

――天龍さんとは飲みに行ったりしなかったんですか？

倉持　天龍さんはああいう性格の持ち主ですから、「倉ちゃんは俺のことあんまり好きじゃねぇな」という向こうの思い込みがあったみたいでね。ボクは対等に馬場さんと同じでスター選手扱いをしてたんですけど、俺と鶴田が身も心も一心同体っていうか「倉ちゃんは鶴田」って周りも見てるもんですから、天龍さんは胸襟を開いてっていうことはなかったね。

――そこまでジャンボ派だったんですか（笑）。

倉持　ただ、一つ寂しかったのは歴代の全日本のレスラーの結婚式の司会は全部ボクがやってたんですよ。天龍さんもそういう話があったから、そろそろボクに話が来るんだろうなって思ってたら、全然違う畑の人が司会をやるってことで「倉さん、悪く思わないで」って向こうがそういう言い方をしてきて、それはちょっと残念だなって気がしましたけどね。心の交流が少し違ってたのかなって……。（テーブルに広げたアルバムに目をやり）ほら、百ちゃん（百田光雄）の結婚式なんかはボクが司会やってるからね。百ちゃんたちは、いまは何をやってるの？

――ノアで副社長兼選手として頑張っていますよ。

倉持　百ちゃんたちは三沢の方に行ったからいいけど、可哀想なのは渕たちだろうね。

――誘われなかった人が全日に残ったって考えていいんですか？

倉持　川田に和田京平なんかもそうだろ。あそこは一族みたいなもんだからね。まあ、残った理由は元子さんに●●があったからだろうけどさ（笑）。

アメプロ本 続々出版記念

――え～、ちょっとフォローできない発言が飛び出したので話を変えます（笑）。過激な実況スタイルで同時期にブレイクした古舘（伊知郎）さんのことは当時どういう風に思われてたんですか？

倉持　いやぁ、彼は素晴らしいですよ！　天才だもんね。一回、『ゴング』誌で彼がグ～ンとのし上がってきた時に「古舘vs倉持」って特集を組んでくれて、たしか天ぷら屋さんで対談したんですけど、話してても、あの語録が出てくるわ出てくるわで、ホント凄いなぁって素直に思ってましたからね。

――ホントに対称的なスタイルだったと思うんですよね。

倉持　やっぱりテレビ放送っていうのは時代の波に乗っていかなければならないから、彼のスタイルも少し取り入れた方がいいのかなと思って、ボクの最後の実況の1～2年は多少そういう倉持語録みたいなものを作って端々の中で入れていった放送体系を作ったような気がします。

――あ、そうだったんですか。

倉持　古舘の良さを盗んでっていう部分があったと思うんだけど、ウチのスタッフ連中はあくまでプロレスはスポーツ局で作ってるもんですから「倉ちゃん、ちょっと最近のアナウンスメントの方法と違うよ。倉ちゃんらしくない。素直に流れるようにメリハリをつける放送に戻って欲しい」って注文をつけられたこともありますよ（苦笑）。

――でも、それだけ古舘さん的な実況はセンセーショナルだったわけですね。

倉持　あまりにも古舘の実況が奇抜だったもんで、こういう実況があるのかと思って同じアナウンサー仲間としては非常に勉強になったし、自分のアナウンスメントで古舘語録とは同じことは喋れないわけですから、自分なりの言葉を探しあてて作った実況中継を2年間ぐらいはやったような気がしますね。

――言わば古舘チックな倉持スタイルというか。

倉持　まあ晩年には戻りましたけどね。最終的にボクの実況の方が良かったのか古舘の方がアピール度があったのか、それは視聴者が決めることだけど、古舘流の実況中継の形っていうのは一世を風靡したよね。

――いや、どっちのスタイルも対称的で良かったですよ。

倉持　あ、そうですか（ニッコリ）。インターネットなんか開くと「倉持流が懐かしい」とか、たまに出てるんで、間違った道を歩いてなかったのかなって思いますけどね。でも彼はタレントさんとして超一流ですから。ボクの兄貴分の徳光和夫にもないものを持ってるし、福沢くんにもないものを持ってるし、とってもいいんじゃないかと思いますよ。もういまは交流はありませんけど、当時は向こうが新日本の顔でこっちが全日本の顔で、たまに酒を飲んだりしてましたしね。

――そんな交流もあったんですか。

倉持　ただ、テレビ朝日が非常に大事にしたアナウンサーですから、かごの鳥みたいに局が抱え込んでしまったような感じなんですよね。「今日、飲みに行こうよ」って言ってもなかなか会えなかったりしましたけど、2～3度は飲みに行きましたね。

――そんな古舘さんが大好きだったアントニオ猪木って選手のことを、倉持さんはどう見てたんですか？

倉持　アントニオ猪木さんはボクは大好き！（キッパリ）。

――ダハハハハ！　大好きでしたか（笑）。やっぱりレスラーとして凄いってことですかね？

倉持　全日本プロレス中継を預かってる以上は会ったりメシ食ったりはできない立場でしたけど、プロレスを卒業してから金沢総局っていうところでニュースキャスターをやってる時代に石川産業体育館に新日本が必ず来るんですよ。その時は必ず観に行って控室を訪ねて猪木さんと会ったりしてたしね。それにね、馳はボクが橋渡しをしたの。

――全日移籍のですか？

倉持　うん。馳とは凄い仲良しで、ボクのことを尊敬してくれてて金沢ではしょっちゅうつるんで飲んでましたから。馳と一緒に猪木さんとも飲んだしね。やっぱり猪木さんっていうのは、みんなが言うようにカリスマ的な人でしたよ。

――リング外はともかく、リング上では完璧ですもんね。

倉持　いやぁ～、凄いじゃない猪木さんは。パワフルだよね。

――本音ではレスラーとしては馬場さんより猪木さんの方が好きだったんですか？（笑）。

倉持　俺は猪木さん大好きだよ！（キッパリ）。

――ダハハハ！　いいなあ（笑）。

倉持　あのバカさ加減がとってもいいよね（笑）。

――ズバリ言いますねぇ（笑）。

倉持　それから人を騙すのがもの凄く上手いよね（笑）。日本テレビも猪木さんの商売に乗って時々ゴールデンで2時間ぐらいやるじゃない？　また騙されてるなぁと思ってさ（苦笑）。でも猪木さんの場合は笑って忘れられるんだよね。「しょうがねぇな、この人がやるんじゃ」って（笑）。それに暮れはＴＢＳさんでやったんでしょ？　各局を堂々と抜

昭和プロレスの凄みに触れる
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

け目なく商売してるんだから凄い人だよね。

―しかも、やったらやったで後からTV局の文句を言いますからね（笑）。

倉持　ねぇ（苦笑）。前から平気で日本テレビに売り込んでくるし、凄いビジネスマンだぜ。各局でビジネスして喧嘩売ったフリをしてさ。あの人は大人のビジネスマンですよ。

―馬場さんにはできないビジネスのやり方ですよね（笑）。

倉持　ぜ～～ったいにできないよね！　それに馬場ちゃんは新潟県生まれだから（笑）。

―よくわからないですよ（笑）。まあ、馬場さんと日本テレビとの関係は密接でしたからね。

倉持　その代わりに裏切ることはしないからね。

―自分のことを裏切っても絶対に許さないっていう感じですけど、猪木さんは裏切ってもビジネスになるなら平気で許しちゃいますからね（笑）。

倉持　でも、新日本とゴールデンを張ってる時にハンセンが来た時あったでしょ？　やっぱり馬場さんも日本テレビから圧力が掛かるから「誰か欲しい」と言われると、裏では引き抜きで何万ドルと払ってね。やる時はやったんだよ！

―つまり、日本テレビからの意向でハンセンを引き抜いたわけですか。

倉持　そう。最初に姿を現したのは、たしか蔵前だったよなぁ……（しみじみと）。

―あれは興奮しましたよね！

倉持　興奮したし、こっちは何にも言われてないんだから！

―あ、倉持さんの「あれはもしかしてハンセンですか!?」っていう名実況にも打ち合わせはなかったんですか！

倉持　あんなのは全部作った喋りだろうとプロレスファンに言われたけど、まったく知らないんだから。つまり、もしハンセンの名前を知らなかったら実況にならなかったんだよ。「なんかテンガロンハットのデッカい男がこっちに来ます！」って感じでさ（笑）。

―ダハハハ！　確かに「この大きな背中は誰でしょう!?」って発言からは、新鮮な驚きが伝わってきましたよ（笑）。

倉持　当然それもビジネスだから、水面下では今日の何時何分に楽屋入りして、こういう出方をするよっていうのは上の人間はわかってるわけだよね。でも絶対にアナウンサーには言わないの、ウチのプロデューサーは。

―当時の全日本中継は、そういう意味でも完璧だったんですね（笑）。

倉持　完璧！（キッパリ）。だから面白いっていう人もいたしね。

―馬場さんとハンセンとの初対決なんかにしても、異常なリアリティがありましたからね。

倉持　馬場ちゃんも、あっと驚くようなビジネスをしてたしね。でも、それは猪木さんと裏でつるんでなきゃできないんだからさ。猪木さんが「全日本で使っていいよ」って、そういうビジネスは裏でしてるわけでしょ？

―本当に敵対してたら訴訟騒ぎになるはずだってことですか（笑）。

倉持　ホント、プロレスの裏っていうのは計り知れないよ。猪木さんの懐に馬場ちゃんから直で入ってるわけでしょ？　でも、その金を出していたのが日本テレビですから。

―それは、よく考えたら奥深い世界ですねえ……。

倉持　ウチのプロデューサーに相談して、いま客が呼べるのはハンセンだなって思ったら「わかりました」って。馬場ちゃんが密かに深夜にでも猪木さんと会って「猪木ちゃん、はい、●●●万で頼んだよ」ってなもんだよ、この世界は（笑）。どんぶり勘定の世界だしね。

―「長州さんが欲しい」と上から言われれば、それに向けて動くって世界なんですね。

倉持　すべて出来レースじゃなかったら、棒で引っかかるような問題がいくらでもあるじゃない？　でも、この世界では訴訟なんて起きないんだから（笑）。

―そういうスタンスで実況はできないでしょうしね（笑）。

倉持　バカバカしくなっちゃってできないだろうけど、その辺はウチのプロデューサーが完璧だったね。だから●●●●を入れて試合を●●●とかあるじゃない？　そこを覗くとメチャクチャ怒られましたもん。「知らんフリをしろよ」と。ボクの前では試合の●●●の話は絶対にしなかったもんね。

―そういう部分は100％ケーフェイだったわけですね。

倉持　もう絶対にケーフェイの世界。控室の雰囲気とか何時頃行ったらマズイなとかわかると、廊下とかでタバコ吸ってるだけでしたよ。その前を相手の控室に●●が飛んで行ったりね（笑）。

―そういうところにはあえて深入りはせず、何も知らないままに実況をしていたと。

倉持　例えばハンセンが蔵前に現れる時だって、ボクが一旦放

あまりにも古舘の実況が奇抜だったもんで、こういう実況があるのかと勉強になりましたね

送席に座っちゃえば離れること

―とりあえず、プロモーターに

アメプロ本
続々出版記念

昭和プロレスの凄みに触れる
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

プロレスの裏って計り知れないよ。猪木さんの懐に馬場ちゃんから直で入ってるわけでしょ

送席に座っちゃえば離れることはできないわけだから、何時何分までコーヒーショップでハンセンを待たせておいて、「倉持隆夫が放送席に座ったぞ。もう大丈夫だ。さあ動け！」とかやってたらしいんだよね（笑）。

――すべては倉持さんに新鮮な驚きを与えるためにですか（笑）。

倉持　この世界もキメが細かいよねぇ……（しみじみと）。

――よくできてますねぇ（笑）。ホントにテレビ番組としての完成度が高かったっていうのがよくわかりましたよ。

倉持　知ってたらできませんからね。頭の中で作っちゃうから。

――どうしても、わざとらしくなっちゃいますよね。

倉持　「今日は誰か来るかもしれませんね」とか、わざとらしくなっちゃうじゃない？（笑）。ただ、あのときは全日本でも「今日は何かが起こる」っていうポスターまで刷っちゃってましたからね（笑）。

――そんなこともあったんですか（笑）。

倉持　蔵前でハンセンが始めて姿を見せたわけだけど、蔵前の次の興行があったんですよ。そうするとそっちはそっちで「新日本からスタン・ハンセン、全日本へ」なんていうポスターがもっと前に出来上がってて、大阪府立ではスタン・ハンセンが全日本に上がるっていうことをこっちより先にファンは知ってるわけ（笑）。向こうのエリアでは1ヶ月前からチケットを売らなきゃいけないわけだから。つまり、緻密なところもあるんだけど、抜けてる部分もあるんだよね（笑）。

――とりあえず、プロモーターには教えるけど倉持さんだけには黙っておこうと（笑）。

倉持　俺が知らない世界がいっぱいあるよね（笑）。

――長州さんが全日本に来るのは聞いてたんですか？

倉持　それも知りませんでした。ただ、あの時は記者会見とか前もってやったような気がしましたね。当時は長州も谷津も金がなかったし、結局馬場ちゃんっていうのはレスラーのことをなんでも最初に考える人だから、「馬場さん、お願いしますよ」って言われると「ナンボいるんだ？」っていうことになるんですよ。手形とか小切手じゃなくて現金で。しかも、あのデカい手で「持ってけ」って感じだからさ（笑）。

――外人選手に信頼された理由がわかる気がしますね（笑）。

倉持　そこをウチの原プロデューサーは全部知ってるわけですよ。日本テレビがお金を持っていって、「次のシリーズちょっと視聴率が落ちてるから、これでテコ入れして」って感じで。

――旗揚げ当時に日本人側で闘っていたデストロイヤーやアントン・ヘーシンクも、日本テレビの意向で日本テレビが契約した選手した選手だったらしいですからね。

倉持　やっぱり視聴率のためにね。

――長州さんといえば、倉持さんの反ジャパンプロレス的なアナウンスは面白かったですよ（笑）。

倉持　そうだっけ？　でも、長州はちゃんとフグを奢ってくれたよ（笑）。「なんか、お前言ったらしいな」って言われたことはあっ

たけど、アマレスの面白さとか真髄は長州と谷津に教わりましたから。ただルールが最後までわからなかったよね（苦笑）。

――アマレスのルールは難しいですからね（笑）。

倉持　いまでもオリンピックを見ててポイントの取り方とかわからないもんね（笑）。あとボクが仲良しだったのが浅草で道場やってる浜口さん。もう行く度に「おう、よく来たな！」って感じで、いい人だったよねぇ。

――それなのにTVでは「世界のジャンボ鶴田！　日本の長州力！」っていう格差をつけたりで、反ジャパンプロレスな実況をしてたわけですね（笑）。

倉持　そうそう、懐かしいねぇ（笑）。

――当時は長州ファンからカミソリとか相当送られてきたらしいじゃないですか？

倉持　そうだね。昔、日本テレビで爆発事件があってから手紙とか直で受け取れなくなってたから、みんな日本テレビの郵便物扱いのところでチェックされるんですよ。その人の前で開けなければいけないんだけど、開けたらカミソリとかハサミとかよく入ってたよね。

――実況は闘いなんですねぇ（笑）。

倉持　「ふん」って笑って過ごしてましたけどね（笑）。これだけ熱いファンがいるんだから、こっちも熱い実況をしなきゃなっていう風に取り組みましたよ。

――いまのプロレスファンは、そこまで熱くなりませんからね。

倉持　そうかもしれないねぇ。

――他の日本人選手でいうと、たとえば輪島（大士）さんとかはどんな人でした？

倉持　不器用な人だったよね。

――人間的には長嶋茂雄さんばりに面白い人だって評判なんですけどね（笑）。

倉持　ただ横綱って呼ばないと返事もしないような偏屈なところがあったから、扱いは難しかったねぇ（苦笑）。あと高野俊二（拳磁）からは「女性を紹介してくださいよ」っていう電話がよくあったよ（笑）。

――ピザーラに出前を頼むような感覚なんですかね（笑）。

倉持　ウチのアナウンサーを紹介してくれってね。それと、しつこくボクに付きまとったのは谷津なんですよ！　谷津も「女子アナを紹介してくれ」ってさぁ。困った困った（苦笑）。

――みんな女子アナが好きなんですねぇ（笑）。

倉持　好きなんだよ。それでウチの売れっ子の米森（麻美・故人）を紹介してやってね。たしか、2～3ヶ月付き合ってたかな？

――あの谷津さんとですか!?

倉持　そうそう。谷津が一方的に惚れこんじゃってさ。でもエルボー喰らったみたいでね（笑）。何度か食事をしたけど、米森の方が好きになれなかったんじゃないかな。（※先日、谷津本人に確認したところ「1ヶ月ぐらい付き合ってたよ。若かりし頃のいい思い出だったな。これは書いていいよ」とのこと）。

――いろんな面でプロレスに関わってきたんですね（笑）。

倉持　いまも、なんか深夜にボクの実況が毎週流れてるみたいだね。若い頃の放送席とか映るから自分じゃないみたいだけどさ。

――日本テレビ系の衛星チャンネルで日本プロレスや倉持さん時代の全日本中継の映像とか流してるんですけど、いま見ると凄いですよ。リングが固いから動きが総合格闘技っぽかったりもするし。

倉持　（感心して）は～っ、好きなんだねぇ、プロレスが（笑）。

――倉持さんは、あまりお好きじゃないんですか？

倉持　いや、ボクはもう離れてるから（笑）。

――でも全日本を離れてからも「レスリングサミット」とか、いろいろ実況してましたよね？

倉持　WWFも日本テレビが最初に持ってきたわけだから。あれは東京ドームでしたよね。

――倉持さんの息子さんから、WWFのビデオの実況をアルバイトでやって怒られたって聞きましたよ（笑）。

倉持　そうそう。ターザン山本さんと車3台分ぐらい買えるお金を貰いましたよ（笑）。

――ダハハハ！　あれはバイトだったんですか？

倉持　バイト、バイト。でも、ターザン山本さんは、あんな風体しながら密かに真夜中、勉強してる男だよね。

長州ファンからの郵便を開けたらカミソリとかハサミとかよく入ってたよね

——ボクが見てる限りでは、一切勉強してないですけどね（笑）。

倉持　あの人は装うタイプの人よ。いまはどうなの？　乞食みたいな格好して、まだどっぷりこの世界に浸かってんの？

——わかりやすく言うと、その通りですね（笑）。

倉持　ただ、弱っちゃったのはスタジオの中って二人っきりで密室状態だから、そこで3時間ぐらい缶詰されるんだけど、あの人はもの凄く汗臭いんだよね（苦笑）。

——まあ、当時は『週プロ』編集長として一番忙しかった頃で、ろくに風呂にも入ってなかったはずですからね（笑）。

倉持　もう参っちゃってね、息が詰まりそうだったよ（苦笑）。

——ターザンについてはともかく（笑）。倉持さんの実況スタイルとWWFってけっこう合うと思うんですけど、ああいうショープロレス的なものっていうのはどうだったんですか。

倉持　もう楽しくって！（笑）。マジソン（・スクエア・ガーデン）でWWFを観た時もこんな夢のような世界があるのかなって。楽しかったなぁ。いまはアメリカからヨーロッパにボクの趣向は向いちゃってるんでスペインに住んでますけど、アメリカは楽しいところですよ。アメリカで観るプロレスはホントに楽しいし綺麗だしね。プロレスっていうよりはミュージカルだもん。

——ショーに徹してますからね。

倉持　凄いよねぇ。小道具や大道具の使い方がレスリングよりもショーアップしてるしね。

——テレビなり会場でショーとしての完成度をいかに高めるかっていうところに力を注いでますからね。

倉持　ホントにそうだよね。ホーガンとか好きだったなあ。

——ジャパン女子の実況もやられてましたけど、女子プロについてはいかがですか？

倉持　（小声で）あれも内職なんだけどね（笑）。放送されちゃうから上司に言っとかないとマズイもんですから、「ちょっとお声が掛かってやりますから」って言ったら、「いいんじゃないの？　ギャラはどれぐらいなんだ？」って言われて「こんなもんです」って言ったら「じゃあ一杯飲ませろ！」っていう感じでね（笑）。

——日本テレビはいい会社だったんですね（笑）。

倉持　放送局がとってもいい時代だったの。いまはそんなことをしたら大変でしょ？

——まずマスコミで叩かれますよ。

倉持　ジャパン女子は文京テレビってところで2時間の枠を設けてやってたんだけど、そのとき毎回一番前の席で観てたのが経済企画庁の堺屋（太一）さん！

——堺屋さんはホントに女子プロが好きなんですよね（笑）。

倉持　試合が終わってから「食事に行きましょう」って、風間ルミとか酒好きな連中と先生とで後楽園ホールの裏っ側の飲み屋で飲んだりしてね。堺屋さんは目を輝かせてヨダレを垂らしそうな顔してましたよ（笑）。

——尾崎魔弓の狂信的なファンですからね（笑）。

倉持　そう、尾崎！　彼女のこと大好きでさぁ。お洋服とか買ってあげたりしてね。「この先生大丈夫かな」って思ったよ（笑）。

——キューティー鈴木さんは、それを見て「ヤラしてあげればいいのに」とか言ってたけど、上手くあしらってたらしいですよ（笑）。

倉持　二人ともかわいい子だったよね。でも、あの先生が経済企画庁長官なんていうんだから、答弁してるのを見ると、もうおかしくてさぁ（笑）。

——大臣になってからもSPを連れて、お忍びで観戦してましたからね（笑）。

倉持　プロレスファンは幅が広いなと思ってね。全日本時代はイーデス・ハンソンさんと天龍さんが仲良くて、終わってから飲み屋でいつも一緒だったもん。あの人も、天龍さんの身体を見ながら恍惚としてるんだよね（笑）。

——あ、ハンソンさんもそういう人でしたか（笑）。

倉持　内館（牧子）さんもよく会場に来てるんでしょ？　いまは相撲の方に夢中みたいだけど。

——横綱審議委員会ですからね。

倉持　それでなんかプロレスの本を出したんでしょ？　「私が愛したプロレスラー」とかいう。

——タイトルは全然違いますけど、内容はそんな感じです（笑）。

倉持　内舘さんとは、金沢時代に食事に行ってプロレス談義したもんなぁ……（しみじみと）。ジャパン女子には、いつもファンが入ってましたよ。後楽園ホール以外では、ほとんどやらなかったけどね。

——全日本の実況とは何が一番違うと感じました？

倉持　女子プロレスの時は綿密に打ち合わせをしてたね。「今日の●●●●●はこれにします」とか、「何時何分ぐらいに●●●●●●」とかね。

——全日本の実況とは違って、すべてを教えてくれたわけですね（笑）。

倉持　まあ、そうじゃなかったら女性の身体でやれるわけないもんね。ボクなんかは「そういうことを聞かなくてもやりますから大丈夫ですよ」って言うんだけど、社長だかプロデューサーが「●●は●●●●●●がこうなったらこうなりますから」とか言うから、ボクは聞きたくないとか言ってたんですけど。

——「ボクにだけはケーフェイで」って（笑）。やっぱり、余計なことは知らない方がやりやすいですか。

倉持　全然やりやすいですよ。知ってたらできませんから。あくまでも勝負として見てなきゃ、スリリングな放送にはならないよ。

——そうでしょうね。最近、ミスター高橋さんが暴露本を出されたのはご存知ですか？

倉持　あぁ、そうなんだってね。

——高橋さんは、そういうケーフェイも知った方がいいって言うんですけど、結末を知ってから映画を見ても果たして面白いのかって話じゃないですか。

倉持　いろんな意見があるだろうけど、アメリカなんかではわかった上でみんな観てるからね。

——「ショーですよ」と前提には出してるけど、どっちが勝つのかはわからないって感じですからね。

倉持　ある程度ショーアップされたアメリカで生まれたスポーツっていうのは、ほとんどそういうところがあるんじゃないですか？　アメリカンフットボールだって、地元のスターが走る時には当然誰もブロックにいかないで、上手くキャッチさせたりするじゃない？　それにハンク・アーロンのホームラン記録だって専門家から見たら怪しいもんだって言いますよ。ホーム球場で勝負が決まってれば、いい球を投げたら打てる実力はあるわけだから。そうすると球場は盛り上がって、お客さんは明日も観に行こうってなるじゃない？　アメリカ的な言い方をすれば共に栄えればいいわけだから。誰も傷つかないんだしね。

——興行である以上、そうなっていくわけですよね。

倉持　だから余計、王さんは偉いんですよ。真剣勝負の日本の

昭和プロレスの凄みに触れる実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

河口仁先生のイラストジャケのブッチャー肉声入りのレコード『ブッチャー・ザ・グレイテスト』（吉田豪所有）。B面では日テレが誇る倉持（作詞も！）＆松永アナが熱唱！

昭和プロレスの凄みに触れる
実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

倉持さんとも縁の深いスタン・ハンセンvsハルク・ホーガンがメインで組まれた日米レスリングサミット（90・4・13東京ドーム）。解説は竹内宏介氏、そして実況は倉持さんというお馴染みのコンビが担当した

プロレスっていうのはテレビと共にあっての世界だから。ホントのこと言うと僕の時代で終わったね

プロ野球であの記録を抜いたんだから。アメリカンスポーツってそういうのはあるし、大らかだからさ、スタンディングオベーションなんかも知ってて起こるんだよね。

—そういえば、倉持さんの引退の時も客席でウエーブが起きてましたよね。

倉持　あの時はもう涙が出そうだったよねぇ……（しみじみと）。信じられないことですよ。あんなことを一介のアナウンサーのためにどうしてしてくれるんだろうって不思議でね。それでいまスペインにその時のビデオを持っていっててね、我が家にはフラメンコの留学生とかが、よくメシを食いに来るんですけど、それを見せるとみんな感動しますよ。俺がこんなにスターだったのかって感動してるの（笑）。

—全日本ではテリーの引退に続く盛り上がりでしたよ（笑）。

倉持　そうなんだよねぇ（笑）。……でもさ、いま全日本プロレスって、かなり厳しいみたいじゃない？　なんか、そんな話が耳に入ってきたよ。

—まぁ、金銭面も含めていろいろと大変なのは事実みたいですね。分裂するだの、元子さんがどこかに行っちゃうだのと、いろんな噂もあって（笑）。

倉持　へぇ～、そうなんだ。僕はプロレス業界の話はもう何にも知らないんでね。

—それはしょうがないですよ。昔と比べると、確実にプロレス界の熱は下がってますからね。

倉持　あ、そうですか。大体、プロレスっていうのはテレビと共にあっての世界だから。

—全日も新日も夜の8時台にやってた世界ですからね。

倉持　そうだよねぇ……（しみじみと）。まあホントのことを言うとボクの時代で終わったね。

—一時期、テレビが一歩引いた部分を雑誌がカバーしてたんですけど、それでも対応できなくなってきてるし、ＷＷＥなんかを見ても絶対にテレビありきの世界だと思うんですよ。

倉持　それは間違いないね。

—（取材に同席した倉持Jrに）息子としては何か一言ないの？

倉持Jr　いや、家庭だと一切プロレスの話はしなかったんで、今日始めて聞いた話も多かったですよ。

—あ、プロレスの話は家族にもケーフェイだったんだ（笑）。

倉持Jr　ボクは自分で暴露本とか雑誌を買って読むって感じでしたからね。最近、父親の方は衛星放送でＷＷＥをたまに見るぐらいですけど、ガチンコの船木vsヒクソンとか見ると興奮するみたいで「これはガチだな」「いまは、こんな時代なのか」とか言ってますよ（笑）。

—ダハハハ！　やっぱり見るのはエンターテインメントとシュートファイトになっちゃいますか。

倉持　そうだね。ただ、やっぱり楽しさって部分が抜けちゃうと、この世界はつまんないよ。ちょっと普通の日本人の感覚とは違うのかもしれないけどね。

—いや、でもウチの雑誌とまったく同じスタンスだから問題ないですよ（笑）。

倉持　やっぱりプロレスラーって自分のできないことをやってくれるわけだからさ。チャボ・ゲレロだったかマスカラスだったか忘れたけど、トペだっけ？　場外に飛ぶのだって最初見た時は仰天してアナウンスにならなかったと思うよ。それをマネした鶴田が一回失敗してイスで手の平をザックリ切っちゃったこともあったけどね。

—そうやってレスラーが技を失敗した時って、どういうふうにフォローしてました？

倉持　見て見ぬフリだね！

—「汗で滑ったか！」とかですね（笑）。

倉持　そうそう（笑）。「相手は読んでましたね」とか「もう一度チャレンジするでしょう」とか言ってね。真剣勝負として見れば、そんなことは何度でもあることなんだからさ。そうだ、今度は『紙プロ』でエッセイとか書かせてよ。

—いいですね。当時の思い出話とか書いてほしいですよ。

倉持　やっぱりプロレスじゃなきゃダメなの？（笑）。スペインやフラメンコについて書きたいんだけど。

—それは、ちょっと考えさせて下さい（笑）。

【2月11日／三鷹市・倉持邸にて収録】

くらもち・たかお■アナウンサーとして33年間、日本テレビに勤務。全日本プロレス中継の実況では倉持節で全日ファンから多大な支持を得る。54歳からは読売新聞金沢総局に出向し、ニュースキャスターとして活躍。定年後は夫人と共にスペインに移住。下のアドレスで倉持さんのコラムが連載中だ！
http://www.jspanish.com/yomimono/patio/patio29.html

アメプロ本
続々出版記念
インタビュー

「俺の守備範囲は
アメプロだけじゃない！
〝プロレス〟のことだったら
何でもしゃべるよ!!」

ジミー鈴木
真剣40代(プロレス)しゃべり場

プロレスファンなら誰もが憧れるテキサス州ダラス在住で、しかもWWEを
リングサイドから撮れる6人の中の1人ということでアメプロ情報はおまかせのジミー氏。
今回、所用で来日したジミー氏に会って話を聞くと、アメプロ以外にも出るわ出るわ
プロレスネタの玉手箱状態。そんなジミー氏にたっぷりと語ってもらいました。

聞き手&構成／松澤チョロ
designed by matsu(Two three)

――ジミーさん、今年はかなりハイペースで来日してますよね。

ジミー　これまで最高記録よ。いま4月だけど、今回で9回目だから。

――月2回ペースですか！　猪木さんも顔負けですね（笑）。

ジミー　今年は日本マット界も、いろいろ動きが多いし、俺も要のところはできるだけ見るようにしてるから。でも今回は何件か打ち合わせとかで来てるんで試合は見れてないんだけど。

――ジミーさん的に最近何か気になる大会はありましたか？

ジミー　まあ見るのはビデオでも見れるからね。飛行機代使わなくても見れるのに、そこに何の価値があるかっていうと、たとえばドームの興行を見に行くと、（ターザン）山本さんとかは観客席まで行って、お客と一緒になって見てるよね。客の反応とか感じたいってことで。俺は全然違って、ずっとマスコミの控室に入ったまんま。

――モニターで見るわけですね。

ジミー　「じゃあビデオで見るのと変わんないじゃん」って思うだろうけど違うの。横に誰がいるかっていうと、竹内（宏介）さんとか菊池（孝）さん、それから『ゴング』の編集長のGK（金沢克彦）だとか清水（勉）さん、小佐野（景浩）君とか。そういう超ベテランの俺らの大先輩の人たちと雑談しながら見てるわけ。あの人たちがバーンと反応して「これいいね」とか「これしょっぱいね」とかの会話が俺にとっちゃ勉強なんですよ。プロレスと関係ないくだらない話もするけど、竹内さんや菊池さんとコミュニケーション取りながら「この試合こうだね」とか言ってるド真ん中入ってるのが、自分にとって勉強になるんだよね。

――それだけでもアメリカから来る価値があると？

ジミー　そういうことだね。

――それにしても最近のアメプロ本出版ラッシュは凄いですね。

ジミー　おかげさまで結構評判もいいしね。でも、たしかに俺にとってアメリカンプロレスっていうのは得意技かもしれないけど、守備範囲はアメプロだけじゃないから。プロレスのことだったら、まあ1から10まで網羅はできないけどさ、たとえば『ゴング』だったら『ゴング』の売り線とか主流ってあるじゃない？　ド真ん中みたいな（笑）。そういうのはしっかり押さえてるつもりだからね。

――ド真ん中と言えばWJなんですけど、WJに参戦してる大森選手は、ジミーさんがNOAHからWJへの橋渡しをしたんじゃないかって噂が流れてるんですけど、真相はどうなんでしょうか？

ジミー　俺、竹内さんにまで言われたんだよ（苦笑）。「そんな噂入ってきたんだけど、俺は違うと思ってるけど、お前じゃないよな。ジミーは特にWJと強いラインがあるわけじゃないし、大森とも特に仲良かったわけじゃないし」って。

――で、どうなんですか？（笑）。

ジミー　俺は言い訳して、わざわざノアに電話して、「違いますよ」みたいな、みっともないことはしたくないんだよ。竹内さんには「そういったことって時が経てば必ず真実がわかる日が来るから、別にいま嫌われてても、明日の飯食うのに支障はない状況に幸いいるから、あえて言い訳はしないけど、そのうち真実がわかれば、それでいいんじゃないかって思ってますよ」って答えたのね。

――いまはまだ答えられないと？

ジミー　っていうか、真実は必ずバレてくるもんだから。俺じゃないってことも、いつの日かちゃんとわかるから特に心配してないしね。ここ当面、NOAHに食わしてもらうとか、そういうのもないし（笑）。いちいち言い訳するのも嫌なんだけど、ホント、俺じゃないから。

――ジミーさんではないと？

ジミー　……これ、多少危険な発言にした方がいいの？

――アハハハ！　言える範囲でお願いします！（笑）。

ヴァリッジ・イズマイウやジャスティン・マッコリーが先生役として、大物格闘家から若手選手まで練習しまくっているという新日本プロレスロス道場。ジミー氏も取材でよく訪れる

ジミー　じゃあ本音で言っちゃうよ。それを売りにしよう！（笑）。

――では本音でお願いします！

ジミー　NOAHを辞める直前、一番最後の取材をしたのが俺だったから疑われたと思うんだよ。その時に実を言うと『ゴング』からインタビュー頼まれてたんだけど、NOAHサイドでジミー鈴木はペケだったの。

――ジミーさんがインタビュアーじゃダメだと言われたんですか？

ジミー　そういうのがあるらしいの。カギカッコ使って文章にしてっていうのはOKだけど一問一答のインタビューで俺の名前出してっていうのは支障があるらしいんだよね。

――もしかして、ウチと同じでジミーさんはNOAHというか、仲田龍さんに嫌われてるんですか？（笑）。

ジミー　俺はNOAHのマイナスになるような取材をこれまでにしてきたつもりはないよ。ただ、これ言っちゃうけど、三沢社長と仲田龍と何人かで、ハーリー・レイスのところに選手を見に行ったことあったでしょ。

――選手を発掘するということでレイスのところに行ってましたよね。

ジミー　その時に取材に行ったら、選手の発表会みたいにして、そこでスパーリングとかいろいろ見せて、それを三沢社長が見て、「これとこれが合格」みたいなことで試験をやってたわけね。そしたらさ、こっちは試験やったら合格者知りたいじゃん。

――まあ、それはそうですね。

ジミー　その時に仲田龍が『週プロ』さんだけコラムの話がありますから」って呼んで、向こうでチョコチョコッと合格者の写真撮らせたんだよ。

――『ゴング』では撮らせてもらえなかったんですか？

ジミー　『ゴング』にはそういったことは教えてくれないわけ。あの時は佐藤君だったかな、『週プロ』で行ったのは。編集長の佐藤じゃなくて佐藤景が行ったんだけども。俺さ、取材しに行って、向こうが合格者を知ってて、俺は知らされてないっちゅうんで凄い腹が立ったのね。

――それは面白くないですよね。

ジミー　公平じゃないじゃん。そういった変な形でえこひいきされてから、仲田龍とはちょっといろいろあったんだけどね。

――仲田さんは、つい最近もターザンのサムライ降板騒動の時にも話題に上がってましたからね（笑）。

ジミー　うん、知ってる。で、噂によると三沢社長の前で仲田龍がいっつもいい顔してるわけ。現場は見てないけどさ。でも三沢社長はそれが見えてないから。……なんていうかな、まあ大森選手がNOAHを出ていった理由はそこにあるんだよ（笑）。

――そこにありましたか（笑）。

ジミー　『紙プロ』でインパクトないインタビューやってもしょうがないから真実を言うけど、俺が抜いたわけでもなんでもない。大森選手も男だから肝心なことは言わないけど、WWEに行った時があったよね。

大森選手をWJに橋渡ししたのはマスコミ関係の人間っていう噂はホント

――たしかダークマッチかテストマッチに出たんですよね。

ジミー　そうそう。レイスのラインでダークマッチに出してもらうことになって、話もついてから「ウチは日本テレビと契約してるからそれはダメだ」とか止められたらしいのよ。

――テレビ問題がネックになったと。

ジミー　でもダークマッチだからテレビには映らないし関係ないじゃん。それなのになんで日本テレビに気を使わなきゃいけないの?ってなって。それでも止められたんで面白くなかったから「それはないですよ」って大森選手が言ったら、それまで仲田龍から週に何回も電話かかってきてたのがピタッとこなくなったと。で、帰っても仲田龍とうまくやってけないんだったら、自分に日の目は当たらないっていうのは目に見えてるし、プッシュしてくれないだろうからってことだよね。……金じゃないんだよ。レスラーだったら誰でも大志があるわけじゃん。「トップ獲ってやろう」って思ってやってるわけでしょ。

――レスラーだったら、そういう気持ちがなきゃダメですよね。

ジミー　アイツなんか素質あるわけじゃん。身体も大きいしルックスもいいし。不器用な部分はあるけども、それにも増して、いまのプロレス界で目立つだけのものを持ってるからチャンスはあるはずなんだよ。

――たしかにそうですよね。

ジミー　でも仲田龍と電話で口論した時点で、もう自分には出世の芽はないな、と。だから大森選手がNOAHを辞めて他に行った理由っていうのはそこが大きいって話を俺は聞いてたよね、本人から。大森移籍の真実はそういうところにあると思うんだ。で、橋渡しをしたのは、マスコミ関係の人間が動いたんじゃないかって噂だったけど、それはホント。

――それはホントなんですか（笑）。

ジミー　ホントだよ。その人の名前出したら可哀想だから言わないけど、強いてあげれば俺じゃないってこと。

――ジミーさんじゃないってことは、よくわかりました（笑）。

ジミー　そんなことやったって何の得にもならないし、道狭めるだけだから。ただNOAHに関して言えることは、いやNOAHだけじゃなくて、俺の記事見てみればわかると思うけど、自分は選手なり団体なりのいいところを発見して、まあ悪いとこ絶対書かないってことじゃないけど、いい部分を記事にするのを喜びとしてるわけ。だから、いいとこが小さかったり気づかないことがあっても、それを見つけて伝えてあげる、それでファンが喜んでくれてプロレス大好きになってっていうのが理想だと思うから、常にそっちの方を目指してるわけ。粗探しじゃなくて。山本さんとはその辺違うんだけど。山本さんは粗探しするから（笑）。

――揚げ足取りもしますからね（笑）。話は変わりますけど、5・2の新日本のドーム大会は見に来られるんですか?

ジミー　5・2はね、ちょっと調整つくかわかんないけど、気持ちとしては当然見たいよね。

――新日本は5・2で生まれ変わるってことで、バーリ・トゥード（以下・VT）を取り入れるわけですけど、それについてはどう思います?

ジミー　蓋を開けなきゃわかんないよ。特に中西なんか、どんだけ強いもんなのか。強いとは思うんだけど、VTの世界において、経験っていうのがどれぐらいの比重を占めてくるか、それはまだわかんない部分があるから。でも頑張ってほしいよね。

――上井取締役によると、5・2以後もVTもやっていくっていう意向があるみたいですね。

ジミー　まあ危険な賭けだけど、必要なのかもしれないね。

――他の団体はともかく、新日本は強さを売りにしてきた団体なんで、とにかく強さを取り戻さないといけないということみたいなんですけど。

ジミー　ただ一歩間違えると負け組の大会になっちゃうよ。こないだの1・4も、その前に『猪木祭り』あったりしたけど、負けた人たちが上取ってたじゃん。総合出てって負けたヤツは次の日から前座にしろよって意見なんだよね、俺は。

――やっぱり、それは説得力に欠けるからですか?

ジミー　みっともないじゃない? 負けた人がメイン出てきたら。たとえば高山選手なんて日本でいま最もいい選手の1人だと思うけど、じゃあ『猪木祭り』はどうだったかっていうとサップに負けてるわけじゃん。で、4日後にプロレスに出てきて高阪選手に勝ってチャンピオンでしょ。

大森隆男のNOAH離脱の裏にはジミー氏が関与していたんではないかとの憶測も流れていたが、ジミー氏は、これをキッパリ否定。

——復活したNWFの新チャンピオンになりましたね。

ジミー　俺はちょっと間が短いと思うんですよ。勇気があるとか、そういうのは別問題として、「じゃあ負け組の人間がチャンピオンになるの？」って客とかに思われるのは良くないと思うんだよ。だから俺はあの時、髙阪選手に勝って欲しかったよな。それなら格好ついたじゃん。

——そうですね。ただ、髙阪さんはプロレスのキャリアはまだ2戦目でしたし、いろんな意味で難しいところもあったんでしょうね。

髙阪選手の、あのグラウンドテクニックは凄いよ！マットの魔術師だね

ジミー　でも髙阪選手は素晴らしいよ！　グラウンドテクニックは凄いし、マットの魔術師だと思うよ。

——マットの魔術師ですか（笑）。昔のプロレスラーのキャッチフレーズでよくありましたね。

ジミー　格闘技系の選手のプロレスって説得力のない打撃に頼っちゃって失敗するパターンが多いでしょ？

——たしかに打撃は格闘技の試合との違いが如実に現れますからね。

ジミー　その点、髙阪選手は素晴らしいじゃん。グラウンドのテクニックだけで充分魅せられるんだから。まあ相手が対応できなかったら、その魅力も半減しちゃうけど、対応できる人間だったら……たとえば髙阪vs永田とかやったら面白いよね。

——その2人だったら噛み合った、いい試合になるでしょうね。

ジミー　高山選手には負けちゃったけど髙阪選手はどこでも対応できるだろうなって思うね。ちょうど、こないだシアトルで会ったんだけど、彼は『レッスルマニア』見たんだよね。前からメールのやり取りしてて、「じゃあ『レッスルマニア』終わったら飯でも食いませんか？」って話になって、その時インタビューした記事が『ゴング』に出たんだけど。いまの一押しは髙阪選手だね。

——そうですか。髙阪さんとジミーさんがメル友っていうのは、ちょっと意外な感じもしますけど（笑）。

ジミー　総合の選手ってプロレスを批判したような発言とかが凄い多いじゃん。そういうヤツは大っ嫌いなんだよ。「じゃあ、お前やってみろよ」って言っちゃうヤツって。だけど彼は凄く理解してるからね。WWE見て「面白かった」って言うわけ。何が面白かったかっていうと、「オーナーのビンス自ら大流血で怖い顔したままハシゴの上からギロチンやるのも凄い」みたいなことも言ってたし、あと（ブロック・）レスナーとカート・アングルのアマレスの世界の頂点を極めた選手同士の試合があったんだけど、ファンが気づかない部分で両足タックルとか行って「いま見えなかっただろ？」みたいな駆け引きを試合中に互いにしてるんだって。

——格闘家じゃないと気づかない部分での攻防があったと？

ジミー　試合の中で、そういう駆け引きとか競い合いをしてたんだって。「そういったものも盛り込んだWWEは面白い」ってことを言ってたね。

——エンターテインメント部分に目が行きがちだけど、そういった技術をしっかりと持った選手がアングルを筆頭にWWEにはたくさんいるわけですよね。

ジミー　もちろん。最初は髙阪選手もプロレスと総合は別だと思ってたみたいなんだけど、自分でも経験してみて、プロレスっていう枠の中には、格闘技も入ってるしエンターテインメントも入ってるし、そういったものを全部含めてプロレスだって見方ができるようになってきたって。

——馬場さんじゃないですけど、「シュートを含んだものがプロレス」っていうような考えになってきたと？

ジミー　そうそう。そういう意味で彼は凄くわかってるからプロレスでも期待できるよね。

——その髙阪さんは5・2はスミヤバザル（・ドルゴルスレン）とVTで闘うことになりましたけど。

ジミー　イケると思うよ。スミヤバザルの写真見たんだけど、あの身体を見ると多分スタミナないと思うよ。

——かなりマッチョ系ですよね。

ジミー　アルティメット・ウォリアーもそうだから、彼も強いんだろうけどスタミナはないと思うよ。

——スミヤバザルはアルティメット・ウォリアータイプですか（笑）。

ジミー　だから持久戦に持ってったら絶対イケる。だから、早い回で乗り切って、ある程度長期戦に持ち込めば必ず息が上がるから。長引いた時に髙阪選手が翻弄するんじゃない？　問題ないと思うよ。場数も踏んでるし、それも強味になるでしょ。

——ジミーさんはジョシュ・バーネ

花くまゆうさく先生のコラムに、ほぼ毎号のように登場する狂犬ヴァリッジ・イズマイウ。ジミー氏のインタビューで『紙プロ』に登場する日も近いか!?

ットは取材したことあるんですか？

勝ち組になることだよね。

——そう言われれば似てますね

るし（笑）。

年は、たまたまアメプロ物が多かっ

Jimmy SUZUKI

ットは取材したことあるんですか？

ジミー　髙阪選手から聞いたんだけど面白いらしいね。昔よく一緒に練習したらしいんだけど、メチャクチャ強いし、とにかくセンスがいいんだって。だから、ちょっとやったことをすぐ覚えちゃうって。髙阪選手が言うんだから間違いないよ。

――メル友が言うんだから間違いないでしょうね（笑）。

ジミー　まだプロレスのリングでは開花してないかもしれないけど、新日本が、これからVTもやっていくんだったら、ジョシュを『PRIDE』とかに出して、勝って帰ってきてみたいにしたらプロレスが上がるだろうね。それが大事だしね。

――ジョシュみたいな選手が新日本の中に何人もいればプロレスは上がるでしょうけどね。

ジミー　とにかく、いまだったらプロレスラーは『PRIDE』を食っちゃわないとダメ！『PRIDE』の勝ち組がプロレスの選手権を争うようなふうに持ってかないと。どうしてもいま負け組みたいに見られてるから、それも悔しいんだけどね。

――話を聞いてると、レスラー以上にプロレスLOVEを感じられますね（笑）。

ジミー　そりゃ、そうだよ。俺だって人生賭けてやってるんだからね。

――シビれる発言ですね（笑）。

ジミー　（可愛らしく）だってホントだもん。だから、新日本が本腰入れて総合をやるんなら、期待したいのは結果を残して負け組から勝ち組になることだよね。

――そうなれば一番いいんでしょうけどね。そういう意味で、新日本の中で期待してる選手は誰ですか？

ジミー　マチダ・リョウト（LYOTO）とか面白そうだよね。

――LYOTOさんにはウチでも1回インタビューしたんですが、話したらブラジルの気のいいあんちゃんって感じだったんですけど、いろんな人に話を聞いてみると相当強いらしいですね。

ジミー　マチダ・リョウトは空手のパンアメリカ選手権で優勝してるし、本人の言葉からすれば、「ジャスティン（・マッコリー）と同じぐらいのレベル」だって。ジャスティンって凄い強いからね。

――日本でもリングスやパンクラスで活躍してましたからね。

ジミー　それから中邑（真輔）選手っていうのはインタビューしても面白いよ。結構しんどいこと言うしね。

――新日本のインタビューとか読んでも他の若手選手とは明らかに違うし、上井取締役も「中邑はプロ意識が備わってる」って評価してますからね。

ジミー　それにマチダ・リョウトと中邑選手は2人とも顔がベビーフェイスじゃん。特に中邑選手の方は女の子に人気出てもいいような甘いルックス持ってるからね。マチダ・リョウトはドン・中矢・ニールセンそっくりだと思うんだけど（笑）。似てない？

――そう言われれば似てますね（笑）。

ジミー　どっちもナイスガイだし、あの2人は期待できそうだなと思いますよ。ブライアン（・ジョンストン）やタンク・アボットのところとか、いろんなところに出稽古行って一生懸命練習してるしね。

――それは期待できそうですね。

ジミー　それとね、ロス道場では（ヴァリッジ・）イズマイウがいい先生やってるよ。ジャスティンもそうなんだけど。

――そうなんですか。イズマイウは、日本のファンでも気になってる人が多いですからね（笑）。

ジミー　イズマイウって感じいいんだよな。

――そうなんですか（笑）。

ジミー　いつもニコニコして取材に応じてくれるしね。格闘技系の雑誌でイズマイウの取材して記事書きたいんだけど、どっかないかな？

――ウチでお願いしますよ！　イズマイウは結構ニーズもあるし（笑）。

ジミー　猪木事務所のOK取ってくれれば俺はいつでもやりますから。イズマイウが「雑誌出たい」って言ってたからさ。「俺はグレイシーを倒した人間だから」って（笑）。

――会見とかに出る度に毎回そのネタをアピールしてますからね（笑）。

ジミー　でもイズマイウはホントに実力持ってるわけだから、記事に値する人間だと思いますよ。（時計を気にして）そろそろ夜のクラブ活動に行かなきゃいけない時間なんで、最後に一言いいかな？（笑）。

――は、はい。夜のクラブ活動の時間なら仕方ないです（笑）。

ジミー　最初にも言ったけどね、俺はアメリカンで売ってきてるけど、要は世界なんだよ。日本も見るし、ルチャ・リブレも取材するし。去年は、たまたまアメプロ物が多かったけど、今年はどういう方向にいくかわかんないからね。

――たしかに去年はアメプロ関係の仕事が目立ちましたからね。

ジミー　今年一発目を1月に出したし、7月ぐらいにまた出したいなと思ってるんだけど。アメプロ本に限らず、どっかで本書かせて下さい！

――最後に売り込みですか（笑）。

ジミー　何でもいけますから！

――守備範囲は広いわけですね。

ジミー　俺の得意科目は1個じゃないからね。よろしくお願いします！

――それでは、夜のクラブ活動に励んできて下さい！（笑）。

【4月7日／池袋「珈琲専門館・伯爵」にて収録】

本名・鈴木清隆■1959年、東京都出身。学生時代には2つのファンクラブの会長を掛け持つほどの熱狂的なプロレスファン。1979年に初渡米、1982年にはテキサス州サンアントニオのアワー・レディ・オブ・ザ・レイク大学に留学。その後はプロレス専門誌の米国通信員として、『週刊ゴング』を中心に、カメラとペンを器用に操り活躍中！　う～ん、ハリウッド！

格闘技をやるだけやったらプロレスに復帰する!!

喧一

山喧　オイ、ジャン！　オマエ、俺の励ます会なのに途中で帰るんだってぇ？

――すいません！　この山喧さんのインタビューが終わったら、大会取材に行かないといけないんですよ。

山喧　大会？　まさか有明に行くんじゃないだろうな（ギロリ）。

――ま、まさかぁ！　山喧さんの励ます会を放り出して、U・STYLEに行くわけないじゃないですか！　GAEAの横浜文体に行こうかなぁと（汗）。

山喧　グフフ。まぁ、何だっていいけどよぉ（ニヤリ）。

――と、とりあえず、山喧さんの今後の活動などいろいろお聞かせください！

山喧　今後の活動？　俺はボロボロになるまで闘い続けるに決まってるよ！

――リング復帰後、『PRIDE』では2連敗してますけど……。

山喧　（遮って）調子が戻ってないからな。だいぶブランクあるし、いろいろゴタゴタがあったから、本調子と比べて50%も仕上がってないんだよ。

――まだ万全の状態ではないんですか。

山喧　そういうこと。次に試合をするとしても80%ぐらい。その次でやっと100%に持っていけると思う。

――完全復調までフォー・ステップも必要なんですか。

山喧　俺、随分サボっていたからね。ジム経営やイベントごとに専念してたこともあるけどさ。

――いまは休止中のジム「パワー・オブ・ドリーム」のことですね

山喧　いまは総合格闘技のジムはたくさんあるけど、あの当時はそんなになかっただろ？　この俺がやってたことが本来はおかしな話で、ホントは上の人間がやるようなことだった。だけど、俺は業界のために自分なりの哲学を見せたんだよ。いまの状況は時代がやっと俺の考えが追いついただけなんだよな。

――ジム経営にもう一度、携わったりしないんですか？

山喧　時代が俺に追いついた以上、俺がやる必要はない。これからは一人のファイターとしてやっていく。背負っていた荷を降ろして、身体がブッ壊れるまでガチンコでやっていくつもりだよ。

――選手に専念する、と。具体的な闘いの舞台はどこになるんですか？

山喧　『PRIDE』中心に闘っていこうと考えてるけど、いまは闘いの舞台がいっぱいあるだろ。昔はどっかの団体に所属しなきゃ闘えなかった。けど、いまは第三者的イベントがいっぱいあるからな。

――ランデルマン戦後にはUFC参戦を口にしてましたけど、UFCも選択の1つになるんですか？

山喧　UFCは今年か来年に日本に来るだろうから、そのときは俺が絶対に出る。俺はUFC-Jのチャンピオンだからな。その俺が出るのは当然だよ。

――あのベルトって須藤（元気）選手に獲られたんじゃ……。

マニア（突然隣の席から身を乗り出して）山喧さん！　俺、応援してますよ！　UFC頑張ってくださいぃ！

山喧　おう！　UFC-Jは俺が終わらせないよ。

――そ、そうですか。アメリカ現地に出向いて参戦したりしないんですか？

山喧　アメリカは練習に行くには最適なんだけど、時差ボケがあるから体調を崩しやすいだろ。どうしても向こうの選手が有利になってくるから試合には向いてないんだよな。だから行かない。

――あくまでホームに拘るんですね。

山喧　UFCに限らず、名前があって強いと言われている選手と闘っていきたいね。そして、ガチンコをやるだけやったらプロレスに戻る。

――あ、プロレスに参戦しますか!?

山喧　いますぐは無理だけどな。いまはアスリートの身体だから、プロレスはできないんだよ。プロレスをやるには毎日闘える身体に変えなきゃいけないだろ。

――どんな技でも受け身が取れる頑丈な身体にしないといけないんですね。

山喧　プロレスはそんなバケモンがやるもんなんだよ。バスを引っ張ったり、小橋さんみたいにサウナでダンベルを一時間やるのがプロレスラーっていうだんよ！

――たしかに超人的な部分は問われますよね。

山喧　それができない奴はプロじゃない。オマエ、サウナでダンベル1時間できるかぁ？　できねえだろ！

――というか、そんなことやりたくないですよ（笑）。

山喧　（焼酎のグラスを一気に飲み干して）そうだろうなぁ。それをやるのがプロレスラーの真のリップサービスな

んだよ！　いまは技にしたって総合格

んだよ！　いまは技にしたって総合格闘技を意識し過ぎなんだよ。腕十字やアンクル（・ホールド）をやってるけど、何で30秒も耐えてるんだよって話じゃない。そんな技はプロレスにはいらないんだよ！（キッパリ）。
──たしかにバーリ・トゥードがこれだけ脚光を浴びると、説得力に欠ける部分も出ちゃいますからね。
山喧　格闘技はスポーツだからルールに基づいて相手をブチのめすだけでだけど、プロレスは常人じゃできないことをやって納得させるもんなんだよ。いい加減に区別分けをしなきゃならないよな。そうしないと総合をやってる奴もプロレスをやってる奴もかわいそうだよ。（再び焼酎のグラスを飲み干して）そう思うだろっ、ジョニー!!
──ジャ、ジャンなんですけど。
山喧　（無視して）格闘技をやるのかプロレスをやるのかハッキリしろってことだよな。中途半端にやってる奴は格闘技もダメ！　プロレスをやってもダメなんだよ!!
マニア　（再び隣の席から身を乗り出して）そうだそうだ!!　山喧さんの言う通りだ！
──皆さん、熱いですねぇ（笑）。
山喧　熱いじゃねぇよ！　いまの雑誌って何を載せてんだよ。プロレス団体の内情のゴタゴタばっかじゃん。専門誌がそんなこと書いてファンが楽しむと思ってるのかよ！
マニア　楽しめないッスよ！
山喧　専門誌はさ、プロレスラーがどれだけ凄いとかを書くのが仕事だろ。プロレスラーの株を落とすようなことを載せてどうすんだよ。会社のゴタゴタなんか載せなくていいんだよ。
マニア　ゴタゴタなんかどうでもいいですよ！　面白ければ何でもいいんですよ!!

山本

「市屋苑」で “はぐれU” が吠えた!!

昨年の『PRIDE.26』において、久しぶりにリング復帰を果たした山本喧一。復帰後、2連敗と戦績は芳しくないが、今後の活動を応援すべく元Uインター取締役・鈴木健氏の計らいにより、「山喧を励ます会」が鈴木氏の店『壱屋苑』で行われた。励ます会が裏番組のWJ餅つき大会、U-STYLEに負けない盛り上がりをみせる中、山喧が新たな野望をブチ上げた！　（ジャン斎藤）

バスを引っ張ったりサウナで1時間ダンベルやるのがプロレスラーだよ!!

──面白ければ、ゴタゴタもいいんじゃないですか（笑）。
マニア　（まったく聞かずに）あ、山本さんに質問があるんですけど、聞いていいですかぁ？
山喧　何だ？
マニア　ボクの友達が『週プロ』命でよくプロレスの話をするんですけど、小橋さんのローリング・クレイドルって効くんですか？
山喧　あの身体でやるんだから効かないわけないだろ！　だいたい、あの身体でムーンサルトができるか!?
マニア　できないッスよ！
山喧　凄ぇだろ、小橋さんは！　プロレスラーをナメるんじゃないよ。
マニア　ナメるなぁ！
──いやぁ、本当に熱い（笑）。

高田総裁の引退試合が行われた『PRIDE.23』では、ランデルマンの破壊的なパワーの前にレフェリーストップで敗北したが、折れない心を見せつけた山喧。『PRIDE.25』ではアレクとの日本人対決で復帰後初勝利を狙ったが判定負け。消化不良の内容に観客からブーイングが起こった。山喧の挽回はあるのか!?

山喧　俺はな、プロレスラーとして半人前だった。プロレスラーはもっとバケモンになんないとできないと思ったから総合やってんだよ。俺はいま、凄くねぇから格闘技を目指してるんだよ。
──プロレスラーになるには、高いハードルがあるんですね。
マニア　やっぱりプロレス最強論はありますからねぇ。
山喧　極端なこと言えば、格闘技は努力すれば何とかなるもんだよ。でも、プロレスはバケモンしかできない、凄い奴しかできない！　そうであってほしいよな。やっぱり、バスを引っ張ったり、タバスコをガーッと飲まないとプロレスラーらしくないだろ。
──いずれ山喧さんもガーッとタバスコを飲む日がくるわけですね（笑）。で、プロレスをやるとしたら、どの団体になるんですか？
山喧　ノアだな。
──山喧さんがノア!?
山喧　高山さんが出てるしね、俺も上がりたいよ。
──ちなみにZERO-ONEとかはいかがでしょうか？
山喧　う〜ん、見たことないからな。だってテレビでやってないじゃん。
──アイヤ〜！　ZERO-ONEはテレビでやるらしいから、ぜひご覧ください（笑）。山喧さんの今後の活躍を期待してます！
山喧　荒らされたプロレスのマーケットを変えるから期待しとってくれや！
マニア　待ってますよぉ！
【03年4月6日／用賀「市屋苑」にて収録】

ん〜ッ、安さとうまさは用賀で一番!! 山喧を励ます会も開催された鈴木健氏の店「市屋苑」

運が良ければ芸能人&プロレスラーにも会えるのが、元Uインター取締役・鈴木健氏の店「市屋苑」だ。宮戸味徳に炒飯対決で勝利した鈴木健氏の串焼き&焼き鳥の味はとにかく絶品!!　一度、喰ってみぃ!!
【住所】世田谷区用賀4-14-2-2F
【アクセス】東急田園都市線・用賀駅北口より徒歩5分
【営業時間】月〜金18：00〜25：00
土日祝17：00〜25：00
TEL.03-3707-3223　http://ichiokuen.com

かったため（当たり前だ）、サラ金から借金し、なんとか使用料を払い込

ターザン後藤は来てなかったので、彼にとってのプロレスは金なのかもしれ

マ。まるで、何かが起こることがわかっていたようなタイミングの良さに場

時代を迷走するどインディー秘宝館!!

あなたの知らない世界

報道されないプロレスの彼方へ

PRIDEみたいなビッグイベントを楽しんでいるあなたに、世の中の片隅で、2桁（ときには3桁）少ない観客の前で試合をする団体を紹介していくこの新企画。あからさまに需要が少なそうで先行き不安だが、とりあえず見切り発車でGO!

文／田中ダイス　撮影／堀江ガンツ

↓今月の潜入先↓

3.30　北沢タウンホール

PWC

どインディーマニアもア然！ PWCは『どっきりカメラ』か!?

突如始まったインディー新企画。第一回目の今回は3・30PWC再旗揚げ戦の北沢タウンホール大会へ潜入。

PWC（PRO-WRESTLING-CRUSADERS）とは、1992年のSWS崩壊後に高野兄弟（ジョージ&拳磁）が中心となって旗揚げ。先日三冠に挑戦した嵐こと高木功が「スープレックス&ニールキックの神様」として所属していたり、現在芦別市議会議員である若松市政（将軍KYワカマツ）が、宇宙パワー軍団を率いて、宇宙パワーグッズを販売しながら高野拳磁と果てしない抗争を繰り広げていた団体である。

高野拳磁は自らを「野良犬」と名乗り、その名に合わせた会場外まで飛び出す路上乱闘スタイルと、「世の中どうするだらけだよ！」「わたくしが、世界一強い高野拳磁でございます」といったマイクアピール。さらに会場費踏み倒し疑惑等、いい意味でも悪い意味でも数々の伝説をつくり、熱狂的なファンを極めて狭い範囲で獲得したが、1996年頃に団体はいつの間にか崩壊。それでも、DDTの高木三四郎や、悲しき天才セッド・ジニアスなどを輩出し、現在のインディ及びどインディのスタイルに多大な影響を与えたのは間違いない。なお、高野拳磁は現在マジで消息不明。

そんなPWCが、誰に望まれたわけでもないのに突如復活！　かつてのPWCスタッフであり、「ニセ大仁田」としてプチブレイクしたこともある森谷俊之氏が代表となって、PWCとはなんのゆかりもない維新力をエースに据え「PWCプロモーション」として再旗揚げすることとなったのだ！

今年1月には公開記者会見をclubATOMで行い、エース維新力の他、ターザン後藤、菊澤光信、戸井マサル、黒田哲広の参加を発表。PWCらしからぬ順調なすべり出しを見せたかに思われたが、そのとき会場の灯りが抜群のタイミングで消え、再び点灯すると、足立知也、前田光世、クラッシャー高橋、吉田和則、サバイバル飛田という、PWC残党軍があらわれた！

彼らはいずれも「高野拳磁に殴られながらプロレスを覚えた」PWC出身レスラーであり、PWC崩壊後、それぞれZIPANG、CCレッスルアーツ、CROWN、EAGLEプロ、埼玉プロレスと団体を立ち上げ、エースレスラーに成長した一国一城の主たち。……選手や団体名に解説が必要な気もするが、誌面にも制限があるため各自調査のこと。この連載が続くなら、いずれとりあげることもあるだろう。どインディ界の恐るべき懐の深さを感じていただけると幸いである。ともあれ、PWCになんの関係もない維新力体制に反発した残党軍と維新力たちの間に因縁が生まれ、再旗揚前の3・7に駒沢屋内球技場にて5対5のケジメマッチケジメマッチを経て、いよいよ3・31、PWCの聖地・北沢タウンホールでの再旗揚げ戦を迎えたのだった。

全3試合にも関わらず当日4500円という、常人には理解不能の厳しい料金設定をモノともせずやってきたPWCサポーターはざっと100人強。この高い壁を乗り越えてやってきたファン達だ。人数こそ少ないものの会場は熱気に包まれている……と思ったら大間違い。一歩足を踏み込んだだけでわかる非常にダウナーな空気に包まれている。大会場の闇雲な熱気に疲れたプロレスファンが癒されているかのようだ。

そのダウナーな空気に拍車をかけるように、ロビーではCROWN・春日部インディーズアリーナ大会や埼玉プロレス・金町地区センター大会のチケットが販売されている。「敵対してるんじゃないのかよ！」との突っ込みは、大人の事情を察してスルーすること。しかも、力道山時代からプロレスを見続けているような方がCROWNのチケットを購入している驚愕シーンを目撃！　売り子の女子レスラー並木ちゃんも大はしゃぎだ。ちなみに彼女の試合は見るものを無の境地に至らせ、悟りを開かせるレベルに達している。

定刻どおりに試合開始のアナウンスがされると、「こんなのPWCじゃない！」というツッコミが起こる。酸いも甘いも噛み分けて、安息の地にたどり着いた100人程度の選ばれし物たちの顔には、一様に半笑いの表情がはりついている。その半笑いを全笑いに加速させるため、スクリーンにPWC再旗揚げまでの軌跡が上映された。

画面では記者会見後、駒沢屋内球技場の管理者が、会場費の未払いを森谷氏に告げる場面が映されている。維新力は会場をおさえたにもかかわらず、使用料を払っていなかったのだ。使用料の20万円を作るため、維新力はPWCポロシャツを持ち出し、路上販売を決行。しかし、まったく売れな

会場に入るとロビーでは、『CROWN』という、『紙プロ』読者の誰もが初耳であろう団体がチケット販売を行っていた。しかもおじさん買ってるよ！（写真・上）　リングのターンバックルにはメインスポンサーのロゴが。っていうか、維新力の店じゃん！（写真・左）

なぜだ!?　維新力の親友（?）TAKAみちのく来場！

このマット界終着の浜辺に元WWEスーパースターズ、TAKAがなぜか登場！しかも谷口&バンジー高田（誰？）に襲われ失神！　訳わかんねぇ！

かったため（当たり前だ）、サラ金から借金し、なんとか使用料を払い込む。選手のギャラも払えない維新力は、仲間たちにノーギャラでの参戦を依頼する。だが、彼らにもそれぞれの事情がある。維新力は1人で残党軍の5人を相手にすることになった。場内はBGMの『地上の星』にあわせて爆笑の渦。ファン達の目にイヤな光が宿り始める。

場面は変わってケジメマッチ当日に。2000人以上のキャパを持つ駒沢に訪れた観客は48人。そんな中、維新力は新生PWCの魂を賭けて5対1マッチに挑んだが、一方的なリンチと飛田のビッグファイヤー。さらには「どりんくばー（維新力が夫人の元女子プロレスラー穂積詩子と経営するスナック）も燃やす！」という屈辱的な言葉を浴び、惨敗。だがそこに「プロレスは金じゃない」ことに気付いた戸井、菊澤、黒田が駆けつけた。でも、ターザン後藤は来てなかったので、彼にとってのプロレスは金なのかもしれないが。

救急車で運ばれる維新力に、誰に頼まれたわけでもないのに、半笑いの表情でPWCコールを送るファン。その後、誰一人として交流があることを知らなかった維新力の親友、TAKAみちのくに道場を貸してもらう約束を取り付けたところで映像は終わり、観客の突っ込み欲を満足させると、森谷氏が「インディのど真ん中を突っ走る！」と宣言して、PWCは再スタートを切った。

第1試合は谷口裕一対バンジー高田。2人は本部席に座るTAKAの前で乱闘を繰り返し、試合後には「僕らもWWEに出たいんです」とアピール。当然ながら、その訴えを無視するTAKAに切れた二人は、合体パワーボムでTAKAをKO。そこに突如流れるダッドリーボーイズのテーマ。まるで、何かが起こることがわかっていたようなタイミングの良さに場内が大きくどよめく。レスラーへのほめ言葉として「幕が相手でもプロレスができる」というのがあるが、このクラスの観客ともなると「幕が相手のプロレスでも盛り上がることができる」のだ。こうはなりたくないですね。俺は手遅れですが。

第2試合のLLPW提供マッチを挟んで、メインイベントのキャプテンを決めるために、両軍の選手がリング上に呼ばれた。しかし、やってきたのは正規軍の4人だけで、残党軍が姿を見せない。ファンの間から、「不戦勝だー」とか「えー」とかあまり心のこもっていない声がもれる。

そこへ、2階席から残党軍が表れた。観客の義務的なブーイングの中、残党軍が降りてくると、空気の読めないファンが残党軍に手を出した！　調子に乗りすぎた客にレスラーのプライドを叩き込む残党軍は、素人相手に5対1で逆襲。それを止めに入った黒田の表情を見て、これまでエンタメと思って半笑いで眺めていた客席に緊張が走る。無残に腫れ上がった顔で会場を出て行く客の姿を見て、他の観客に戸惑いの表情が走る。エンタメを越えた事件に客席がざわめく中、飛田が大型のハンマーを振るって撮影中のビデオカメラを粉砕し、その怒りを維新力に見せつける。もっともこちらは、随分旧式なカメラだったようだが。

そしてついにメインイベント、維新力&菊澤&戸井&黒田vs足立&高橋&吉田&前田のキャプテンフォールイリミネーションマッチのゴングが鳴る。しかし百戦錬磨のはずの観客も、残党軍の虚実入り乱れた蛮行にバンプがとれず、どインディどころかシュート興行にもない、異様な緊張感が満ちている。これまで経験したことの無い息苦しさで、ハンマーに赤いヘルメットをかぶった野呂圭介スタイルでセコンドに付く飛田に対して、突っ込むこともできない。だが今にして思うと、この興行は半笑いを求めてどインディの会場にやってくる観客に向けての「ドッキリ」だったのかも知れない。主催者にしてみれば「大成功！」といった所だろう。

維新力が敗れ、野良犬ならぬ負け犬宣言で終わったの興行の真のエンディングは、SAMURAIの『インディのお仕事』で放送された。

森谷氏と維新力の前に、人相の悪い男達が突如あらわれると、「飯橋浩司さん、いらっしゃいますかねえ？」と話しかける。森谷氏が「そんな人間はウチにいない」と応えるが、維新力が「俺の本名です」と返答。すると男は「旧PWCでの借金と先日の20万円。耳を揃えて返してもらいましょうか」と凄む。途方にくれる森谷氏と維新力。ありとあらゆる事件がカメラの前で発生し、すべての事象でプロレスを続けるPWC。次回、4／30以降、7月まで、毎月の北沢興行も決定している。ハイクオリティな映像と、アレな試合が共存するPWCに、みんなも生温かい声援を送ってみよう！

ハプニング発生！ レスラーとダメな客がガチンコ大ゲンカ!!

誰もがショーの一部だと思っていた「ヒール軍団に本気で怒り襲いかかる客」に3人掛かりで制裁を加えるPWC残党軍。しかし、止めに入る黒田哲広（PWC時代は黒田哲）の表情のなくなった顔を見ると、なんだかホントみたい……。嫌な緊張感が館内に充満！

リングインするなりコーナーに駆け上がり、天に向かって一心不乱に突っ張りをお見舞いする維新力。シュールと言えばあまりにシュール。

黒田はいつものように哲ちゃんカッターや、お客さんどーですか――ッ！　を爆発。この中で見るととんでもない超大物に見える。

PWC残党軍の中で、もっとも毒づいていた埼玉プロレスのサバイバル飛田は、ご覧のような野呂圭介スタイルでなぜか登場！

そして拳磁から維新力へ――“負け犬”継承!!（なのか？）

結局、PWC残党軍の波状攻撃にまたしても敗れた維新力は、土下座&水をぶっかけられるという恥辱を浴びることに。そして「俺は負け犬だよ！」と絶叫！　このまさにトリビュート高野拳磁としか言いようのないエンディング。場内には当然のように拳磁のテーマが流れていた……。

半額 紙のプロレス 本誌 Back Number

第8号 1994年1月号
特集 さらば新日本プロレス

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス&大蛇を見る／サスケが『紙プロ』初登場！ ２０ページにも及ぶ大特集！

¥700 ⇒ ¥350

第16号 1995年6月号
特集 新日本凸凹大学校

『紙プロ』的・昭和新日本プロレス大検証！ マサ斎藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊・ビックリ！ 糸井重里vsサタパルンパ谷川の対談が実現！

¥780 ⇒ ¥390

2000年4月
情念～夢一途なり～石川雄規

『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！ 情念とは何かがわかる一冊である。

¥2100（送料込み）

第13号 1995年3月号
特集 道場破りとは何か？

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

¥780 ⇒ ¥390

第19号 1995年9月号
特集 さようなら紙のプロレス

『紙プロ』を偲んで… ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁、石井館長、ターザン、サタパルンパ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

¥780 ⇒ ¥390

みんなで遊べる付録付き!!
さくぽん

サクのすべてがよくわかる桜庭和志発のインタビュー集！ 花くま先生の「サクラバの汁」、特製シールやサクマシン立体紙お面など付録がこれでもか！ とばかりに付いています！

総238ページ

01年4月 ¥1500（送料込み）

第14号 1995年4月号
特集 神秘とは何か？

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード黄水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を駆らます！ 日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

¥780 ⇒ ¥390

インタビューという名の鉄拳史
紙の前田日明

『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！ 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！

¥2000（税金・送料込み）

パンクラス公式読本[矛]

９７年夏、横浜道場所属のパンクラシストを直撃！ 鈴木みのる／近藤有己／山田学／故・長谷川悟史／そして佐山聡、カール・ゴッチも登場だ！

完売間近

¥1260 ⇒ ¥630

第15号 1995年5月号
特集 インディペンデントの逆襲

あんた誰？ 山口日昇試練のインディ・レスラー１０番勝負！ Ｋ－とは何か？ 石井館長・ターザン山本・サタパルンパ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー

¥780 ⇒ ¥390

極真魂溢れる16人を直撃！
極真とは何か？

松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／廬山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

完売間近

¥1530 ⇒ ¥800

パンクラス公式読本[盾]

９７年夏、東京道場所属のパンクラシストが語る！ 船木誠勝／パンクラス非公式座談会／ナセか、故・ジャイアント馬場vsターザン山本が実現！

完売間近

¥1260 ⇒ ¥630

No.52
見えない鎖を引きちぎれ! 行けーッ、小川アァァッ!

●全身プロレスラー・高山善廣
●「トゥーッ!」の素顔を暴露! Mr.フレッド
●USAの渡世人 ドン・フライ
●田村潔司「美濃輪戦を決めた3つの理由」
小川直也／橋本真也／武藤敬司／ロシアン・トップチーム／ブラジリアン・トップチーム

02年7月 ¥880

No.53
灼熱の格闘技ダイナマイト! 世紀のビックイベント『Dynamite!』を直前大解剖!!

●夢の対談が実現!
高山善廣×美濃輪育久
●独占肉弾スクープ!
マット・ガファリ
●爆裂!! 川村龍夫UFO社長語録
桜庭和志／小川直也／武藤敬司／高阪剛／クレージーMAX／サムソン・クツワダ／一宮章一／トム・ハワード／スティーブ・コリノ

02年8月 ¥880

No.54
ノゲイラ表紙初奪取! 不平等の時代を克服した者こそ英雄になれる!!

●“ミスジャッジ”に猛抗議!
ホイス&エリオグレイシー
●“青い目のケンシロウ”
ジョシュ・バーネット
●純プロ頂上対談!
武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン
●OHビーム発射! 橋本真也×小笠原和彦
ゴールドバーグ／ボブ・サップ／マリオ・スペーヒー／田村潔司／坂田亘／小原道由／猪木快守

02年9月 ¥880

No.55
高田が“最後”に選んだのは田村!! 夢幻大の真剣勝負が実現!!

●「真剣勝負」発言から7年……運命の男が独白!! 田村潔司
●最後の実力者が遂に『PRIDE』参戦! 金原
●メガトン級の強さと面白さ!! ボブ・サップ
●初冬のドームにサクラは咲くか!? 桜庭和志
橋本真也／大谷晋二郎／ノゲイラ&スペーヒー／A・コピィロフ／サスケ&TAKA／佐山聡

完売間近

02年10月 ¥880

No.56
愛すべき若気の至り!! 受け継げ、Uインターの蒼き魂!!

●田村戦直前!! 高田の覚悟を読み解け! 高田延彦
●蘇れ!Uインター伝説!!
安生洋二&金原&高山善廣
●高田×田村、観る側の覚悟!!
浅草キッド
●『紙プロ』に風がふくぜぇ〜!
鈴木みのる
ニック・ボックウインクル／大谷晋二郎／N・ジョーンズ／TAKAみちのく×カズ・ハヤシ／鈴木健

02年11月 ¥840

No.57
一瞬の11・24!! 高田延彦引退試合を大総括!!

●サップと地峡規模のタイマン勝負!! 高山善廣
●新たなる“U”が始動!!
田村潔司
●悪魔の書、再び! ミスター高橋×大槻ケンヂ
●“北尾戦・セメントマッチの真実” ジョン・テンタ
ハシフ・カーン／武藤敬司&関係者X／ターザン山本×鈴木健／マチダリョウト／佐伯『DEEP』代表

02年12月 ¥840

No.58
新春特大号!! 「明日、また生きるぞ!」な対談の大連発!

●夢幻のファンタジー対談実現!! 武藤敬司×船木誠勝
●Uスタイルって何なのさ?
田村潔司×高阪剛
●Uインター取締役トリオが再集結!! 宮戸×安生×鈴木健
●カルガリー発トンパチ師弟!
ハシフ・カーン×ミスター・ヒト
TAJIRI／CIMA／ヴォルク・アターエフ／三島☆ド根性ノ助／語録で振り返るマット世界2002

03年1月 ¥880

No.59
吹けよ風! 呼べよ嵐!! マット界新風景が見えてきた!!

●いまこそ、この男の出番!
小川直也
●その強さを徹底検証!!
E・ヒョードル
●“プロレスの先生”大いに語る!! 馳浩
●『W−1』とは何か? キーマンがすべてを語った!
田村潔司／U・ドラゴン×ターザン／中村和裕／上山龍紀／D/ローデス／WJマグマ語録

03年2月 ¥880

No.60
英雄、変貌を好む!! 『PRIDE』、RE・BORN!!

●ノゲイラ政権を崩壊させた“最後の皇帝” E・ヒョードル
●特別立会人が『PRIDE』を総括!! 高田延彦
●驚ガクのファンタジー対談!!
武藤敬司×須藤元気
●あのマーシーがすべてを告白!! 田代まさし
高山善廣／小島聡／エルビス・シェンブリ／尾崎社長／倉持隆夫／高橋がなり

03年3月 ¥880

通販申し込み方法

●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっています。（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）。

【郵便振替】
00130-3-769154
（株）ダブルクロス
【現金書留】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702（株）ダブルクロス

●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。

※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

●送　料
1冊＝310円、2冊＝380円
3冊〜4冊＝450円
5冊＝520円、6冊以上＝700円

※代引きを開始しました。詳しくはＰ１６０を参照してください。

紙のプロレス 常備店

- ■アイドール新宿店
- ■新宿ファイター
- ■大山アメリカン
- ■プロレスマニア館
- ■チャンピオン
- ■リングスパレス
- ■バディスラム
- ■タコシェ
- ■レッスル渋谷
- ■レッスル池袋
- ■書泉ブックマート
- ■書泉ブックタワー
- ■書泉グランデ
- ■ワールドスポーツプラザKINGS
  - ・池袋 ・渋谷WEST ・新宿 ・名古屋 ・大阪 ・札幌 ・福岡
- ■グレートアントニオ
- ■東京イサミ

中東から北朝鮮まで
世の中とプロレスをする品揃え!!

北朝鮮『平和の祭典』を現地徹底レポート!! 世紀のイベントを語りまくる!! アントニオ猪木×永島勝司／村松雄弧／橋本真也／ブル中野

北朝鮮上陸!!

¥780⇒¥390

猪木なら何をやっても許されるのか!! アントン総帥、魔性の大放談!! 宮戸優光×金原弘光×高山善廣／橋本真也×ドン荒川／辻よしなり／カート・クン・リー

完売間近

¥880

紙のプロレス RADICAL Back Number

No.5 97年8月 ¥680

高田延彦、樹海へ……初めてのヒクソン戦直前大特集!
●ドン荒川vs藤原喜明"昭和新日対談"
●前田日明の大好評人生相談『人生は語らず』
●世界格闘技連盟とは何か!? 佐山聡
長与千種＆ライオネス飛鳥／ビクター・クルーガー

No.15 99年2月 ¥780

目を覚ましてください!! 小川vs橋本"1・4事変"勃発!
●A級戦犯か、それとも真の革命児か!? 佐山聡
●前田日明inUSA カレリン戦前のシアトル特訓! 浅草キッドの熱烈応援文
●S多重アリバイ・佐野なおき／Mr.K
A・カレリン／高阪剛／馬場さん追悼／語ろうマサ・サイトー／A・浜口親娘／北原光騎

No.16 99年3月 ¥780

格闘ノストラダムス'99 エンセン井上のプロレス雑誌表紙奪取記念号
●環境問題を『紙プロ』で語る!?ーアントニオ猪木
●語ろうジャンボ鶴田
●相撲多重アリバイ・石川孝志
前田日明／高阪剛／坂田亘／M・コールマン／石川雄規／村上一成

No.24 00年2月 ¥840 完売間近

頭打ちすぎたかアレク!! 『PRIDE.GP』特集
●田村潔司がグレイシー討伐を公約!
●船木vsヒクソン座談会
●WWF大検証! 猪木・鶴田・前田・高田らが黒船を語る!
●サスケ×矢追純一UFO超私様宇宙対談!
桜庭和志／堀辺正史／守山竜介／太刀光／嵐／中西百恵

No.29 00年7月 ¥840

「格闘環境」は刻一刻と変化する! ノア解禁! 方舟の舵を取るのは誰だ!? 秋山準初登場!
●今度はホイス戦! 桜庭和志
●プロレススーパースター列伝・仲野信市
●本誌独占ジャンボ鶴田夫人真実を語る!!
三沢光晴／ノア勢フルメンバー／村上一成／ボビー・ホフマン／TKおかん／里村明衣子

No.31 00年9月 ¥840 完売間近

真のストロングスタイルは『PRIDE』にあり!! 歴史に残るベスト興行『PRIDE.10』大特集号
●桜庭和志×高阪剛のトークバトル中継!レフェリーは浅草キッドだ!!
●川田利明語録
●プロレスという物語について・ダン・スバーン
小川直也／高山善廣／谷津嘉章／堀辺正史／永源遥／ユセフ・トルコ／島田裕二／田村潔司

No.32 00年10月 ¥840

本誌は"新プロレス"を独占します!! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦!
●田村潔司に快勝!ーA・ホドリゴ・ノゲイラ
●打倒プロレス同盟結成!? 青柳政司×小路晃
●藤波辰爾語録
●プロレススーパースター列伝
前田日明／桜庭和志／山本喧一／金原弘光×滑川康仁／本田多聞

No.34 01年1月 ¥840

プロレスは「闘い」を忘れた時に老いてゆく!! 「猪木祭り」「長州vs橋本戦」を斬りまくり!
●UFCミドル級王者ティト・オーティズ
●プロレススーパースター列伝・ミスターヒト
●修斗から『猪木祭り』へ! 宇野薫
小川直也／高田延彦／桜庭和志／藪下めぐみ／ボブチャンチン&オバチャンチン／田中正志／紙プロ大賞2000

No.35 01年2月 ¥840

ジャングルを守るだけじゃなくジャングルをつくれ!! 「純プロレス」を考え倒せ! 500人アンケートも実施! 徹底検証号
●ZEROーONE始動!橋本真也×アレクサンダー大塚
●プロレス界統一コミッショナー(就任予定)馳浩が爆弾発言!!
●プロレススーパースター列伝・ジョー樋口
坂田亘／成瀬昌由／滑川康仁／大仁田厚／小路晃／杉浦貴／堀辺正史／田中正志

No.36 01年3月 ¥840 完売間近

新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!! 面白くなきを面白く! 純プロレス復興記念号
●ノアから独立『PRIDE』参戦!高山善廣を確認せよ!!
●桜庭和志初のシウバ戦ド直前!!
●KOKをしゃぶりつくせ! 5大企画で大総括!!
金原弘光／ノゲイラ／ヴォルク・ハン／レナート・ババル／TK／田村潔司
三沢光晴／橋本真也／前田日明／大山峻護／W☆ING／ザンディグ／ジニアス×ハリー・レイス／網野ゆき江

No.37 01年4月 ¥840 完売間近

長州!! 本性出せんのかオラッ!! 小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
●アブダビコンバット2001ー大探検記! 菊田早苗／田村潔司×ヘンゾ・グレイシー／シェイク・タルヌーン王子
小川直也／橋本真也／桜庭和志／成瀬昌由×山本憲尚／村上一成×小路晃／堀辺正史／石川雄規

No.38 01年5月 ¥840 完売間近

高田の"忘れ物"は小川!!ラスト・オブ・「もう一丁ッ!!」 5・5小川と長州はどちらが孤独だったのか!?
●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子エメリヤーエンコ・ヒョードル
●プロレススーパースター列伝・阿修羅原
●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー
高田延彦／グンダレンコ・スベトラーナ／力皇猛／杉浦貴／丸藤正道／谷津嘉章／ジミー鈴木／高山善廣

No.39 01年6月 ¥840

どうなるんだ、リングス! 前田isデッド!? すべての"騒動"に前田日明総帥が答えた!
●選手離脱後の前田道場新エース・金原弘光／滑川康仁
●怪物か!? それとも……藤田和之座談会
●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
秋山準／山本憲尚／小川直也／成瀬昌由／田上明／石川×臼田×島田／DEEPとは何か

No.40 01年7月 ¥880

開戦間近! 猪木軍vs K―1に見たいものは"地上最強のプロレス"
●蘇れ! Uインター&キングダム伝説!高山善廣×金原弘光［前編］
●本当か? 本当なのか!? この叫びを聞け! 大谷晋二郎
●プロレススーパースター列伝・グラン浜田
小川直也／三沢光晴／橋本真也／サスケ／郷野聡寛／坂田亘／上山龍紀

No.41 01年8月 ¥880

Can you カミングアウト? "最後の黒船"WWF襲来! どうする「日本のプロレス」!!
●リングス10周年大会! ハンがリングスを振り返る
●真樹日佐夫×三池崇史巨頭対談が実現!
●W☆INGの真実・茨城清志
小川直也／高山善廣×金原弘光／／WWF座談会／辻よしなり／秋山準語録

No.43 01年10月 ¥880

サクと『PRIDE』のケツに火がついた!! 10・8猪木と小川が「純プロレス」と「純K−1」にリンクを張った!!
●ブラジリアン・トップチーム3大柱インタビュー
●大谷晋二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
小川直也／桜庭和志／谷津×グッドリッジ／中野巽耀／須藤元気

No.44 01年11月 ¥880

ノーモアBADアングル!! サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か?
●プロレススーパースター列伝・グレート小鹿
●その修羅場の数々! シーザー武志
●怪物伝承! 高山善廣&杉浦貴
ハンス・ナイマン&ディック・フライ／田村潔司／闘龍門大特集／E・ヴァラビーチェス

No.45 01年12月 ¥880

「K−1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!! 『紙プロ』旗揚げ10周年&RADICAL創刊5周年記念号
●『ケーフェイ』以来の爆弾本投下!ミスター高橋本特集! ミスター高橋独占インタビュー／前田日明、ミスター・ヒト、佐山聡が「悪魔の書」を語る!
●ジェラルド・ゴルドー人生相談
●葛西純／ウルティモ・ドラゴン／望月成晃／A大塚／金原弘光／矢野×須藤／グレート小鹿／語録で振り返るマット界2001

No.46 02年1月 ¥880 完売間近

PRIDE.LOVEをぶち壊す男!! 時は来た! 田村潔司、『PRIDE』へいざ討ち入り!!
●さらばリングス! 金原弘光／浅草キッドの「おつかれさんでした!」
●"ならず者"がDEEPで快勝!ーエル・カネック
●プロレススーパースター列伝・キラー・カン
●金メダルを落とした男・小林孝至

No.47 02年2月 ¥880

WWF日本侵攻5秒前! 激動の新日本、怒りの急展開を読む!!
●"天才"武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る!
●第一次リングス閉幕特集
●プロレススーパースター列伝・ストロング金剛
大谷晋二郎／小笠原和彦／葛西純／K−1中量級／サスケ／ミスフィッツ

No.48 02年3月 ¥880

見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
●奇跡のメガトン対談実現! 小川直也vsノゲイラ
●和田最強伝説が遂に現実に! 語り部・金原弘光
●伝説の男が笑撃の登場! ジョー・サン
小川直也／武藤敬司／ミスターポーゴ／ウォーリー山口／ジョシー・デンプシー

No.49 02年4月 ¥880

この夏に究極の格闘技大戦争勃発!? マット界灼熱の噂!
●和田さん快勝記念対談! 高山&金原&和田
●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
●凄! 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行! 破壊王も火のヤリ特訓だ!
レッスルマニア座談会／CIMAvsドス・カラスJr.／ウォーリー山口／小畑千代

No.50 02年5月 ¥880

早く試合がしたい!! サクが笑えば、世界が笑う!!
●「地方初世界」開始! 小川直也&橋本真也
●充電完了! 桜庭和志が久々の登場!
●パンクラス取材解禁! "尾崎の野郎"も初登場!
●I編集長が新日本に三くだり半!
菊田早苗／大仁田厚／小島聡&NIGO／アレクサンダー大塚／リングスロシア軍団の軌跡

No.51 02年6月 ¥880

ZERO-ONEに願いを! 7・7決戦迫る!
●両国国技館だよ、全員集合! 橋本真也
●『PRIDE』の魅力をマン開! 小池栄子
●天才が悩みに答える! 武藤敬司人生相談
●"男の中の男"が本誌初登場! 謙吾
小川直也／プレデター／田村潔司／鈴木健／小笠原和彦／ZERO-ONE中村部長／I編集長

RADICAL情報局

リング内・リング外の情報を読者にお届けする

>>>夢のコラボ再び!! 小島×NIGO 『BAPE STA!!』Zepp Tour、主要カード発表!!

昨年6月Zepp Tokyoで開催され、超満員の観客を集めた小島聡×NIGOのコラボレーションイベント『BAPE STA!! PRO WRESTLING』が、グレードアップして再び開催される!!今度は全国5箇所のZeppツアー!! 前回の『BAPESTA!!』に登場した宇野薫が、『THE APEMAN NIGO a.k.a』として参戦する他、ZERO-ONE U.$.Aから富豪富豪亀路(※夢路ではない)、Low-ki、葛西純、大阪プロレスからえべっさん……ならぬ、えべ藤さん、くいしんぼう仮面らが参戦、シリーズ最終日には武藤敬司、TAKAみちのく、覆面議員ことザ・グレート・サスケも登場する! もちろん、Tシャツも見逃せない!!

4/26/sat.

大阪・Zepp Osaka
試合開始 19:00

★石狩太一 VS 河野真幸
★荒谷信孝 VS 奥村茂雄
★保坂秀樹 VS 宮本和志
【タッグトーナメント第1回戦】
★嵐 & ケンドー・カシン VS 平井伸和&土方隆司
★THE APEMAN GENERAL & THE APEMAN & THE APEMAN GOLD & THE APEMAN-KiKi VS 200%マシーン & 884%マシーン & 728%マシーン & ぬるま湯マシーン

4/27/sun.

大阪・Zepp Osaka
試合開始 15:00

★平井伸和 VS 宮本和志
★保坂秀樹 VS 本間朋晃
★嵐 & ケンドー・カシン VS 奥村茂雄&土方隆司
【タッグトーナメント第1回戦】
★THE APEMAN & 愚乱・浪花 VS 荒谷信孝 & APE MAN GOLD
★武藤敬司 & カズ・ハヤシ & えべ藤さ VS 小島聡 & APE MAN & くいしんぼう仮面

Zepp Osaka=テクノポート線「コスモスクエア」駅より徒歩5分 Tel:06-4703-7760

4/29/tue.

福岡・Zepp Fukuoka
試合開始 15:00

★奥村茂雄 VS 宮本和志
★THE APEMAN KiKi VS 土方隆司
★愚乱・浪花 VS 富豪富豪亀路
★嵐 & ケンドー・カシン & 保坂秀樹 VS 荒谷信孝 & 平井信和 & THE APEMAN GOLD
【タッグトーナメント第1回戦】
★THE APEMAN PLATINUM & カズ・ハヤシ VS 小島聡 & THE APEMAN

Zepp Fukuoka=地下鉄「唐人町」駅より徒歩15分、西鉄バス「国立医療センター前」すぐ Tel:092-832-6639

5/3/sat.

北海道・Zepp Sappro 試合開始 19:00

★石狩太一 VS 河野真幸 ★荒谷信孝 VS 平井伸和
★THE APEMAN NIGO a.k.a(宇野薫) & カズ・ハヤシ VS ケンドー・カシン & Low-ki
【トーナメント第1回戦】
★奥村茂雄 & 保坂秀樹 VS 本間朋晃 & 宮本和志
★小島聡 & THE APEMAN & THE APEMAN GOLD VS 嵐 & 728%マシーン & ぬるま湯マシーン

Zepp Sappro=地下鉄「中島公園」駅より徒歩1分 Tel:011-532-6969

5/5/mon.

宮城・Zepp Sendai 試合開始 18:00

【タッグトーナメント準決勝】
(4/26の勝者) VS (4/27の勝者)
(4/29の勝者) VS (5/3の勝者)

Zepp Sendai=JR「仙台」駅東口より徒歩10歩 Tel:022-257-7975

5/11/sun.

東京・Zepp Tokyo 試合開始 15:00

【タッグトーナメント決勝戦】
※タッグトーナメント優勝チームには、チャンピオンベルトと賞金が贈呈される。

5/12/mon.

東京・Zepp Tokyo 試合開始 19:00

★THE APEWOMAN & BABY A VS noki-A & コマンド・ボリショイ
★本間朋晃 & 宮本和志 VS 葛西純 & 愚乱・浪花
★奥村茂雄 & 保坂秀樹 VS 平井伸和 & グラン浜田
★嵐 & ケンドー・カシン & THE APEMAN NIGO a.k.a.(宇野薫) VS 荒谷信孝 & 安生洋二 & 土方隆司
★武藤敬司 & カズ・ハヤシ & TAKAみちのく VS ザ・グレート・コスケ & ザ・グレート・サスケ & THE APEMAN

Zepp Tokyo=ゆりかもめ「青海」駅前(大観覧車下)/臨海高速鉄道「東京テレポート」駅より徒歩5分 Tel:03-3599-0710

★チケットに対する問い合わせ=レッグロック tel:03-3234-0969

★ 闘龍門イベント3連発!! ★

DoFixerになったマグナムTOKYOが、関東圏以外で初のサイン会! K-ness.も来るぞ! マグナム曰く「試合以外で郡山なんかに行くコトなんて2度とねェから、必ず来いよ!!」

◇日時:5月11日(日)14:00〜
◇会場:ホビーショップ「プログレッサ」福島県郡山市開成2-38-20(JR郡山駅よりバス利用、「開成山」下車徒歩1分。開成山公園陸板ナナメ向い)
◇参加資格:当日先行販売される、闘龍門「6/9(月)郡山大会」のチケットもしくは、闘龍門グッズを購入した方。
◇問:ホビーショップ・プログレッサ 024-935-5778

イタリアン・コネクションのミラノコレクションA.T.、YOSSINO、"brother" YASSINI、コンドッティ修司の4人がトークイベントを開催する。メンバー自ら企画内容のプロデュースに挑戦!! 申込は早めに!!

◇日時:5月13日(火)19:00〜
◇会場:ティアラこうとう(江東公会堂)・小ホール
◇入場料金:3000円(全席自由)
4月19日(土)越谷・桂スタジオ大会より会場で発売開始。ファンクラブ会員先行販売は、4月17日(木)より闘龍門事務所での郵送販売のみ受付開始。
◇問&ファンクラブ販売受付:
闘龍門JAPAN 078-333-9797

DoFixerの斉藤了が、自身の故郷である山形市で、初のトークイベントを開催する! スペシャルゲストとして、チームメイトの横須賀享も参加。愛用品オークションやサイン会&撮影会も有り!!

◇日時:5月11日(日)14:30〜
◇会場:山形テルサ3F「交流イベントホール」(JR山形駅より徒歩3分)
◇入場料金:大人2500円/小・中学生2000円(全席自由、当日券は500円アップ)
◇前売り券はプロレスショップ「danoi avoi」にて絶賛発売中!
◇問:danoi avoi tel 023-633-8880

情報ページ担当のささきぃです。外はあたたかくてたいへんいい天気です。春まっさかりでイベントも大会も山盛り、ゴールデンウィークの予定はもうお決まりですか。予定のない方もぎっしりの方も、どうぞ参考になさってください。ではでは、よろしくです。

ブッコミ ノリノリ★NEWS

■石川屋2号店オープン!! &B-CLUB入会金無料キャンペーン

『炭火串焼き 石川屋』の 2号店がオープン! 現在絶賛営業中の越谷店に続き、東武野田線八木崎駅前に5月3日オープン決定。越谷店では、店長候補、調理見習を若干名募集する。勤務時間は12:00から24:00(途中、休憩あり)。やる気のある方、男女を問わず。問い合わせは048-963-0005(バトラーツ)、048-967-0948(石川屋)まで。
また、バトラーツジムB-CLUBでは、4月30日まで春の入会キャンペーンを実施中! キャンペーン中は入会金10%オフ&【B-CLUB】Tシャツがプレゼントされる特典つき。オリジナルプログラムの「カディオ・ボクササイズ」も好評、石川雄規、原学らバトラーツ選手がインストラクターをつとめている。初回無料モニター制度も実施中。火曜昼12時より、木曜は20時より。月会費5000円、3ヶ月有効4回分のチケットもある。B-CLUBに関する問い合わせは、048-963-7515まで。

■男女格闘技ファン大集合! カップリングパーティ開催!!

目黒プリンセスガーデンで、格闘技ファン限定のカップリングパーティが行われる。第5回目の今回、申込みの際に『紙プロ』を見た」と言えば、なんと男性は参加費500円オフ、女性は参加無料になるぞ!!
『カップリングパーティ 第5回 男女格闘技ファン大集合!! 目黒編』
★日時:5月3日(土)19:00〜
★場所:目黒・ホテルプリンセスガーデン(品川区上大崎2-23)
★参加費:男性4500円/女性1000円(『紙プロ』を見たと言えば男性500円off、女性は参加無料!!)
★定員/50名(定員に達し次第〆切)
★予約・問:I.Nパーティ事務局 03-5304-4402(9:00〜23:00)

■5・2をターザンが語る! ドーム終了後即トーク開始!

『ど真ん中の結末』発売記念! ターザン山本がトークライブを行う。新日本ドーム大会直後、延長戦を(勝手に)ターザンが行う! 見たままのドーム大会を、ターザンがぶった斬る!!! 行くしかないですよォォォ!!
『5・2東京ドームはターザンが語るしかない!』
★日時:5月2日(金)夜、新日ドーム大会終了30分後より開催
★参加費:4000円(先着40名限定)
★場所:格闘技プロレス図書館 闘道館(JR水道橋西口改札を出て左手に進み、マクドナルドを左折。まっすぐ150mほど直進し突き当たり、居酒屋どんたくがあるビルの5F)
★問:闘道館 03-3512-2080
★HP:http://toudoukan.infoseek.livedoor.com

■仰天! 一揆塾がテレビで流れてしまう!!

テレビ東京系列で放映されている『出没! アド街ック天国』で『後楽園特集』が放送される! 後楽園といえば「後楽園ホール」「東京ドーム」など、言わずと知れたプロレス・格闘技ファンの聖地。そこで格闘技カフェ「コロッセオ」、「プロレスマニア館」、格闘技プロレス図書館「闘道館」、武道具ショップ「水道橋商会」「尚武堂」など、ファン必見の専門店をも取り上げ、その世界が検証されてしまっているらしい!! さらになんとターザン山本の一揆塾の模様までもテレビで初公開されてしまう模様。後楽園を訪れたことのない地方ファン必見、そしてプロレスマニアの世界がどんな風に扱われるのか、番組内での扱いにも注目だ!!
★放送:5月3日(土) 21:00〜
テレビ東京系全国23局ネットで放送

■闘龍門、神戸ワールド記念ホール大会決定!

闘龍門JAPANのお膝元、神戸で開催される年に1度の一大イベント、神戸ワールドホール大会が今年も決定した。詳細は下記の通り、チケットは4月19日より発売中!
★日時:6月29日(日)
試合開始 16:00
★会場:神戸ワールド記念ホール(ポートライナー「市民広場」下車、徒歩3分)
★前売料金:ドラゴンVIP席15000円
★特別リングサイド10000円/リングサイド8000円/アリーナA席6000円/アリーナB席5000円/2F自由席4000円/3F自由席3000円
チケットぴあ(0570-02-9977)、リングソウル(078-333-6690)で発売中。
★問:闘龍門JAPAN
tel 078-333-9797

■闘龍門が営業スタッフを募集中!

闘龍門ジャパンが、業務拡大のため営業スタッフを募集する。心身ともに健康で元気のある、まじめな人を募集。プロレス団体の経験者は優遇。
★仕事内容:プロレスの営業(ポスター貼り・宣伝活動一式)
★年齢:18歳〜30歳位まで(高卒・要普免一年以上)
★給料:研修期間あり、面談の上決定
★勤務時間:規定による
★休日:会社指定日
★応募方法:電話連絡の上、履歴書(写真貼付)を持参すること。
★問:闘龍門ジャパン中京事務所 〒510-0075 三重県四日市市安島1-2-19 ウエストエンドビル 3F
tel:0593-57-2199

■吉田豪、三宿でクラブイベント!

前回、ターザン山本がクラブに登場、一部で大好評だった、ど真ん中格闘技イベント"MWA"旗揚げ第二戦。ゲストは現在未定、レスラーが登場する可能性も大!
『MWA-Mishuku Wrestling Association-』
▼DJ
土屋恵介(a.k.a. INAZZMA★K)
ケッコー・カシン
with SPECIAL GUEST DJ'S
▼FIGHTING MUSIC
日時:5月1日(木)23:00〜
料金:¥500(NO DRINK)
住所:世田谷区池尻3-30-10 B1
【アクセス】東急新玉川線池尻大橋下車。R246を三軒茶屋の方向へ徒歩約10分。三宿交差点角"松屋"地下。
★問:三宿WEB 03-3422-1405
★三宿WEB HP:http://www.m-web.tv/

■船木誠勝公式HP「MADNESS」絶賛配信中!

船木誠勝の公式HP「MADNESS」。「たった一度の人生、自分でチャンスを創り色々な事に挑戦し、戦い、楽しんで生きて行ける様、日々努力をして目の前に立ちはばかる壁をぶち破る! ぶち破る時に発揮する力こそMADNESS!だ、と自分は信じています。是非、自分と一緒にMADNESSを発し、本当の自分探しをしてみませんか!」船木の熱いメッセージ、出演映画の情報なども満載! 今すぐチェック!
★「MADNESS」
http://www.MADNESS.jp

■U-FILE CAMPが町田にオープン!

田村潔司率いる格闘技ジム「U-FILE CAMP」が、町田にもオープンする! 上山龍紀は「U-FILE CAMP町田がうまくいかなくなった場合、U-FILEを辞める覚悟」とまで意気込んで、このジムを盛り上げていくという。5月オープン、詳細はU-FILE公式HP等で今後発表される。
★U-FILE CAMP公式HP
http://www.u-filecamp.com

大会★GUIDE

>>>女子格闘技『Gals』開催!

さまざまなジャンルで活躍する選手を登場させ、新しいスター誕生のステージを提供する新大会『Ｇａｌｓ』。試合毎にルールが変更され、開始前にその競技説明、ルール説明が行われる。現在、総合ルールの３カードが決定済み、全９試合が行われる予定だ。

『女子格闘技 Gals』

◇開催日時:5月22日(木) ◇試合開始18:30
◇開催会場:北沢タウンホール(東京都世田谷区北沢2-8-18/Tel:03-5478-8006)
◇観戦料金:SRS指定席 5,800円/A指定席 3,800円/自由席 3,800円
※チケットはチケットぴあ、後楽園ホール、新宿イサミにて好評発売中
(チケットぴあ Tel:0570-02-9999 or 03-5237-9966 Pコード:594-7600
◇制作協力:スマックガール実行委員会
【対戦カード(総合格闘技ルール】
吉倉千秋(P's LAB 横浜) VS 菊川夏子(ライルーツコナン)
今澤利恵(パレストラ東京) VS 内藤晶子(RJW Central)
金子和美(TEAM YANO) VS 石山絵理(TEAM LIMIT)
その他予定試合:柔術2試合 グラップリング2試合 キックボクシング2試合
◇問:ギャルズプロジェクト tel:03-5545-4766

>>>AXJAPAN

昨年まで、女子総合格闘技大会として活動してきたＡＸは、本年度より活動志向を大きく変え、女子総合格闘技を行う選手を広く世界から集め、日本での試合をブッキングする活動を中心にＡＸ-ＪＡＰＡＮと改名し、再スタートを切ることが発表された。その第１弾として、全日本女子プロレス５月11日横浜アリーナに、エリカ・モントーヤを招へい、参戦させることになった。今後も、ＡＸ-ＪＡＰＡＮでは、エリカをはじめとして、世界の強豪選手を日本に招へいし、格闘技イベントへのブッキングを行う予定だという。

>>>高田道場がサブミッションレスリングトーナメント開催!

高田道場主催のサブミッションレスリング大会が、第２回トーナメントを開催する。申込〆切は５月８日(金)、優勝は誰になるのか!?

『第2回 高田道場サブミッションレスリングトーナメント大会』

◇日時:5月18日(日) ◇受付・計量 9:30〜 ◇試合開始 10:00〜
◇会場:東京都目黒区立目黒中央体育館(東急目黒線「武蔵小山駅」下車 徒歩7分)
◇参加資格:❶高校生以上の頭部に障害、及び感染症のない健康な男女 ❷格闘技歴1年以上の方 ❸週2回以上、練習をしている方 ❹格闘技歴をきちんと明記している方 ❺2003年度スポーツ安全保険に加入している方(加入していない人は、参加申込時に加入)
◇参加費:一般・外部道場生3000円 高田道場生2500円
◇申込方法:大会要項を請求の上、申込書に記入、押印の上、参加費を添えて現金書留で申し込むこと。
◇申込・問:株式会社 高田道場 〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 03-5749-5030

また、高田道場では４月より「春の入会キャンペーン」を実施中。通常30000円(一般男性)の入会金が無料になる他、昨年好評だった「短期コース」が「ビジターコース」として常設される。料金は３回で5000円、６回で8000円(いずれも税別)。詳細は高田道場まで問い合わせること。

イベント★GUIDE

>>>佐々木健介トークライブ開催!!

シャーッ!! ＷＪ・佐々木健介が国士舘大学でトークライブを行う。前半の１時間はトーク、後半１時間は主に会場のファンとのふれあいコーナーになる予定(質問受付・○×クイズ・プレゼントコーナーなど)。これは行くしかない!!

◇日時:5月18日(日) PM14:00〜16:00
◇会場:国士舘大学鶴川校舎 30101教室
(東京都町田市広袴1-1-1/小田急線「鶴川」駅下車バス10分)
◇料金:VIP席 2000円(前列中央寄りの席で特典つき)/指定席1700円/自由席 1500円
◇問&チケット販売:国士舘大学プロレス観戦同好会
主将・清田佳弘 090-9308-4033 妻沼智 090-6184-8567 Fax 045-713-8228

お花見に行ったら大雨だった担当が送る読者ページ

紙プロ元気大学

春ですね～。ゴールデンウィーク突入ですね～。春ならではの眠気と毎日闘い、負け続けているさささいです（寝通し？）。読者ページ担当で本業は電気部です。さすがに量は減りましたが、前号に引き続き食べています。夏に向けてもう少し具体的な対策を考えようと思います。「恋をするのが一番」と教えてくれたこみきらほがなさん、どうもありがとう。恋ねぇ……（遠い目）。それでは、はじまり、はじまり。

（東京都・英加直純）
理不尽大王・冬木弘道。あの動き、雄叫び。実は地団太じゃなくてステップだったという（59号の「書評の星座」参照）足音が聞こえてくるようです。いつもながら切り絵の英加画伯の作品、今回はバックが黄色。凝ってます。

校内巡回

【『紙プロ』60号・面白かった記事】

◎田代まさしインタビュー◎
★田代がこんなに面白いしゃべりが出来るのが意外だったから。
（鳥取県・生田健一・28歳・無職）
芸人さんなんだから、しゃべりが面白いのは当たり前じゃん……と、自然に書こうとしている自分がいました。ミュージシャンでした。失礼。というわけで前号の一位は田代まさしインタビューでした。以下、順不同で感想をお送りします。

◎ZERO-ONEリポート◎
★「スリー、トゥー、ワン、ゼロワン」だけで笑えました。
（福岡県・工藤英一・38歳・会社員）
それだけで笑ってたら、本物を見たら笑い死ぬか大泣きするかで大変ですよ。ぜひ一度会場へ。

◎倉持アナインタビュー◎
★初めて読んでおもしろかった。
（千葉県・白崎勝曜・8歳・小学生）
本当に小学生なら、いいセンスだなと思うよりも、何か悪いことをしたような気がします。

◎武藤敬司×須藤元気対談◎
★も、も、もっちろん、武藤さんと須藤クンの対談です！　あ～、もう涙モノでした。だってわたしは武藤さんの熱狂的ファン。といっても、ファン歴3カ月弱ですけど。そう、新春ジャイアントシリーズをひょんなことから見に行って、そのライヴの迫力と「ナマ・ムタ」の魅力のとりこになってしまったのです。わたしは見つけた!!　「プロレス村」の入口を！　まるで「秘密の花園」のツタに隠れた入り口と、その下に埋まっているカギを見つけたような気分です。目下のところ、恋の高揚感で大変幸せ。ああ、いとしい武藤さま。プロレスラブ!!　武藤敬司LOVE!!　でも、武藤さんの魅力って、若い女のコにわかるかな？　やっぱり熟女じゃないと無理ですよね。その意味でも、「W-1」のゴールデン枠放送っていうのは意味があると思うなー。
（奈良県・まりも・42歳・国語教員）
「氷川きよしの対極としての、オバさんのアイドル、武藤敬司－！」だそうです。着眼点とともに、国語の先生ならではの詩的な表現に感動しました。そうですか、見つけましたか、プロレス村の入り口を。「W-1」を見て、熟女ファンが次々増えていくことを願いたいものです。

【『紙プロ』60号・つまらなかった記事】

◎書評の星座◎
★毎号楽しみにしている吉田さんの書評が、半分以下になっていて残念です。田中正志さんの文を読むと「？？？」となってしまうのは、私が色々と勉強不足だからなのでしょうか……。
（東京都・渡部希望・27歳・主婦）
同様多数でした。この件に関して言えば、勉強不足とかは全く気にしなくて大丈夫です。ノー問題。

◎ニーノ"エルビス"シェンブリインタビュー◎
★もみあげか、ヒゲか、はっきりしてほしい。
（東京都・轟健史・20歳・フリーター）
写真を見たら、そう言いたい気持ちもわからないでもない。どこまでシャンプーするんだろう。

【ふつうのおたより】
★職場の隣の席の女が、PCの壁紙を坂口憲二にしていたので、休みの日に征二のに変えました。2月頃、新宿のロッテリアで安生選手を見ました。目が超充血してました。以上近況報告でした。
（群馬県・樋口美由紀・25歳・オフィスレディー）
仕事中の清涼剤であったであろう坂口憲二の壁紙。休み明けに出てきていきなりフケていたらさぞ驚くだろうな、と、その隣の方に同情しました。安生選手は、多分ヒットマンモードだったのでしょう。

今月の 紙プロ元気大学調べ 好きなレスラー人気ランキング!!

1位 桜庭和志
2位 エメリヤーエンコ・ヒョードル
3位 橋本真也
4位 武藤敬司
5位 高山善廣

前号ではプロレスラーが圧倒していましたが、今月は『PRIDE』の影響か、格闘家が巻き返す形に。ランキングが大きく入れ替わりました。サクが見事1位に返り咲き、続いて初登場のエメリヤーエンコ・ヒョードル。3位は前回と同じく橋本真也、「W-1」地上波の影響か？　武藤敬司がランクイン、5位はイラストも多かった高山善廣。6位以降はボブ・サップ、辻結花（もちろん女子選手No,1）、カシン、シウバ、ノゲイラと僅差で続いています。ちなみに「紙プロHand」iモードでは、突然金村キンタローが1位に。嫌いな選手はアレするとアレなので名前は出せないんですが、前号に続いて、あの方でした。（3/17～4/12到着分調べ）

紙プロ60号・読者が選ぶ 面白かった記事ベスト5

1位 田代まさしインタビュー
2位 エメリヤーエンコ・ヒョードルインタビュー
3位 倉持隆夫インタビュー
4位 武藤敬司×須藤元気対談
5位 高田延彦インタビュー

1位はブッチギリで田代まさしインタビュー！　「今月号だけ友達にすすめた」という人も。毎号頼むよ。2位は、インタビュー中「眠い」を連発していた『PRIDE』王者ヒョードルインタビュー。3位は僅差で倉持アナインタビュー。後編の感想も宜しく。続いて武藤敬司×須藤元気のイリュージョン対談、『PRIDE』統括本部長に就任した高田延彦インタビュー。ちなみに6位は宮戸優光インタビュー、続いて「こんな対談が載っているからつい『紙プロ』を買ってしまう」「衝撃だった」等の声が多数上がった佐伯繁×"仕掛け人"原輝尚対談と続きました。

衣料部・トレーナー自慢コーナー

（静岡県・目方覚メタロウ）
「中川画伯特製『星野総裁トレーナー』、安田選手をブン殴った直後の星野総裁に見ていただきました。『なかなかカワイイ顔をしとるな！』と照れ笑いの総裁。画伯の画才に感心されておりました。ハウスッ!!」
ふたたび総裁のお出ましです。部下に厳しく、ファンには優しい総裁はステキ。しかし、本人を目の前にしても似てるなぁ。一度着て登場して欲しい。

今月の読者ページ担当

（愛媛県・鈴木ユージ）もう1枚。先月号の写真は、髪を後ろで結んでるんだよ……とむなしい抵抗。しかしブサイクだな。似てると思うから正直嬉しくないけど、描いてくれてありがとーです。

びっしびし！
こきつかえる
後輩
募集中♥

（山梨県・貝戸夏也）「さささぃさんって女性だったんですね。写真見るまで、ずっと男性だと思ってました。すいません」
先日小島聡選手にも同じことを言われました。小島選手はともかく読者ページの常連に言われるとは思わなかった。でも、かわいく描いてくれたからいいや。センキュー。

SASAKIY

学会発表
桜庭和志敗戦について思うこと

『紙プロ』の編集長さん及び編集部のみなさん初めまして。いかがお過ごしですか？　自分の思ったことをどうしてもみなさんに聞いていただきたいと思い、今回ペンを取りました。3月16日（日）横浜アリーナで行われた『PRIDE.25』での桜庭さんの試合について。私は、桜庭さんがいてくれたから、格闘技のすごさ・面白さを知ったと言っても過言ではありません。右ヒザのケガも心配でしたけど、今回の試合はケガしていることを感じさせない、いつも通りの素晴らしい動きをしていて強さを感じました。試合の主導権を握っていたのに、まさかの逆転負け……。ものすごく悔しいです！

でも、桜庭さんの実力が衰えたとはどうしても思えません。一部のスポーツ紙に「引退か!?」の文字がありましたけど、桜庭さん本人や応援しているファンの人達に失礼だなと。桜庭さんはまだ終わってません！　桜庭さんが『PRIDE』・格闘技の世界からいなくなることを考えると、これほど寂しいことはありません。あれだけの実力・人気・スター性を持ち合わせている格闘家はそうめったにいません。

桜庭さんを見ていると、ある宝塚のスターさんが重ねて見えることがあります。その人は、男役トップスターの轟悠（とどろき・ゆう）さん。彼女は宝塚に入団して今年で18年になります。最近のトップは2～3年務めて退団する人が多い中、なぜ彼女は退団しないで、ずっと今でも宝塚にいるのか。それは桜庭さん同様実力・人気・スター性を持ち合わせているし、ファンからの支持はもちろん、歌劇団側も、いまでも彼女を必要としているし、なにより本人が「自分は男役を全うしたい」と雪組トップを他の若手に譲り、宝塚全体のトップとして「専科」の配属になりました。どこの世界でも世代交代がありますけど、実力・人気・スター性が衰えていないベテランがいてもいいと思います。各組のトップ（『PRIDE』で言うと、現王者のシウバとヒョードル）を食ってしまうぐらいの実力・人気・スター性を持ち合わせた別格の存在（『PRIDE』で言うと桜庭さん）がいてもOKじゃないかと。『PRIDE』では桜庭さん、宝塚では轟さんが出てくると一番盛り上がるのもたしかなのです。桜庭さんと轟さんは、似てないようで、似た者同士なのです。お互いの世界にはなくてはならない存在にまでなってしまったのです。〈中略〉

桜庭さんと轟さんからは、他の人にはない〝心の強さ〟と〝あきらめない気持ち〟が強く伝わってきて、心から尊敬します。これからも年齢関係なく、進化していくと思います。進化した桜庭さんに出逢えるのを、とても楽しみにしています。

（神奈川県・菊池未来・22歳）

➡原文はもっと長いのですが、誌面の都合で略させて頂きました。ごめんなさい。追伸部分の「桜庭さんって、スカーレットに似た強さがあると思うんです」というところも全部載せたかった。主張は賛否両論あるでしょうけれども、単純に、違うものを見てきた人が格闘技を見ると面白いなと思ったのが掲載した理由でした。異論反論その他お便り、お待ちしております。

青木雄大　復活!!　復活!!

（青森県・青木雄大）「高山と小川と言ったらマット界屈指のツッコミ名人。試合前のトークプロレス開戦が楽しみ」➡すごい形相の高山。相方はみんないい人だとは思うんですけどね（フォロー？）。長尾はこれからもあの退場を貫くべきだと思います。やっちゃったものはしょうがない。健想の衣装も今後も続行希望。

（青森県・青木雄大）「中川画伯のエールにも元気づけられ、勇気づけられ、本当に僕は果報者であります。みなさんに心の底から感謝!!」➡iモードからも、復活を願う声が上がっていた青木雄大画伯。今後もよろしく。ターザン＆吉田豪イベントに登場した堀辺先生は凄かったらしいです。ナマ堀辺トークを聞けた人、よかったね。

（東京都・湯田静香）「山口会長さんは現実でみた方がかっこよいですネ」➡ほー……。伝えておきます。なんかシウバへの愛を感じるイラストですね。一時期は憎まれていたはずのシウバですが（桜庭戦のころはそうだったと思う）、今ではファンも増えたんだなぁ。時の経つのは早い。

（埼玉県・中川雅博）➡大活躍の中川画伯。今回はほんとにジョークがああなっている為にこの1点のみだ。最近はサル（葛西純）使いでもおなじみのドン荒川さん。画伯の新作イラストは「紙プロHand」で見れるよ。以上、宣伝でした。

（山梨県・貝戸夏也）➡ノーフィアーもう一枚。高山善廣、それにしても絵になる人ですね。

（鹿児島県・節政徹也）➡誰か間違えてくるだろうな、と思いながら書いた前々号の宛先「うこん竜巻」。節政くん、「うんこ竜巻」じゃないよ。ベルトを防衛し続けるカシン。4・12は、メイン終了後の乱闘時に、しっかり「潤」Tシャツを着てきているところがさすがと思いました。

（埼玉県・宮田浩司）➡どこかの雑誌の、真ん中へんのカラーページ風イラスト3枚。下書きしてあるということは「ウエスタンラリアットをもう一度」の文字は、ここに入れるべくして入れたのでしょうか。すごいセンスと決断力。

（神奈川県・大谷琴音）「59号で載せていただきありがとうございます」➡ちゃんとペンで描いてきてくれてエライ。かわいい邪道外道だなぁ。

おハガキ・お便り・メール大募集!!

あなたは、会社に泊まって昼頃起きようとしたら、来客と目の前のテーブルで打ち合わせが始まっていて、起きるに起きられなくなった事はありますか？　私はあります。気まずかったので、最近は会社に泊まることを己に禁止しています。さて、『紙プロ元気大学』では、春の眠気も吹き飛ばすような、元気あふれるお便りを大募集しています。GWに観戦した大会の感想などもお願いします。その他、すべての宛先は、メールは radical@kamipro.com

〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702（株）ダブルクロス
紙のプロレスRADICAL編集部　紙プロ元気大学「41歳の三冠初挑戦」係まで。

（本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！　プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によっては無断でこっちに載ってしまいます。匿名希望の人はその旨明記のこと）

（愛知県・たっつぁん）「ささきぃさんに強奪されないように、これはオトリの1枚です」➡なるほど。引っかかってみたぞっつーの。エディ・ゲレロだって～の。コメントが見よう見まねですみません。

➡本当に小学生なら、いいセンスだなと思うよりも、何か悪

【『紙プロ』60号・つまらなかった記事】

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第22回

shōgun

Hakaioh

マット界のド真ん中を行く『紙プロ』ZERO-ONEグッズシリーズ

ショーグンTシャツ

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

埼玉県坂戸市　**立川談スバーン**

★立川談スバーンはTシャツは要らないらしいので『ショーグンTシャツ』を抽選で1名様にプレゼントします。御希望の方はサイズ&『ほんとにジョーク』への御意見、御感想を明記のうえ「ほんとにショーグンTシャツ係」まで。
★『桜庭和志イラストTシャツ』発売中です!!　みんな買ってチョーダイ♥ http://www.takada-dojo.com
★『ボブ・サップTシャツ(Ver.4)』発売中です!!　みんな買ってチョーダイ♥ http://www.great-antonio.jp
★はじめてインタビューされました。5月6日発売の雑誌『フロムA』に載ります。恥ずかしい。
★見る夢は、すべて覚えていない欲張りな!?　中川画伯のコーナー、『ほんとにジョーク』にハガキを書こう!!　抽選で5名様に「中川雅博手づくりステッカー」、採用された方にはTシャツをプレゼント!!!　よろしくお願いしま〜す。

➡前号のTシャツ 初代&四代目タイガー

応募方法

プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S･M･L･XL)をハガキに書いて下さい。
〈例〉保田圭(モーニング娘。)のXL

BEST OF THE スタピーエフム™

Q.突然ですが、四択問題です!!

❶天龍源一郎＆大仁田厚
with永島事務員

❷セッド・ジニアス＆大仁田厚

❶〜❹の中で正式なタッグチームではないのは、何番でしょう？

（下の写真を逆さまにすれば正解が分かります。）

❸小池栄子＆水道橋博士

❹セッド・ジニアス＆グラン浜田

正解は③

正解は❸でした。小池栄子の正式なタッグパートナーは水道橋博士ではなく坂田亘。❶を選んだキミ！　まんまと引っかかったな？　確かにド真ん中の永島事務員は関係ないが、天龍と大仁田は邪龍同盟じゃあ！　❷を選んだキミ！　惜しいね！　この2人は4・27UNWディファ有明大会で対戦するが、同じジムで汗を流していたことがあるのでペケ！（かなり強引）。❹の2人は先ほど話題に出たばかりの4・27UNW興行でタッグを結成するので、これまたペケ！　それでは、また来月!?

男道コーチ屋稼業・
掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の

業☆勝ちます

『グラビアアイドル“ゆかりん”プロレスデビュー!?』の巻

グラビアアイドルで声優で時々ものマネなんかもやったりするタレント・福井裕佳梨をキミは知っているか？　俺は知っている！　よーく知っている！　思いっっっきり知っている！　何故かっつーとだな、ここ5年ほど、ゆかりん（福井裕佳梨のニックネーム）の追っかけをやってたからだ！　いや、マジで！　時に横浜のライブハウスで行われた、ゆかりん誕生日会イベントに完全にシロートとしてプレゼント（一升酒）持参で参加し、時に東京ビッグサイトで行われた、ゆかりん主演特撮ヒロインものビデオ即売会に現れて抽選で当たる主題歌CD欲しさに同じビデオを3本購入してアコムの借金限度枠をいっぱいまで増額し、時に写真集の特典についてくるトレカをコンプすべく神保町の大型書店に朝っぱらから並んだりしてたんだよ、いや、マジで!!

その！　まさしく俺のマイ・アイドルゆかりんが！　なんと「4月3日、井上京子率いる女子プロレス団体・NEO主催のNEO-1のリングに乱入するらしい」というホントなのかウソなのか全く判別の付かない怪情報をキャーッチッッッ!!!!!!　でも、アレレレ？　ゆかりんがプロレスや格闘技好きだという話は今まで足繁くゆかりんイベント通いして来た俺だが全然聞いたことないよ！　……いや！　きっとマジヲタすぎて今まで誰にも「ワタシ、プロレスの味方です！」と、正直に言うことが出来なかっただけなのだろう。わかる、わかるよ、その気持ち！　自分がプロレスファンだなんて知られてしまったら恥ずかしくて恥ずかしくて、第一回IWGP決勝戦ホーガンに鉄柱に額を強かに打ち付けられたアントンのように舌出して倒れてノビてしまいたくなるだけだもんね！　まして「ブラック・キャットは美しい」とか内舘牧子みたいなことをもし思ったとしても親兄弟以外の人間には絶対話しちゃいけないし、「ノアだけはガチ」とか思ってもまず口に出した途端それまで友達だと思ってた人間が手の平返したように何を言っても半笑いになるしね！　わかる、俺にはわかるよ。俺も「長州とトム・マギーの異種格闘技戦だけはガチだ」ってうっかり本音トークしちゃったら翌日から自分ん家の郵便受けに大量にキムチぶち込まれたりしたもんなぁ。でも大丈夫だ、ゆかりん！　今日だけはカミングアウトしてくれていいよ！　ホントは好きなんだろ？　プ・ロ・レ・ス・が！

というわけでNEOのリングに乱入する直前、ゆかりんのプロレスに対する本気でアツイ思いの丈を突撃取材！　福井裕佳梨とプロレス……繋がりそうになかった俺が愛する二つの点が、今過激かつ急激に結ばれる!!

♥

掟　オッス、ゆかりん！　毎度ドーモでーす！

福井　ゲッ！　ロマンポルシェ。だ！（十五歩くらい後ずさりして警戒し）こ、こんにちは！

掟　ゆかりんもハタチということで。もうすっかり〝裕佳梨ねぇさん〟になっちゃいましたね。

福井　（ビシッと敬礼ポーズで）はぁい、すっかりアネさんですよぉ〜。

掟　おっ！　敬礼！　永田みたいッスね〜！　ゆかりん、新日派だったんですか!?

福井　えあ？　ナガタ？　南田洋子さんのダンナさんですか？？？

掟　それはナガト（長門）洋之です。またまたトボケちゃって〜。……プロレス、好きなんでしょ？　よく観る団体は？　ボーゴさんのWWS？　鶴見五郎が青果市場でやってる国際？　それとも維新力が新エースのPWCとか？

福井　……あの、全日本の小島聡選手と一緒に、ラジオをやらせていただいているんですけれども。なので、小島選手のプロレスを見に行ったことは2回あります！

掟　フェイバリットは全日ですか！　そりゃあ、さぞかし天国の馬場さんもお喜びです！　で、小島選手の印象はどうですか？

福井　もう、とっても……リング上より、キュートな方で。全身にもう、キラリン！　とお花マークがついてます（笑）

掟　お花マーク！　コジマックスは可憐ですか？

福井　とても。でも、かわいらしいと言っていいのかなぁ。

掟　普段の小島さんのトークってどんな感じですか？　「おハガキいっちゃうぞバカヤロー！」「今日おハガキ読ませていただいた方には番組特製マグカッププレゼントしちゃうぞバカヤロー！」とかそんな感じですか？

福井　「（限りなく慈愛に満ちたやさしい口調で）ん〜、ゆかり〜ん」って。

掟　なんか、親が子供に言い聞かせるような口ぶりですね。

ビシッと敬礼ポーズを決めるゆかりん。そして、掟ポルシェと一緒に「気合いダーッ！」。最後は、“フクイフック”まで修得してしまったゆかりんのプロレスデビューの日は近い!?

福井　はぁい。スゴクやさしい方ですよ～。「生まれ変わったら犬になりたい」とも言ってましたぁ。
掟　それ、多分「生まれ変わったらまた新日に戻って犬軍団の一員になりたい」ってことですよ！　小原とゴタツ（後藤達俊）とともにスキンヘッドになって新日本隊に噛みつきたいんですよ、きっと！
福井　「コジ太」って名前がいいらしいです。
掟　もう来世の名前まで決まってんですか！　疲れてんのかなぁ、小島選手……。で、いきなり本題に入ります！　今日はなんとゆかりんが「NEO－1のリングに乱入する」んですよね!?　以前NEOにはアイドルの久志麻理奈さんが上がっているんですが、その時はですね、〝恥ずかし固め〟という客席に向かって大股開きさせられる股裂き技で負けてるんですよ。
福井　……（絶句）。
掟　今日もカメラに股間をおっぴろげジャンプするような屈辱的なことになったらどうします？
福井　（息を呑む）マ、マル禁印を。
掟　ダハハハハ！　股間をマル禁印で隠せと！（笑）　放送時にはちゃんとモザイクかけときますよ！　お客さんには丸見えだけど。
福井　しゃ、社長！　聞いてないよ～！

エッ！　ゆかりん、
プロレスやんないのぉ!?
なんじゃそりゃああ!!

掟　そんなことだとは知らずに、仕事受けたのかみたいな。でもホントにねぇ、プロレス好きが高じてついに試合にまで出ちゃうんですもんねぇ。見上げたモンですよ！
福井　え、いや、あの、特にプロレス好きということはないんですけれどもぉ……。
掟　いやいやいや、皆まで言うな皆まで言うな。プロレスファンってね、複雑なモノですよ、その辺はよーくわかってます。異教徒なんですよ、我々は！　口に出して愛を訴えるのを憚る気持ちはわかります！　闘ってるんだよね、ゆかりんも。世間のプロレスに対する色眼鏡と……。
福井　いや、あの、そんなに生で試合を見たことないですし……。
掟　じゃあ活字プロレスの申し子だ、ゆかりんは！『週プロ』と『ゴング』どっち買ってたの？　それとも『ファイト』派!?　GKよりも井上イズムだ！　通だね！
福井　ん～、正直、プロレスはあまり観ないのでよくわからないんですよ。
掟　大丈夫！　隠してもわかるって、今日のコスチュームの肩についてる薔薇のコサージュはイーグル沢井へのオマージュでしょ？　LLPWだ！　そーか女子プロが専門なんだ！　なるほどねぇ！
福井　じょ、女子プロ観るのは今日が初めてなんです。
掟　え？　そうなの？　あー、そっか！　ゼブラ柄のワンショルダーといえばバイソン木村だ！　やっぱゆかりんもユニバ好きだったの？　通だね！ゴーゴーバイソン！（チャッチャッチャチャチャ）さぁご一緒に！　ゴーゴーバイソン！
福井　？？？（呆然）。
掟　え？　違う？　……ああ、そうだよね！　ワンショルダーといえば当然浜さん（アニマル浜口）に決まってるよね！　乱入といえば、はぐれ国際軍団だ！　そういうことか！　じゃあここで一発、二人で気合い出しとこう！せーの！　気合いだぁー!!
福井　（わけもわからずとりあえず一緒に）気合いだぁーっ!!
掟　しかしそこはそれ、プロのリングですよ。気合いだけで勝てるほど甘いモンじゃありません！　乱入する前に必殺技つくりましょう！　福井なんで、〝フクイフック〟で！　フックはね、角度が大事。『リングにかけろ』のブーメランフックみたいなカンジで、腕をカックーンと福井の「フ」の形に鋭く曲げる！
福井　あら、ホントだ！
掟　これでガーンと相手をドツく!!
福井　あわわわわ。そりゃあ可哀想じゃあないですか～。
掟　な～に、対戦相手のパンドレッタなんてアイツら、これからプロレスやるのにカカトの高い靴履いて来てるんですよ！　そんなナメた奴等はガツーンと鉄拳制裁！
福井　あ、危ないじゃないですかぁ！
掟　ベアナックルは反則だとか言ってる場合じゃないですよ！　新日がバーリ・トゥードやる時代なんスから！
福井　いや、でもあの、必殺技とかいらないですよ。今日は別にプロレスやるわけじゃないんで。
掟　……へ？　試合しないの？
福井　（ニッコリ笑って）しないッス！
掟　でもあの……乱入するんじゃあ……。
福井　あのォ～ですね、ワタシはスカパー279chの〝MONDO21〟で『グラビアの美少女』という番組をやっているんですが、MONDO21には『衛星中立放送・パンドレッタ』というアイドル番組がもうひとつあるんですね。同じチャンネルにアイドル番組はひとつしかいらない！　ということで、番組タイトル統一を賭けてスペシャル番組『グラビアの美少女スペシャル』でパンドレッタの皆さんと対決することになったんですよ。そこでウチの助っ人としてNEOの美少女・松尾永遠さんと仲村由佳さんに出ていただこうと思いまして、そのご挨拶にきましたぁ！　ほら、「乱入」って言った方がなんかスキャンダラスでいーじゃないですかぁ～！
掟　じゃあ、ゆかりんがプロレスをやるわけでは……。
福井　ないですね！（ニッコリ）
掟　（頭を掻きむしりながら）なんじゃそりゃあああ!!!!!!
福井　私達グラビアの美少女＋NEO美少女軍とパンドレッタの戦いの模様は、4月下旬～5月リピート放送の『グラビアの美少女スペシャル』でお楽しみ下さぁ～い！
掟　乱入って、ただの番宣だったのかよォォオ!!!!

『紙プロ』発売時には、すでに初回分の放送は終わってしまっているが、リピート放送で「衛星中立放送・パンドレッタ」と「グラビアの美少女」＋NEOの美少女、どっちが勝ったか確かめるんだ！

おきて・ぼるしぇ■新作DVD『ロマンポルシェ。の独占！オトコの60分』（MUSIC MINE ￥3150）発売中！　イナゴの大群の中全裸で熱唱するプロモビデオや、人間の頭上でキャベツの千切りスプラッター・コントなど特殊映像てんこ盛り！

全国の気の利いたCDショップ、または物好きなオヤジの経営するビデオ屋などでさりげなく発売中。㊐MUSIC MINE ☎03・5774・5509

PART 2

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

書評の星座

前回、『暴露と闘え！　プロレスLOVE』を「希代のダメ本」と酷評したところ、著者の山口敏太郎氏が強硬な抗議をしてきたことを読者の皆様に報告したい。「吉田くんって　妖怪界で妖怪王がどれだけ血みどろの喧嘩やってきたか知らないんじゃないかな」「彼はたかが10年しか見てないですからね。私は30年近く見てるのに…」と自身の掲示板で息巻いているのを見ただけで正直ウンザリなんだが、次号で彼の主張を載せることでどちらが正しいのか判断していただく予定……というか、問題の本や彼の新作（なんと『ボブ・サップの謎』という、10年遅い謎本！）を立ち読みすれば小学生にでも答えはわかるはずだって！　そんな揉め事だらけの書評コーナー。　〈e-mail:go@kamipro.com〉

『久本雅美対談集　マチャミの今日も元気で』（潮出版社／1143円）

これは、どう考えても不自然すぎるぐらい創価大学出身のおさるを従えて番組に出演しがちな久本雅美が、雪村いずみや山本リンダといったやけに話の合いそうな面々とばかり語り合う、創価学会の雑誌『パンプキン』の連載対談をまとめ

た一冊である。

泉ピン子の愛読書が池田大作（池田大輔ではない）の『人生抄』だのといった知ったところで何の役にも立たないエピソードがたっぷり詰まったこの本をなぜ紹介するのかといえば、理由はただ一つ。

女子プロレス界に驚くほど学会員が多いから……ではなく、学会と関係なさそうな徳光和夫との対談がやけに面白かったというわけなのだ。

NOAHの若手選手と仲がいいらしい息子・徳光正行にも、著書『せんえつですが……。　徳光和夫の日常』（03年／幻冬舎）で異常なほどのギャンブラー＆巨人ファン＆矢沢永吉信者ぶりを暴露されていた徳さん。

温和な顔に似合わず、渋滞にハマってボヤくタクシーの運ちゃんを「いつまでぶつぶつ言ってんだこのやろう！　俺が渋滞の文句を言ったか？　言ってねえんだから、黙って目的地に行けよ！」と怒鳴り付けたりしていたそうだから、さすがは元・全日本プロレスの実況担当。やっぱりプロレス好きはハートが強いものだとボンヤリ思っていたら、なんとビックリ。

彼は大好きな野球中継で実況ミスをしたばかりに「決して好きではないプロレスへの人事移動」を日本テレビから命じられたとのことで、好きではないどころか「プロレスを軽蔑していた」ほどだったからすっかり「お先真っ暗」になっていたらしいのである！

久本相手に「**プロレスラーってドロップアウト組というか、ほかの世界で一流になれなかった人たちが集まっていて**」同じスポーツとは認め難い部分があり、「**プロレスそのものは8年間やってとうとう好きになれなかった**」と、やけに生々しい心情をに告白する徳さんなんか見たくないよ！

……と思ったら、正確にはジャイアント馬場のように「**挫折を経験した人たち特有の優しさがある**」ので「**レスラーは好きになった**」とのことだからまったく問題なし！

この辺りの複雑な感情については深く聞いてみたいので、今度は倉持アナに続いて徳さんがプロレスについてだけ語るインタビューをぜひとも『紙プロ』誌上で実現させたいものなのであった。ま、ギャンブル話もありでいいや。

『川田利明自伝　俺だけの王道』（川田利明／小学館／1400円）

ぼやき評論の第一人者・川田の自伝が、遂に登場！　それだけで期待は無駄に高まったが、キャラ的に近い（＝かつて三沢や蝶野らが水面下で行っていた全日本と新日本とのトップ会談から勝手に外されたタイプ）佐々木健介の名著『光を掴め！』（メディアワークス）と比べたら、リング上での直接対決とは異なり川田の完敗であった。

同じプロレスラーとして「**健介に対して思うのは、本当に一直線しかできない選手だということ。彼の試合はあまりかみ合わないものが多いと聞く**」と格下扱いする気持ちはわかるが、人間的にはどれだけ苦労（あからさまに怪しい占い師に1億着服されたりとか）しようともマイペースで笑顔を絶やさない健介の方が正直上だって！

そうゆうわけで、この本。世間では中学在学中に新日本の入門テストを受けたときのスパーリング話（「**いまだ現役のレスラー**」をヘッドシザーズで絞め上げ、「**今はあまり見かけないが一時期マスクをかぶって有名になった某選手**」の寝技も凌ぎ切ったが、最後は藤原組長に「**中学生相手に何もそこまでしなくても、というくらいにやられて、鼻血とかで身体中血だらけになってしまった**」とのこと）や、NOAH勢の離脱話ぐらいしか話題になっていないようなんだが、そんなことはどうだっていい。

後者にしても、2年半前にボクが『THIS IS NOAH』（アミューズブックス）で田上から聞いた、「会社と揉めて選手全員が契約保留にしていたのに、なぜか川田だけ先に契約していたから臨時の選手会には呼ばなかった」発言を裏付けるだけでしかないだろうし。

それなら何が重要なのかといえば、高校時代から「**三沢先輩ともあまり口もきかず、いつも静かにしていた。ほんとうは自分はすごくおしゃべりが好きなので、何かのきっかけですごくしゃべり出すと、逆に三沢先輩にうるさいといわれるようなこともあった**」という、いま打ち出している無口なキャラとは正反対の部分に尽きる。

つまり、三沢的に表現すると「周りと馴染まないやつで、よく先輩に殴られてた。喋らないのに一言多いやつなんですよ」という、思わず殴りたくなる気持ちもわかる余計なボヤキの数々に決まってるわけなのだ。

冒頭部分から、プロレスと出会うきっかけになった恩人であるザ・ファンクスについて、「**皮肉にもこのとき心打たれたファンクスは、今は俺のもっとも嫌いなレスラーたちなのだが。こんなこといっていいのかなあ**」と、いきなり余計な一言をブチかます川田。

新弟子時代、「**よく面倒をみてもらった**」りでやっぱり恩人である佐藤昭雄のことも最初は「**なんかいやな人だな、と思っていた**」と語ることからも、本当に一言多い男だというのはわかってもらえるはずだろう。

越中と三沢という2人の先輩のメキシコ遠征が決まれば「**なぜか寂しい気持ちになった**」と「**なぜか**」も加えて寂しさを訴え、それでいて「**越中さんがいなくなってしまい、本格的に馬場さんの付き人が始まった。といっても、今までもずっと越中さんの下でほとんど自分がやっていたようなものだったが**」とアピールする始末。

後のマッチョ☆パンプこと梅本和孝（カカオブランニングのボス）が新弟子として入ってきたときも、こんな長過ぎる愚痴を披露してみせるのであった。

「**案の定すぐ逃げ出してしまったのだが、そのとき俺のリングシューズを持って行ってしまった。梅本は京都のジムに通っていたのだが、そのジムにいたのが小橋健太で、梅本は俺にもらったといって、そのシューズを小橋にあげたらしい。後で小橋が入門してきたときに、俺のシューズを持っているというので不思議に思って聞いてそのことが分かった。小橋にはシューズを返せといったのだが、今になっても返ってこない……**」

もういいだろ、そんな古い話！

それは、梶原一騎の原作も無視して三沢タイガーのパートナーだった川田をタイガーマスク2号にしようと考えた馬場に「**おい、川田、タイガーマスクのコスチュームを作れ**」と言われた話にしても同様である。

「**シューズだけは時間がかかるので先に注文した。そしてシューズができてくるころ、マスクもタイツも注文しなければと思った時ぐらいに、なぜかこの話は消えた。この世界はこんなもんだ。でも出来上がってきたこのシューズはどうするの？　このお金のない時代に、シューズ代は自分にとっては痛かった。今天国にいる馬場さんに請求するわけにもいかないし……**」

……これって、もしかしてギャグ（菅原英幸調）？

そんな調子で、川田は冬木とのフットルース時代にしても、やっぱり「**入場のときにバンダナを投げ入れ**」ていたのが「**安いギャラのなかから、自分で買ってきて投げていた**」し、「**毎日毎日投げるので、出費が大変**」だったなどと、しみったれた愚痴をひたすら連発していくのだ。

「**渋谷の地下街とか、安い店を探して、1箱いくらとかでまとめ買いをしていた。毎日、自分のギャラを投げているようなものだから、当時の自分にしてみればかなりつらかった。ファンの人はいらなかったかもしれないが**」

ここまでくると、もはや単なる笑えないボヤキ漫談だって！　大谷の反対で、好きな言葉は「ネガティブ」？

カルガリーで川田の面倒を見たミスター・ヒトが、『クマと闘ったヒト』（メディアファクトリー）で「人間性としては、もう最低」「あんなもんアホだもん」「いちばん扱いにくい性格です。なんせ顔を見たら、馬場さんの奥さんの悪口を言っている」と川田を断罪しまくっていた理由も、これを読めば痛いほどわかるね、実際。

……と思ったら、「**カルガリーについても安達さん（ミスター・ヒト）の世話になるなよ、といわれ、カルガリーに向かうと、着いた空港には、何もいっていないのに、安達さんの奥さんが迎えに来てくれていた**」と、またもや川田が

余計なことを言っているのを発見！　試合を終えてヒトと車で帰るとき、雪で車が立ち往生したその一部で有名な話も、当然ボヤいていたわけなのだ。

この件をヒトは「川田のやつ、泣き出すんですよ。『おれ、なにも悪いことしてないのに』って。そんな気象のことなんて、誰が悪いわけでもなく、しょうがないことですよね。なのに、泣いてる。そんなの横で泣かれたら、おれだって、滅入ってくるし。『この野郎！』って、ほっぽり出して、雪の中へ埋めてやろうかなと思いましたよ（笑）」と著書で暴露していたんだが、川田に言わせるとどうやら真実はこういうことだったらしい。

「安達さんは日本でも有名なあの毛皮スタイル、その上にダウンジャケットも着ている。自分はというと、日本から持っていった薄いビニールジャケット。そしてエンジンをかけておくとガソリンがなくなってしまうというのでエンジンを切ってしまい、ヒーターも効かない」

気持ちはわかる。ただ、だからといって泣くなよ、川田！

なお、カルガリーではこんな国際交流もあったとのことである。

「そのころデビューしたばかりの、今ではWWEのスターのクリス・ベノワがまだ細かったので、3週間ぶりに大きくなって帰ってきた自分を見て、どうやったらこれだけ短期間でそんなに大きくなるんだと真剣に聞いてきた。たくさん食べただけなんだけど……。そんな彼も今ではあんな体になってしまうのだから凄い！　薬の力もあるのかな？」

本当に一言多すぎだよ！　しかも、そのついでに「トム・ジンクが『おまえ、ステロイドやってみないか』というので、怖いもの見たさでつい手を出してしまった」と、わずか3週間だけで終わったとはいえステロイド体験もカミングアウトするからスキだらけで最高だって！

ちなみに三沢との最後の三冠戦で右腕を骨折して王座に就くなり長期欠場するハメになったのも、実はこうも間抜けな理由だったそうだ。

「試合後のコメントでは『三沢さんのウラカン・ラナをこらえたときに折れた』といっていた。ところが本当のところは、試合開始5分ぐらいで、実戦で一回も使ったことのない裏拳を初めて使ったときに、当たり所が悪くて折れてしまったのだ。恥ずかしいので、試合後はあんなコメントを出してしまった」

これって、とことんまで川田らしい話だよなあ……。両目のブローアウト骨折で手術したときに、**「情けない話だが、医師の前で俺は1時間も泣き続けてしまった」**って告白も含めて、それでこそ川田。

ただし、ファンの夢が壊れるからそんなことは黙っていた方がいいなんて、わざわざボクが言うまでもない話だろう。新日に乗り込んだとき、**「永島さんに『健介をつぶすっていってほしい』といわれた」**ってセンスのない●●●●作りをバラしたりするのも同様なんだが。

高野俊二をジャーマンで投げたとき、**「自分の頭の上に彼の背中が乗っかって、歯がその背中に突き刺さって」**前歯が折れたエピソードを語るときにも、**「折れた歯を持って帰ってきて見たら、俊二の黒い皮膚が歯にくっついていた」**と、黒人兵とのハーフだからといってわざわざ「黒い」を付けて表現するほど失礼な彼氏。

自分でも**「本当に雑草のような人生だと思う。計算の立てられない、土壇場人生」**と振り返ってはいるが、もう少し計算するべきだと他人事ながらさすがに言いたくなった次第である。NOAH勢と別れることになったのも当然の話だよ。

天龍同盟でのバス移動中、サービスエリアに置いていかれてどうにか会場まで地力で辿り着いたとき、**「さぞかし俺の行方不明が騒ぎになっていると思ったが、みんな『何？何？』とかいうばかり。俺は忘れられたことすら忘れられていたのだ。失礼な話だ」**と川田は怒っているが、それも失礼どころか誰もが納得できる話だと思う。ボクが運転手なら絶対に川田を置いていくだろうし。

かつて三沢は「アイツがまた余計な憎まれ口を叩くから、思い切りぶっ飛ばして、うずくまっているところに階段の上から膝蹴りを入れたり」してきたと言って一部のファンを引かせたものの、だんだんボクには三沢の気持ちもわかってきたというか。要は自業自得だったんだろうなあ。

それでいて「ただ、川田はいくらやられてもケロッとしてるんですけどね」との三沢発言を裏付けるように、本人だけは呑気に**「プライベートでも三沢さんとは一緒に行動することが多く、三沢さんはどう思っていたかは分からないが、自分は三沢さんのことを慕っていたつもり」**と語ってたりするのであった。

……もしかして彼氏、ボケることでわざとスキを作って三沢に突っ込まれようとしてない？　いや、そう考えたらすべての合点がいくような気がしてきた。

つまり、ビザなしでアメリカ修行したときのことを**「これでアメリカに入れなかったら『訴えてやる！』（by上島竜平、俺の飲み友達だ）」**と文章化していた川田は、しみったれたボヤキや余計な一言を連発して激しいツッコミを受け続けるプロレス界のリアクション芸人（しかもボケ担当）みたいなものだったのに違いない！　そうに決まった！

それなら、三沢というツッコミの天才を失った川田が、だんだん輝きを失いつつあるのも頷ける話。人間的にはボケ担当の健介や武藤と絡んだところで、これまでのように輝けるわけもないのであった。……じゃあ、次に絡む相方は誰がいいんだ？　カシンか？　あとハンセンの帯文、適当すぎだよ！

ザ・検証

いま、一番笑顔が素敵なプロレスラーといえば佐々木健介で間違いない。「ド真ん中！」と言いながら餅をつく健介、通りすがりの人に雑煮を振る舞う健介。サンタクロースばりにビニール袋たっぷりのお菓子を背負う健介。会社に戻り、その日撮ったフィルムを現像すると、ほとんどがフォトジェニックな健介だった。やっぱり大好きッ!!

今月の検証 by せき詩郎

餅つきとは何か？

満面の笑顔で餅をつく健介とただ手を添えているだけにしか見えない長州のツーショット。この後、ジャンケンに勝ったら杵で叩き、負けたら臼でガードするという実にパワフルな「ジャンケンポカポカゲーム」が行われた（嘘）

とびっきりの笑顔で子供達に餅つき指導する健介。試合では決して見られない健介の楽しそうな様子にファンも大喜び。なおこの杵と臼は健介夫妻が輸入高級家具店で買ったもの（嘘）

華やかな餅つき大会の裏で、すっかりおばちゃんたちに溶け込みくつろぐ越中。得意のビートルズ話で場を盛り上げてるに違いない。男性は越中一人かと思ったらなんと長州も！　長州は後ろから見るとおばちゃんみたい。

会場のど真ん中を歩きながら、さわやかな笑顔で餅を運んでくる健介。一見軽そうに見えるが実はこのお盆だけで200キロはある。それを軽々持ち上げるなんてさすがはパワーウォリアーだ！　実にわかりづらい部分で幻想を守る健介（嘘）

餅つきの途中で行われたＷＪ大喜利大会。「どまんなか」であいうえお作文を作るお題で、良い答えが思いつかず、思わず隣の健想の答えを盗み見る健介。結局健介は答えずじまい（すべて嘘）

サイン会でも純真無垢な笑顔でファンサービス。ファンとの触れ合いも忘れない。この後、健介のお腹をパンチしたファンに対し反射的にラリアットを！　これがラリアットで闘魂を注入する『闘魂ラリアット』の始まりである（嘘）

餅つきに訪れたファンに満面の笑顔で餅を振舞う健介。これには若い女性ファンも大喜び！　しかしその陰であまりにもデレデレした健介に対し、北斗が餅は餅でもヤキモチを……（自信作）

ど真ん中を歩く長州に向かって「もっとはじっこ歩きなさいよ」と美川憲一が!?

というわけで餅つきである。4月6日にＷＪが道場を初公開し、その時餅つき大会が、休日を思い思いにのんびりと過ごしているだろう住宅街のど真ん中で行われた。反選手会同盟ばりの『決起』ともいえるこの餅つきには、関係者やファンはもちろんのこと、地元住民やたまたま通りかかった人、道に迷ってた人など多数集まった。

福田社長の「餅もど真ん中をつけよ！　ウチは、なんでもど真ん中だから！」との一言とともに、「ど真ん中！」の掛け声がこだまするＷＪならではの餅つき大会となったわけだが、この場にいる限り、今年の流行語大賞は「ど真ん中」ではないだろうかと思わず錯覚してしまうくらい、なんでもかんでもど真ん中で、あちらこちらから「ど真ん中」の声が聞こえる。餅つき中、合い取りの人が「どまん！」と言えば、つく人が「なか！」と叫ぶ。餅ができれば「できあがったでど真ん中」、食べる時には「いただきますで、ど真ん中！」、嬉しい時は「ど真ん中うれしい！」、酒井法子風に言うと「ど真ん中うれぴーー！」などと『ど真ん中語』まで飛び出した！　また「ちょっとど真ん中しすぎちゃったかな！？」と反省する者も現れれば、一方では「もしも細川たかしがど真ん中だったら！」とモノマネまで始まる始末。

などと全くの嘘を言ってしまいたくなるほど、ＷＪらしい餅つきであった。

そんな調子で餅つきは行われたのだが、肝心なのは餅つき自体ではない。なんとこの餅つき大会の準備を、前日からせっせと我らが越中が行っていたという情報を掴んだのだ！

「たかが餅つきの準備くらいでそんなに興奮するなんておかしい」と人はいうかもしれない。「あなたがただ越中ファンだから一人で騒いでるだけのこと」だと嘲笑さえされるかもしれない。だがその人たちに私は声を大にして、しかも何を言ってるんだかわからないくらいの早口で言いたい。喉元をチョップして面白い声を出しながら言っても良い。とにかく私は言いたい。

「餅つきの準備は大変な作業なんだ」と。

餅つきをするためにはまず前日に、餅米を研がなければならない。この日のプロ野球では阪神がヤクルトに12対5という大差で勝った。阪神ファンの越中は上機嫌で、ビートルズの曲（金沢明子「イエローサブマリン音頭」）を鼻歌で歌ったりなんかしながら研いだに違いない。

その後、一晩水に浸けて水分を吸わせなければいけない。これを充分に行わないと、次の蒸かしなどがうまくいかなくなり、良い餅にはならないのだ。それは時間にして約12時間程度。この12時間もの間、越中はじっと付きっきりで待っていたことだろう。一体何をしていたのか？

やはり室内での時間潰しといえばビデオ鑑賞であろう。越中が見るのはもちろん寅さん。「男はつらいよ」のビデオが一作約90分だとして、12時間だと8作見れることになる。まあ、いくら寅さん好きだからといっても8作連続はないだろう。途中「MAGICAL MYSTERY TOUR」を見ながら寝てしまったり、「おかしなおかしな石器人」のあまりのおかしさに笑い転げたり、あとはメル友に携帯でメールしたり、用もないのにコンビニ行ったりしていたはずだ。そう考えると越中にとっては決して12時間は長いものではなかったかもしれない。

12時間後、今度は米を蒸かす作業

自分の中では餅つき大会は大成功だったのか、達成感に満ち溢れた笑顔でコメントする健介。こんな顔の健介をみるのはいつ以来だろうか？　いやもしかしたら初めてかも知れない。このあと話は「餅つきによる世界平和」にまで及んだ（嘘）

ＷＪ所属選手の集合写真。ややど真ん中寄りでひときわ笑顔の健介。なお谷津、石井、マサ・サイトーは所用で欠席。たけし社長、松方部長等の元気商事社員も欠席。宮崎監督は「新作に専念したい」との理由で欠席。

なにやら難しい顔でサインを書く長州。確定申告時期の税務署にある特設テントのようにみえなくもないが、まるで路上で詩を書いて売ってる人にも見える。相田みつをみたいな変な字で書かれた文字はもちろん「ど真ん中」だ！（嘘）

サンタの正体は健介だった！　袋を担ぎ、子供が抱くサンタ像をぶち壊しながら公道のど真ん中を堂々と歩く健介。それを見守る北斗。この様子をみていたユーミンが名曲「恋人はサンタクロース」を作った話は有名であろう（嘘）

この日健介のファンサービスには終りなどなかった！　むしろ加速する一方。ついには餅とは無関係なお菓子を袋いっぱいに詰め、たまたま通りかかった人にまで配りはじめた。

この日手伝いにかけつけていた健介夫人の後ろ姿。写真ではわかりにくいかとおもうが、腰のバッグに入っている携帯のストラップはなんと健介ストラップ！　この夫婦愛！　家の親にも見習わせたいものだ。

ＷＪの旗とこの日つかれた餅。ほどよい甘さのあんこと独特の香りが食欲を誘うきな粉のセット。これには偉いお坊さんが思わず垣根を飛び越えて食べにくるほど。旗の後ろでは熱湯コマーシャルの出場者が着替え中（嘘）

つきたての餅で作られた雑煮。尋常じゃないほどのこのこしと粘り！　老人が食べれば一発であの世行きだ。プロレスを見てた老人がショック死した頃のプロレスブームを再来させる予感。

へと入る。まずは蒸かす前にざるで水気を切る。水気はしっかりと切らないと、こしのない餅になってしまう。こしがないと丸く形付けることが難しくなってしまうのだ。それだけは絶対に避けなければいけない！

体を使うことが商売の越中にとって、この作業はお手のものだろう。ざるを持ち、いつもの独特の動きをすればよいだけだ。ざるを片手に持ち、空いてる手で腰をパンッと叩けば、そのたびに水しぶきが飛び散る。指を立ててくるくるまわすお得意のパフォーマンスをするたびにまた水しぶき。または音楽に合わせながら、特に越中の好きなビートルズの曲（常田富士男「私のビートルズ」）に合わせながら、楽しくかつ軽快に水を切ったはずだ。水しぶきで虹ができれば、七色に光り、サイケな曲にぴったりな色彩になることだろう。

そして蒸かしに入るわけだが、蒸かしている間、大好きなビートルズの曲（伊藤銀次がカバーしたやつ）を聞きながらのんびり……なんてことはしてられない！　時々もち米の様子を見て、指でつぶして芯が残らない程度までしっかりと蒸かさないといけないのだから。この蒸かしが足りないといくらついてもいい餅にはならないのだ。気は抜けない。

次はいよいよ蒸かした米を臼に入れ、こねの作業に突入だ。この作業こそが餅つきの中で最も重要な作業といわれている。越中もそれを充分承知なのか、「必勝」と書かれたいつものハチマキを絞め気合を入れる。ここで餅が粘りを出してこなれる程度までしっかりこねておくと次の作業が楽になるのだから、入念にならざる得ないであろう。

ここまでくれば後は餅をつくだけ。餅をつく越中。得意のヒップアタックで、杵を使わずに己の臀部で餅をつこうとするも、目測を誤り、着地に失敗！　餅は餅でも、尻餅をついちゃっうかも!?（我ながら会心のでき）

以上、理解いただけたろうか？　餅をつくにもこれだけの時間と労力、そしてビデオとＣＤとハチマキと、あと携帯とかが必要となるのだ！　これらをすべて越中一人で行ったというのだから、いやはや恐れ入る。それと同時に流石は我らが越中だと感心してしまう。

そういうわけで、ど真ん中の「中」は越中の「中」！　餅つきと関係のないまとめで終了！

今月の検証　by 椎名基樹

ルールオタク作戦オタクは佐山チルドレン

「目だ！　目を狙え！」とミラーマンばりに、ミルコはサップの目を狙い撃ちしたように見えたけど、考え過ぎかな？　でも、最後の左ストレートすごくショートで置きにいくようなパンチだったよね。試合前、ミルコは「弱点を見つけた」と言っていて、それはボディーの弱さ＆スタミナの無さなんて報道されていたけど、ミルコ自身は「目」と考えていたのなら、エゲツなくって最高だね。目は誰だって弱点だよ。でも、打撃の技術がなく、的もデカいサップなら目を狙い打ちできるハズと考えて作戦を立てたなら、ミルコとその周りの参謀たちの頭の良さとエゲツなさには頭が下がる。

俺自身も「もし闘わば」で無駄な作戦を考えるのが好きだから、「目を狙え」は目から鱗でした。そういう手があったかあ、あったまイイ〜、と感動。

ミルコの試合は、異種格闘技的な要素が多いから、いつも入念な作戦が練られていて、その後、迷いのない入念な反復練習をしていることを感じさせる。そして、その作戦がこれまで大抵ズバリなのだ。藤田の初戦とか。だから、いつもファーストコンタクトに緊張感があって面白い。どんなスポーツでも、ファーストコンタクトは試合を優位に進める上でもっとも重要で、必ず隙ができる部分だと思うので、その部分に緊張感があるミルコの試合がいつも面白いのは当然かもしれない。

前述の「もし闘わば」がルール的に組み込まれてしまっているんじゃないかな？　と思わせたのが、アブダビコンバットの日本予選だった。ジャッジもいい加減で、納得できない部分が多かったのは、ご承知の人も多いだろう。それも全てとても複雑なルールが原因だと思う。最初、パンフのルール説明を読んで、引き込みマイナス1Pと書いてあるので、これで柔術の選手がレスリングの選手に勝てるのだろうか？　と疑問に思った。ヒカルド・アローナやBJ・ペンのように寝技の技術はさほどとは思えない選手が、その天性のテイクダウンの技術で頂点に立つのを見ると、ポイント制の組技格闘技では、テイクダウンが勝利を決める分かれ目になると感じるからだ。

しかし、もっとよく読むと、試合の最初の10分間はポイントを付けないとある。つまり、レスラーがタックルを決めてもポイントにならず、寝技の攻防になり、柔術家が引き込んでもマイナスはつかず寝技の攻防になるわけだ。柔術家はもっとも怖いテイクダウンでのロストポイントを避け、10分間固めた後、得意の寝技でスイープを狙って行くことが勝利への近道になると思う。

10分間はポイントにならないというルールは、お互いに積極的に極め合うためだというが、実は主催者側（柔術側）が、引き込みマイナス1Pとして組み技の最大公約数的なルールだと見せかける、マジックなのでは？　と言ったら疑い深過ぎだろうか？（これは、柔術批判じゃないよ！）。まあ、考えすぎだとは思うが、それほど「10分間はポイントにならず」は無駄なルールってことです。もっとも、レスラーも10分間、絶対にタックルに行かず、引き込みもさせないで、10分間ケツを向けて走ってでも体に触れさせなきゃいいんだけどね。今回の日本予選でモメたのも、最初の10分間で引き込みをした選手に審判がマイナスを付けたことが原因だった。何もかもよく飲み込んでないまま日本に連れて来られてしまった外人審判団は、どこか昔公園で見かけたヨーヨーチャンピオンを思い出させるのだった。

最後に『PRIDE25』のことも書いておきたい。あの興行は凄く面白かった。テレビで観たら凄く面白かった。特に、ノゲイラvsヒョードルのタイトルマッチは興奮した。しかし、バリバリのリングスファンだと思っていた自分が、迷い迷いであるがノゲイラを応援してしまっているのには驚いた。すっかり柔術に心が傾いてしまっている。あの下になってボロボロになりながら極める（ノゲイラvsサップ、ホイスvsスバーン！）勝ち方は、最高にカタルシスがあるし、アブダビ予選で観た桑原選手のような、下からめくる技術は感動的であり、すっかり魅せられて（byオング）しまっている。でも、あの試合30分1本勝負くらいで観てみたいなあ。そもそも、アレクvs山喧とタイトルマッチが同じ時間って変じゃない？　アンダーカードは時間が短くていいのでは？　それはともかく、テレビで観たら面白かったと書いたのは、会場ではどこか居心地の悪い感じがしたからだ。特に、ジャクソンvsランデルマンなんかで客がピーピー言い出したのを受けて、レフェリーがイエローカードを出して、その後すぐに試合が決まってしまったりするのを観ると、ツマンネーな、興奮を自分たちで小さなモノしてしまっているように感じた。

3・30埼玉スーパーアリーナでのサップvsミルコ戦。ミルコの左ストレートの前に苦痛の表情を浮かべながら崩れていくサップを見て、ガファリばりにコンタクトがずれたと思った人も多いだろう

サップvsミルコ戦と同日に行われたアブダビ日本予選。明らかに勝ったと思われる選手が負けたり、いい加減なジャッジに観客も困惑。ZERO-ONEの崔リョウジの兄貴も出場したが残念ながら一回戦負け

2003 04 05
18 val.

Vilniaus koncertų ir sporto rūmuose

pristato:

4

FIGHTING NETWORK RINGS LITHUANIA

THE BATTLE FIELD ZST

www.bushido.lt

SEPTINTASIS TARPTAUTINIS BUŠIDO - RINGS TURNYRAS

ADRENALINAS

LIETUVA - JAPONIJA

9 kovos

SUPERKOVA
Egidijus Valavičius VS Fiodor Emeljanenko

格闘黄金郷（エルドラド）
リングス・リトアニア

現地潜入徹底リポート

4.6 BUSHIDO-RINGS "ADRENALINAS"
リトアニア・ヴィリニュス スポーツセンター

リングスは死なず!　遠くリトアニアで大輪を咲かせていた!
『PRIDE』新王者ヒョードル、そして小谷、矢野、今成、所のZST四天王が参戦した
4・5リングス・リトアニア大会『BUSHIDO-RINGS』を取材すべく、『紙プロ』がリトアニア初上陸!
そこには、「国民の間で2番目に人気のスポーツがリングス」という格闘ユートピアが広がっていた!
この22ページ大特集はまさに格闘技のゴールドラッシュだ!

現地取材、構成&撮影／堀江ガンツ　designed by matsu(Two three)

リングス凱旋

格闘黄金郷
リングス・リトアニア
現地潜入徹底リポート

o Fedor
エメリヤーエンコ・ヒョードル

皇帝

衝撃のPRIDE王座奪取から3週間……
リングス・バルト三国王者に完勝!!

皇帝ヒョードル、"リングス"に凱旋！3・16『PRIDE.25』でノゲイラを破り、世界最強の座についたヒョードルが、そのわずか3週間後の4月5日、リングス・リトアニア大会に出場。メインイベントでリングス・バルト三国王者ヴァラビーチェスを2Rアームロックで一蹴した。皇帝が次に見据える先にいるのは、ミルコか、サップか……いや、藤田和之だ！

聞き手&撮影／堀江ガンツ

designed by matsu(Two three)

PRIDE HEAVY WEIGHT CHAMPION

Emelianenko

リトアニアで直撃取材！
ミルコ、サップ、そして……
藤田和之を語った！

ヒョードル　今回はリトアニアまでわざわざ取材に来ていただき、ありがとうございます。

——いやいや、こちらこそ試合の直前なのに取材を受けていただいて、ホントにありがとうございます！（このインタビューは4・5試合前に収録）ノゲイラ戦から3週間しか経っていませんけど、体調は大丈夫ですか？

ヒョードル　体調はまったく問題ないです。今回のリトアニアでの試合は、ノゲイラ戦が終わるまで参戦するかどうか決めていなかったんですけど、幸いほとんどダメージを受けずに済みましたんで、予定通り参戦することにしました。

——それにしても「最強の王者」と呼ばれたノゲイラに勝って、その3週間後にまた試合をするというのだから、これは驚きですよ！　そのノゲイラを破り新王者となって以来、日本でヒョードルさんの人気が凄く上がっているのは、ご存じですか？

ヒョードル　少し知ってます（微笑）。

——少しですか（笑）。実はヒョードルさんのTシャツもあれ以来、非常に売れ行きがいいんですよ。

ヒョードル　へ～、そうなんですか。それは非常に嬉しいですね（ニッコリ）。

——ヒョードルさんの地元での反響はどうですか？

ヒョードル（無言で照れ笑い）……なんと言ったらいいんでしょう。

パコージン（ロシアン・トップチーム代表）ヒョードルは自分のそういうことを話すことを照れるから、私から喋らせてもらうよ（笑）。

——あ、よろしくお願いします（笑）。

パコージン　ヒョードルが『PRIDE』の世界チャンピオンになるということは、もちろん皆が待ち望んでいたことで、ロシアでも多くの人が喜んでいるよ。しかし、それ以前にヒョードルはコマンド・サンボの世界チャンピオンでもあるんだ。ちょうど今年はサンボが誕生して65周年という記念の年でもあるし、そういった意味でヒョードルは、『PRIDE』王者になったというだけでなく、コマンド・サンボの世界王者であるということも含めて、多大なる尊敬を集めているよ。

——あ～、なるほど。そう言えば、ノゲイラ戦の3ヶ月前にコマンド・サンボの世界大会でも優勝していたんですよね？

パコージン　だからヒョードルの住んでいるスターリンオスコールという町は、非常に小さな町で、ロシア人でも知らない人が多いような土地だったんだが、ヒョードルがコマンド・サンボの世界チャンピオンに就いたことで、『チャンピオンの町』としてロシア全土に知られるようになったんだよ（笑）。

——ほぉ～、スターリンオスコール＝ヒョードル・シティーですか（笑）。

パコージン　そうだよ。スターリンオスコール始まって以来の有名人だからね（笑）。なぁ、ヒョードル？

ヒョードル（ただただ照れ笑い）

——もともとロシアにはハンやコピィロフなど凄く人気がある選手がいましたけれど、それに代わる世代としてロシアでも彼の人気が上がっているわけですね？

パコージン　そうだな。ハンやコピィロフは強い選手だが、残念ながらすでに年齢的なピークはとうの昔に過ぎてしまっている。だから、ヒョードルは新しい世代の新しいスターと言えるだろうね。

——パコージンさんは、初めてヒョードル選手に会ったときに、こんなに強くなると思いましたか？

パコージン　最初に会ったときには、もちろんヒョードルが世界チャンピオンになるという予感などはなかったよ。しかし、彼を知るようになって、「この男は強い忍耐心を持っているな」と思ったんだ。だから、彼が自分に打ち勝つことができれば非常に強い選手になるんじゃないかとは感じていたよ。

——強くなるためのハートを持っていたということですね。そう言えば、コピィロフさんもヒョードルさんのことを「努力家」と呼んでましたよ。

パコージン　そうだろう？　とにかくヒョードルは練習熱心なんだ。そして、彼はロシアの期待を背負い、多くのコーチから厳しいトレーニングを課せられているが、泣き言は決して言わない。彼についているコーチは一人や二人じゃないんだよ。トレーナー全員の名前を挙げたら、とても1ページや2ページじゃ収まらないくらいの人間からトレーニングを受けているが、ヒョードルはその一人一人が課すハードルを超えていった。だから、いまの彼があるんだよ。

——なるほど。今回の勝利は数多くのトレーナーの期待に応えた結果なんですね。

パコージン　それからヒョードルはロシアの第2世代にあたるから、第1世代の選

3・16『PRIDE.25』で新王者ヒョードルに挑戦を迫ったボブ・サップだが、3・30K-1ではミルコに1RKO負け。すると今度はミルコが試合後、ヒョードル戦をアピール。はたして今年のマット界の軸になるであろう、この三つ巴はいつ実現するか？

4.5 Rings Lithuania

リングス・リトアニアのよくわからないタイトルマッチも開催！（国内王座らしい）王者ミンダウガス・クリカウスカスは、前大会でコーチキン・ユーリーをKOしたハードパンチャー。挑戦者タデウサスの寝技に延長Rにもつれこむ苦戦をしいられたが、判定勝ちで見事防衛。

大会のオープニングは日本同様、全選手入場式からスタート（写真・上）アーミーを羽織ってリング下に待機するBUSHIDOガールズも実にいい感じです（写真・右）。

4・5リングス・リトアニア大会が行われた、ヴィリニュス・スポーツセンターはご覧のような大会場。形としては後楽園ホールをドドーンと4～5倍にしたような感じ。観衆は5000人（主催者発表）。

手たちの経験を知識として得ることができたことも大きいよ。これまでバーリ・トゥードという競技でブラジル人選手は非常に優れた闘いをしてきたことは我々も認めているが、彼らにロシア第1世代は敗れながらも、敗北の中からいろいろ学ぶことができた。ヒョードルはそうやって先人が得た知識と、自分の持つサンボ、コマンド・サンボの技術を上手く融合し、その力を見事

弟のアレキサンダーは私より身体が大きく、技術的には私と同レベル。『PRIDE』でもかなりの力を発揮するでしょう

な形で発揮することができたんだよ。

――ロシア第1世代から、ヒョードル選手へ技術がバトンタッチされたんですね。

パコージン　これまでリングスを舞台にハン、コピィロフ、ミーシャ、ズーエフは大活躍してきた。しかし、ズーエフは引退し、ハンは41歳、コピィロフとミーシャも30代後半だ。彼らには以前のような若い肉体はないが、技術と知識はある。その蓄えが26歳のヒョードルを強くしているんだよ。いや、ヒョードルだけじゃなくロシアの若い世代は着実に育ってきている。実はヒョードルの弟が『PRIDE』参戦への準備を始めたんだよ。

――ヒョードル選手に弟がいたんですか！　それはやはりお兄さんの活躍に影響されたわけですか？

ヒョードル　まぁ、そうなりますね。彼はいま私のスパーリング・パートナーとして、すでに非常にハードな練習を積んでいますから。影響は強く受けてるでしょうね。

パコージン　彼にとってヒョードルは兄であると同時に、一番の先生だよ。

――名前はなんというんですか？

ヒョードル　エメリヤーエンコ・アレキサンダー。年齢は21歳ですね。

――アレキサンダー！　あのカレリンと同じ名前じゃないですか（笑）。

パコージン　その通り！　強い男の名前だよ、ワッハッハッハ！

――ヒョードル選手から見ても、アレキサンダーはかなり強いんですか？

ヒョードル　まだハッキリとは言えませんが、私が弟に稽古をつけたりしていて感じることは、身体も身長が190cm、体重110kgと私より大きいですし、何か自分より優れたものを持っているのではないか、と感じています。それに彼はサンボのロシアと欧州のJr.チャンピオンですから、技術的側面だけで言えば私と同じくらいのレベルですし、ファイトスタイルも私と同じなので、『PRIDE』でもかなりの力を発揮するのではないかと期待しています。

――それは強そうですね！　では、愚問かもしれませんけど、ヒョードル選手はノゲイラ兄に勝ちました。アレキサンダーはノゲイラ弟に勝てますか？（笑）。

ヒョードル　ハハハハ、そのカードが実現する可能性はあるでしょうね（笑）。実際、弟もその対戦を望んでいます。ノゲイラの弟も非常に強い選手ですが、アレキサンダーと対戦したら、相当苦しめられるでしょうね（微笑）。

パコージン　アレキサンダーとノゲイラ弟が闘った場合、相当な災難をもたらすことは間違いないだろう。それだけでなく、アレキサンダーは非常に潜在的な強さをもっているので、闘い続けることによって、歴史に残る選手になることは間違いないよ。

――アレキサンダーのデビューはいつごろを考えていますか？

パコージン　まだハッキリとその質問に答えることはできないが、我々は急ぐつもりはない。これから時間をかけて、アレキサンダーのためにさまざまなトレーニングを行って、彼の持っている大いなる潜在能力を十分に引き出し、デビューはそれからの話になるだろう。スポーツの世界では急ぐ必要はないんだ。彼が選手として熟成する瞬間というものがあるだろうから、その瞬間にデビューさせたい。『PRIDE』のような大きな舞台に彼を立たせるには、そういった選手を熟成させる期間というものが必要だと思う。

――それにしても、兄弟2人ともそれだけ強いということは、お父さんも強かったりするんですか？（笑）。

ヒョードル　いやぁ、ウチはお父さんより、お母さんの方が強いかな（笑）。

――最強はヒョードル選手のお母さんでしたか！（笑）。

パコージン　ワハハハハ！　彼女の名誉のために言っておくと、ヒョードルのお母さんは非常に優しい女性で、彼女の強い愛がヒョードルを育てたんだよ。それからヒョードルにはアレキサンダーの他にも30歳の兄と14歳の弟もいる。これだけ強い男たちを生んで育て上げたお母さんには感謝しないといけないよ（笑）。

――最強の男を育てた母ですからね（笑）。

ヒョードル　ひとつ、私の方からも質問いいですか？

――はい。どうぞどうぞ。

ヒョードル　『PRIDE・25』の試合後、ノゲイラにインタビューした人がいたと思いますけど、ノゲイラは私との試合についてどんな風に語っていましたか？

ミルコとの対戦は避けられないでしょう。フジタ？　誰ですかそれは

――いや、ノゲイラは試合後、病院に行ったんでインタビューはすべてキャンセルしたんですよ。その代わり彼の師匠であるマリオ・スペーヒーがコメントして、「ヒョードルはホントに強い。我々は彼を目標にしてもっと強くなります」と言ってますね。

パコージン　そうかそうか（満足げな笑み）。

ヒョードル　なぜ私がこんなことを聞いたかと言うと、彼に勝った後、「ノゲイラとの再戦は受けますか？」という質問をよく受けるんですよ。だから、ノゲイラが敗北をケガか何かの理由にして、みんな私の勝利はフロックだと思っているのではないかと思っていたんです。

――いや、別に「再戦しないんですか？」という質問も、ヒョードル選手の勝利にケチを付けているわけではなくて、ノゲイラはずっと"最強の男"と呼ばれていましたから、リターンマッチが実現すればまた注目されるだろうというだけですよ。

ヒョードル　そうでしたか。私自身は彼との再戦になんら問題はありません。それから私もスポーツマンですから、負けて選手が強くなることもわかっています。私がノゲイラを研究したと同じように、次に闘うときはノゲイラも私のことをもっと研究してくることでしょう。ですから、彼がまた王座に挑戦できるポジションに戻ってきたときに、彼とは闘います。

――では、今日の試合（4・5リトアニア）についても少し聞きたいんですけど、対戦相手のエギリウス・ヴァラビーチェスをどう評価してますか？

ヒョードル　実際に闘ってみないと本当に強いかどうかはわかりませんが、試合を見る限りヴァラビーチェスは非常に優れた選手だと思います。彼の試合は日本で2度見ていますが、日本人選手（滑川康仁）にパンチでKO勝ちしましたよね。もう一試合はオーストラリアのヘイズマンと対戦し、その時は残念ながら敗れてしまいましたが、それは彼が肩に怪我をしていたことが原因だと知っています。そして、その後、私もヘイズマンと闘いましたが非常に強い選手でしたので、ヴァラビーチェスもきっと強い選手なのでしょう。

――今回はグラウンドでの顔面パンチが禁止で、ロープブレイクもありのリングスルールですが、それは問題ありませんか？

ヒョードル　もう忘れてしまったんですか？　私はリングスのヘビー級と無差別級のチャンピオンですよ。この闘いは非常に私の得意とすることです。まったく問題はありません。確かに、いま私は『PRIDE』での闘いに没頭し、ノールールで本能の赴くままに闘っていますから、禁止事項があるルールは少しやりにくい部分はありますが、それがマイナスになるとは考えていません。

――なるほど。では、今日の試合も期待してます！　日本では早くも、ヒョードル選手の次の相手が誰になるのかが話題となっていますが、つい5日前にボブ・サップがミルコ・クロコップにK-1の試合でKO負けしたんですけど、それはご存じですか？

ヒョードル　（試合のVTRは）見てませんが、話は聞きました。

――あのボブ・サップが1RでKOされたんですけど、その結果についてはどう思いましたか？

ヒョードル　順当な結果でしょうね。K-1は非常に専門的な技術が必要な競技だし、なによりサップはみんなが言うほど強い選手だとは思いませんから、その結果を

闘い終わって控室で健闘をたたえ合うリングス・ロシアとリングス・リトアニアの若き両エース。ちなみに左の美女はヴァラビーチェスのフィアンセだ。(写真・上)　大会終了後、多くのファン（中には選手も）に囲まれサインするヒョードル。いまや旧ソ連圏の英雄だ。

4.5 BUSHIDO-RINGS
."ADRENALINAS"

～リトアニア・ヴィリニュス スポーツセンター～

SUPER FIGHT

エメリヤーエンコ・ヒョードル
［リングス・ロシア］

［2R チキンウイングアームロック］

エギリウス・ヴァラビーチェス
［リングス・リトアニア］

①

⑤

③

②

④

①グラウンドでの顔面パンチが禁止（ロープレスケープもあり）のリングス（KOK）ルールでもヒョードルの強さは変わらず。常に上のポジションをキープし、ド迫力のボディパンチを打ち下ろす。
②1R終了間際には、珍しいアキレス腱固めにトライ。『PRIDE』のリングでは見ることができない、ヒョードルの関節技が見られた貴重な一戦となった。
③スタンドでの打撃に活路を見いだそうとしたヴァラビーチェスだったが、スタンドでの間合いが抜群にいいヒョードルは、すぐさま距離をつめてテイクダウン。結局一発もパンチを浴びることはなかった。
④2R2分過ぎ、マウントを取ったヒョードルは腕十字へ。しかしそれがすっぽ抜けると、すぐさまサイドを奪い、そのままアームロックで一気に捻りあげた！　ヴァラビーチェスはロープエスケープする間もなくタップ！
⑤レフェリーのドナタス代表に手を挙げられるヒョードル。まさに完勝だった。

ミルコvsサップは順当な結果ですね。サップは皆が言うほど強い選手だとは思いませんから

聞いてもあまり驚きはしませんでした。
——は～、予想どおりの結果でしたか。そして、勝ったミルコが「今一番闘いたいのはエメリヤーエンコ・ヒョードル」と発言したんですけど、ヒョードル選手はミルコにどんな印象を持っていますか？
ヒョードル　私が彼について知っていることは決して多くはありませんが、K－1の強い選手であること、そしてバーリ・トゥードでいまだ負け知らずであることは知っています。私も『PRIDE』では負けたことがありませんから、彼とトップの座を賭けて闘うことは避けられぬ事だと分かっています。その闘いがいつになるのかはまだわかりませんが、来るべき日に備えて、トレーニングを続けるだけですね。
——ミルコとは別にもう一人、日本人の藤田和之選手が、6月にヒョードル選手との対戦を希望しているらしいんですけど、彼のことはご存じですか？
ヒョードル　カズユキ・フジタ？　聞いたことがないですね。
——聞いたことないんですか⁉　日本では有名な選手なんですけど。
ヒョードル　フジタ……オリンピック・チャンピオンですか？
——オリンピックには出てませんが、日本選手権王者ですね。
ヒョードル　柔道ですか？
——いや、レスリングです。ホントに全然、知らないみたいですね（苦笑）。
ヒョードル　最近はどんな選手と闘っているんですか？
——一番最近だと、去年の12月31日にミルコ・クロコップと対戦して、判定負けしてますね……っていうと、あまり強そうじゃないですけど（笑）、日本のヘビー級では1、2を争う強豪選手ですよ。
ヒョードル　そうですか。私はいろんなタイプの選手と闘いたいので、強い選手なら相手は誰でも構いません。それに『PRIDE』に出場する選手はどんな選手でも、ある意味強く、尊敬に値する選手だと思っています。だから、試合が決まったらどんな相手にも敬意を持って、プロフェッショナルとしてできるだけの準備をし、あらゆる角度から相手を研究して闘おうと思っています。
——では、時間もないので、最後に『PRIDE』王者になったいま、次の目標を聞かせてください。
ヒョードル　そうですね……、これまでの私は自分自身とロシア、そしてチームのために闘い、ハードなトレーニングをして、そして『PRIDE』王者になる夢が叶いました。ですから、これからは王者として、よりファンに夢と喜びを与えられるようになりたいですね。そんな試合をしていきたいです。
——いやぁ、王者になると言うことも違いますね（笑）。では、今日は試合当日にも関わらずありがとうございました！
【03年4月5日（現地時刻）リトアニア・ヴィリニュスのホテルにて収録。一部後日電話取材を再構成】

Emelianenko Fedor
1976年9月28日、ウクライナ出身。柔道とサンボでロシア選手権優勝。リングスではヘビー級と無差別級の2冠を制す。昨年から『PRIDE』に参戦。3月16日、遂にノゲイラを下し第2代PRIDEヘビー級王者となった。182cm、107kg。

試合当日にも関わらず、朝食後に嫌な顔ひとつせずインタビューを受けてくれたヒョードル。この夜、行われたリングス・リトアニア大会では、リトアニアヘビー級のエース格であるヴァラビーチェスを完封し、2ラウンド、アームロックで見事な一本勝ち。まさに格の違いをまざまざと見せつけてくれた。
そして、その試合翌日、再び朝食後に前日の試合についての感想を述べてくれたので、ここに掲載しておこう。

——昨日の感想を聞かせて下さい。パーフェクトな勝利したね？
ヒョードル　そうですね（微笑）。
——自分の思い通りでしたか？
ヒョードル　（微笑みながら軽く頷く）
——関節技は狙ってましたか？
ヒョードル　それは狙ってました。
——それはやはり彼の立ち技を警戒してですか？
ヒョードル　トレーナーの助言として、ヴァラビーチェスと闘うなら、立ち技より寝技で闘う方がいいだろうと言われたので、その通り闘いました。フィニッシュはアームロックだけを狙っていたわけではありませんが、彼も非常にディフェンスが堅く、アキレス腱固めや腕十字固めを極めさせてもらえなかったので、アームロックに切り替え、それが成功しました。
——今回、リトアニアで闘いましたが、やはり日本だけでなく世界中で闘っていくつもりですか？
ヒョードル　私はファイターであり、チャンピオンですから。オファーがあればこれからも世界中どこでも闘います。ただ、日本での闘いを最優先するつもりです。
——次の試合はいつになりそうですか？
ヒョードル　6月に『PRIDE』に出るつもりです。それから6月には私の兄弟子であるイリューヒン・ミーシャも初めて『PRIDE』のリングに上がる予定ですから、ゼヒ日本のファンのみなさんにもよろしくお伝え下さい。

各方面に問い合わせが
殺到しているようですが……

皇帝ヒョードルとロシアン・トップチームTシャツは『紙プロ』通販で買えます!!

『紙プロ』通販方法

- ★TPOにあわせて選べる通販方法
- ★消費税サービス
- ★全国どこでも送料一律500円（離島、山間部は除く）
- ★代引御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

代引
郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを

kapra@kamipro.com

まで送り下さい。
申し込みメール確認後、佐川急便にて発送。代金引換でのお受け取りになります。商品代金のほかに送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）代引手数料約¥315がかかります。（代引金額によって異なります）。）御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

現金書留
希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を現金書留で

〒151-0051
東京都渋谷区
千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

まで送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

郵便振替
希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を郵便振替で送り下さい。

郵便振替の宛先は
00130-3-769154
（株）ダブルクロス

郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

●問い合わせ●
（株）ダブルクロス 03-3403-5188

『PRIDE』オフィシャルサイト、神田・『グレート・アントニオ』でも販売中（ハンTシャツ除く）。

エメリヤーエンコ・ヒョードルTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

The last emperor
Emelianenko Fedor
BACK

ロシアン・トップチームTシャツ〈レッド〉
¥3,800 S or M or L or XL

RUSSIAN TOP TEAM
BACK

ロシアン・トップチームTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

RUSSIAN TOP TEAM
BACK

ヴォルク・ハンTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or SOLD OUT

残りわずか!

VOLK HAN
Submission Illusion

日本から約12時間の長いフライトでデンマーク、コペンハーゲンへ。空港近くのホテルで一泊したのち、さらに空路１時間半。この丸１日半という時間をかけてたどり着いた国が、格闘黄金郷リトアニアだ。

ヴィリニュス国際空港に着き、簡単な入国手続きの後ゲートを出ると、リングス・リトアニア代表ドナタス・シマネイティス氏が満面の笑みで出迎えてくれた。

代表自ら空港に出向き、その後、食事や観光、練習場への送迎までしてくれる姿に感謝すると同時に感動。このドナタスの行動力と情熱こそがリングスをリトアニアで発展させた最大の要因であることを、リトアニアに４日間滞在する中で確信した。

現在、リトアニア国内での格闘技（武士道＝リングス）の人気は驚くべきことに、バスケットボールに次いで２位。ヨーロッパで特に人気が高いメジャースポーツ、サッカー以上の人気を博しており、隣国ロシアのヴォルク・ハンはその名を知らぬ人はいないというほどの国民的スーパースターだという。これは格闘技をほとんど知らないという、現地の女性通訳も「ヴォルク・ハンの事はよく知っている」と言うくらいだから間違い。しかも、ハンだけでなく「前田日明、高田延彦がどんな人物か小さな子供でも知っている」というのだから驚きだ。ということは、まさか現在は釣り三昧だということも知っているのだろうか……そんなわきゃない。

では、なぜハンだけでなく、前田や高田までもが、それほど有名なのか。それを知るには話を12年前に遡らせる必要がある。

91年にソ連が崩壊した後、旧ソ連諸国には急激に西洋文化が流入してきた。そんな流れの中で、「ＢＵＳＨＩＤＯ（＝Ｕインターの海外での番組名）」のテレビ放送

髙田延彦が種を蒔き
前田日明が水をやり
ドナタスの情熱が花を咲かせた
それが BUSHIDO-RINGSだ

リングスが活動を休止して早1年2ヶ月。しかし、遠くリトアニアでは、そのリングスが大輪の花を咲かせているらしい――。そんな話を実際にこの目で確かめるべく、行ってきましたリトアニアへ。そこには、リングス・リトアニア代表ドナタス氏の情熱によって、予想以上の理想郷が広がっていたのだ。

構成&撮影／堀江ガンツ
designed by matsu (Two three)

これが４・５リングス・リトアニア大会が開催されたヴィリニュス・スポーツセンター。約6000人収容の大会場だった。

リングス・リトアニア代表
ドナタス・シマネイティス
Donatas Simanaitis

がリトアニアでスタートし、人気が爆発。エースである「タカダ」はブラウン管の中のスーパースターとなったのだ。

それでも、あくまで観賞用スポーツでしかなかった武士道だが、99年にドナタスが『リングス・リトアニア・武士道・フェデレーション』を設立。同時に「リングス（現地では武士道リングス）」のテレビ放送がスタート。ヴォルク・ハンを初めとする旧ソ連選手が活躍するリングスは、「武士道（Ｕインター）」以上の人気を獲得し、瞬く間に競技人口が拡大。現在は競技スポーツとしても不動の地位を築くまでになったのだという。

さて、この人気スポーツの仕掛け人であるドナタス代表とはどんな人物なのか。彼がリングス・リトアニアを設立するまでの話が実に興味深かったので紹介しよう。

ドナタス・シマネイティスは１９６９年生まれの33歳。とにかく彼の人生は格闘技と共にあったと言っていい。まず６歳から18歳までは柔道に熱中、４度リトアニア王者に輝き、スポーツマスターの称号を得る。18歳から２年間、徴兵。その間ボクシングを習い、バルト三国陸軍王者になり、同時にコマンドサンボのリトアニア王者にも輝く。90年に兵役を終えると、ソ連崩壊による西洋格闘技解禁の流れに乗りムエタイの練習を開始。93年からはプロのキックボクサーとなり、ヨーロッパ各地で試合をこなし、97年から７ヶ月はタイに住みムエタイの殿堂ルンピニースタジアムでも試合をしたという、もの凄い経歴の持ち主なのだ。

そんな彼の転機は98年、オランダへキックの試合で訪れたとき、出場した大会が偶然リングス・オランダとの合同興行だったことだ。そこで初めて総合格闘技を目の当たりにしたドナタスは、「ここには私のすべ

てがある！」と直感。本国に帰ると、さっそくリングスをリトアニアでもスタートすべく、彼が統括していた30もの格闘技の道場をすべて「武士道」の道場に変え、99年に『リングス・リトアニア武士道フェデレーション』をリングス・ネットワーク未承認ながら設立。その際、コンタクトを取っていたリングス・オランダ代表クリス・ドールマンの紹介でヴォルク・ハンと出会い、2000年1月、第1回KOK決勝が行われていた武道館大会へ、前田日明代表にネットワーク正式承認をもらうためリングス・ロシア勢と共に初来日。そして翌2001年、遂にリングス・ネットワークに正式加盟して、晴れて『リングス・リトアニア』となったのだ。

リングス・リトアニア設立以降、月に1度1時間半の「武士道リングス」中継は大人気。さらにWOWOWとの契約解除によって活動休止を余儀なくなれた日本とは対照的に、この春からは毎週土曜のゴールデン30番組を獲得。そこでは、日本のリングスだけでなく、『PRIDE』、パンクラスの試合も放送中。これによって、リトアニアで日本人選手がよく知られており、現在は、〝伝説のファイター〟高田は別格として、桜庭、田村、髙阪、金原が人気選手だという。

また選手育成にも熱心で、こちらはなんと日本の修斗（坂本氏）助言の下、アマチュア修斗のルールを全面的に採用。9つの階級に分けて試合を行い、毎月1回アマチュアの優秀選手8人を集め大会を開き、そこで優勝した選手にはプロのライセンスが発行されるというシステムを確立。要はアマチュア修斗の大会で優勝するとプロのリングスファイターになれるという、日本では考えられない画期的すぎるシステムを作り上げたのだ！　リングス・リトアニアのロゴに修斗のマークが入っているのは、そういうことなのである。

これだけアマチュア大会が充実しているのには、システムの確立以外にもうひとつ大きな理由がある。実はリトアニア陸軍でもリングスのトレーニングがコマンド・サンボと共に正式採用されているのだ。これは元サンボの世界チャンピオンでもあるチェスロバス・イゼルスカスという国防省ナンバー2が、リングス・リトアニア名誉会員であり、ドナタスの右腕として活躍してくれているからだとう。そのため、リングス・リトアニアは会場警備、選手送迎のための車の手配等はすべて陸軍の全面バックアップのもと行われているのだ。

こうしてリングス（武士道）をリトアニアでも有数のスポーツ競技に育てたドナタスは、国から『スポーツ貢献カップ』を受賞。そんな我が世の春を謳歌している最中に入ってきたのが、「リングス・ジャパン活動休止」のニュースだった。この寝耳に水の知らせにはさすがのドナタスも「非常にショックを受けた。リングスのスタイルを国中のみんなが愛していたので、なぜ？という思いが強かった」と当時を回想してくれたが、「リングス以外の日本の格闘技団体とも交流が図れるように」バーリ・トゥード導入を決意。実際、昨年からプロ修斗ルールの試合をスタートさせており、今後は『SOKAS（ショック）』という大会をバーリ・トゥードルールに、そして今回開催した『ADRENALINAS（アドレナリン）』をリングスルールの大会として、交互に行っていく予定だという。

リトアニアの総合格闘技は、「武士道」として髙田が種を蒔き、「リングス」として前田が水をやり、「武士道リングス」として、ドナタスの情熱が大輪の花を咲かせた。そしてドナタスは今後、自国での大会開催と平行して、自分が育てた武士道ファイターたちを、どんどん〝母国〟日本のプロモーションに参加させたい希望をもっている。この「Uの遺伝子の末裔」のようなリトアニア人選手が今後、日本で見られる機会が増えそうで実に楽しみだ。

最後にドナタスに日本のファンへのメッセージを求めると、「日本のリングスは活動をやめてしまいましたが、リトアニアでは発展し続けています。ゼヒ一度、我々の大会を見に来て下さい」と語ってくれた。リングス・リトアニアの次の国際大会は9月。そこでは、日本人選手の招聘、ヴァラビーチェスvsクリストファー・ヘイズマンの再戦、そしてヴォルク・ハンのリングス・バルト三国王座防衛戦をマッチメイクしたい意向だという。

リトアニアのラウンドガール（BUSHI-DOガールズ）は、さすが美女のメッカ、ロシア、東欧圏だけあって金星揃い。4名の武士道ガールズは、出てくるたびに大声援を受けていた。

リングス・リトアニアの観客は子供や親子連れも多数見られた。もちろんグッズも大人気。ちなみに英語ができる10代の若者に好きな日本人選手を聞いてみると、「田村」という答えが多かった。

リトアニア陸軍では、リングスがトレーニングの一環として正式に採用されており、試合も盛んに行われている。ルールは打撃ナシのアブダビに近いものだが、〝エスケープ〟がある所が〝リングス〟だ。

彼がリトアニア国防副大臣チェスロバス・イゼルスカス。メインイベントのヒョードルvsヴァラビーチェス試合前にリングに登場し、軍関係者も多い観客から大きな拍手を浴びていた。

『ハン逮捕』の噂の真偽も本人に直撃！

英雄の光と陰

「ロシアからやって来た国民的英雄」
ハンは"リトアニアの力道山"だった!!

愛弟子ヒョードル戴冠にハンは今、何を思う？
沈黙を破る独占スクープインタビュー

ヴォルク・ハン

ヴォルク・ハンが最後に来日してから
早1年2ヶ月が経った。リングス・ロシアが
ロシアン・トップチームと名前を変え『PRIDE』に参戦する中、
ひとり沈黙を続けていたハン。
ヒョードルがPRIDE王者となる中、何を考えているのか？
スクープインタビューだ。

構成／堀江ガンツ
designed by matsu（Two three）

日本の皆さんによろしくとお伝え下さい。そして近いウチに、必ず日本でお会いしましょう！

E・ヒョードルが遂にノゲイラを破り、PRIDEヘビー級王者になったときに、もっとも話を聞きたいと思ったのが、ヒョードルの師匠ヴォルク・ハンだった。

こんにちのロシアン・トップチームがあるのは、ハンが3年前に「ヴォルク・ハン格闘術」を組織してロシア勢の練習内容を一新し、ヒョードル、アターエフら有望な若手を弟子として育てたからこそであることは疑いようがない。だから、いまこそヴォルク・ハンの話を聞きたいと思ったのだ。

しかし、ハンは昨年2月、第1次リングスラストマッチに参戦したのを最後に、セコンドとしても来日しておらず、取材する機会を持つことすら不可能だった。

ところがリトアニアに来てひょんなことから、ヴォルク・ハンと話すチャンスが到来！　なんとリングス・リトアニアのドナタス代表が、「ヴォルク・ハンと話したいのか？」と聞いてきたので、「ゼヒ！」と答えると、「VOLK HAN」の文字と電話番号がディスプレイに表示された携帯電話を見せて「質問事項を書き出してくれたら、私が電話でハンにインタビューしてあげるよ」と言うのだ。なんたる幸運！

しかし、携帯による国際電話でのインタビューということで、当然のことながら時間は極めて限られている。そこで慌てて用意した質問は厳選7問。これを通訳さんにロシア後に訳してもらい、リングス・リトアニア大会の翌朝、ドナタスにヴォルク・ハンの自宅へと電話をしてもらった。電話が繋がりドナタスが二言三言、言葉を交わした後、「ちょっとハンと話しますか？」とケータイを渡すので耳に当ててみると、「オハヨーゴザイマス！」と、インタビューで聞き慣れたあのやたらと元気な声。ハンに間違いない！

それでは短いながら非常に貴重なヴォルク・ハン生の声をみなさんにお届けします！

昨年2月15日、第1次リングスラストマッチで、無差別級王座決定戦に挑むヒョードルのセコンドについたハン。この時以来、ハンの来日は実現していない。ヴォルク・ハン再来日熱望！

——ヒョードルが『PRIDE』王者になったことについて感想を聞かせて下さい。

ハン　この嬉しい気持ちを言葉にして伝えるのは非常に難しいですが、私はその朗報が届いてから3週間のときが経ったいまでも大変気分がいいです。我々チームが長い間願っていたことが実現し、チーム全員が喜んでいます。

——2年前にハン選手がノゲイラに敗れた際、「近い将来、私の弟子がノゲイラを困らせる」と言っていた通りの結果となりましたが、今回のヒョードルの勝利は予想していましたか？

ハン　2年前に私はコンディション調整に失敗し、高熱のままノゲイラに挑み敗れてしまいました。しかし、今回ヒョードルがしっかりコンディションを整えてブラジリアン柔術最強の男に完勝したことで、サンボというものが、いかに高いレベルにある格闘技であるかということが証明できたと思います。今回に限らず、我々ロシアのサンビストが本来の力を発揮できれば、ブラジリアン柔術家に劣るモノではないということは、常に信じています。

——ハン選手が『PRIDE』のリングに上がることはありませんか？

ハン　最も大切なこととして、私は『PRIDE』の闘いに参加する意志というものを、非常に強く持っています。しかし、二つの点で今現在それが難しくなっています。まずひとつはロシアでのビジネスに多くの時間を奪われていること。そしてそのために、闘いにそなえる練習が出来る状態になく、よいパフォーマンスを見せられる状態ではないということです。

——なぜこの1年間、セコンドとしても日本に来れなかったのですか？

ハン　古傷であるヒザのケガが再発してしまったことと、非常にたくさんビジネスの問題を抱えており、ロシアを離れられなかったことが原因です。

——一部インターネット上で『ハン逮捕』の噂が流れ、日本のファンが心配しています。その真偽を教えて下さい。

ハン　すべての人間がいろんな問題を抱えていますが、私もロシアでのビジネス上のトラブルがあったことは事実です。ただ、私個人の問題についてはすでに解決しています。

——田村潔司が旧リングススタイルの団体をスタートさせました。このルールで田村選手と闘うことに興味はありますか？

ハン　タムラが旧リングススタイルを再開させたのは、私にとっても世界中のファンにとっても大変な朗報です。タムラとはゼヒ対戦したいと思う。それは、私のひとつの課題であり、大きな希望でもあります。

——今後もロシアからは、ヒョードルのような有能な選手は誕生するでしょうか？　またヒョードルに続く選手を育てる気持ちはありますか？

ハン　それは時間が解決します。それには各自が自分の正しいフォームを身体にきちんと身につけていくことが大切です。また、ヒョードルが正しい道と場所というものを先駆者として作り、皆がそれに向かって進んでいくと思います。

それからこれは質問とは関係ありませんが、日本でこのインタビューを読むことになる多くの愛するファンのみなさんに、自分からよろしくとお伝え下さい。そして近いウチに、必ず日本でお会いしましょう！

VOLK HAN

格闘黄金郷（エルドラド）
リングス・リトアニア
現地潜入徹底リポート

リトアニアでは、ヴォルク・ハンの自伝も当たり前のように出版されている。98年初版で、タイトルは『ヴォルク・ハン　闘いはまだ終わらない』。中を見ると、ハン幼少期からの貴重な写真が多数掲載されていた。機会があれば、内容も紹介します！

リトアニア陸軍格技場の壁に貼ってあった『BUSHIDO-RINGS』の正式なライセンス。そこにもハンが逆片エビを極める写真が使われており、リトアニアにおいて、ハンは格闘技の象徴的存在であることが、これを見てもうかがえる。

日本人選手団と共に訪問したリトアニア陸軍施設内にある資料室には、ヴォルク・ハン、ミーシャ、アターエフらが訪問した時の兵士たちとの交歓写真が数多くディスプレイされていた。ヴォルク・ハンはリトアニア軍の兵士たちにとっても英雄なのだ。

今回、初めてリングス・リトア

レベルは申し分ないものを持ってい

は理想的な両輪、日本で言えば馬

ヴァラビーチェスは9月にリトアニアで

リトアニアの髙田延彦
ケツタティス・スミルノヴァス
Kestutis SMIRNOVAS

バルトの爆撃機
エギリウス・ヴァラビーチェス
Egidijus VALAVIČIUS

格闘黄金郷
リングス・リトアニア
現地潜入徹底リポート

日本再来襲熱望!!

リングス・リトアニアの2大エース この顔と名前を覚えておけ!

格闘技界の新たなる金脈・リトアニアでは、優秀な選手もゴールドラッシュのごとくジャンジャン発掘されている。しかも、もともとUインター、リングスに憧れて格闘技を始めた選手ばかりなので、ファイトスタイルも日本向け揃い！　まずは近い将来必ず日本で活躍するだろうこの二人を紹介します！

文&撮影／堀江ガンツ　designed by matsu(Two three)

「THE BEST」でA・大場を1R秒殺!

日本でのリングス活動休止を受けて、スミルノヴァスは『THEBEST』に初参戦。テイクダウン、サイド、マウンド、十字と流れるように極める旧ソ連系らしからぬ動きは衝撃を与えた。

02.10.20［MMA THE BEST］
ケツタティス・スミルノヴァス（リトアニアBUSHIDO）
［1R0分55秒　腕ひしぎ十字固め］
アングロサクソン大場（AO/DC）

リングスで滑川康仁を1RKO!

リングス・リトアニア来日第1号選手として登場したエギルは、このころ連勝街道をひた走っていた滑川を大方の予想を裏切り完全KO！　この朗報を聞き本国では空港に楽団が出迎えたという。

01.10.20 リングス無差別級王座決定トーナメント1回戦
エギリウス・ヴァラビーチェス（リングス・リトアニア）
［1R2分18秒　KO］
滑川康仁（リングス・ジャパン）

今回、初めてリングス・リトアニア大会を実際に観戦してみて一番驚いたことと言えば、選手が予想以上に実力者揃いだったということだ。いや、驚くほど早く成長していたと言った方がいいかもしれない。

これまで『ZST』やリングス末期に見たリトアニア人の選手のイメージは、地力や運動能力は高いが、総合格闘技に対する知識が不足しているな、というものだった。事実、第1回、第2回の『ZST』では、あっけないほど簡単に下からの十字や三角を取られるシーンが目立った。これはかつてのリングス・ロシア勢と同じく情報不足による総合格闘技に関するセオリーの欠如が原因と考えられる。せっかく強いのにもったいないな、と思ったものだ。

ところが、4・5『BUSHIDO・RINGS』で見たリトアニアの選手たちは、下からの三角や十字に対する防御が見違えるように上達し、寝技の実力者揃いの日本勢が大苦戦させられる展開となった。

おそらくリトアニアは、ロシアよりは『PRIDE』やパンクラス、修斗等の映像が容易に手に入る環境にあるので、ビデオを繰り返し見て研究したのだろう。こうした努力によって、もともと打撃に関してのレベルは申し分ないものを持っていたリトアニア勢は、短期間でKOルールにとって理想的なスタイルを確立。チーム・イリホリ（今成&矢野）と対戦したレミギウス・モリカビチュスなどは、〝軽量級のミルコ・クロコップ〟と呼びたいぐらい、手がつけられない選手に急成長していた。今大会を見る限り、研究熱心で練習熱心なリトアニア人選手が、今後、『PRIDE』で猛威を振るうロシア勢以上の脅威となる可能性も大いにありうるだろう。

そんな急成長を見せていたリトアニア勢の中でも重量級で特に実力が飛び抜けているのが、ここで紹介するエギリウス・ヴァラビーチェスとケツタティス・スミルノヴァスの2人だ。

ヴァラビーチェスは185センチ、92キロ。スミルノヴァスが183センチ、88キロと両者とも日本のミドル（ライトヘビー）級の体格だが、90キロを境にわけるリトアニアでは、それぞれ90キロ以上と以下のリングス・バルト三国&リトアニアチャンピオンに認定されているリトアニアの2大エース。ヴァラビーチェスがリトアニアNO・1ストライカーでスミルノヴァスがNO・1グラップラーと試合スタイルが好対照で、しかもライバル意識も強い二人は、ジャンルとしては理想的な両輪、日本で言えば馬場・猪木や、鶴田・天龍、船木・鈴木のような関係。そんな風に表現すると大袈裟に聞こえるだろうが、それぐらい二人の現地での人気は凄いのだ。

特に現地では〝リトアニアの髙田延彦〟と呼ばれているスミルノヴァスは、まさにUインター全盛期の髙田ばりの人気。4・5リングス・リトアニア大会の会場でも試合前に客席の子供たちに好きな選手を聞いてみたら、ほとんどの子供が「スミルノヴァス」と答えていたくらいだ。

スミルノヴァスは、ポーランドの士道館空手王者ラグジンスキーの打撃を完封し、2分45秒、完璧なダブルリストロックで一本勝ち。王者に相応しい闘いぶりだった。

「リングスルールならボクが有利。必ずKOで勝つよ」と自信満々だったエギルだが、ヒョードルに打撃戦のチャンスを与えてもらえず。次は日本人との試合が見たい！

〝リトアニアの髙田延彦〟は日本で桜庭、田村との対戦を熱望！

ヴァラビーチェスは9月にリトアニアでヘイズマンとリベンジマッチが濃厚

実力的にも、2000年にリングス・リトアニアが旗揚げして以来王座を守り続けており、これまでプロで30戦以上闘い、負けたのは一昨年11月にリトアニアで横井宏考に1ロストポイントで判定負けを喫した一度のみ。ライバルのヴァラビーチェスにも一昨年、40分フルタイムの激闘の末、ポイント勝ちを収めており、名実共にリトアニアNo．1と言っていいだろう。今大会も自分より大きな相手を見事に〝ダブルリストロック〟で極め、観衆を熱狂させるなど、〝リトアニアの髙田〟の名に恥じない最強ぶりを見せていた。

そしてヴァラビーチェスも、同じく30戦以上のキャリアで負けたのはコピィロフ、ヘイズマン、そして今回のヒョードルのみ。ヴァラビーチェス及びリトアニアのファンはヘイズマンへのリベンジを強く望んでおり、この再戦はどうやら9月に予定されている次回のリングス・リトアニア国際大会で実現する方向で話が進んでいるようだ。

このリトアニアが誇る2大エースを未知の強豪のように思う読者も多いだろうが、実は二人とも来日経験はある。ヴァラビーチェスは01年10月、リングス・リトアニア来日第1号選手として『リングス無差別級王座決定トーナメント』に出場し、1回戦で滑川康仁をパンチの連打で見事KO。肩のケガもあり、準決勝でヘイズマンに敗れたものの、ベスト4という好成績を挙げている。

対するスミルノヴァスはヴァラビーチェスに遅れること丸1年。昨年10月20日に開催された『PRIDE』の登竜門的（？）大会『THE BEST』に初来日。アレクの弟分アングロサクソン大場を、わずか1R55秒腕ひしぎ十字固めで一本勝ち！ テイクダウンから素早くサイド、マウントへ移行して極めた流れるような攻めは、この大会全試合の中でも際だっていた。

しかしこれ以来、二人の来日はいまだ実現していない。リングスが活動を休止し、『THE BEST』は軽量級が中心という今のマット界の事情を考えると致し方ないが、実にもったいない話だ。当然のことながら、両選手とも再来日を熱望しており、ここは、近藤、郷野、佐々木など同体格の好敵手が揃っているパンクラスか、かねてからヴァラビーチェスへのリベンジを口にしている滑川の主戦場である『DEEP』あたりに呼んでほしいところ。両者ともに田村潔司との対戦を熱望しているので『U-FILE』でもいい！ というわけで、尾崎社長、佐伯代表、ゼヒご一考を！

に納得いかない」「こんなはずじゃなかっ

温存させる「肉を斬らせて骨を断つ」矢野

4.5 BUSHIDO-RINGS "ADRENALINAS"

〜リトアニア・ヴィリニュス スポーツセンター〜

ダブルバウト（ZSTルール）

矢野卓見 今成正和	2R 終了 判定ドロー	レミギウス・モリカビチュス エリカス・ペトライティス

軍隊まで出動!!

異様な熱気とブーイング、これぞ敵地での闘い！猪木vsペールワンの再現だ！

詳細リポート

矢野卓見＆今成正和（チーム・イリホリ） リトアニアで暴動寸前大乱闘!!

文＆撮影／堀江ガンツ　designed by matsu（Two three）

これぞ敵地での闘いか。4・5リングス・リトアニア大会は、日本から矢野卓見、今成正和、小谷直之、所英男の4選手が出場。大会名にも「リトアニアvs日本」とサブタイトルが付けられたこの国別対抗戦は、異常なまでの盛り上がりを見せ、特に〝大将戦〟となったチーム・イリホリ（今成＆矢野）の試合は、両軍セコンド入り乱れての大乱闘。一時は暴動寸前、リトアニア陸軍兵士が鎮圧するまでの事態となった！

この日、組まれた日本vsリトアニア対抗戦は、チーム・イリホリのタッグマッチ（ダブルバウト）を含めた3試合。この3試合だけリングアナをリトアニア人のメインアナと現地でタレント活動をする日本人、友井文人氏の2名体制にするなど、対抗意識を盛り上げる演出もあり、観客の熱気も明らかに他の試合とは違っていた。しかし、日本側は中軽量級を代表する実力派揃いだけに、3戦全勝もありうるのではと、高をくくっていたが、その考えは甘かった。現地での歓迎ぶりにすっかり忘れていたが、ここリトアニアは〝敵地〟だったのだ。

それは試合が始まってすぐに気づかされることとなる。先鋒で登場した所英男は1R、対戦相手のアンタナス・ジャズビタスからマウントを奪ったが、喉元へ振り下ろしたパンチが顔面に入ったとみなされて（リトアニアは顔面パンチが禁止）イエローカード。結局はそのポイントが響きまさかの判定負けを喫してしまう。続いて登場した小谷直之も、今度は逆に1R早々に金的蹴りを浴びるも、〝注意〟だけでイエローが取られないという明らかに不公平なレフェリングにすっかりペースを乱され、判定でドロー。3戦全勝どころか1勝もできない悪夢のような展開。「レフェリング

に納得いかない」「こんなはずじゃなかった」と言ってももう遅い。このすべてが仕組まれたような圧倒的に不利な環境こそ、敵地で闘うということなのだ。

リトアニア勢優勢ですすむ対抗戦に、大いに盛り上がる観客席。自国選手への声援以上に、日本人を小馬鹿にしたような野次が飛び交っているのが雰囲気でわかる。

止まらない嘲笑混じりの野次に、会場にいる日本人全員の気持ちが「日本をなめんなよ!」と破壊王化する中、日本人リングアナ友井氏は、矢野&今成の入場をコールしたあと「これが日本人だ! よく見とけ!」と日本語で絶叫! そこへ流れるテーマ曲は、『骨法の詩』! 心を煽動するそのリズム、日本人のＤＮＡに訴えかける鼓の音色になぜか胸が熱くなる。心に日の丸、唇に軍艦マーチ! 気持ちは完全に愛国モード全開。海外でしか味わえない興奮だ。

そこへ矢野&今成が鬼の形相で入場。リング上で睨み合う両軍。この一戦は、昨年11月、『ＺＳＴ』旗揚げ戦で同じくイリホリと対戦したモリカビチュスが、その際、「ヤノは逃げてばかりいる」と激怒し、本国での決着戦となった因縁対決。それだけに双方の怒りと客席の熱狂が頂点に達し、異様な雰囲気の中ゴング!

先鋒はいきなり矢野とモリカビチュス。開始早々、モリカビチュスの激しい打撃を避け、髙田vsミルコ戦のように自らマットに横になる矢野に館内は大ブーイング。それでもスタンドに戻されるたびに横になる矢野へモノまで飛び交う。モリカビチュスはそこへ構わず「ランバーの3倍痛い(矢野・談)」蹴りを無数に叩き込み、1Ｒ矢野は寝ころびただ足を蹴られるがまま。しかし、それは〝足関十段〟今成の体力を温存させる「肉を斬らせて骨を断つ」矢野の作戦だった!

試合開始から6分。満を持してタッチを受けた今成は、得意の足下へ潜り込んでの足関節を次々と仕掛け形成逆転。しかし、ヒールホールド、足首固めが禁止されたリトアニアルールと、相手のタッチに阻まれタップを奪うまでは至らず。その後も、矢野が寝ながら相手の打撃を受け続け、体力回復した今成が極めに行く展開。その中で足に絡みつく矢野の頭部へモリカビチュスがパンチを叩きこんでしまいイエローカード。これで、リトアニア組の圧倒的な打撃と体力に劣勢を強いられていたイリホリがポイントでリード。

このまま逃げ切るかと思いきや、2Ｒ、ここまで温存していた打撃でペトライティスを一気に攻め込んだ今成が、勢い余ってグローブを付けずに顔面パンチを浴びせてしまい、逆にイエローを取り返されイーブンに。さらに打撃で攻める今成は掌底を顔面にクリーンヒットさせるが、これを「顔面パンチだ!」とリトアニアのセコンド陣が猛抗議。しかし、これは明らかに掌底だったため、セコンドの度を超した抗議にキレた今成が「掌底だバカヤロー! ファックユー!」と怒鳴りつけると、リトアニアのセコンド陣がリングに雪崩れ込み、リング上は両軍入り乱れての大乱闘! 客席からはモノが無数に飛び交う暴動寸前の緊急事態に、ついには会場警備にあたっていたリトアニア陸軍の兵士たちがリングに上がり、ようやくこれを鎮圧した。

これによって一時は無効試合となるかと思われたが、なんとか試合再開。そこで、これまで〝無抵抗主義〟を貫いていた矢野が、ペトライティスの一瞬の隙を突いて三角絞め! これ以上ないほどガッチリと極まるが、ペトライティスは信じられない力で、三角を極められたままズルズルと自軍コーナーへ引きずりタッチ。最後の力を振り絞った矢野もこれには呆然。その後、変わった今成がモリカビチュスの足関節を執拗に狙うが、極めきれずに遂にゴング。この激しすぎる一戦は結局、判定ドロー。リトアニア勢の勝ちを信じた観客から大ブーイングとモノが飛んだが、矢野が対戦相手の健闘を讃え、観客に手を振り、リングサイドの観客にはハイタッチまでして、このブーイングを拍手に変えた。

この時のことを矢野は、「パキスタンでペールワンの腕を折ったあと、両手を振って暴徒寸前の観客を鎮めた猪木さんになった気持ち」と言って笑ったが、確かにこの日の闘いは、仕組まれた真剣勝負、異常興奮の会場、そして軍隊による鎮圧と、伝説の「猪木vsアクラム・ペールワン、パキスタン・カラチ・ナショナル・スタジアムの決闘」にあまりにも酷似していた。スケールこそ劣るものの、きっとこの試合も語り草になることだろう。〝伝説〟の目撃者になれたことを嬉しく思う。

試合後、蹴りのダメージで満足に歩けない矢野は、アイシングをしながら「モリカビチュスの蹴りはシャレにならない。リトアニア引退宣言をします」と苦笑いしたが、その闘いぶりを選手、関係者、そして在リトアニア邦人に絶賛され満足気。ボクも彼の闘いぶりに対し、パキスタンの人々には何の断りもなく、勝手にヤノ・ペールワンの称号を与えたいと思う。この1ヶ月後にＤＥＥＰでブラソ・デ・プラタとバーリ・トゥードを行う矢野、お前こそペールワン(プロレスラー)だ!

『骨法の詩』のテーマに乗ってリトアニア軍兵士に先導されて入場するチーム・イリホリ。ここまで不可解なレフェリングで、日本に勝利がないだけに、その表情は険しい。

スタンド勝負を避け、猪木ーアリ状態に持ち込む矢野に、館内は聞いたこともないような大大大ブーイング。そこへ、これまた見たことないくらい厳しい蹴りが叩き込まれる!

関節技を仕掛けようとすると、すぐさまタッチするリトアニア勢。タッグマッチという形式は、組み技系の選手には圧倒的に不利だ。それを見越してのマッチメークだったのか?

一瞬の隙を突き、渾身の力を込めた矢野の三角絞め。ポジションも完璧だったが、ペトライティスは尻餅をついた状態から立ち上がり、矢野を引きずってタッチ。信じられない!

試合中の大ブーイングを矢野は相手を讃えることと、客席でのスキンシップ。さらにマイクで通訳を介して「もう足が痛くて歩けない」とアピールして、笑い&歓声に変えた。

試合中のヒールぶりから一転、試合後はサインや写真をせがまれ大人気だったヤノタク。リトアニア美女に囲まれるその姿に、チーム・イリケンが嫉妬したとかしないとか。

格闘黄金郷（エルドラド）
リングス・リトアニア
現地潜入徹底リポート

日本人五人衆 リング内外で大暴れ!

リトアニア遠征回顧録

ヤノタク、"チーム・イリケン"を大いに語る

リングス・リトアニア遠征隊

矢野卓見、今成正和、所英男
小谷ヒロキ、小谷直之

日本人選手団5人の同行取材となった今回のリトアニア遠征は、予想通り毎日誰かが何かをしでかし、
試合では暴動騒ぎまでおこるハチャメチャな珍道中。それだけに思い出深い旅となった
そんな今回のリトアニア遠征の裏話を、この5人（というかヤノタクひとり?）にたっぷりと語ってもらった。

聞き手&撮影／堀江ガンツ　designed by matsu（Two Three）

――今日はリトアニアの素晴らしい思い出の数々を語り合おうということで、皆さんにお集まりいただきました！　まず今回の遠征の印象というのはいかがでしたか？

矢野　いやぁ、酷い目に遭いましたね（苦笑）。モリカビチュスに蹴られ過ぎて、あれから10日くらい経ちますけど、いまだに足が痛くて眠れないんですよ。それなのに（所）英男は、「練習やらないんですか、練習やらないんですか？」って毎日電話してきて、そんなに早く治らねぇよ！

所　いや、リトアニアでは自分、反省しきりだったんで、練習頑張ろうと思ったんですけど……。

矢野　勝手にやってくれよ。こっちは一週間寝込んでるんだから。ホントにあの蹴りはシャレにならない。寝返り打っただけで痛みで起きるんだから。

今成　まぁ、自分は意外にも（パートナーの）矢野さんが仕事してくれたんで、割とラクできて良かったんですけどね（笑）。

――ということは、最初から矢野さんは働かないと思ってたんですか？（笑）。

今成　完全にそう思ってたんですけど（笑）、しっかりやってくれたんで。

――あの矢野さんの奇跡の奮闘ぶりは、日本の皆さんにも広く伝えなきゃいけないですよね（笑）。

矢野　ホントに佐伯（繁＝DEEP代表）さんに伝えたいぐらいですよ（笑）。

――小谷選手はいかがでした？

小谷　試合はまぁダメだったんですけど、これからは闘い方を変えなきゃいけないと思いましたね。これまでは全力で正面から行ってたんですけど、力の差が凄いあったんで、次に外人とやるときは真正面から組まないように。

――セコンドについた小谷選手のお兄さんは、弟さんの試合内容にはかなり怒ってましたよね？

小谷兄　あれは相当ひどいですね。闘う姿勢じゃないですよ。悪い時の直之が出てしまいましたからね。試合前から緊張感がなくて遊びに来てるような感じで。

――ちょっとお冠ですね。

小谷兄　真面目な話、直之はもっと高いレベルを目指していかなきゃいけない選手ですからね。『ZST』のリーダーとして引っ張っていって、もっと中量級のトップと同じようなレベルまでいかなきゃいけないんだから。海外でも日本でやってるような試合をしてもらわないと！

――ただ、まだ日本のファンにはそんなに強いというイメージはないですけど、リトアニアの選手はみんなメチャクチャ強かったですよね？

矢野　それはもう全部、足関十段（今成）がいけないんですよ。『ZST』の旗揚げ戦（チーム・イリホリ vs モリカビチュス＆スタンコス）で軽く二本取っちゃうから、そんな強くないイメージがついちゃって。あれが足関十段じゃなくて、二人とも俺みたいなのだったら、「リトアニアは世界を制するんじゃないか」ぐらいの、もの凄い強烈なイメージが残ってますよ（笑）。

――それでも、所選手と小谷選手が2人とも勝てなかったのは驚きだったんですけど、本人的にはどうでしたか？

小谷　とにかく、力が強くて頑丈で打たれ強いっていうのがありましたね。ヒザ蹴りやった自分のヒザが腫れちゃいましたから。

今回の遠征で一番「こんなはずじゃなかった」と思ってるのはある意味、足関十段でしょう（笑）

――「こんなはずじゃなかった」っていうのはありましたか？

矢野　一番「こんなはずじゃなかった」と思ってるのは足関十段じゃないの？　「もっといいのが来ると思ってたのに」って、ねえ？　しかも2回目チェンジしたら3人目が来なかったという（笑）。ま、具体的に何かは言わないですけど。

――それは実際の試合とは、まったく関係ない話ですね（笑）。

小谷兄　でも、今成さん凄いですよね。リトアニアに来る2日前にアブダビ予選出てたのに、試合の前の日にも、さらにもう一戦交えようっていう（笑）。

矢野　リトアニアに来た初日の夜も、ドナタス（リングス・リトアニア代表）がせっかくヴィリニュスの夜景を見に連れていってくれるって言ったのに、足関十段と所クンの二人はホテルに残ってね。「建物見るよりも、現地の人とは、心と体の交流をしないと分かり合えない」とか言ってましたからね（笑）。

――夜の国際交流ってヤツですね（笑）。

所　いや、あの……。

矢野　足関十段はともかく、所クンも「あ、

リングスリトアニア遠征隊 Profile

小谷直之
Naoyuki KOTANI
（ロデオスタイル）

1981年12月8日、神奈川県横須賀市出身。KOKルール無敗を誇る『ZST』のエース。これまで、その格闘マシーンのような闘いぶりで人間性が見えてこない小谷だったが、今回の旅で、野菜が一切食べられず、ハンバーグ、唐揚げ等、肉しか食べないという極端な偏食ぶりと、とにかくテレビゲームが大好きという子供テイストが発覚した。
173cm/71kg

矢野卓見
Takumi YANO
（烏合会）

1970年1月3日、東京都杉並区出身。ご存じ"東洋の神秘"ヤノタク。これまで今成とのタッグ"チーム・イリホリ"では、ほとんど今成に試合を任せて「あなた肉体労働、私頭脳労働」という染之助染太郎状態だったが、今回リトアニアでは大奮闘。しかし、不思議な日本語を操る現地女性通訳をからかい続け、激怒させるタチの悪さは相変わらずだった。170cm/65kg

今成正和
Masakazu IMANARI
（TEAM ROKEN）

1976年2月10日、神奈川県秦野市出身。本誌・花くま先生のコラムでもお馴染み"足関十段"の異名を持つ、足関節技の達人で、そのガンガン極めに行く試合は必見。このところブラジル修行、リトアニア遠征と海外づいているが、各地で夜の実戦スパーリングに余念がない。今回は大乱闘のきっかけを作るなど、リング内外で大暴れ。
165cm/67kg

所 英男
Hideo TOKORO
（チームPOD）

1977年8月22日、岐阜県揖斐郡出身。"『ZST』のひとりSMAP"と呼ばれる格闘技界のアイドル。ヤマケンのジム『パワー・オブ・ドリーム』出身で、数々のアマチュア大会を総なめにしプロデビュー前から注目を浴びたが、今回のリトアニアでは今成同様、"プロ"を相手に奮闘したらしい。「小さなヴォルク・ハン」の異名はパコージン公認。
170cm/65kg

小谷ヒロキ
Hiroki KOTANI
（SHOOTO GYM K zFACTORY）

1971年7月11日、神奈川県横須賀市出身。小谷直之の実兄プロシューター。今回のリトアニア遠征では、団長兼マネジャー兼セコンド兼ビデオ係と雑務を一手に引き受け「こんな役目は2度と御免」とグチをこぼす。6・1『ZST3』では、弟直之と初の兄弟タッグを結成。いずれは今成＆所の"義兄弟タッグ"との対決もあるか？173cm/71kg

ボクもお願いします」とか言ってね（笑）。それで小谷弟が、「試合前なのに、アイツらあれで試合負けたら許さねぇ」って真顔で言ってたんで、あまり感情を表に出さない小谷弟のちょっと知らない一面を垣間見れたんですけどね。「所は絶対、一本取られて負けるだろ」って。

小谷　そこまで言ってないですよ（笑）。

矢野　まぁ、その小谷弟も「僕も試合後だったら」って言ってたんですけどね（笑）。

――それはともかく、観光にしろ、練習にしろとにかくハードスケジュールでしたよね？

矢野　そうですね。あの過密スケジュールは俺たちを休ませないための罠だったような気がするんですよ（笑）。だって試合前日に調整のための軽めの練習してたら、突然謎のリトアニア人がスパーリング申し込んできて、足関十段とガッチリ始めちゃってるんだから。

――あのリトアニア人は謎ですよね（笑）。

矢野　それで足関十段とのスパーリングが終わったら、次はその眼光が俺に注がれて。勘弁して欲しいですよ（苦笑）。大体、足関十段にやられた悔しさを俺にぶつけてくるっていうのはリトアニア人のパターンなんですよ。

――その罠だと思ったっていうのは試合でも感じませんでしたか？　あれだけ親切にしてくれたドナタス代表がレフェリーになった途端、日本側にメチャメチャ厳しいレフェリーになるという（笑）。

矢野　小谷君が金的蹴られても「注意」なのに、所が寝技でボディパンチしたら「顔面やった」って無理矢理イエローカードを出されてね。そういう部分ではアウェーを感じましたよね。とにかく抗議しようにも言葉がわからないし（笑）。逆に言えば、そういう経験をして、これからの選手生活に活きてくるんじゃないですか。

“深夜限定ユニット”リトアニアで緊急結成 その名も今成&所の「チーム・イリケン」！

リトアニアに着いた日の夜は、リトアニア郷土料理のレストランに行った後、ドナタスの案内でライトアップされたヴィリニュス旧市街観光へ。写真の大聖堂ほか、美しい街並みを見て歩いたが、今成正和&所英男の姿が見あたらない……（写真・右）そう言えば、ホテルのロビーで何やらたくらんでいる“チーム・イリケン”（ヤノタク命名）の姿を目撃したような……。この二人の実に男らしい行動はこの遠征中、数々の伝説を残してくれた。

――でも、あのおかげで何か、対抗ムードがやたらと盛り上がってきましたよね。国vs国っていう気持ちが、試合が進むにつれてどんどん出てきたっていう部分はなかったですか？

矢野　やっぱりちょっと「お前ら日本人をバカにしてるのか？」みたいなところはありましたね。それと、とりあえず海外で聴く『骨法の詩』や『君が代』は違うんだなって（笑）。

――ホントに骨法のテーマがあんなに心に響くとは思わなかったですね（笑）。

小谷兄　なんていうか、鳥肌が立って、毛穴がバッて開くような感じでしたね（笑）。

矢野　そういう意味では僕も師匠の堀辺先生に「素晴らしい曲をありがとう」って感じですかね。「勝手に使うな！」って言われるかもしれないですけど（笑）。まぁ、ある意味、僕の心の故郷なんで。親が子供を選べないように子供も親を選べないっていうか、そこに通ってた事実は、お互い嫌でも変えられないんで。

――はい。次、行きましょう！（笑）。そして問題のタッグマッチになるわけですけど、矢野さんが先発でいきなり猪木・アリ状態になりましたよね？

矢野　あれは狙ってたわけじゃなくて、最初になんとか組み付こうと思って近づいたら、いきなりバチーンと蹴られて、これはもう無理だ、と（笑）。

――いきなり諦めましたか（笑）。それで最初の6分間はタッチせずに寝ながら蹴りまくられてましたけど、あれは作戦だったんですか？

矢野　とにかく足関十段を疲れさせたら俺の負担が倍になるんで、できるだけ延ばそうとは考えてましたね。

所、不可解なイエローでポイント判定負け

○アンタナス・ジャズビタス（リングス・リトアニア）［2R ポイント判定］●所英男（チームPOD）

2ポイント差となり焦る所は2Rに三角でエスケープを奪い返すが、極めきれず無念のゴング。イエローカードのポイントが響き判定負け。所は「情けない！」と絶叫し、タオルを被りリングを降りた。

所はイエローを取られたことで寝技でのパンチを控え、ポジションを変えようとしたとき、三角絞めにハマってしまう。これが思いの外ガッチリ入り、ロープエスケープ。所は「しまった」という表情。

所がテイクダウンし、胸元に強いパンチを入れると、「アゴにパンチが入った」とされてすぐさまイエローカード。「顔じゃない」と抗議するも受けつけられず。痛いマイナスポイントとなった。

対戦相手のジャズビタスは、打撃系が多いリトアニア勢では珍しい下からの極めを得意にするタイプ。序盤は所はロー、ミドルに打ちわける蹴り、そして胴タックルからのテイクダウンで有利に進める。

―ところが、今成さんがようやく出てきたと思ったら、三角を取ろうとした所をタッチされて、すぐさま自分もタッチしてましたよね？（笑）。

今成　いや〜疲れたなと思って（笑）。

矢野　俺も足関十段がタッチ求めてくるたびに「もうかよ！」って（笑）、

今成　矢野さん泣きそうでしたよ。

矢野　「早いよ十段」って（笑）。

―あの猪木・アリ状態での大ブーイングはどんな気分でしたか？

矢野　お、盛り上がってる、おいしいなって（笑）。ある意味、声援を背中に受けてましたね。寝るだけでこんなに盛り上がってくれるのかよって。また蹴られるたびに盛り上がるんですけど、蹴られると凄く痛いんですよね（笑）。また時々、とんでもなく痛いのが入って「ヒィィー！」っていう。あれが「勘弁して下さいよ」って感じでしたね。

―そんな感じでボロボロになりながら、矢野さんがやっとの思いでイエロー（相手の反則ポイント）を取ったんですよね？

矢野　そうですよ。足に組み付いて上からボッコンボッコン殴られて、体を張って取ったイエローをこの男はいきなり相手にも差し上げちゃうんだから。「え、裸拳で殴ったのアナタ？」って（苦笑）。あれ結構、残り時間も少なかったでしょ？　あと3分守りきったらとりあえず勝つ。これだけヒートさせといて、イエローカードのポイントで勝ち拾ったら、「コイツら（観客）スゲー怒るだろうな」っていうウキウキ感とドキドキ感を一瞬で砕いてくれましたからね。

―しかも、その後には今大会のハイライトとも言える大乱闘まで巻き起こしてくれましたからね（笑）。

矢野　これは本人に詳しくあの時の心の変遷を語ってもらわないと。俺はハッキリ言って何で乱闘になってるのか意味がわかってなかったんですよ。

今成　いやぁ、いっぱい掌底を打ってたら、向こうが「拳だろ！」って。なんかずっと言ってるから、「掌底だよ」って答えてあげたんだけど、それでも「拳だろ！」って何回か繰り返してきて、しつこいもんだから一応、失礼なことを言うヤツには失礼なことをしてっていう。

―失礼には失礼を（笑）。

今成　そう。目には目をってヤツで。

矢野　ある意味、ハムラビ法典で（笑）。こっちはわけもわからず、鎮めるためにみんなと握手してたんですけどね。

―あの時の小谷お兄さんは、ビデオを撮りながら「直之、選手を守れ！　選手を守れ！」って叫んでましたよね？

小谷兄　試合に出てる矢野さんが先頭にたって（乱闘を）収めようとしてるのに、コイツはセコンドなのに後ろでオドオドしてて、いつまでたっても行かないんですよ！　僕はビデオを撮ってるからビデオを外すわけにはいかないし。ビデオを持って止めに行ったら、茶化しに来たと思われるだろうし（笑）。

―所選手はどさくさに紛れて今成選手に殴りかかろうとしたモリカビチュスに、見事な両足タックルを決めてましたよね（笑）。

所　あれを試合で決めたかったんですけど（苦笑）。

―そして、結局は陸軍の兵士がリングに上がって鎮めるまでになってましたよね。

矢野　「軍人さんがいるんで、何があっても絶対大丈夫です」って聞いてたけど、まさか本当に活用されるとは思わなかったですよ（笑）。しかしね、みんながマジっていうのが面白いですよね。どこにもアング

「兵隊が警備にあたるから何があっても大丈夫です」と言われたけど、ホントに出動するとは思わなかった（笑）

リトアニア2日目は、陸軍内部で行われている“リングス”のエキジビションを視察。観光客はまず入ることができない軍内部に入れたのは貴重な体験だった。（写真・左）　リトアニア各地で日本選手団は、サインや記念撮影攻めにあっていた。ヤノタクと一緒に写っているのは、車で観光地「トラカイ」に案内してくれた“リトアニアのシューマッハ”（公道で150キロ爆走）の娘と息子。リトアニア美少女の娘は皆「5年後を予約したい」と口を揃えた。（写真・右）

小谷、金的蹴りにペース乱され本領発揮できず、無念の判定ドロー

△小谷直之（ロデオスタイル）　［延長R 判定ドロー］　△ミンダウガス・スミルノヴァス（リングス・リトアニア）

本戦5分2Rで決着がつかず、3分間の延長ラウンドに突入。最後の力を振り絞り、打撃に活路を見いだそうとする小谷だが、結局無念のドローとなってしまった。

後半、腰の重いスミルノヴァスに上になられる展開が目立つ小谷。危ない場面はないが、明らかに印象が悪く、焦れば焦るほど体力が消耗していく悪循環。セコンドの兄から厳しい声が飛ぶ。

小谷の打撃を嫌がるスミルノヴァスは強引にテイクダウン。そこを小谷は下からの十字、三角で極めようとするが、スミルノヴァスはこれをことごとく、なんだかわからないパワーで外していく。

序盤、打撃の技術で勝る小谷がパンチで追い込むが、スミルノヴァスはなんとか組み付き、ヒザ蹴り。これが金的に入るもなぜか「注意」のみでイエローは出ず。小谷はこれでペースを崩してしまった。

ルはありませんからね。素で中指を立ててる人、脊髄反射でそれに反応して乱入するリトアニア人、とりあえず握手してみる人、後ろでオドオドしてる人（笑）。

——いろいろな人間模様も見れて素晴らしいベストバウトでしたよ。ところで皆さん、次にまたリトアニアに上がるチャンスがあれば行きますか？

今成　あ〜、そりゃ別にいいっスよ。

矢野　足関十段は来るでしょう。夜のリベンジに（笑）。

——小谷選手はどうですか？

小谷　観光でならまた来たいですけど、試合はちょっと……。

矢野　ていうか、そんなことより、リトアニアでの野望を話してもらわないと。

——なんですか、野望って？

矢野　あるんですよ。小谷弟にはリトアニアでの大きな野望が（笑）。

小谷　いやぁ、通訳やってくれた人が、別に何か特別なことができるわけでもないのに日本人ってことでタレントやってるわけじゃないですか。だったら僕は格闘技をやってるから、自分もタレントとかリトアニアで有名人になれるんじゃないかと……（笑）。

——ガハハハハ！　失礼ですよ！（笑）。

矢野　いやいや、それよりもっと大きな野望があったじゃない。

小谷　ゆくゆくは、そのタレント活動を足掛かりに大統領にでも。

一同　ワハハハハハ！

矢野　大統領になってどうすんの？

小谷　大統領になってリムジンに乗りたいなと。

矢野　別に大統領にならなくったってリムジンぐらい乗れるじゃないかっていう話なんですけど、大統領になってリムジンに乗るっていうのが彼の大きな目標にみたいですからね（笑）。

——いや〜、『紙プロ』読者の皆様、小谷直之選手はこういう大いなる野望を持った、将来大物確実の選手です！（笑）。

矢野　俺には「リトアニアって静岡県ぐらいの人口だから、どうせ日本の事はわからないし、適当な事を言えば、騙されて大スターになったり大統領にでもなれるんじゃないか」って、確信を持って熱く語ってたんですよ。ちょっと金的攻撃の後遺症があるんじゃないかと（笑）。じゃあ、これについて兄貴からちょっと一言。

小谷兄　（冷めた顔で）呆れてものも言えないですね。多分、日本の社会では適応できないと思うんで、そういう気持ちがあるなら本人のためにもリトアニアに行ったほうがいいかもしれないですね。

矢野　それでリトアニアに渡って十数年後に大統領になってたらこれはこれで凄いことですからね（笑）。

——大いなる第一歩ですね（笑）。では、この辺でそろそろシメに入りましょうか。

矢野　もう行っちゃうんですか？　メインイベント後の話があるんですよ。足関十段と所クンが交渉の結果「ＯＫ」と言われてホテルに戻ったら、おもむろに小谷クンが「僕もお願いします」って（笑）。

——最後にありましたね（笑）。

矢野　「僕も頼んでもらいたいんですけど、誰に頼めばいいんですか？」って（笑）。結局ね、翌朝ホテルでメシ食ってたら、前夜、延長戦に突入した試合熱心な方々は降りて来なかったんだけど、あとで目を赤くした足関十段＆所英男は、どうやら〝兄弟〟のような強い絆を結ばれたようで（笑）、それを聞いて、ある意味、「チーム・イリホリ」の潮時かな、と。

——早いですね（笑）。

矢野　タッグチームっていうのはお互いの信頼関係が一番ですからね。帰りの飛行機の中でそのことを考えて、「ああ、『チーム・イリホリ』も終わりだな」って。「足関十段と所クンか……、イリエ……所クンはヤマケ……『チーム・イリケン』か……、なかなか語呂がいいな」とかね（笑）。

——矢野さんの頭の中で新たに『チーム・イリケン』が結成されたわけですね（笑）。

矢野　まぁ、このユニットは深夜限定なんですけどね。夜の協力タッグなんで（笑）。ある意味、所英男ファンは「そんなことあるわけないでしょ」と思われるでしょうが、所クンの人間性を知ることで、また彼の試合に対する興味が一層湧くんじゃないかと。足関十段はそのままなんでね。

——今回の旅はいろんなものが見えてきたわけですね（笑）。

矢野　そうですね。足関十段の見たままのパワーと、小谷弟の今まで見えなかった底知れなさ。あとはね、所クン、君には騙されたよっていうね（笑）。ていうか、今日は俺一人で喋ってる気がする。

——ま、最初からこうなるとは思ってましたからＯＫです（笑）。ということで、みなさんの今後に期待しつつ強引にシメさせていただきます。今日はありがとうございました！

【03年4月14日／西新宿『牛角』にて収録】

小谷君はリトアニアで有名人になって ゆくゆくは大統領になりたいそうです（笑）

死神オランダ日記

遂に明かされたジェラルド・ゴルドーの真実！

最近、日本マットへはすっかり、ご無沙汰の〝死神〟ジェラルド・ゴルドー。再びリング上で闘う姿が見たいところだが、今回は、ゴルドーの日本支部「ゴルドー・ジャパン」のREIKAさん&IKUさんがオランダへ行くとの情報を入手。これまで、あまり報じられてこなかった、母国でのゴルドーの知られざる素顔を密着レポートしてきてもらいました。遂に明かされるゴルドーの真実！　押忍!!

ゴルドーブラザーズ揃い踏み！

本邦初公開！ゴルドーの館

これがドージョー鎌倉だ！

鎌倉

ゴルドー・ジャパン プレゼンツ

文＆撮影／REIKA（ゴルドー・ジャパン）
構成／松澤チョロ
designed by ZERO graphics

4/3

2年振りにオランダへ行くことになった。今回の目的は、日本の格闘技・プロレス大会へ送り込む選手の発掘&プロフィール作り、それからK-1オランダ大会にNKBフライ級2位の佐藤友則選手（小国ジム）の試合をブッキングしたのだ。正式に決まったのは3週間程前。当初は佐藤くんとIKUさん（ゴルドー・ジャパン）、私・REIKAの3人で乗り込む予定が、小国ジムの熱血トレーナー森崎浩仁さんも急遽帯同することになり、成田空港で待ち合わせ。二人とは、ジムや会場で挨拶をする程度の仲だが、佐藤くんは一年前にもオランダへ行き、カマクラ（ゴルドー主宰ジム）で生活していたことがある。4泊6日のオランダの旅がそんな4人で始まった。

この時期、色々な社会情勢で空港も機内も見事にガラガラ。オランダまでの12時間、それぞれ横になり映画（現在公開中のもの）やゲームなどをして過ごしオランダに到着。

空港に着くとボス（ゴルドー）の姿を発見してビックリ！　IKUさんと私は2年振り4回目のオランダだが、実はボスが空港まで出迎えてくれたのは今回が初めてのことだった。

ドージョーまでの道程をボスの軽快な運転でドライブ。車中でボスが色々と話をしてくれた。なかでも一番驚いたのは、先日ボスがタイへ選手のセコンドとして行った時の話。機内の後部席の客が、かなり騒いでいたためボスが2度ほど注意。注意された乗客はボスの背もたれをガンガンと叩き悪態をついてきたらしい。その時点で、怒りの頂点に達したボスは振り向き様に右エルボーを炸裂！　ボスの右ヒジは的確に相手の顔面へヒット！　当然のように相手の鼻は折れ曲がったという。通常なら機内で暴力沙汰を起こせば大問題になるはずだが……普通に暮らしているのはなんでだろう？

2年振りのボス宅は、少し模様替えしてあったが、部屋の隅には兜、鎧、浮世絵と、やはり日本風は変わっていない。しかし、前から思っていたが、オランダはおかしな番組が多い！　料理番組なのにBGMが大きすぎレシピも何も聞こえないし、どうなってるんだろう？　とは言えボスは戦争関連番組をチャンネルを変えながら、ひたすら見まくっていた……。

4/4

8時起床でボスと朝食。食事をしながら「昨日の夜中にドージョーの近くで発砲事件があったぞ」と、さらりと言われ驚く。「頭など数ヶ所を銃で撃たれたらしいが、死んでないってラジオで言ってたぞ」と寝ぼけた顔でボス。そして、またケンカの話……。3月にムエタイの大会があり、何人かの選手をタイまで連れていったボス。ムエタイの舞い（ワイクー）を踊れないカマクラの選手1人は、前もってオフィシャルから許可をもらっていた。しかし、試合直前になると「踊らないなら試合はさせない」と言われ、ボスは事情を話すもアッサリ却下され「もういい」と控室へ引き上げた。すると5分後、今度は「踊らなくていいから試合をしてくれ」と言われたボスは「『しろ』だの『するな』だの、また変わるだろ？　冗談もいい加減にしろ！」と、完全に怒りモード。そんな時なぜかスイス人のコーチが正面から歩いてきて、な、な、なんと!!　ボスに向かって"FUCK YOU!"と中指を立てたから、さぁ大変。当然、大乱闘になり、ボスの右ストレートが顔面にヒット！　前歯がふっ飛び鼻をへし折った。ボスは右拳に歯が刺さり4針縫ったが、ケガはそれだけでボスの完勝。試合もカマクラのシルファーナが決勝へ。ところが決勝の相手が乱闘を繰り広げたコーチ率いるスイスチーム。選手よりコーチ同士が一歩も譲れない試合となったが、カマクラの完勝でシルファーナはムエタイチャンピオンに！　リング内外でカマクラの大勝利ー！　「機内と会場で2人の鼻を折ってやったよ」と笑っていたボス……。

9時すぎにドージョーへ行き、みんなで掃除。佐藤くん達は昨夜の事件に気づかず爆睡していたという。キッククラスを終え、ボスと私達は昔からボス行きつけの店へ。25人程でいっぱいになる映画に出てきそうな外観をしたミートボール屋。早朝から働く人のために、朝4時半～夕方4時まで営業している。この店はいつも満員とのことだが、それもそのはず、このミートボールがとにかくウマイッ！　テニスボール弱の大きさのものが2個で、ピリ辛デミグラソースみたいな味付け。これをパンに乗せて食べる。ヤバイッ！　やみつきになりそう……。と、ボスの携帯に、イゴール（・メインダート）、エド・デ・クライフ（過去日本でトム・エリクソンやエンセン井上と対戦）達から電話が。これからドージョーに来ると言う。

ドージョーへ戻ると、イゴール一家が待っていた。タマラ（・ルードゥー　※00年L-1で風間ルミと対戦）やエド・デ・クライフも集まった。彼らは皆、本職を持っている。イゴール＝用心棒、タマラ＝コック、エディ＝郵便配達という具合。そのため忙しく練習に来る時間もあまりない。しかし今回私達がプロフィールを作るので時間を作って来てくれた。

夜のクラスまでに多少時間が空いたので一旦ボス宅へ。「『W-1』のビデオを見ようよ」と誘い、ボスと一緒に『W-1』を見る。冒頭のアーネスト・ホーストとヨハン・ボスのサップとのやり取りに顔をしかめるボス。やはり、オランダではホーストもヨハン・ボスも英雄的存在。そんな2人の姿を複雑な表情で見つめるボス。その後、闘龍

出発前、成田空港で"日本"Tシャツを購入！　異国での試合を前に日本アピール作戦完了!!

オランダの空港に到着すると、ゴルドーの姿が！　怖いけど、やっぱり嬉しい、お出迎え！

空港から、ゴルドーのドージョー・カマクラへ移動。その途中タイヤに空気を入れるゴルドー

ゴルドーお気に入りの『セイフニング』というシーフード・ショップで働く陽気な店員さん

アジっぽい魚を丸ごとペロリと平らげるゴルドー。近くにビーチがあるので魚介類は新鮮だ！

道場の壁には「吾瑠度撃」の文字（byIKU）が！　これで「ごるどう」と読むらしい。押忍！

ドージョーのバーには、おびただしい数のトロフィーがズラリ。それでも、ほんの一部だという

ドージョーには真撃グローブが飾られてあった。ゴルドーが次に上がるリングは一体どこだ？

5・7スマックで久保田有希と対戦が決まっているファティア。もちろんセコンドはゴルドーだ

死神オランダ日記

門の試合には目を止めたボスだったが、ジョー・サンの入場になると早送り。キモとは仲がいいというボスだが、どうやらジョー・サンのことは、あまりよく思っていないらしい。

そして問題（?）のホーストvsサップ戦。明らかにボスの様子がおかしい。手にはびっしょり汗をかき、再び顔をしかめている。シーンとなった室内。「どう?」と聞くと無表情のまま「ノーコメント」という答えが……。もう一度「本当にノーコメント?」と聞いてみた。すると、「この試合についてはは語るべきものはない。それだったら俺が出た方が"ファンタジーファイト"だろ?」と想像もしなかった言葉に驚きながらも、「確かに！」と納得。空手つながりでゴルドーvsさたやん、名前が似てるから（?）ゴルドーvsゴールドバーグ……ボスの"ファンタジーファイト"見たすぎる！

その後、何人かの道場生と一緒に『W-1』を見たが、ボスと同じように闘龍門の試合は「凄い！」と食い入るように見つめていたが、ホーストvsサップ戦になると、「なんで、あのホーストがこんなことを……」「あり得ない」とショックを受けていた。"プロレス"というものが存在しないオランダでは、どうやら"ファンタジーファイト"の受けは良くないようだ。自国のスター・ホーストは一気に評価を落としてしまった様子。

ドージョーには、あちこちのジムから選手が集まってきた。手順よくプロフィール→写真→ビデオとこなしていく。30人ほどのデータを集めることが出来た。人が減り始めた頃、佐藤くんが練習に加わった。162センチ54キロの彼は、大男ばかりのオランダでは、まるで"逆ガリバー旅行記"でも見ているかのように誰よりも小さかった。しかし練習を終えた選手全員、佐藤くんの動きを食い入るように見ていた。すると、1人の女の子が何やら言っている。「どうしたの?」と聞くと「彼はいつまでいるの?」と彼女。「月曜日に帰るけど、日曜日にK-1で試合するよ」と言うと、「絶対応援行くわ」と目を輝かせていた。彼女は、佐藤くんにホレてしまい月曜日見送りに来たいとまで言っていた。

ボス宅に戻り、リビングで団らん。今日ぐらいは事件もなく終わるかと思ったその瞬間、ロッテルダムで殺人事件発生！ 更に恐ろしい事実が判明。

去年1年間の銃による死者が、今年1月末で、すでにその数を上廻ったそうだ。いったいどうなっているのだろう、この国は……。

秘密のガレージに置いてある、ゴルドーの愛車ハーレー。休みの日には仲間数十台でスペインやポルトガルまでツーリングに出かけるという

4/5

今日は、K-1の計量&ルールミーティング。またしても朝から殺人事件話。昨夜遅くこの町で泥棒に入られた住人が通報。だが警官が駆けつけた時には、その住人2人が射殺されていた。まさか今日も……?

計量のため会場へ。ドージョーからは車で20分程の町。ニコさんのホームタウン。開拓の最中ということでオランダとは思えない程キレイな町。だから（?）か、ボスはこの町から立ち入り禁止令が出ているという。今回は特別に許可をもらったらしいが……。この会場は通常はアイススケート場で、格闘技イベントが行われるのは初めてだそうだ。ルールミーティング&記者会見。家庭用の体重計をじゅうたんの上に置き計量（大丈夫か?）。そしてクラウスとイグナショフの欠場が発表されるも、理由は定かでない……（ある意味、オランダらしい）。佐藤くんは第1試合。本当のこけら落とし。

全て終わり、みんなでドライブのあとドージョーに戻る。ボスが何だか不機嫌。恐る恐る聞いてみた。今日の会見場で、先月のボス主催の大会に来てないマスコミが、ボスにコメントを求めてきたので「私の大会に来ないのだから、ここで答える必要はない」と怒鳴ってやったのだという（そりゃそうだ。記者の皆様気を付けましょう）。夕食をみんなで食べることになった。ボス宅近くの日本食"すずらん"へ。日本食は、まだここ1軒しかなく予約殺到でとても人気の店。サッカーの小野選手も常連で、なんと、来月オランダの新聞でボスと対談があるらしい。そんな"すずらん"は、日本人妻を持つオランダ人のハンスさん（日本語ペラペラ）で料理がとにかく美味しい。ボスは枝豆に初挑戦し、すっかり気に入ってしまった。この店で私達は、明日へ向けての話をした。「今回はテストマッチ。勝敗より内容。5Rつまらない試合をしたらチャンスは遠くなるが、面白ければチャンスが生まれる」とボス。というのも今回はボスの協力があってK-1のリングで実現したもので、渡航費も自己負担、ファイトマネーも無しという条件だった。オランダのキック界は、A~Cランクまであり日本のトップ選手でも、せいぜいBランカーと言われている。すなわち佐藤くんもBランカー扱いのため、2分5R肘なし、顔面の膝もなし。勝つためには倒さなくてはいけない。相手の情報はほとんどないがBランカーのトップで彼はこの試合に勝てばAランカー入り。相手も倒しに来るのは間違いない。しかし私達にはボスがいる。知

内弟子の部屋で料理を作る佐藤くん。かつて、崔リョウジや藪下めぐみも生活していた部屋だ

初公開！ 親兄弟でもなかなか入れないゴルドーの館。鎧、掛け軸、着物、浮世絵、暖簾など、日本テイスト溢れるアイテムがズラリ！

昔からの知り合いだというミートボール屋のオーナーとゴルドー。オーナーもかなり悪そう？

ヒザの上に乗ってる子供は、もしかしてゴルドーの？ 残念でした。メインダートの子供です

ゴルドー、IKUさん、エド・デ・クライフの3ショット。昔は3人とも相当なワルだった!?

ゴルドーを「シハン」と呼び、慕っている子供と一緒にサッカー。意外と上手くてビックリ！

見てみ！ ご覧の通り、多くの生徒が通っているゴルドーのドージョー。腹筋するのも一苦労

ドージョーの空手クラスではジェラルド&ニコのゴルドー兄弟が竹刀片手にビッシビシ指導！

り合って間もない私達はこの日、やっとチームになれた。しっかりスクラムを組んで頑張ろう！

そして夜のリビングトーク。今日の午前中、この町でデモが行われていた。各国では反戦デモが行われているが、ここではUSA支持派のデモ。ボスは戦争は反対だが、何故イラクが大量に殺人をしても誰も何も言わなかったのに、それが何故今回は反対なのか……。私もそう思った。

そして明日はとにかくやるだけ！

4/6

今日はドージョーが休みなので少し遅い起床。しかしK-1の前に子供の空手大会がロッテルダムで行われるので11時頃出発。のどかな風景に、体育館が見えてきた。そこには入りきらない程の人が……。それもそのはず、120人も参加しているとのことだ。ボスとニコさんが主審をし、カマクラのキッズクラスも参加。ボスのもう1人の兄アールさんのクラスだ。試合は、ドンドン進められていく。恐らくK-1の時間があるからだと思う。でも子供だと思ってバカに出来ない。4～5歳の女の子がスピンキックを見せたり、カマクラの男の子が頭突きをし、ボスが大激怒で反則を言い渡したりと……。15時になり、まだ試合は続いているが、ボスはばっくれた。後はニコさんヨロシクー！　コロッケを購入、車中で頬ばりつつシルバードームへ。考えてみると私達がオランダに来るといつも雨が降っていたが、今回はずーっといい天気。そのことをボスに言うと「そうだな。きっと友則はラッキーボーイだからやるよ」と言ってくれ心強かった。4時頃到着し早速控室へ。先に会場入りしていた森崎改め浩さんから「試合は5時からになったみたいです」と聞いてビックリ！　チケットもポスターも6時開始と書いてある。〝前座試合〟は5時からと言われ、何だか悔しかった。

対戦相手はムシドジムの選手だった。しまった！　金曜日にムシドさんは佐藤くんの動きを見ているから不利？　本来なら相手を見れる機会だった昨日の計量も仕事のため欠席（そんなバカな……）。しかし佐藤くんは「別にいいです。相手が誰であれ、ブッ倒すだけですから！」と心強い一言。いよいよ試合開始の時間。成田で買った〝日本〟Tシャツを着てセコンドに付く浩さんとIKUさん。リング上で初めて相手に遭遇。なかなか強そう。

ゴングと共に双方一歩も引かない打ち合いにすっかり熱くなっているセコンド陣。ガードをしっかり高く上げていた佐藤くん、いい感じだぞォー。4Rにチャンス到来。1分過ぎに左フックがボディに炸裂！　膝がガクッと落ちるもうまくクリンチ気味に抱き付きダウンは取られず。惜しいなあ……と思ったのも束の間、すかさず鋭い膝がボディにキレイに決まった――！　今度は見事にダウン。カウント8で立ち上がり、トドメを刺そうとしたところでゴング（2分は短いなあ）。最終R、ボスの冷静な判断で右に回り左フックが何度となく決まる。あと一息という所で試合終了。ダウンを奪ったものの判定はドロー。納得いかない私達にボスも「あり得ない」と一言（やはりアウェーでは倒さないと勝てない……）。いい教訓になった。控室に戻ると、悔しそうな顔の佐藤くんが、しきりに謝っている。しかし他の選手は皆「GOOD MATCH！」と大絶賛。さあ、ボスの判定は……顔を見て一目瞭然。あのボスが満面の笑みで一言「GREAT！」。ムシドさんに挨拶をしに行くと「お前らとんでもない選手を連れてきてくれたなぁ」と苦笑いしている。

年内中にも再び佐藤くんはオランダのリングに立つことになるだろう。もしかするとタイトルマッチの可能性も？　一方、バックステージには、ピーター・アーツやステファン・レコ、アリスター・オーフレイムなど、たく

これが今回行われたK―1オランダ大会のポスター。日本でも人気のイグナショフやアルバート・クラウスの試合も予定されていたが、当日になって、どちらも中止に。ディス・イズ・オランダルール!?

ダウンも奪い佐藤くんの勝利かと思われたが、判定はドロー。左端で手を上げて抗議しているのはセコンドのヒロさん。やはりアウェーで闘うには文句のでないKO勝利を狙うしかない。次こそはKOだ！

こちらはニコさんの愛車（KAWASAKI）。ニコさんのファイトも久しぶりに見てみたい！

計量に来ていたアルバート・クラウス。当初は試合に出るはずだったが、直前になってキャンセル

日本でもお馴染みのボブ・シュライバーとイルマ・ヘルーホフ夫妻。夫婦喧嘩は大変そうな2人だ

なぜか当日になって10オンスのグローブを渡され困惑の佐藤くん。本人曰く「ドラえもんみたい」

以前、ゼロワンの解説でGKが「ゴルドーはバナナを食べていても怖い」と言っていたが、どう？

第一試合ながら、その日のベストバウトと評価された佐藤くん。次回はタイトルマッチの可能性も

死神オランダ日記

さんの有名選手が！　彼らや、彼らのファンも佐藤くんのスタイルは評判がいいらしく、オランダ人が好きな闘い方だと口を揃えて言ってくれる。嬉しいことだが、私にはずっと気になっていたことがある。ドージョーで佐藤くんに一目惚れしたあのコは、彼の勇姿を見ることが出来たのだろうか……？

海外の大会ではVIP席というテーブルがあるが、オランダではこの席からマリファナの匂いが……。そして客席では乱闘が！（この日は2回）でも、これもいつものことで当たり前。

試合後、ボス（ベンツ）とニコさん（RAV4）の車で、金曜日に行った中華店に行った。みんなから高い評価を受け、今大会のベストバウトと言ってくれた。〝勝利の美酒〟とはいかなかったが、〝勝利の美食〟を頂いた。ちなみにIKUさんと浩さんは酒が強く、ボス・佐藤くん・私は飲めない。ボスは以前コップ1杯だけ酒を飲んだとき、テーブルやイスをひっくり返し、店の中をグシャグシャにして暴れてしまった経験があるので、それ以来飲んでいない（ボスには決してアルコールを与えないで下さいっ！）。

夜遅くボス宅へ帰宅。そしてやってきました、最後のリビングトーク。やっぱり今日も殺人事件の話……。金曜日から行方不明だった幼い妹弟。この日オランダ国境近くで、その遺体が発見された。今日はさすがにないと思ったのに……。私達がオランダに来てから5人死んだが、あくまでもオランダ全土の数字ではない。

4/7

いつもと同様、8時起床で朝食。しかしボスの様子が変。食事中も無言で空気が重い。ほとんど会話もないまま、ドージョーへ。午前のクラスが終わりボスが「5人でメシ行くぞ」と誘ってくれた。よく考えると5人での昼食は初日以来。ボスの心使いかな？　そして行った店は、あのミートボール屋！今日はチキンスープまである。これがとんでもなくウマイッ！　1時間程、時間に余裕があるので「マデュルーダムでも行くか？」とボスが提案。マデュルーダムは、ドージョーからも近く、オランダの町を25分の1に縮小した町で、ミニチュア1個1個が忠実に再現されている。普段は視線を上から感じる佐藤くんもここでは大男。飛行機や船に触って大ハシャギ。おみやげを買ってドージョーに戻る。佐藤くんが次回新しいTシャツにカマクラのマークを入れたいとボスに直訴。ボスの返事は「OK！」。恐らく、佐藤くんを評価し、ファミリーとして認めた証拠だろう。

ボス宅に戻ると「お前らも来い」と佐藤くんと浩さんを呼んでいる（実はボス宅は、弟子は勿論、親兄弟すら家に入れず、入った人は私達以外に2～3人しかいない。私達も4年位かかったかな？）。IKUさんも信じられない様子でいる。

荷物を持ち出発。デンハッグセントラルステーションへ。駅に着くと、そこには空港までの切符を手に持ったニコさんの姿が！　もう涙が止まらなくなる。ボスとニコさんに涙ながらにお礼を言う。鼻をすすりながら電車に乗り、スキポール空港へ。

色々な影響で行きよりガラガラ。帰りも2階席は10人足らずで、みんな横になり爆睡。目が覚めたらあと2時間で成田に到着。やはり成田もガラガラ。税関も並ばず……。

振り向くと佐藤くんがパスポートを無くした気配。しかし、散々騒いだあげく結局はポケットの中に……。まったく最後まで人騒がせな人だなぁ。

今回の感想をIKUさんは「勝った！　まだまだこんなもんじゃないッスよ！」。浩さんは「これからもっと違う練習も取り入れないとね」。そして佐藤くんは「新たに目標が出来て欲も出てきた。まず世界チャンピオンになって、その後、ボクシングや総合、プロレスもやってみたい。トペコンヒーローがやりたいんで。あと40歳くらいで中国拳法を極めたいですね」って、大丈夫か？　でもゴルドーファミリーの匂いがする。

長いようで短かった4泊6日の旅が終わった。データ作りのために集まってくれた選手たち全員、必ず日本で試合をするチャンスを与えたい。そしてK―1で貴重な経験をさせてくれた佐藤くんと浩さんに感謝！　必ずチャンピオンになって下さい。その試合を組んで下さったボスとムシドさんありがとう。最後にあらためて、ボス、心からありがとう！

怖いところも多いけど、みなさんもオランダに行ってみませんか？

会場には3・30のK―1でケガをしたピーター・アーツやステファン・レコなども足を運んでいた

K―1の休憩時間に会場から車で5分程のニコさんの家へ。奥さんのリンダさんと一緒にニッコリ

大会後、みんなで食事会。ゴルドーも佐藤くんのファイトを絶賛。ゴルドー一家の仲間入りか!?

ここがマデュルーダム。25分の1に縮小されたオランダ。よく見ると巨人（？）が歩いているぞ！

帰国直前、K―1グローブにサインをもらう佐藤くん。なんと、ゴルドー宅にも招待されたという

最後にドージョー前で記念撮影。ゴルドーは5・7のスマックガールにセコンドとして来日決定！

ゴルドー・ジャパン プレゼント

こちらは、6・8オランダで行われる『IT'S SHOW TIME』のパンフレット。メインは、シュライバーvsボブチャンチン、そして、D・フライvsルシア・ライカ!?　本当なのか？

こちらはオランダ唯一の格闘技専門紙。ちなみに、前号の一面はK―1でホーストが優勝した時のもの。右のパンフとセットで3名様にプレゼント！　宛先はP159参照！　押忍!!

The Fighting Post

MAY 10th VIENNA

LIVE ON DSF

Inclusief 3 pagina's over de superleague

Champion '02

SIMON RUTZ PROMOTIONS PRESENTS MUAY THAI - FREE FIGHT GALA

IT'S SHOWTIME AMSTERDAM ArenA

BOB SCHREIBER vs IGOR VOVCHANCHYN

8 JUNI 2003

ZONDAG 8 JUNI 2003 AMSTERDAM ARENA

紙の新聞

●マット界の1ケ月丸わかり●

3/25→4/14

サスケ議員、当選おめでとうございま〜す!! お茶の間の人気者サップが目の治療のため帰国した直後、マット界から世間の注目を一気に集めたのがザ・グレート・サスケ議員だ。小泉首相もコメントを出すなど、異例の事態に発展しているぞ! 一方では覆面の下の素顔に迫るゴシップ記事も各誌で噴出! というわけで、次号あたりでは覆面問題に次いでペイント問題が勃発か!? 本誌は統一地方選後半戦も追いかけます! では、今月も『紙の新聞』いってみよう!

編集長/スモーノブ
助手/ささきぃ

4/2

【K－1】

サモアのガファリ B型肝炎で欠場!!

4/6K-1山形大会に出場出場予定だったボブ・サップの従兄弟ケビン・キングが練習中の負傷のため欠場することになった。代打としてラインナップされたのが、ご覧のようなガファリ・ボディを持つ男スティーブン・マーカ。190センチ&170キロという巨体から繰り出す破壊力抜群の打撃でジャパン軍を蹴散らす……はずだったのだが、なんと血液検査でB型肝炎が発覚して欠場!! さらに、その代打で登場したのは同門の190センチ&132キロ、ケリー・カレナ。結局、ジャパンの藤本祐介に見事なKO負けを喫してしまったが、次から次へと巨漢が出てくるサモアン・ビースト軍団からは目が離せない。

3/26

【新日本プロレス】

ドラゴン、不運!! 交通事故が発覚!!

この日、衝撃の事実が明らかになった。なんと、ドラゴンが高速事故に巻き込まれていたのだ! 3・11の午前中にタクシーで都内の高速道路を走っていたところ、後ろから乗用車に追突されて首を強打!! 下を向いていたドラゴンは、病院で検査を受けたところ2週間の安静を言い渡されたという。これによって、4/18後楽園大会での木村健悟引退試合への出場は事実上不可能になってしまった。この日から道場に現れたドラゴンは肉体改造を再開、「復帰戦が新日本のリングとは限らない」と新日本の社長とは思えない仰天プランまで飛び出すなど、ドラゴン節は全開!! 結局、健悟引退試合の相手は西村修に決定した。

4/6

【GAEA】

衝撃!! D-FIXが東スポ記者を丸刈り!!

尾崎魔弓、KAORUのD-FIXが東スポ記者を襲った!! 昨年から、バリカンを手に暴れ回り、選手やレスラーの髪を切ってきたD-FIX。この日、長与千種&広田さくら組に敗れてスキンヘッドになった尾崎&KAORUの2人は、すがすがしい顔でコメントルームに現れ「気持ちいいよ。ホント。注目集めたのはうちらだった」と、頭をなでながら笑った。髪は女の命、という言葉にも「全然。痛んでボロボロだったし。きれいさっぱり、これからは大事に育てるよ」と、あっけらかんとしたもの。しかし、2人は自分たちだけでは終わらせないとばかりに「東スポ、やってやるよ」と、東スポのY記者をその場で丸刈りに。Y記者は見事五厘刈りにされ、しかも襲撃時にはバリカンで頭から流血。生傷の残る痛々しい坊主頭のY記者は、独りプレスルームで、自分が襲われた大会の記事を書いていた。D-FIX、恐るべし!!

3/29

【K－1】

サモアン・ビースト軍団、日本来襲!?

ニュージーランドの先住民族マウリ族で結成されたサモアン・ビースト軍団が、この日のK-1記者会見で初お目見え。怒涛のウォークライを披露した。後ろに控える顔面半分に刺青が入っている超巨漢がリーダーのTOA。本来、アーネスト・ホーストの対戦相手として名前が挙がっていたが土木作業中に負傷して、あえなくセレモニーのみの登場となった。持参した槍を角田プロデューサーに渡して、K-1を受け入れる意思を表明した。槍を渡す姿が『PRIDE.4』で"武輝の魂"を望月成晃に渡した北尾光覇を彷彿とさせるなぁと思ったら、アマ相撲の世界選手権出場者であることが発覚! WWEの養成機関でトレーニングを積んでいた時期もあるという。「今後はK-1、『PRIDE』、プロレスのリングも視野に入れている」と不気味な予告をしているだけに、要注目!

3/26

【K－1】

サップ、CM10本目!「エスカップ」に登場!

♪エスエスエスエスエスカップ〜!! というわけで、この日都内ホテルでエスエス製薬「エスカップ」の新CM記者発表会が行われた。これまでCMに登場してきた角田信朗とピーター・アーツに加え、野獣ボブ・サップも登場!! アーツとサップは試合まであと4日という中、終始笑顔で対応していた。デモンストレーションでエスカップ・ギャルズと腕相撲で対戦したサップは、なんとギャルズに完敗!! 理由は、「ギャルたちがエスカップを飲んでいたから」だという。ひょっとして、これがサップ敗戦の導火線となったのではないのか? この腕相撲を見たミルコが「♪勝ちたいときにはエスカップ〜」と、サップ戦の前にエスカップを飲んでいたとしたら!? 本番前に弱点を晒してしまったサップの敗因は、意外なところに転がっていたのかもしれない(妄想)。

3/25

【新日本プロレス】

世界一のバカ(by藤田) 中西が吠える!!

5・2新日本の東京ドーム大会で中西学と藤田和之が激突する。この日、新日本事務所で会見を行った中西は「バリートゥード(※発言ママ)は、プロレスやる前の練習でやっている。グラウンドの取り合いも道場の練習でさんざんやってる。その上にあるのがプロレス」と、独自の論理ですでにVTを習得していることを自慢! と言ってるわりには、プロレスの試合は欠場して、エンセン井上の道場に泊り込んで特訓するなど努力も欠かさない。VT野人は、日々エンセンと激しいスパーリングを繰り広げている模様。この表情を見る限り、頭を打たれすぎていないか心配になってくるのだが……頑張れ、中西!

4/13

【みちのくプロレス】

サスケが岩手県議選で見事トップ当選!!

13日に投開票が行われた岩手県議会議員選挙盛岡選挙区で、我らがザ・グレート・サスケ社長がトップ当選を果たした。選挙事務所横に設営したリング上からメリー夫人やつぼ原人らと共に当選の喜びを語ったサスケは、改めてマスクを脱ぐ意思がないことを宣言。「これはマスクではない。私の顔なんです。この顔を含めて有権者の方に支持を頂いたと思う」と語った。だが、県知事が「マスクを脱げ」と言い出すなど場外乱闘に発展。一般週刊誌では素顔や過去が暴露されるなど、一部ではバッシングも始まっている。現在、サスケは露出部分の多い「品位を損なわないマスク」を開発中だという。

4/13

【バトラーツ】

バトラーツ7周年、石川雄規敗れる!!

臼田勝美の復帰、小野武志の里帰り参戦がなされたバトラーツ7周年記念大会。メインは昨年の8・8『LEGEND』に登場したジョージ・キング（ブルトーザー・ジョージ）が、必要以上に血管を浮き上がらせたハゲ頭で大暴れ。ジョージがえらく打点の高いドロップキック、ロープを超えて放り投げる危険なジャーマンで倉島信行を圧倒した後、パートナーのTAKAみちのくが石川をジャスト・フェースロックでギブアップに追い込んだ。試合後はTAKAが「石川、やっとオマエから一本取ったぞ」と、動けない石川にマイク。石川は、控室で「とんだバトラーツのハッピーバースディだよ。何もないところから始まったんだ。また這い上がって、天下を取ってやる」と、雪辱を誓った。WJに登場したダン・ボビッシュ級の逸材、ジョージがバトを食い荒らすのか、それとも石川が情念でそれを止めるのか!?

4/11

【猪木事務所】

「バカが伝染(うつ)るから」短期決着を宣言!!

この日、都内のジム『トータルワークアウト』で、藤田和之が5・2の中西戦に向けて高阪“TK”剛と合同練習を行った。「試合は早く終わらせるつもり」と早期決着を宣言した。なぜなら、「あんまり長くやるとバカがうつるから」というのが理由だ。「プロレスの方がVTより上」という中西発言も、「それを5・2で証明してみろ」と通告。「中西選手が勝てば、中西選手の言ってることが正しいということになるんでしょうか?」という質問も、「正しいも、正しくないも、あいつはバカなんだから間違ってる!!」と「中西＝バカ＝間違い」という分りやすい公式で切り捨てた。

4/8

【WJ】

「シャアーッ!!」またも健介が名言!

この日、“永島事務員”（by大仁田厚）ことWJ永島専務と佐々木健介がWJ事務所で会見を行った。『MAGMA01パワーホールシリーズ』のカード発表が行われると、健介は気合が入りまくりで「大仁田には前に一回火を使われてるんで、小細工はさせない。大森との試合もワクワクするし、天龍さんともやるのも楽しみ。このメンバーで潰し合いができればいい。アザができるぐらいブン殴って、骨がきしむぐらい極めあって……なんかワクワクするよ」と意気込みを語ると、いきなり立ち上がり「やっと当たれるな、大森、天龍、シャアーッ!!」と叫び、気合もろとも会見を締めくくった。

4/14

【大仁田厚事務所】

サンボ浅子が退院!! 大仁田が報告会見

この日、文京区順天堂大学病院で大仁田厚とサンボ浅子が記者会見を行った。浅子氏は昨年10月に靴擦れが原因で入院したところ、糖尿病での壊疽が発覚。浅子氏はこの時「足はくれてやる」と右足切断を決意。今年の3月に目と頭の奥に頭痛を覚えて再入院。今度は右目の緑内障で、眼球摘出の危機は乗り越えたが光を感じることは出来ない。自ら病院を手配して、連日お見舞いに訪れて浅子氏を支え続けた大仁田は、5・25ディファ有明で「がんばれサンボ浅子」と題して大会を行うことを発表、「サンボ浅子に関わったレスラーの皆さん、リング上で試合をして頂けませんか?」と呼びかけた。

【ノア】

小橋、初防衛!! 高山、力皇を一蹴!!

3・1武道館大会で三沢光晴から奪ったGHCヘビー級選手権を小橋が初防衛! 本田多聞の猛攻に苦しみながらも、豪腕ラリアットで勝利を掴んだ。試合後、3・21新日本代々木大会で対戦をアピールした蝶野正洋を次期挑戦者に指名した。リングサイドで観戦していた蝶野は小橋とガッチリ握手! 5・2の新日本ドーム大会でGHC選手権が行われることが決定した。また、同じく5・2でIWGPに挑む高山も力皇猛の挑戦を退けてNWF王座の3度目の防衛に成功した。改めて、安田忠夫vs永田裕志の勝者と、IWGP&NWFの2冠を賭けて闘う意向を表明した。

4/12

【全日本プロレス】

カシンが仰天暴露!!「全日には現金ない」

“Jr.チャンピオンカーニバル”を制したバトラーツのカール・コンティニー（翌日からグレコに改名）と激突、勝利したカシン。試合後、ロウ・キーが乱入して対戦をアピールするが、カシンは世界ジュニアのベルトをロウ・キーに渡して、さっさと引き上げてしまった。控室では「ZERO-ONEがカズ・ハヤシとジミー・ヤンを引き抜くとか言ってるが借金だらけだろ? 全日本は借金はないけど現金がない」と仰天告白! その後、ロウ・キーはカシンにベルトを返還したが、全日本とZERO-ONEのJr.対抗戦は、カシンの撹乱作戦で一気に混沌としてきた。

4/10

【パンクラス】

アルメイダと近藤が公開スパーリング!!

4・12後楽園大会でパンクラスGRABAKAの佐々木有生と激突するヒカルド・アルメイダが近藤有己と公開スパーリングを行った。ヘンゾ門下生のアルメイダが“オモプラッタ”を近藤に伝授すれば、近藤が一撃必殺のヒザ蹴りをレクチャーするなど技術交流も行われた。練習後の会見では地元NYのヤンキース「Matsui」Tシャツを着て登場するなど、ヘンゾ直伝のお茶目な一面も。さらに、道場に転がっていたバットを持って写真を撮られまくっていた。なお、このバット、船木が須藤元気を追い回した時に持っていたという伝説（『海人』安田拡了・著より）のバットかどうかは不明。

リトアニア
北の国から03'
RADICAL PRESENT

RINGS LITHUANIA

セットで 3 名様

☆リングス・キーホルダー
仰天!! リトアニアはリングスグッズの黄金郷でもあった! こんなヒョードルのグッズが世界に存在してるなんてビックリだ!! 世界最強の男のキーホルダーがもれなく付いてくるリングス・キーホルダーセットをもはや家宝モノであるどこでもいいからジャラジャラとブラ下げて自慢しよう! 【編集部提供】

☆ヴォルク・ハン自伝
リングス者なら感涙モノの狼自伝をGETした!! 内容はまったくわからないが、"ロシアの英雄"ヴォルク・ハン激闘の歴史が記されれるのは間違いないだろう。ハンのサブミッションを掛けられているのは山憲であることも間違いない扉絵です。狼の伝説を読破しろ! そして何が書いてあったかコッソリ教えてください 【編集部提供】

2 名様

☆ビデオ リングス・リトアニアコレクション
超プレミア!! "格闘黄金郷"リングス・リトアニア大会の激闘をコンプリートしたビデオシリーズをプレゼント!! 伝説となっているヴォルク・ハンvsグロム・ザザのリングス・ユーラシア大陸統一選手権から、リトアニア戦士勢、アターエフ、横井、伊藤、なんとボブチャンチンまでもが登場する圧巻の武士道リングスシリーズ!! これを見たら21世紀は終わっていい! 言い過ぎじゃないって! 【編集部提供】

セットで 1 名様

1 名様

☆キャップ
ボク、リングスファンです!! と、ファッションで思い切り表現したいアナタに送るリングスキャップ!! 被ればリングスの歴史が脳裏に浮かぶ気がしないでもない逸品だ! 【編集部提供】

3 名様

☆ボールペン&ライター&ステッカー
ステッカーならまだわかる! ボールペンやライターなど、何気ない日常用品もしっかりグッズ化されているから、恐るべしリトアニアですよ!! 火を付けたり書くのがもったいない代物なので、禁煙したい方や勉強したくない少年にあげます! 【編集部提供】

各 2 名様

☆リングスTシャツ(レッド、ブラック)
ライターやボールペンまでもがグッズ化してるのだから、Tシャツがあるのは当たり前ですよぉぉぉ! この夏はリングス・リトアニアTシャツを着こんで朝から晩まで遊びましょう。リトアニアのTシャツを持ってるだけでも自慢できます! 【編集部提供】

5 名様

☆リトアニア大会パンフレット
今号で大特集しているリングス・リトアニア大会の大会パンフレットをドドーンと放出します!! 特集ですっかりリトアニアに魅了された読者はさっそく応募! ヒョードル、今成、小谷が一緒に表紙を飾るというパンフはとっても貴重です。なんと驚くことにヒョードルのプロフィールには「『PRIDE』ヘビー級王者」としっかり記されている。対応が早いぜ!(倉持アナの文体調) 【編集部提供】

YUKA TSUJI

セットで 1 名様

☆入場用マスク&ガウン（使用済み）

プレミア必至!! 3・2スマックガールで辻ちゃんが入場で被ったライガー風マスクとガウンをプレゼント!! これはもう、たまりませんよぉぉぉ!! バンッバンッ!【辻結花提供】

TAKADA DOJO

【高田道場提供】
お問い合わせ【TEL】057-000-8800、携帯電話専用 03-5750-5350 、受付曜日・時間 月〜土 /10:00〜18:00

☆桜庭和志・イラストTシャツ（ネイビー）

BACK

☆桜庭和志・イラストTシャツ（白）

BACK

☆高田道場Tシャツ

出た! 本誌ではすっかりおなじみ中川画伯のイラストによる桜庭和志Tシャツが出ましたよ!! 高田総裁も『PRIDE』統括本部長に就いたことだし、ここは就任を祝してコンプリートしましょうか。3種類とも貰いますか〜ッ!!【高田道場提供】

BAN BAN BIGRAW

バンバンビガロから新作Tシャツ!! 続々と登場する商品は逐一ホームページをチェックしろ!
【URL】http://www.bambam88.com/
【下北沢店】世田谷区北沢2-33-11-2F TEL:03-3460-1145
【大阪店】大阪市中央区西心斎橋1-15-15-201 TEL:06-6245-1602

各 1 名様

☆マスカラスTシャツ

BACK

☆ウォーズマンTシャツ

BACK

☆花くまゆうさくTシャツ

BOB SAPP

5 名様

☆ボブ・サップフィギュア

ボブ・サップは続くよどこまでも! 原宿にショップを開店、テレビ、CMと怒濤の進撃を続けるサップのフィギュアが登場なんだ! ミルコ・クロコップに負けた途端、猫や杓子にも叩かれてるサップ様ですが、それでもサップは凄いんですよ、アンタ!! K-1、『PRIDE』、『W-1』、復帰を待て!! フォフォフォー【キャラプロ提供】

応募要項

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦好きな選手&嫌いな選手

応募券

【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「AVスキャンダル」係まで
※締切は2003年5月26日(月)当日消印有効

DVD

5 名様

☆ゴージャス松野 プロレスラーへの道

ゴージャス松野プロレスラーデビューまでの軌跡を綴った爆笑DVD!! 大好評のIWA・DVDシリーズはとにかく必見だ! んーッ、ゴージャス! 【IWA提供】
お問い合わせ【TEL】03-3352-3366

USA

セットで 1 名様

☆伊藤博之アメリカみやげ

『レッスルマニア』パンフ、そして、伊藤のインタビューでも触れられている、ブルース・バッファローから貰ったサイン入りカードなど、5月5日『DEEP』後楽園ホール、ドスJr.戦直前の伊藤からステキなアメリカみやげをセットでプレゼントします!! ん〜ッ、顔は高阪!!【伊藤博之提供】

NAMEKAWA

1 名様

☆ギブス

仰天!! 世界中を見渡してもこんなプレゼントはない! 郵送できない大きさなので編集部に取りに来れる方に上げます。犬の文字が気になるが……まさか!? 【編集部提供】

『紙プロ』ZERO-ONEグッズ 買わない奴は 成敗!!

ハシフ・カーンTシャツ『破不可』〈イエロー〉
¥3,800　S or M or L or XL

ハシフ・カーンTシャツ『破不可』〈ホワイト〉
¥3,800　S or M or L or XL

ハシフ・カーンパーカー『破不可』
¥6,000　M or SOLD OUT or XL
残りわずか!

ロウ・キーTシャツ〈ブラック〉
¥3,000　S or M or L

Mr.フレッド『TWOOO』Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800　S or M or L or XL

Mr.フレッド『TWOOO』Tシャツ〈ベージュ〉
¥3,800　S or M or L or XL

Mr.フレッド『TWOOO』Tシャツ〈カーキ〉
¥3,800　SOLD OUT or M or L or XL

Mr.フレッド『TWOOO』パーカー
¥6,000　M or L or XL

紙のプロレス RADICAL
No.61
2003年5月25日発行
No.62は
5月下旬発売予定!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇
編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎(SARSが怖いため非番)

スーパーバイザー
吉田豪
助っ人
片山ボン
ジャイ子
電気部
さささぃ
スモーノブ

アートディレクター
出田さん(TwoThree)
デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん(以上TwoThree)
トメさん
はなえちゃん(以上さおとめの事務所)
海老沢勇
古賀ゆきえ(以上Zero graphics)

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島俊彦
緒方秀美
試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林"ヘックション"一枝
出前
出前持ち入江(TwoThree)
フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所
ゼロ・グラフィックス
印刷
図書印刷株式会社
印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元　株式会社ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町一番地　TEL.03-3357-2911(販売・営業)
発行元　株式会社ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　TEL.03-3403-5188(編集・制作)

9784898297056

ISBN4-89829-705-6

雑誌 69860—25

C9476 ¥838E

1929476008381

印刷：図書印刷株式会社